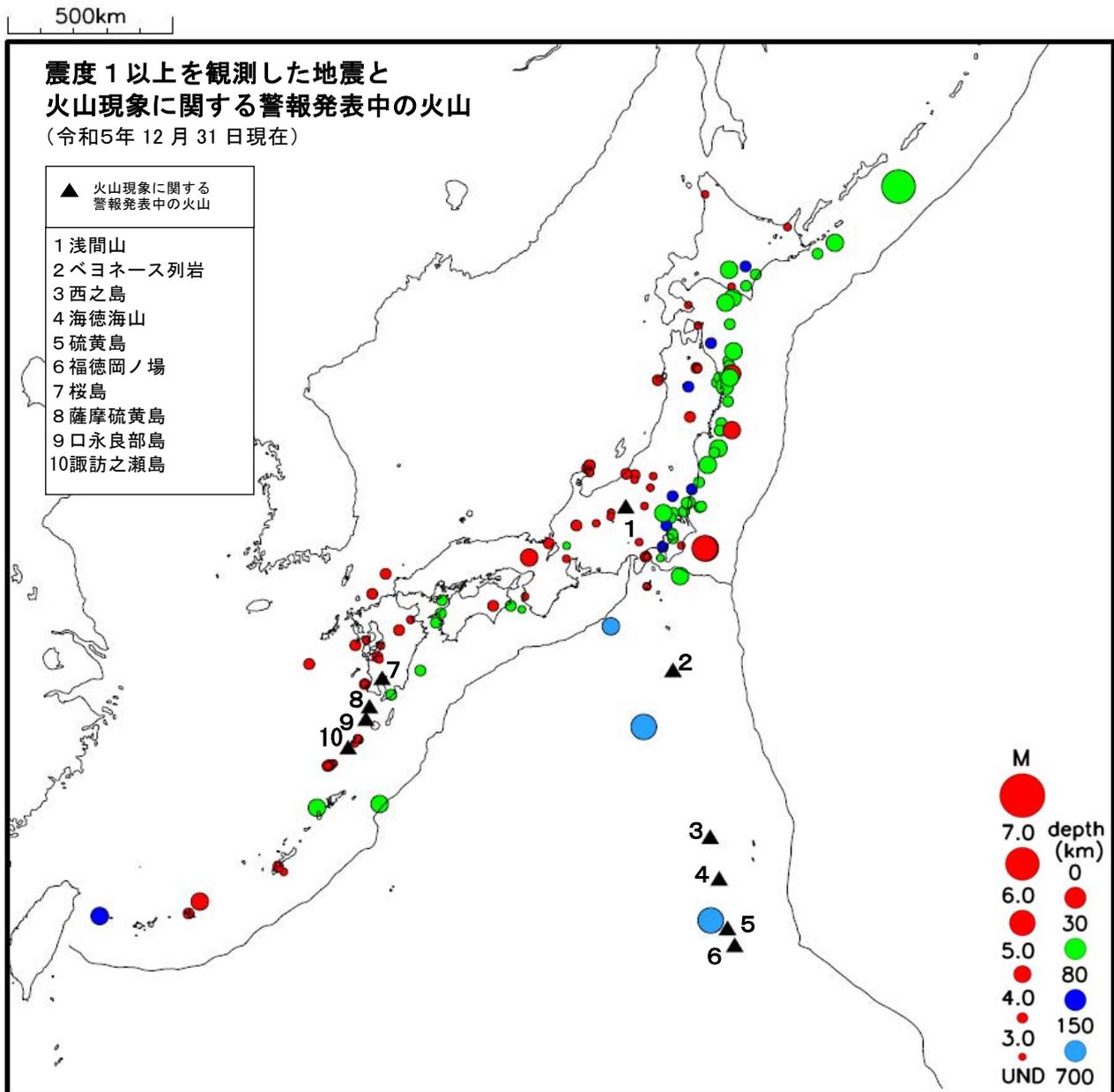


# 令和5年 12 月 地震・火山月報(防災編)

Monthly Report on Earthquakes and Volcanoes in Japan

December 2023



気 象 庁

Japan Meteorological Agency

## ※ 本資料中のデータについて

気象庁では、平成9年11月10日より、国・地方公共団体及び住民が一体となった緊急防災対応の迅速かつ円滑な実施に資するため、気象庁の震度計の観測データに合わせて地方公共団体\*及び国立研究開発法人防災科学技術研究所から提供されたものも震度情報として発表している。

また、気象庁では、地震防災対策特別措置法の趣旨に沿って、平成9年10月1日より、大学や国立研究開発法人防災科学技術研究所等の関係機関から地震観測データの提供を受け\*\*、文部科学省と協力してこれを整理し、整理結果等を、同法に基づいて設置された地震調査研究推進本部地震調査委員会に提供するとともに、気象業務の一環として防災情報として適宜発表する等活用している。

注\* 令和5年12月31日現在：北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県、札幌市（北海道）、仙台市（宮城県）、千葉市（千葉県）、横浜市（神奈川県）、川崎市（神奈川県）、相模原市（神奈川県）、名古屋市（愛知県）、京都市（京都府）の47都道府県、8政令指定都市。

注\*\* 令和5年12月31日現在：国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成している。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成している。

## ※ 本資料中の図について

本資料中の地図は、『数値地図25000（行政界・海岸線）』（国土地理院）を加工して作成した。

また、一部の図版作成にはGMT(Generic Mapping Tool[Wessel, P., and W.H.F.Smith, New, improved version of Generic Mapping Tools released, *EOS Trans. Amer. Geophys. U.*, vol.79 (47), pp.579, 1998])を使用した。

## ※ 本資料利用上の注意

### ・資料中の語句について

M：マグニチュード（通常、揺れの最大振幅から推定した気象庁マグニチュードだが、気象庁CMT解のモーメントマグニチュードの場合がある。）

Mw：モーメントマグニチュード（特にことわりがない限り、気象庁CMT解のモーメントマグニチュードを表す。）

depth：深さ（km）

UND：マグニチュードの決まらない地震が含まれていることを意味する。

N= xx, yy/ZZ：図中に表示している地震の回数を表す（通常図の右上に示してある）。ZZは回数の総数を表し、xx, yyは期間別に表示色を変更している場合に、期間毎の回数を表す。

### ・発震機構解について

発震機構解の図は下半球投影である。また、特にことわりがない限り、P波初動による発震機構解である。初動発震機構解が求められない場合や、十分な精度が得られない場合には、初動発震機構解に替えてCMT解を掲載する場合がある。

### ・発震機構解の図中の語句について

P：P軸（圧力軸）      T：T軸（張力軸）      N：N軸（中立軸）

### ・Global CMT解について

Global CMT解は、米国のコロンビア大学とハーバード大学で行っている、世界で発生した規模の大きな地震のCMT解を求めるプロジェクト（Global CMT Project）により求められた解である。

### ・M-T図について

縦軸にマグニチュード（M）、横軸に時間（T）を表示した図で、地震活動の経過を見るために用いる。

### ・震央地名について

本資料での震央地名は、原則として情報発表時に使用したものをを用いるが、震央を精査した結果により、情報発表時とは異なる震央地名を用いる場合がある。なお、情報発表時の震央地名及びその領域については、各年の「地震・火山月報(防災編)」1月号の付録「地震・火山月報(防災編)で用いる震央地名」を参照のこと。

### ・震源と震央について

震源とは地震の発生原因である地球内部の岩石の破壊が開始した点であり、震源の真上の地点を震央という。

### ・地震の震源要素等について

2016年4月1日以降の震源では、Mの小さな地震は、自動処理による震源を表示している場合がある。自動処理による震源は、震源誤差の大きなものが表示されることがある。

2020年9月以降に発生した地震を含む図については、2020年8月以前までに発生した地震のみによる図と比較して、日本海溝海底地震津波観測網（S-net）や紀伊水道沖の地震・津波観測監視システム（DONET2）による海域観測網の観測データの活用、震源計算処理における海域速度構造の導入及び標高を考慮した震源決定等それまでのデータ処理方法との違いにより、震源の位置や決定数に見かけ上の変化がみられることがある。

震源の深さを「CMT解による」とした場合は、気象庁CMT解のセントロイドの深さをを用いている。

地震の震源要素、発震機構解、震度データ等は、再調査後、修正することがある。確定した値、算出方法については地震月報（カタログ編）[気象庁ホームページ：<https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/bulletin/index.html>]に掲載する。

なお、本誌で使用している震源位置・マグニチュードは世界測地系（Japanese Geodetic Datum 2000）に基づいて計算したものである。

### ・火山の活動解説の火山性地震回数等について

火山性地震や火山性微動の回数等は、再調査後、修正することがある。確定した値については、火山月報（カタログ編）[気象庁ホームページ：[https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/bulletin/index\\_vcatalog.html](https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/bulletin/index_vcatalog.html)]に掲載する。

## 目次

● 日本及びその周辺での主な地震活動	1
北海道地方の地震活動	4
東北地方の地震活動	6
最近の日本海溝・千島海溝周辺の地震活動	7
関東・中部地方の地震活動	8
近畿・中国・四国地方の地震活動	10
九州地方の地震活動	11
沖縄地方の地震活動	15
その他の地域の地震活動	16
● 南海トラフ周辺の地殻活動	17
● 日本の主な火山活動	20
北海道地方の火山活動	31
東北地方の火山活動	33
関東・中部地方及び伊豆・小笠原諸島の火山活動	35
近畿・中国・四国地方の火山活動	39
九州地方の火山活動	40
沖縄地方の火山活動	44
火山現象に関する特別警報、警報、予報及び情報等の発表履歴	45
● 世界の主な地震	47
● 世界の主な火山活動	48
● 特集	
1. 2023年12月2日 フィリピン諸島、ミンダナオの地震	49
2. 2023年12月19日 中国、チンハイ省の地震	57
● 付録	
1. 震度1以上を観測した地震の表	59
2. 過去1年間に震度1以上を観測した地震の最大震度別の月別回数	73
3. 日本及びその周辺におけるマグニチュード（M）別の月別地震回数	74
4. 長周期地震動階級1以上を観測した地震	75
5. 緊急地震速報の提供状況	76
● 令和5年（2023年）の地震・火山活動	77

## ● 日本及びその周辺での主な地震活動

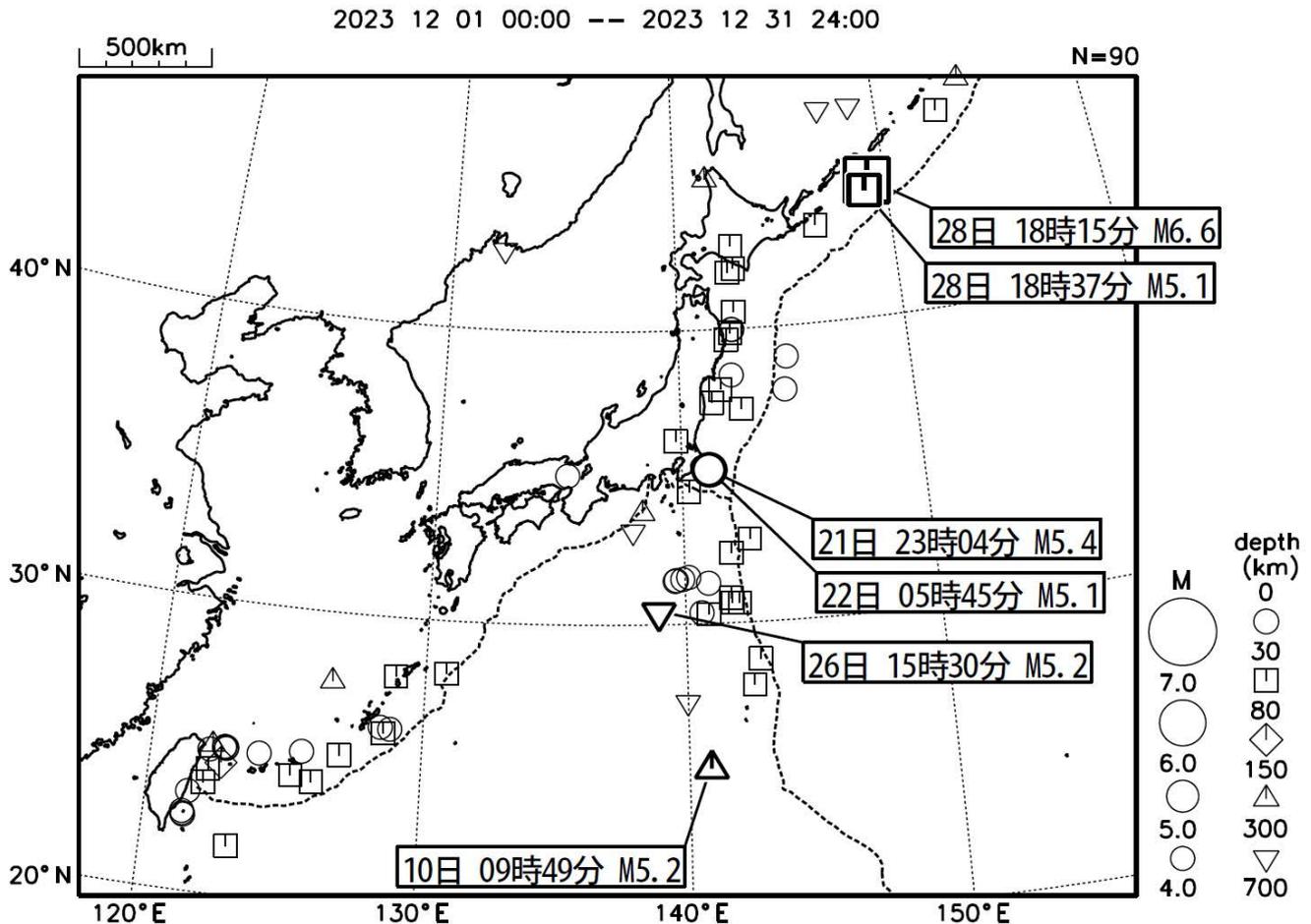


図1 令和5年12月に日本及びその周辺で発生したM4.0以上の地震の震央分布図

(図中に日時分、マグニチュードを付した地震はM5.0以上の地震、またはM4.0以上で最大震度5弱以上を観測した地震である。)

令和5年(2023年)12月に日本国内で震度4以上を観測した地震はなく(11月は4回)、日本及びその周辺で発生したM4.0以上の地震の回数は90回(11月は69回)であった(図1)。

12月中に発生した主な地震を表1、震度1以上を観測した地震の震央を図2、M4.0以上の地震の震央を図3に示す。12月中に震度5弱以上を観測した地震はなく、津波を観測した地震(海外で発生)は1回であった(11月は震度5弱以上を観測した地震及び津波を観測した地震はなかった)。

# 令和5年12月 地震・火山月報（防災編）

表1 令和5年12月に日本及びその周辺で発生した主な地震 (注1)(注2)(注3)

No.	震源時				震央地名	M	Mw <small>(注4)</small>	M H S T <small>(注5)</small>	最大震度・被害状況等 <small>(注6)</small>	掲載 ページ
	月	日	時	分						
1	12	28	18	15	択捉島南東沖	6.6	6.5	M . . .	3：北海道 新ひだか町静内山手町 浦河町潮見	5
2					石川県能登地方 の地震活動			. . . .	2020年12月から続く石川県能登地方の地震 活動 <small>(注7)</small> 2023年12月中に震度1以上を観測する地震 が8回（震度2：1回、震度1：7回） <small>(注8)</small>	9
3					トカラ列島近海 の地震活動			. . . .	宝島付近の地震活動 2023年12月中に震度1以上を観測する地震 が15回（震度3：1回、震度2：3回、震 度1：11回）	12～14

- (注1) 主な地震とは、図1の領域内で発生した①M6.0以上、②震度4以上、③内陸 M4.5以上かつ震度3、④海域 M5.0以上かつ震度3、⑤その他注目した地震を指す。
- (注2) 震源時、震央地名、マグニチュードは再調査後、修正することがある。
- (注3) 空欄については、複数の地震による活動のため、記載していない場合がある。
- (注4) Mw欄の「-」はMwが求められていないことを示す。
- (注5) M H S Tの各項目について、M:M6.0以上の地震、H:被害を伴った地震、S:震度4以上を観測した地震、T:津波を観測した地震、として該当項目にそれぞれの記号を記した。
- (注6) 最大震度の観測点名にある\*印は地方公共団体もしくは国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点であることを表す。被害状況について出典の記載がないものは総務省消防庁による。
- (注7) 気象庁は、石川県能登地方で発生している一連の地震活動について、令和6年1月1日にその名称を「令和6年能登半島地震」と定めた。
- (注8) 能登半島沖で発生した地震4回及び富山湾で発生した地震2回を含む。

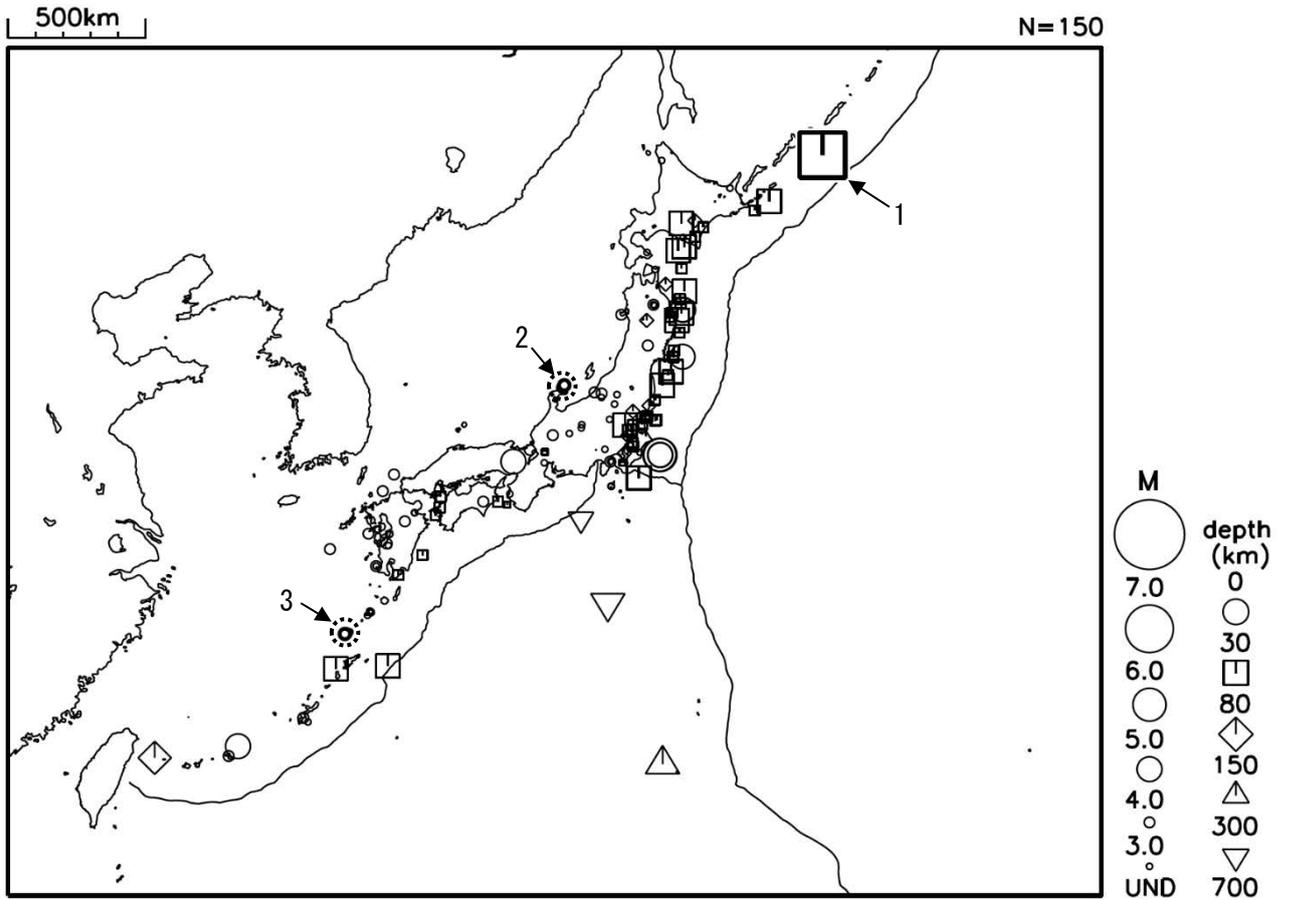


図2 令和5年12月に震度1以上を観測した地震（図中の番号は、表の番号に対応）

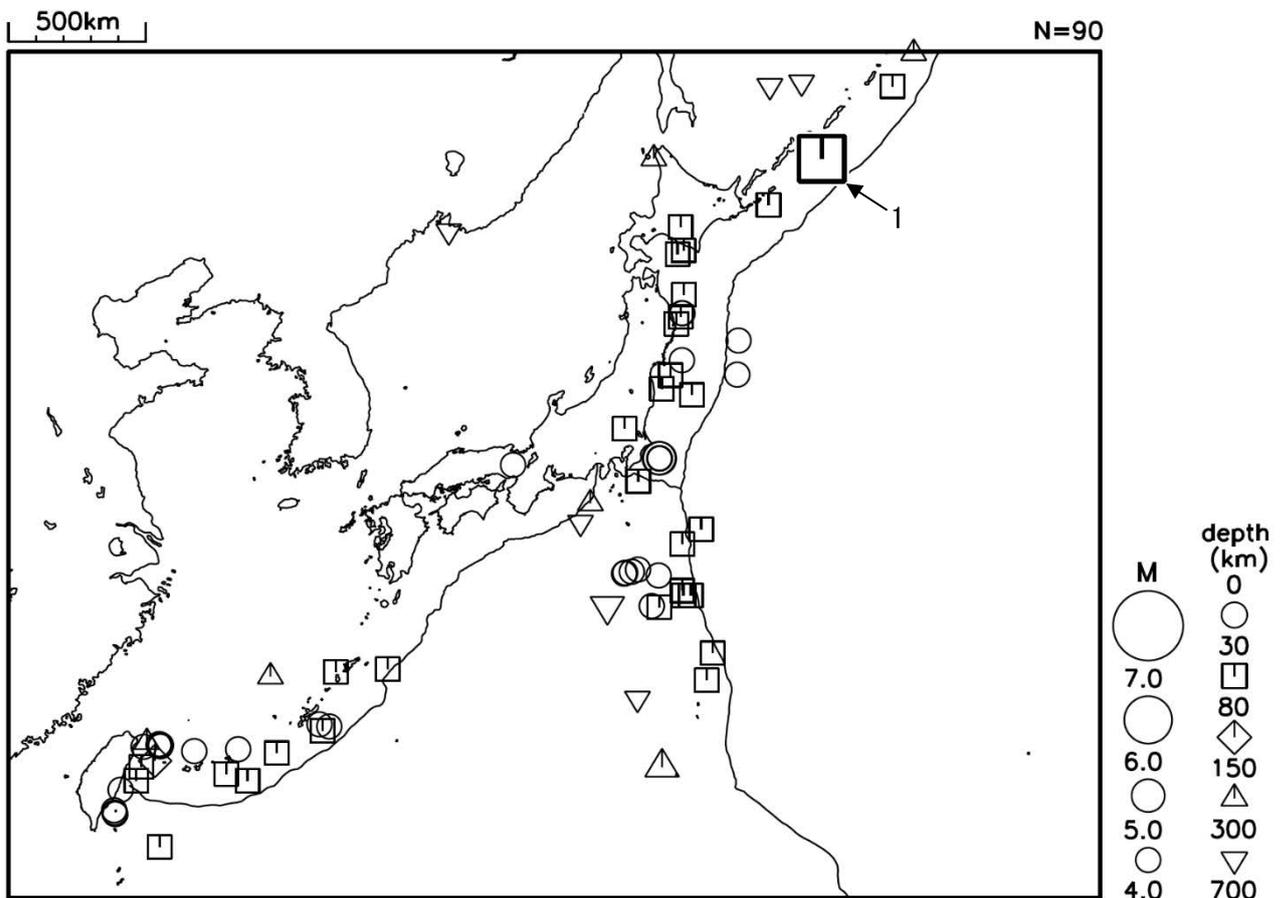


図3 令和5年12月に発生したM4.0以上の地震（図中の番号は、表の番号に対応）

## ○北海道地方の地震活動

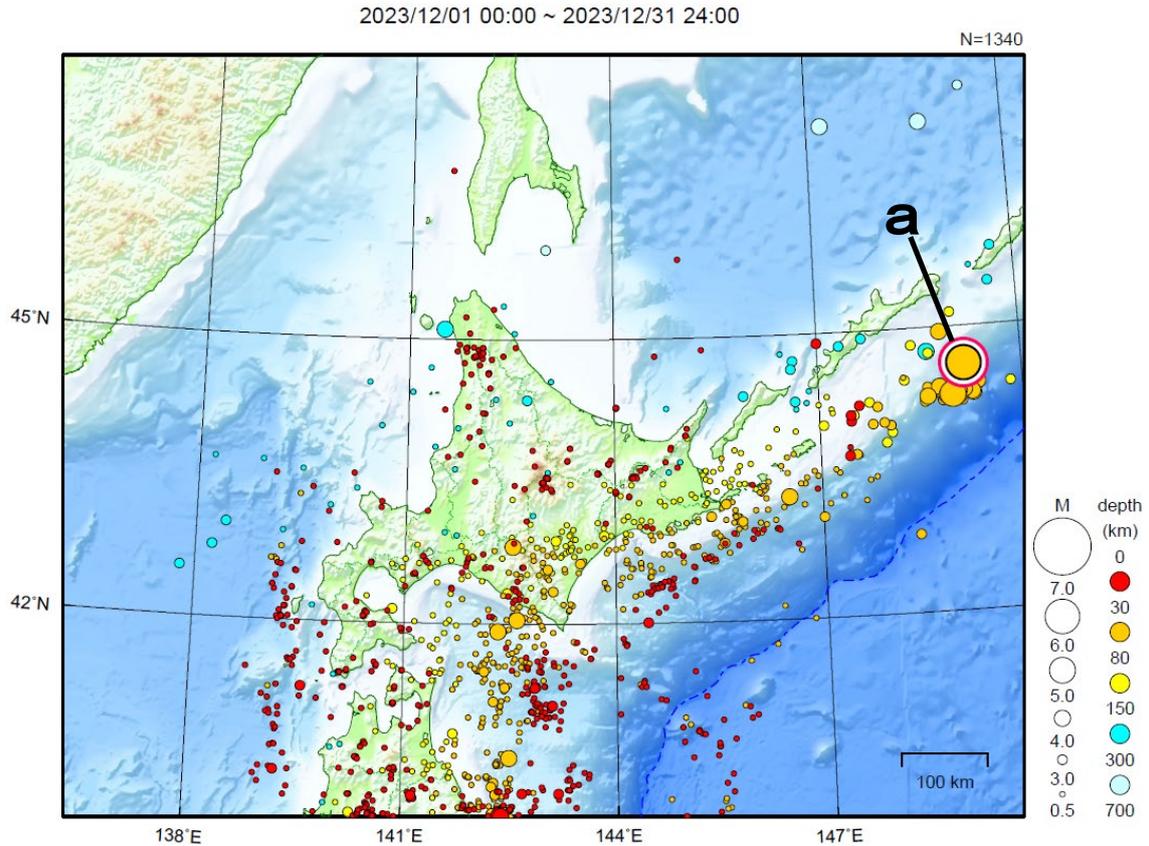


図4 北海道地方の震央分布図（2023年12月1日～12月31日、 $M \geq 0.5$ ）

地形データは日本海洋データセンターのJ-EGG500、米国地質調査所のGTOPO30及び米国国立地球物理データセンターのETOPO2v2を使用

### [概況]

12月に北海道地方で震度1以上を観測した地震は15回（11月は16回）であった。  
12月中の主な活動は次のとおりである。

- a 28日18時15分に択捉島南東沖の深さ40 km（CMT解による）でM6.6の地震が発生し、北海道新ひだか町及び浦河町で震度3を観測したほか、北海道から宮城県にかけて震度2～1を観測した（p.5参照）。

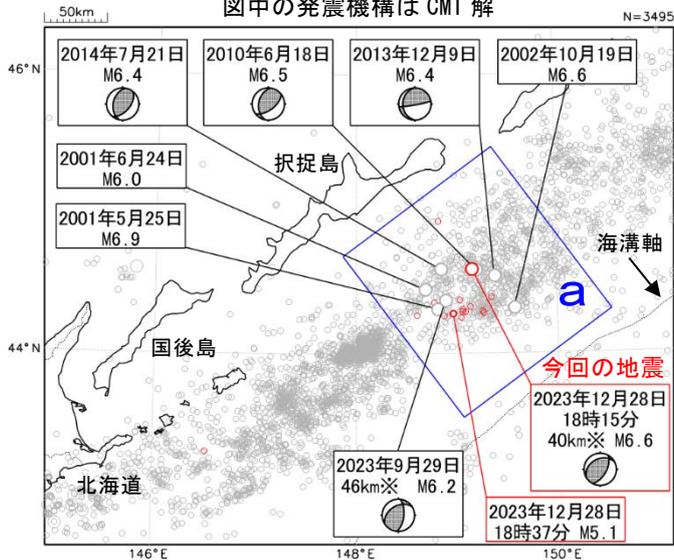
## 12月28日 択捉島南東沖の地震

震央分布図

(1997年10月1日～2023年12月31日、  
深さ0～100km、 $M \geq 4.0$ )

2023年12月の地震を赤く表示

図中の発震機構はCMT解

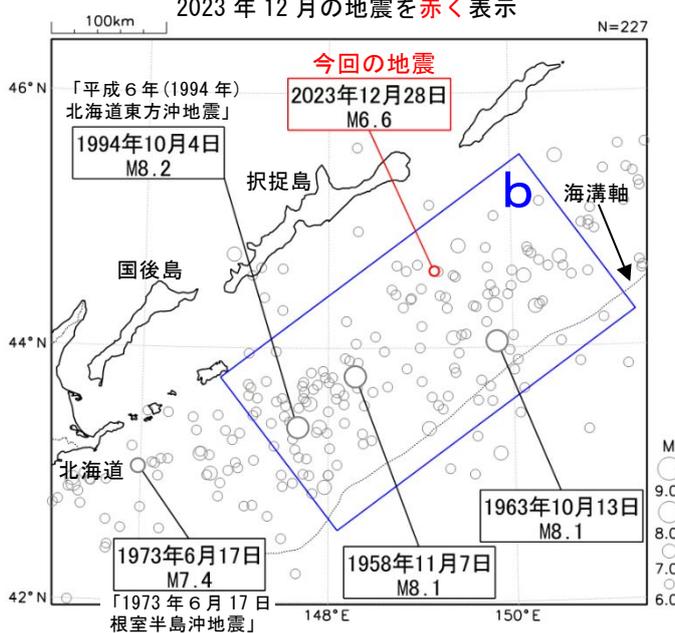


※深さはCMT解による。

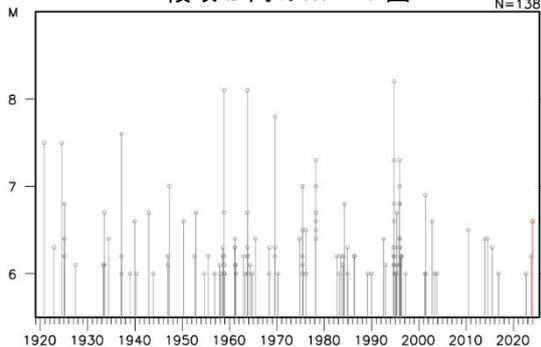
震央分布図

(1919年1月1日～2023年12月31日、  
深さ0～100km、 $M \geq 6.0$ )

2023年12月の地震を赤く表示



領域b内のM-T図

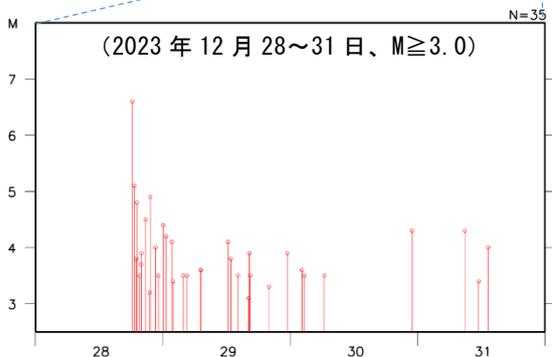
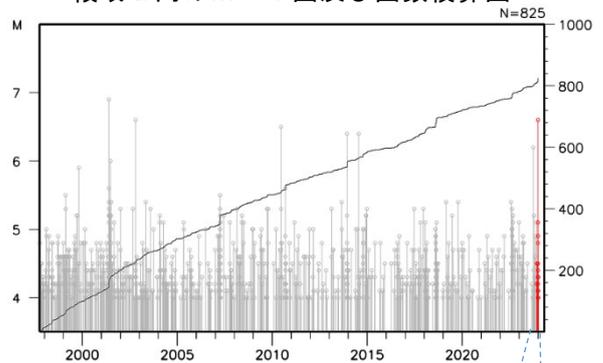


2023年12月28日18時15分に択捉島南東沖の深さ40km (CMT解による) でM6.6の地震 (最大震度3) が発生した。この地震の発震機構 (CMT解) は北西-南東方向に圧力軸を持つ逆断層型である。今回の地震発生後、28日18時37分にM5.1の地震が発生するなど、この周辺で地震活動がやや活発となった。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震央付近 (領域a) では、M6.0以上の地震が時々発生しており、直近では、2023年9月29日にM6.2の地震が発生している。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域b) では、M8.0以上の地震が3回発生している。1994年10月4日に発生した「平成6年 (1994年) 北海道東方沖地震」 (M8.2、最大震度6) では、根室市花咲で168cm (平常潮位からの最大の高さ) の津波を観測するなど、北海道から沖縄県にかけて津波を観測したほか、負傷者436人、住家被害7,764棟などの被害が生じた (「日本被害地震総覧」による)。

領域a内のM-T図及び回数積算図



## ○東北地方の地震活動

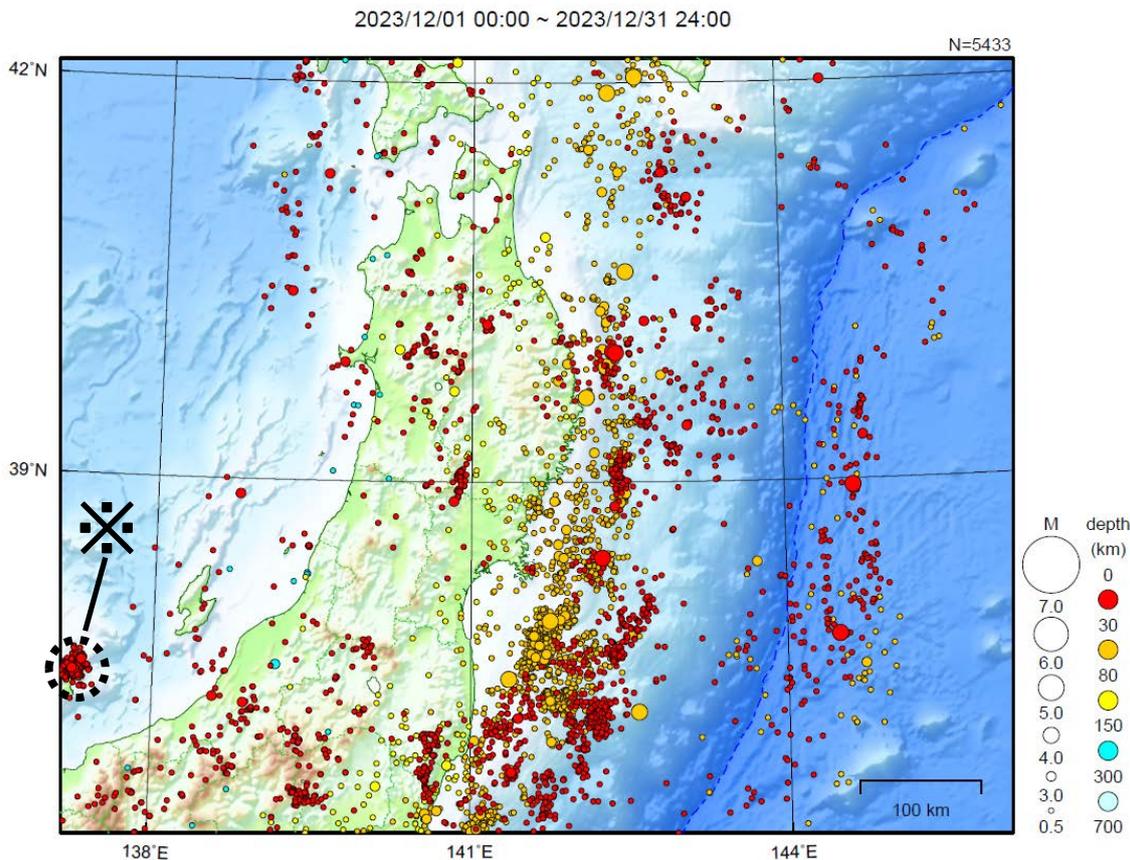


図5 東北地方の震央分布図（2023年12月1日～12月31日、 $M \geq 0.5$ ）

地形データは日本海洋データセンターのJ-EGG500、米国地質調査所のGTOPO30及び米国国立地球物理データセンターのETOPO2v2を使用

### 〔概況〕

12月に東北地方で震度1以上を観測した地震は35回（11月は29回）であった。12月中の主な活動（津波を観測した地震を含む）は次のとおりである。

※ 関東・中部地方の地震活動を参照（p. 8、9参照）。

### （図の範囲外）

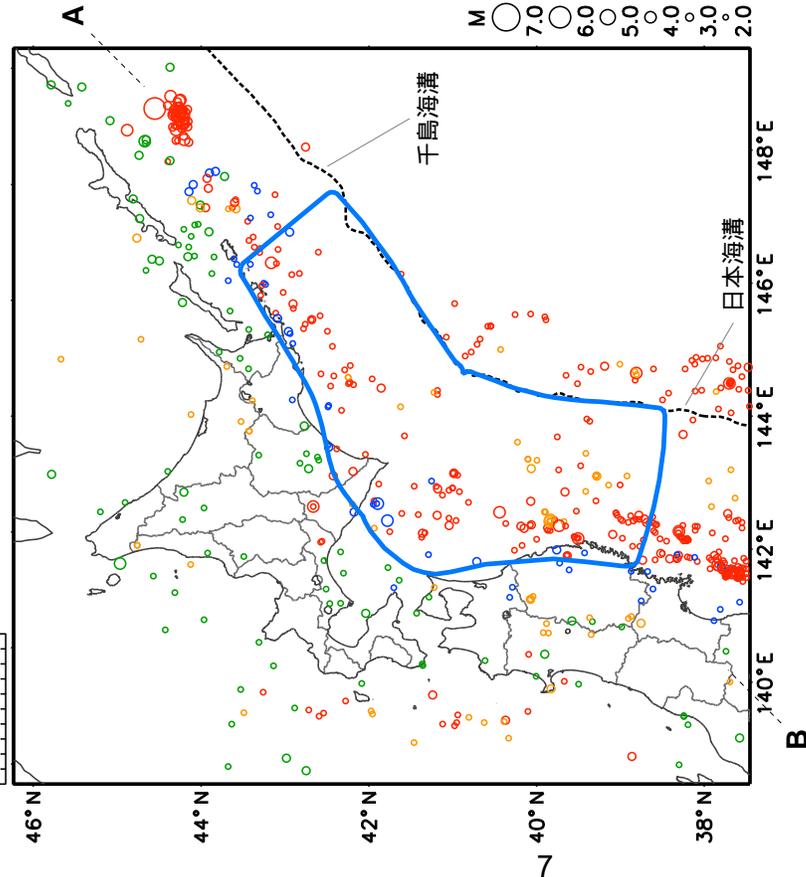
2日23時37分（日本時間）にフィリピン諸島、ミンダナオの深さ40kmでMw7.5の地震（Mwは気象庁によるモーメントマグニチュード）が発生した。この地震により、伊豆諸島の八丈島八重根で0.4mなど、宮城県から鹿児島県にかけての太平洋沿岸、沖縄県、伊豆諸島及び小笠原諸島で津波を観測した（p. 49～56参照）。

東北地方では、宮城県の石巻市鮎川で6cmの津波を観測した。

# 最近の日本海溝・千島海溝周辺の地震活動

2023年12月1日～12月31日

震央分布図（2023年12月1日～12月31日、M 2.0、深さ0～500km）



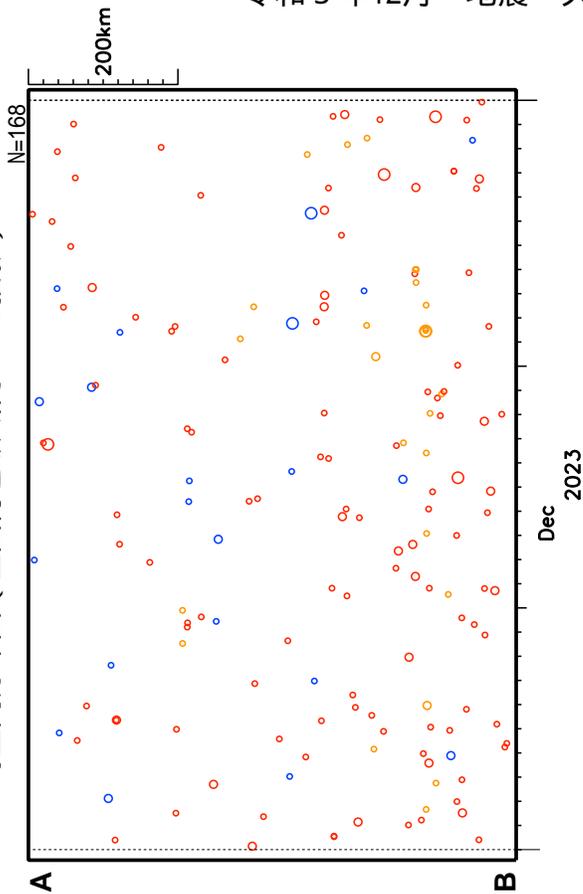
青の実線は日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震の想定震源域のうちの「日高・三陸沖」及び「十勝・根室沖」の領域です。震源時、震央地名、マグニチュード等は、再調査により修正することがあります。

## [主な地震活動]

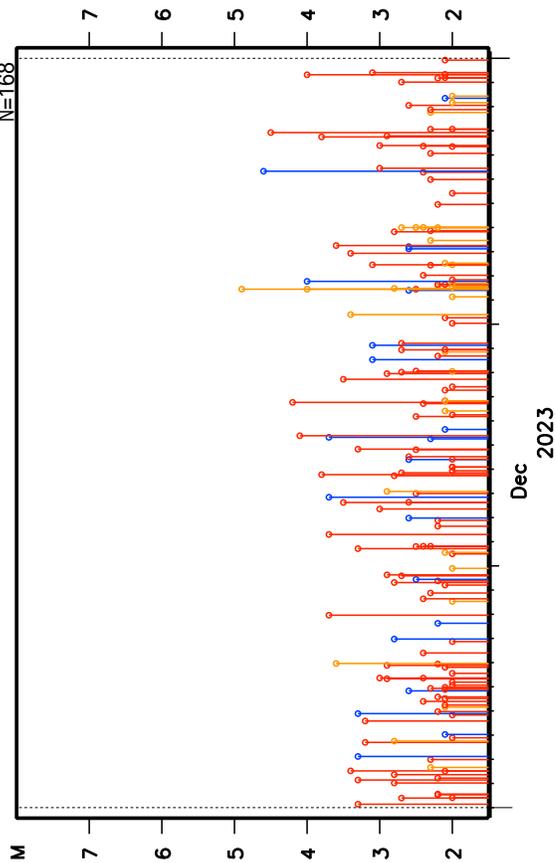
- ・ 上図青色領域内で発生したM5.0以上の地震（最大5つ）
- ・ 近接して発生した地震については、最大規模の地震のみ記載

- 特に目立った活動はありませんでした -

時空間分布図（左図青色領域内：A-B投影）



地震活動経過図（左図青色領域内）



## ○関東・中部地方の地震活動

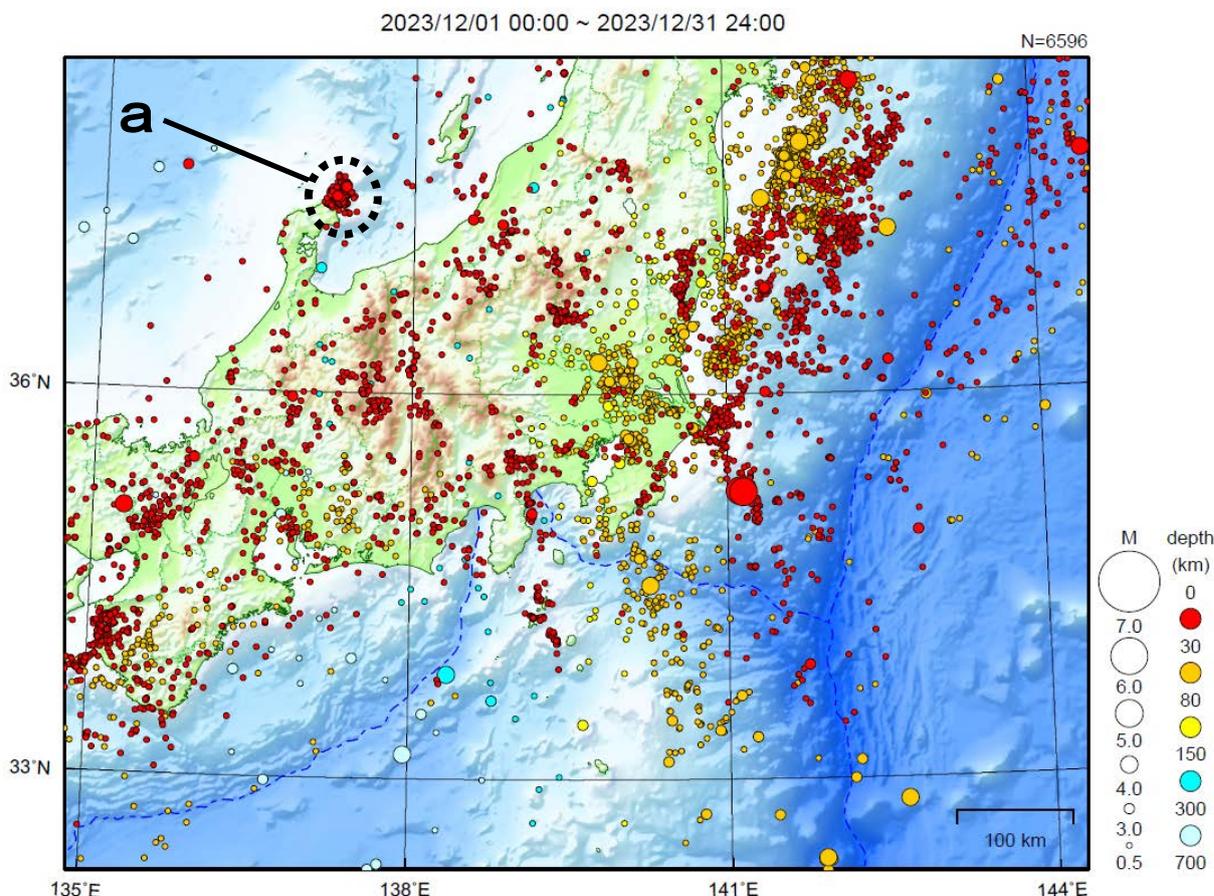


図6 関東・中部地方の震央分布図（2023年12月1日～12月31日、 $M \geq 0.5$ ）

地形データは日本海洋データセンターのJ-EGG500、米国地質調査所のGTOP030及び米国国立地球物理データセンターのETOP02v2を

### [概況]

12月に関東・中部地方（三重県を含む）で震度1以上を観測した地震は56回（11月は51回）であった。12月中の主な活動（津波を観測した地震を含む）は次のとおりである。

- a 石川県能登地方では、12月中に震度1以上を観測した地震が8回（震度2：1回、震度1：7回、能登半島沖で発生した地震4回及び富山湾で発生した地震2回を含む）発生した。このうち最大規模の地震は、24日08時07分に能登半島沖の深さ11kmで発生したM3.8の地震で、石川県七尾市及び珠洲市で震度1を観測した（p. 9参照）。

### （図の範囲外）

2日23時37分（日本時間）にフィリピン諸島、ミンダナオの深さ40kmでMw7.5の地震（Mwは気象庁によるモーメントマグニチュード）が発生した。この地震により、伊豆諸島の八丈島八重根で0.4mなど、宮城県から鹿児島県にかけての太平洋沿岸、沖縄県、伊豆諸島及び小笠原諸島で津波を観測した（p. 49～56参照）。

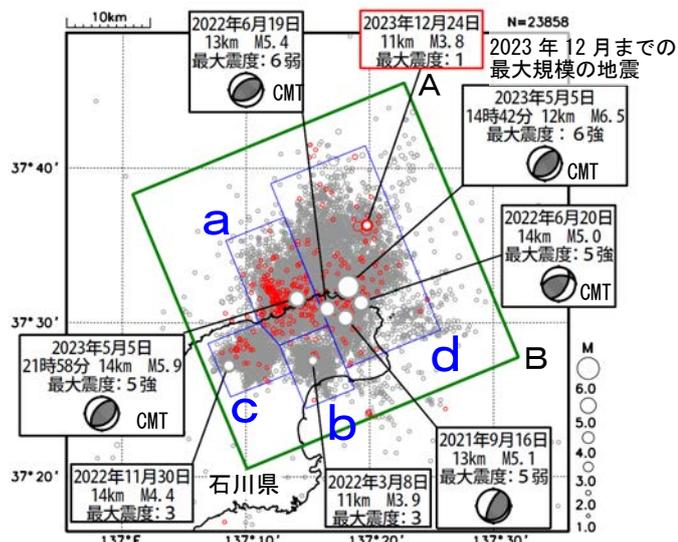
## 石川県能登地方の地震活動\*

### 震央分布図

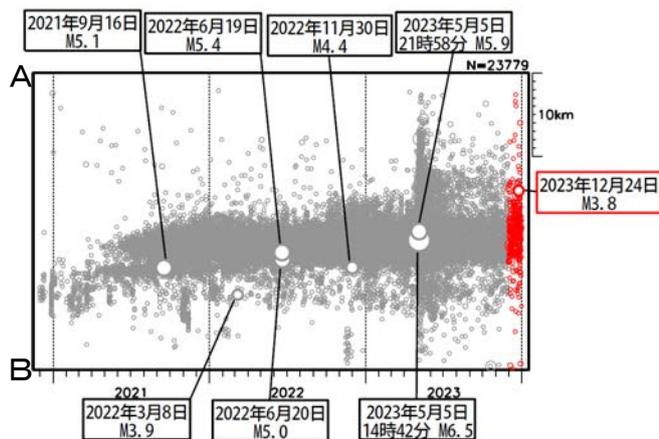
(2020年12月1日～2023年12月31日、  
深さ0～25km、M≥1.0)

2023年12月の地震を赤色で表示

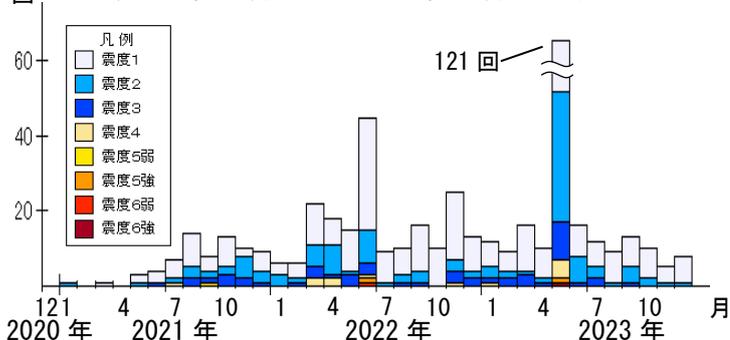
- ・ 黒色の吹き出し：領域a～dの各領域内で最大規模の地震及び最大震度5弱以上の地震
- ・ 赤色の吹き出し：緑色矩形内で2023年12月中の最大規模の地震



上図緑色矩形内の時空間分布図 (A-B投影)



上図緑色矩形内の地震の月別震度別発生回数  
(2020年12月1日～2023年12月31日)



期間別・震度別の地震発生回数表

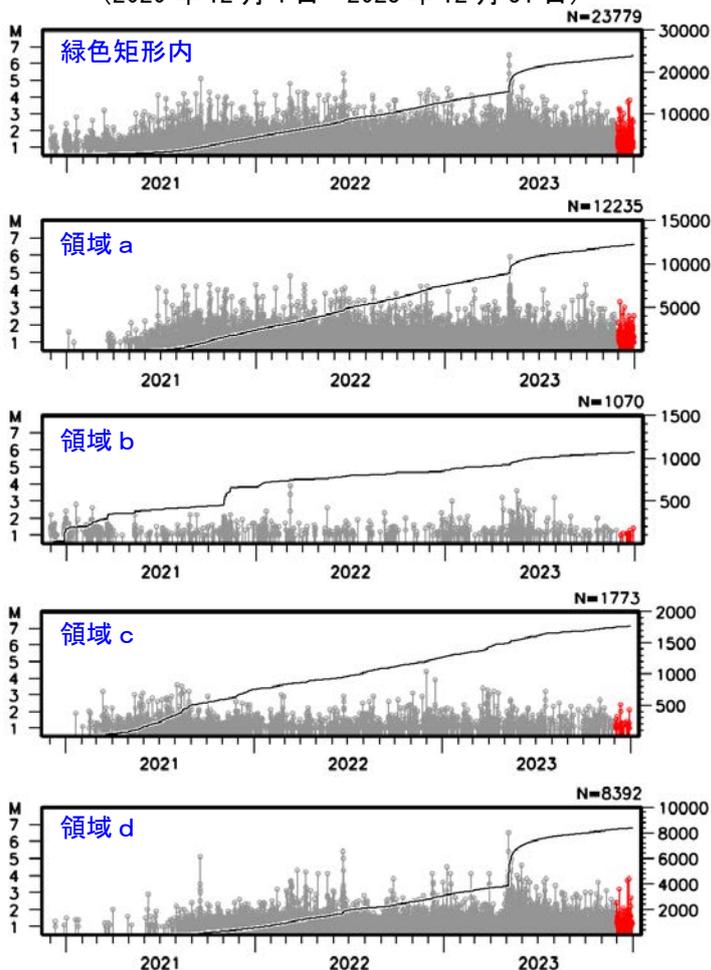
期間	最大震度別回数								計
	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	
2020年12月1日 ～2023年11月30日	313	118	49	13	1	2	1	1	498
2023年12月1日～31日	7	1	0	0	0	0	0	0	8
計	320	119	49	13	1	2	1	1	506

石川県能登地方 (震央分布図の緑色矩形内) では、2018年頃から地震回数が増加傾向にあり、2020年12月から地震活動が活発になり、2021年7月頃からさらに活発になっている。2023年12月中も活発な状態が継続していた。2023年12月中の最大規模の地震は、24日に発生したM3.8の地震 (最大震度1) である。なお、2023年12月までの最大規模の地震は、2023年5月5日14時42分に発生したM6.5の地震 (最大震度6強) である。

2023年5月5日にM6.5の地震 (最大震度6強) が発生した後、地震活動がさらに活発になっていたが、時間の経過とともに地震の発生数は減少していた。

緑色矩形領域内で震度1以上を観測した地震の回数は、期間別・震度別地震発生回数のグラフ及び表のとおり。

左図緑色矩形内及び領域a～d内の  
M-T図及び回数積算図  
(2020年12月1日～2023年12月31日)



\*気象庁は、石川県能登地方で発生している2020年12月以降の一連の地震活動について、令和6年1月1日にその名称を「令和6年能登半島地震」と定めた。

## ○近畿・中国・四国地方の地震活動

2023/12/01 00:00 ~ 2023/12/31 24:00

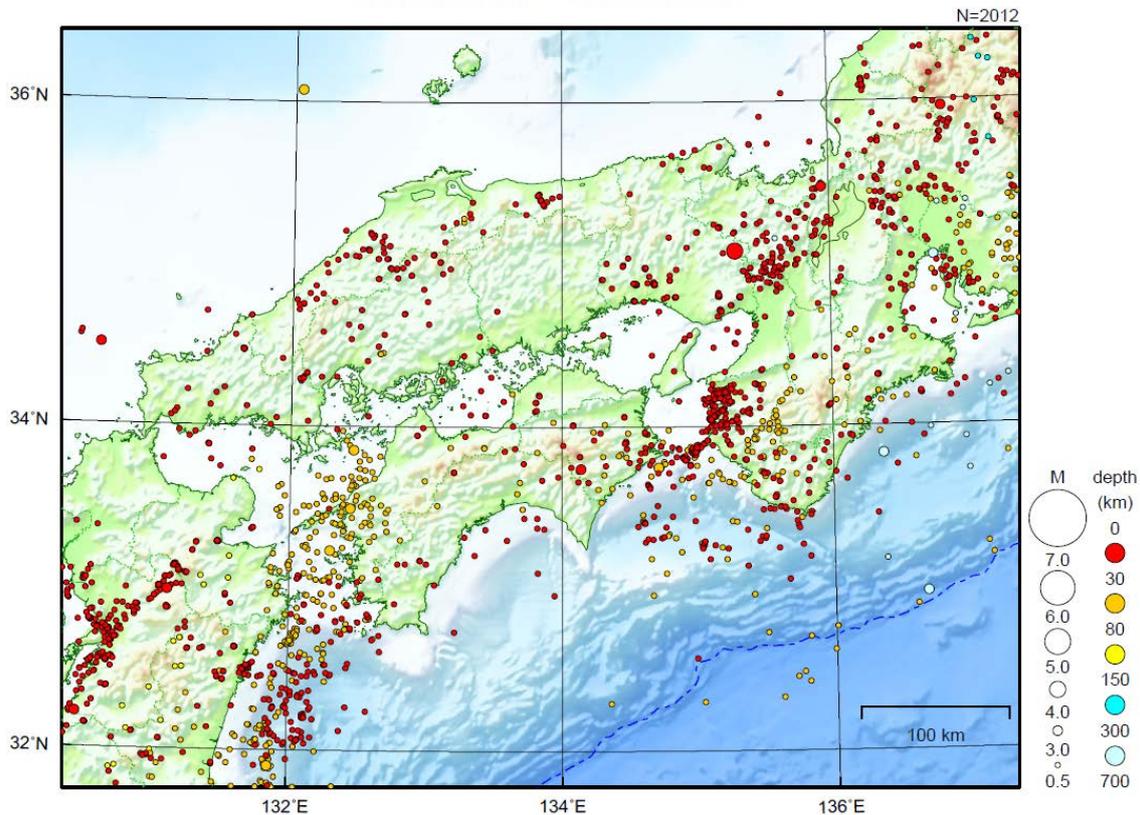


図7 近畿・中国・四国地方の震央分布図（2023年12月1日～12月31日、M $\geq$ 0.5）

地形データは日本海洋データセンターのJ-EGG500、米国地質調査所のGTOPO30及び米国国立地球物理データセンターのETOP02v2を使用

### 〔概況〕

12月に近畿・中国・四国地方で震度1以上を観測した地震は10回（11月は17回）であった。12月中の主な活動（津波を観測した地震を含む）は次のとおりである。

### （図の範囲外）

2日23時37分（日本時間）にフィリピン諸島、ミンダナオの深さ40kmでMw7.5の地震（気象庁によるモーメントマグニチュード）が発生した。この地震により、伊豆諸島の八丈島八重根で0.4mなど、宮城県から鹿児島県にかけての太平洋沿岸、沖縄県、伊豆諸島及び小笠原諸島で津波を観測した（p.49～56参照）。

近畿・中国・四国地方では、和歌山県の串本町袋港で17cmなど、和歌山県、徳島県、高知県及び大阪府の岬町淡輪で津波を観測した。

## ○九州地方の地震活動

2023/12/01 00:00 ~ 2023/12/31 24:00

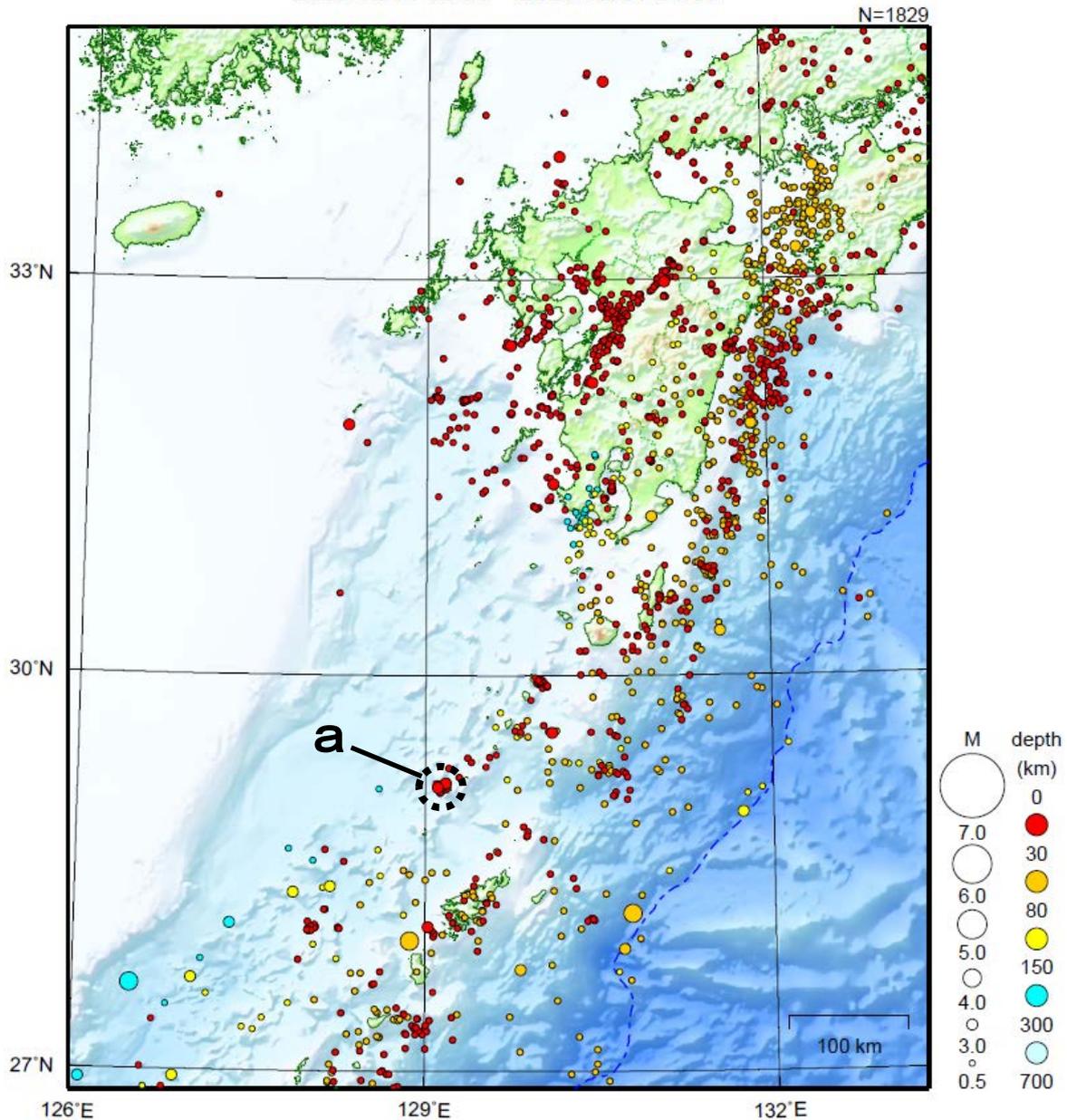


図8 九州地方の震央分布図（2023年12月1日～12月31日、 $M \geq 0.5$ ）

地形データは日本海洋データセンターのJ-EGG500、米国地質調査所のGTOP030、及び米国国立地球物理データセンターのETOP02v2を使用

### [概況]

12月に九州地方で震度1以上を観測した地震は43回（11月は45回）であった。12月中の主な活動（津波を観測した地震を含む）は次のとおりである。

- a トカラ列島近海（宝島付近）では、2023年12月に震度1以上を観測した地震が15回（震度3：1回、震度2：3回、震度1：11回）発生した。このうち最大規模の地震は、27日02時00分に発生したM3.6の地震で、鹿児島県十島村（宝島）で震度3を観測した（p. 12～14 参照）。

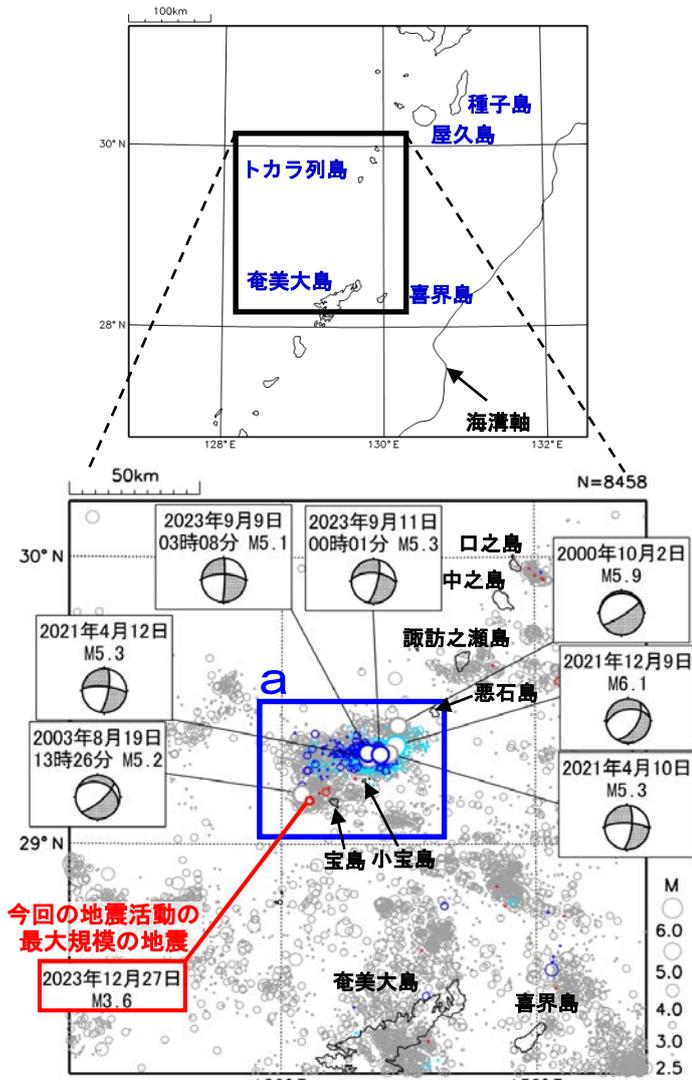
（図の範囲外）

2日23時37分（日本時間）にフィリピン諸島、ミンダナオの深さ40kmでMw7.5の地震（Mwは気象庁によるモーメントマグニチュード）が発生した。この地震により、伊豆諸島の八丈島八重根で0.4mなど、宮城県から鹿児島県にかけての太平洋沿岸、沖縄県、伊豆諸島及び小笠原諸島で津波を観測した（p. 49～56 参照）。

九州地方では、鹿児島県の奄美市小湊で19cmなど、鹿児島県で津波を観測した。

## トカラ列島近海の地震活動（宝島付近）

震央分布図  
 (1994年10月1日～2023年12月31日、  
 深さ0～50km、 $M \geq 2.5$ )  
 2021年12月の地震を水色○で表示  
 2023年9月の地震を青色○で表示  
 2023年12月の地震を赤色○で表示  
 図中の発震機構はCMT解

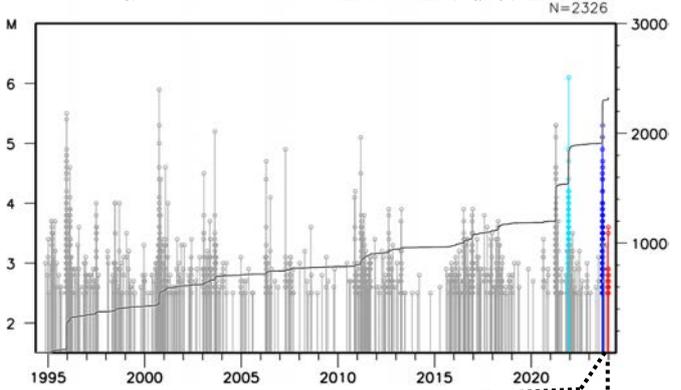


トカラ列島近海（宝島付近）では、2023年12月に震度1以上を観測した地震が15回（震度3：1回、震度2：3回、震度1：11回）発生した。このうち最大規模の地震は、27日02時00分に発生したM3.6の地震（最大震度3）である。今回の地震活動は陸のプレート内で発生した。

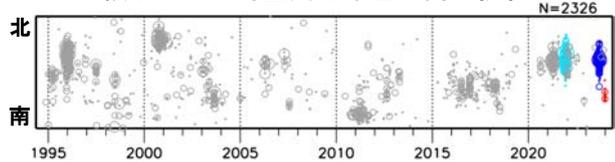
1994年10月以降の活動をみると、今回の地震活動付近（領域a）では、時々まとまった活動がある。最近では、2023年9月に地震活動が活発となり9月30日までに震度1以上を観測した地震が346回（震度4：2回、震度3：25回、震度2：82回、震度1：237回）発生した。このうち最大規模の地震は、9月11日00時01分に発生したM5.3の地震（最大震度4）である。また、2021年12月に活発となった地震活動では、12月31日までに震度1以上を観測した地震が308回（震度5強：1回、震度4：2回、震度3：15回、震度2：85回、震度1：205回）発生した。このうち最大規模の地震は、12月9日11時05分に発生したM6.1の地震（最大震度5強）である。この地震活動により、鹿児島県十島村（悪石島）でがけ崩れなどの被害が生じた（被害は鹿児島県による）。さらに、2000年10月2日に発生したM5.9の地震（最大震度5強）を最大とする活発な地震活動では、鹿児島県十島村（悪石島）で水道管破損1箇所などの被害が生じた（被害は総務省消防庁による）。

今回の地震活動と過去の主な地震活動について、活動期間ごとに120日間の期間で比較すると多様な活動の形態が見られる（次々ページ参照）。この地域の地震活動は、活発な期間と落ち着いた期間を繰り返しながら継続することが多く、個々の地震活動の終わりの時期を特定することが難しい。

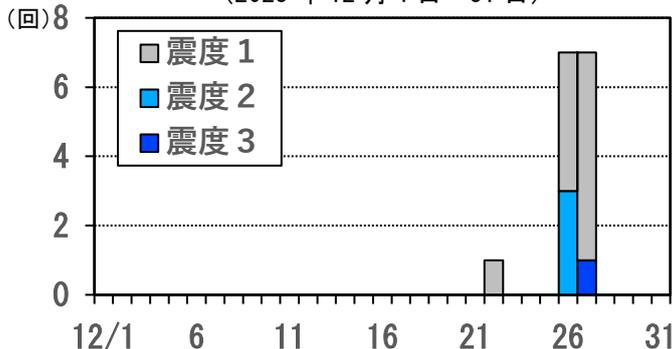
領域a内のM-T図及び回数積算図



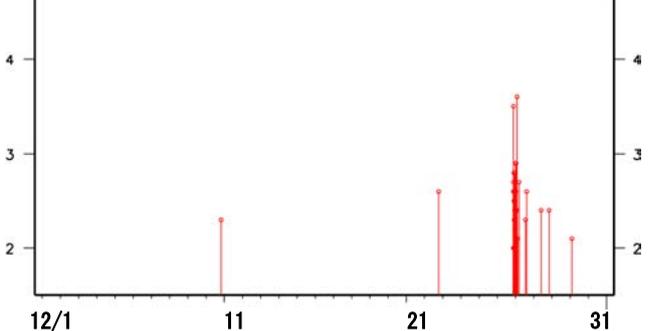
領域a内の時空間分布図（南北投影）



震度1以上の日別最大震度別地震回数図  
 (2023年12月1日～31日)



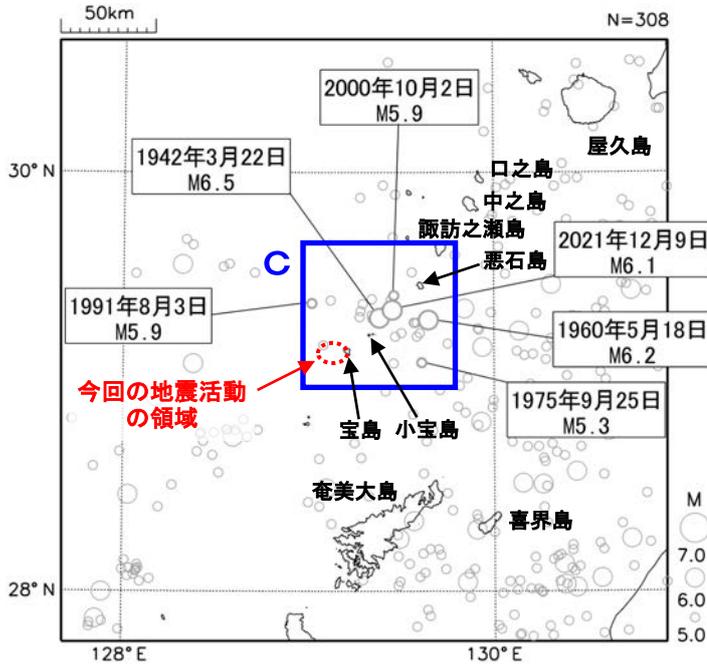
(2023年12月1日～31日、 $M \geq 2.0$ 、M-T図のみ)



震央分布図

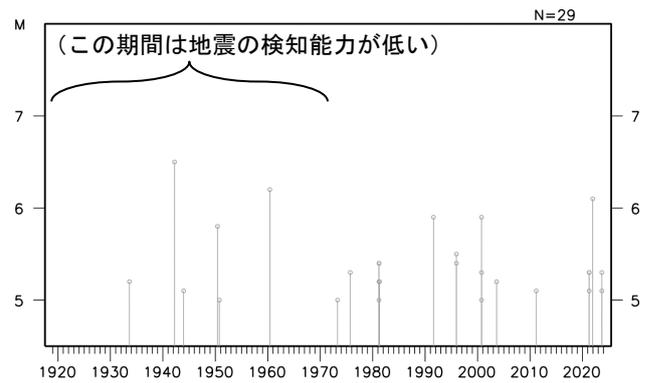
(1919年1月1日～2023年12月31日、  
深さ0～100km、 $M \geq 5.0$ )

1975年9月25日の地震及び領域c内の $M5.9$ 以上の  
地震に吹き出しを付加



1919年以降の活動をみると、今回の地震活動  
周辺（領域c）では、 $M5.0$ 以上の地震が時々発  
生している。このうち、1975年9月25日に発生  
した $M5.3$ の地震により、鹿児島県十島村小宝島  
で地割れの被害が、1972年7月7日に発生した  
 $M3$ クラスの地震により、鹿児島県十島村小宝  
島で地割れや瓦のずれなどの被害が生じた  
（「日本被害地震総覧」による）。

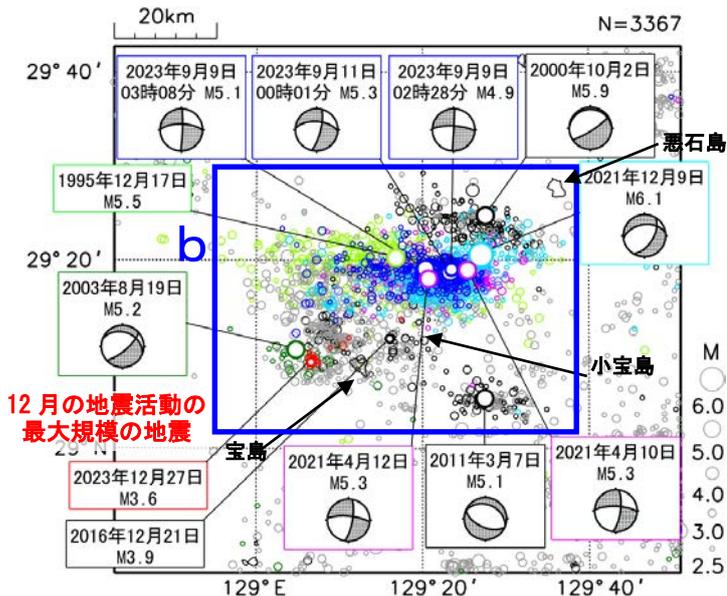
領域c内のM-T図



トカラ列島近海の地震活動（悪石島・小宝島・宝島付近）  
過去の活動状況との比較 M2.5以上、120日間

震央分布図

(1994年10月1日～2023年12月31日、深さ0～50km、 $M \geq 2.5$ )

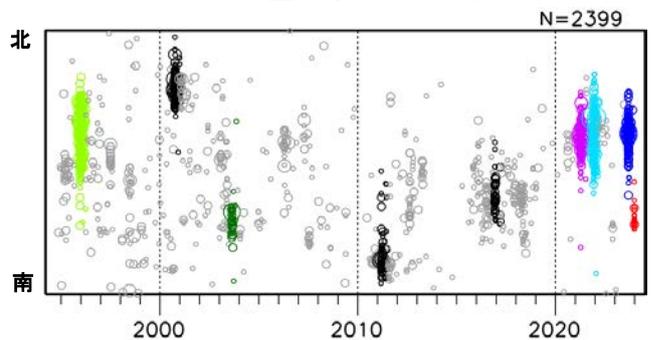


12月の地震活動の  
最大規模の地震

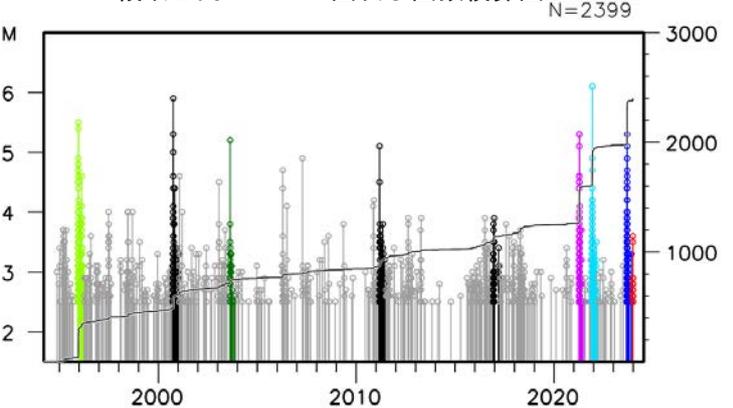
主な地震活動の期間別（今回の活動以外は各120日間）の色分け6

- ・1995年12月1日～1996年3月29日：黄緑丸
- ・2000年9月20日～2001年1月17日：黒丸
- ・2003年8月10日～12月7日：緑丸
- ・2011年2月20日～6月19日：黒丸
- ・2016年11月20日～2017年3月19日：黒丸
- ・2021年3月20日～7月17日：紫丸
- ・2021年11月20日～2022年3月19日：水色丸
- ・2023年8月20日～12月17日：青丸
- ・2023年12月20日～12月31日：赤丸
- ・上記期間以外：灰色丸

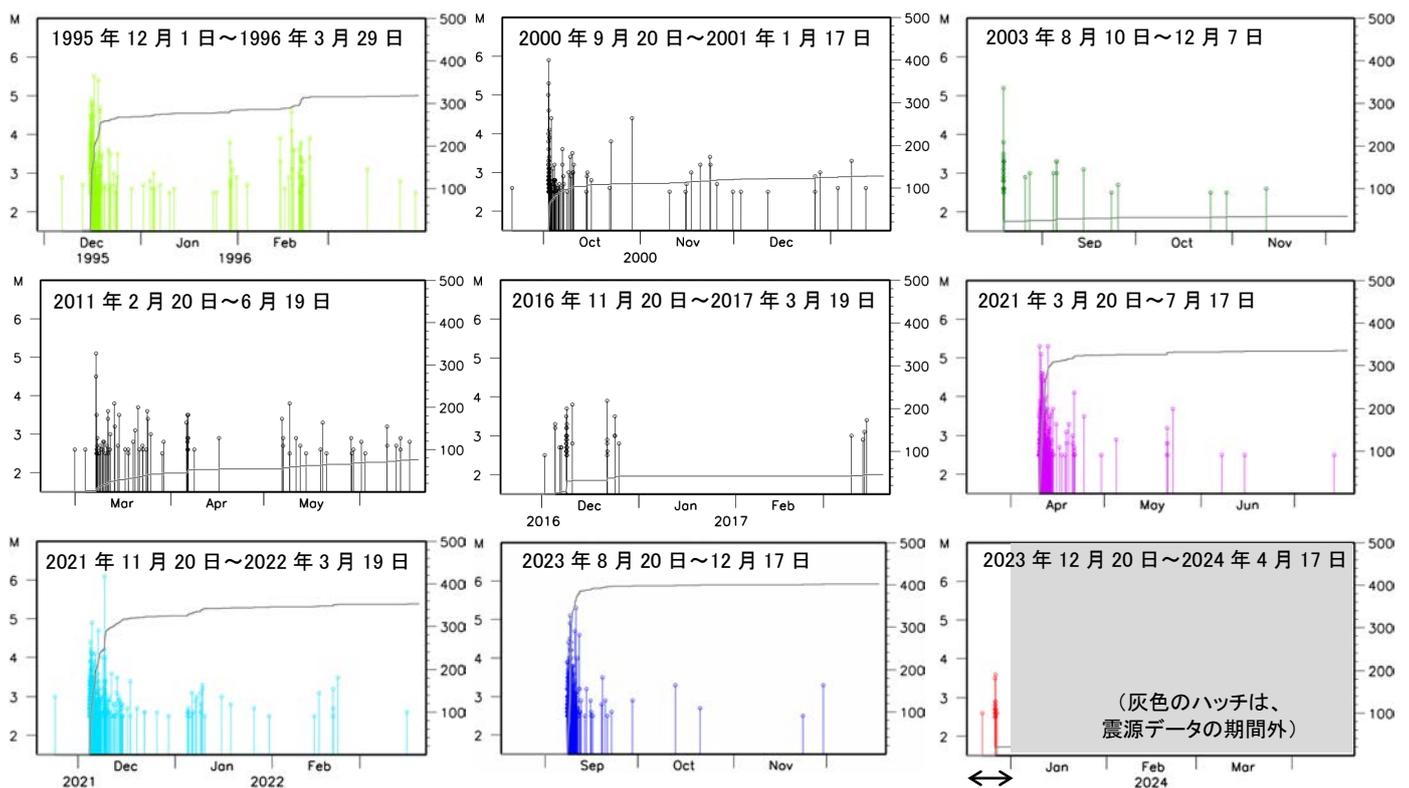
領域b内の時空間分布図（南北投影）



領域b内のM-T図及び回数積算図



領域b内の期間別（各120日間）のM-T図及び回数積算図



（灰色のハッチは、  
震源データの期間外）

12月20日～12月31日

## ○沖縄地方の地震活動

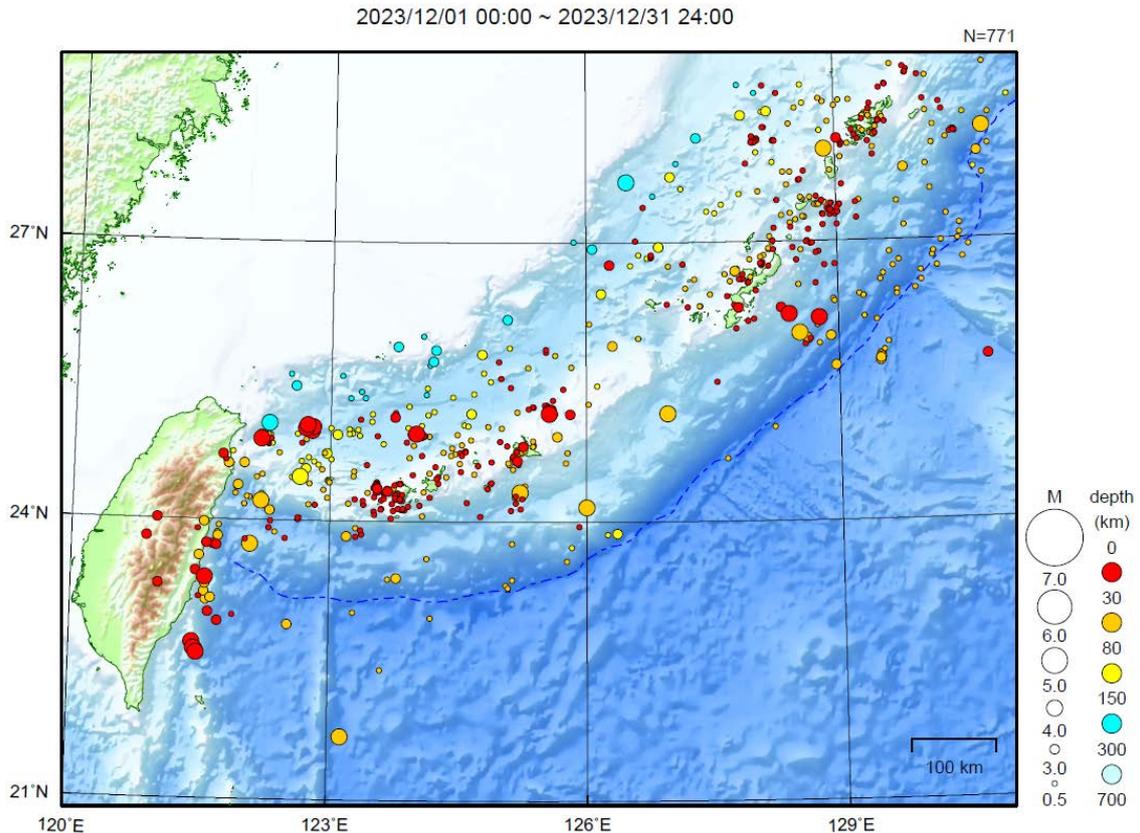


図9 沖縄地方の震央分布図（2023年12月1日～12月31日、 $M \geq 0.5$ ）

地形データは日本海洋データセンターのJ-EGG500、米国地質調査所のGTOPO30及び米国国立地球物理データセンターのETOP02v2を使用

### 〔概況〕

12月に沖縄地方で震度1以上を観測した地震は5回（11月は8回）であった。  
12月中の主な活動（津波を観測した地震を含む）は次のとおりである。

### （図の範囲外）

2日23時37分（日本時間）にフィリピン諸島、ミンダナオの深さ40kmでMw7.5の地震（気象庁によるモーメントマグニチュード）が発生した。この地震により、伊豆諸島の八丈島八重根で0.4mなど、宮城県から鹿児島県にかけての太平洋沿岸、沖縄県、伊豆諸島及び小笠原諸島で津波を観測した（p.49～56参照）。

沖縄地方では、那覇で8cm、南城市安座真で5cm、南大東漁港で4cm、宮古島平良で6cmの津波を観測した。

## ○その他の地域の地震活動

2023/12/01 00:00 ~ 2023/12/31 24:00

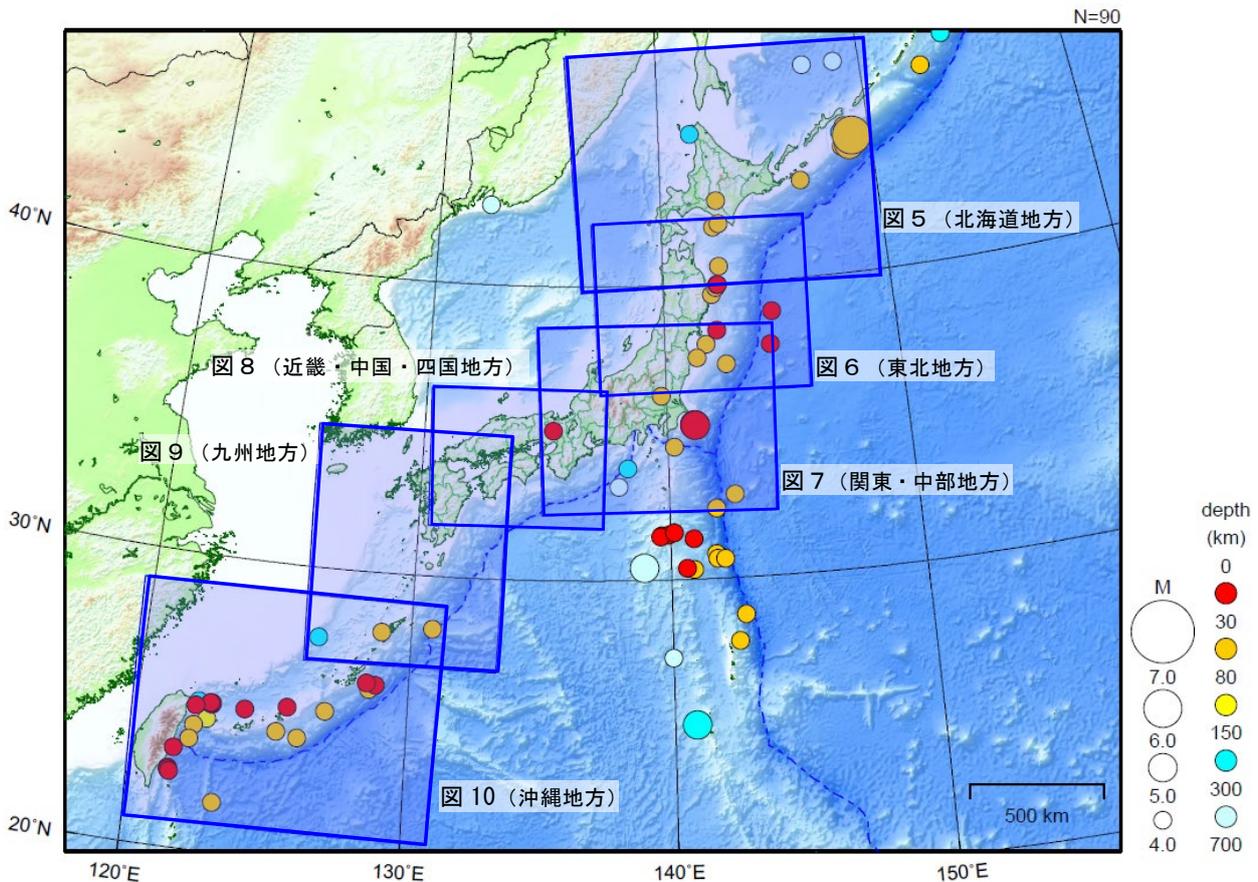


図10 日本周辺で発生した主な地震の震央分布図（2023年12月1日～12月31日、 $M \geq 4.0$ ）

地形データは日本海洋データセンターのJ-EGG500、米国地質調査所のGTOPO30及び米国国立地球物理データセンターのETOP02v2を使用

### 〔概況〕

12月に日本周辺で発生した $M6.0$ 以上の地震は1回であった（11月はなし）。

12月中に図4～9の領域外で目立った活動はなかった。

### （図の範囲外）

2日23時37分（日本時間）にフィリピン諸島、ミンダナオの深さ40kmで $Mw7.5$ の地震（気象庁によるモーメントマグニチュード）が発生した。この地震により、伊豆諸島の八丈島八重根で0.4mなど、宮城県から鹿児島県にかけての太平洋沿岸、沖縄県、伊豆諸島及び小笠原諸島で津波を観測した（p.49～56参照）。

## ● 南海トラフ周辺の地殻活動

気象庁は、第75回南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会、第453回地震防災対策強化地域判定会(定例)を開催し、令和6年1月11日に「最近の南海トラフ周辺の地殻活動」として次の内容の南海トラフ地震関連解説情報を発表した<sup>(注)</sup>。これに関連する概要資料をp.19に掲載する。

(注) <https://www.jma.go.jp/jma/press/hantei.html>

現在のところ、南海トラフ沿いの大規模地震の発生の可能性が平常時<sup>(注)</sup>と比べて相対的に高まったと考えられる特段の変化は観測されていません。

(注) 南海トラフ沿いの大規模地震(M8からM9クラス)は、「平常時」においても今後30年以内に発生する確率が70から80%であり、昭和東南海地震・昭和南海地震の発生から約80年が経過していることから切迫性の高い状態です。

### 1. 地震の観測状況

(顕著な地震活動に関する現象)

南海トラフ周辺では、特に目立った地震活動はありませんでした。

(ゆっくりすべりに関係する現象)

プレート境界付近を震源とする深部低周波地震(微動)のうち、主なものは以下のとおりです。

- (1) 四国西部：11月30日から12月22日
- (2) 東海から紀伊半島中部：12月22日から1月6日
- (3) 四国中部：12月23日から1月2日

### 2. 地殻変動の観測状況

(ゆっくりすべりに関係する現象)

上記(1)から(3)の深部低周波地震(微動)とほぼ同期して、周辺に設置されている複数のひずみ計でわずかな地殻変動を観測しました。周辺の傾斜データでも、わずかな変化が見られました。また、上記(1)の期間に同地域及びその周辺のGNSSのデータでも、わずかな地殻変動を観測しました。

GNSS観測によると、2019年春頃から四国中部で観測されている、それまでの傾向とは異なる地殻変動は、最近では鈍化しているように見えます。また、2022年初頭から、静岡県西部から愛知県東部にかけて、それまでの傾向とは異なる地殻変動が観測されています。さらに、2023年初頭から九州南部で観測されている、それまでの傾向とは異なる地殻変動は、収束したと見られます。

(長期的な地殻変動)

GNSS観測等によると、御前崎、潮岬及び室戸岬のそれぞれの周辺では長期的な沈降傾向が継続しています。

### 3. 地殻活動の評価

(ゆっくりすべりに関係する現象)

上記(1)から(3)の深部低周波地震(微動)と地殻変動は、想定震源域のプレート境界深部において発生した短期的ゆっくりすべりに起因するものと推定しています。

2019年春頃からの四国中部の地殻変動、2022年初頭からの静岡県西部から愛知県東部にかけての地殻変動及び2023年初頭からの九州南部の地殻変動は、それぞれ四国中部周辺、渥美半島周辺及び日向灘南部周辺のプレート境界深部における長期的ゆっくりすべりに起因するものと推定しています。このうち、四国中部周辺の長期的ゆっくりすべりは、最近では鈍化しています。また、日向灘南部周辺の長期的ゆっくりすべりは、すでに停止していると考えられます。

これらの深部低周波地震(微動)、短期的ゆっくりすべり、及び長期的ゆっくりすべりは、それぞれ、従来からも繰り返し観測されてきた現象です。

(長期的な地殻変動)

御前崎、潮岬及び室戸岬のそれぞれの周辺で見られる長期的な沈降傾向はフィリピン海プレートの沈み込みに伴うもので、その傾向に大きな変化はありません。

上記観測結果を総合的に判断すると、南海トラフ地震の想定震源域ではプレート境界の固着状況に特段の変化を示すようなデータは得られておらず、南海トラフ沿いの大規模地震の発生の可能性が平常時と比べて相対的に高まったと考えられる特段の変化は観測されていません。

〔「最近の南海トラフ周辺の地殻活動」についての頁で使われる用語〕

・「想定震源域」

南海トラフ沿いの大規模地震発生時に、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界が破壊されると想定される領域。「想定震源域」全体もしくは一部が破壊されると考えられている。

・「クラスタ」、「クラスタ除去」

地震は時間空間的に群（クラスタ：cluster）をなして起きることが多くある。「本震とその後に起きる余震」、「群発地震」などが典型的なクラスタで、余震活動等の影響を取り除いて地震活動全体の推移を見ることを「クラスタ除去」と言う。例えば、相互の震央間の距離が3km以内で、相互の発生時間差が7日以内の地震群をクラスタとして扱い、その中の最大の地震をクラスタに含まれる地震の代表とし、地震が1つ発生したと扱う。

・「長期的ゆっくりすべり（長期的スロースリップ）」

想定震源域の深部で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界が数ヶ月～数年間かけてゆっくりとすべる現象で、数年～十年程度の間隔で繰り返し発生していると考えられている。例えば、東海地域では、前々回は2000年秋頃～2005年夏頃にかけて発生し、前回は2013年はじめ頃から2017年はじめ頃にかけて発生した。

・「深部低周波地震（微動）」

深さ約30km～40kmで発生する、通常の地震より長周期の波が卓越する地震を「深部低周波地震」と言う。長野県南部～日向灘にかけては帯状につながる深部低周波地震の震央分布が見られる。深部低周波微動は、P波やS波が明瞭ではなく震動が継続するもので、現象的には深部低周波地震と同じであるが、解析手法に違いがあるため、深部低周波地震が観測されない場合にも観測されることがある。

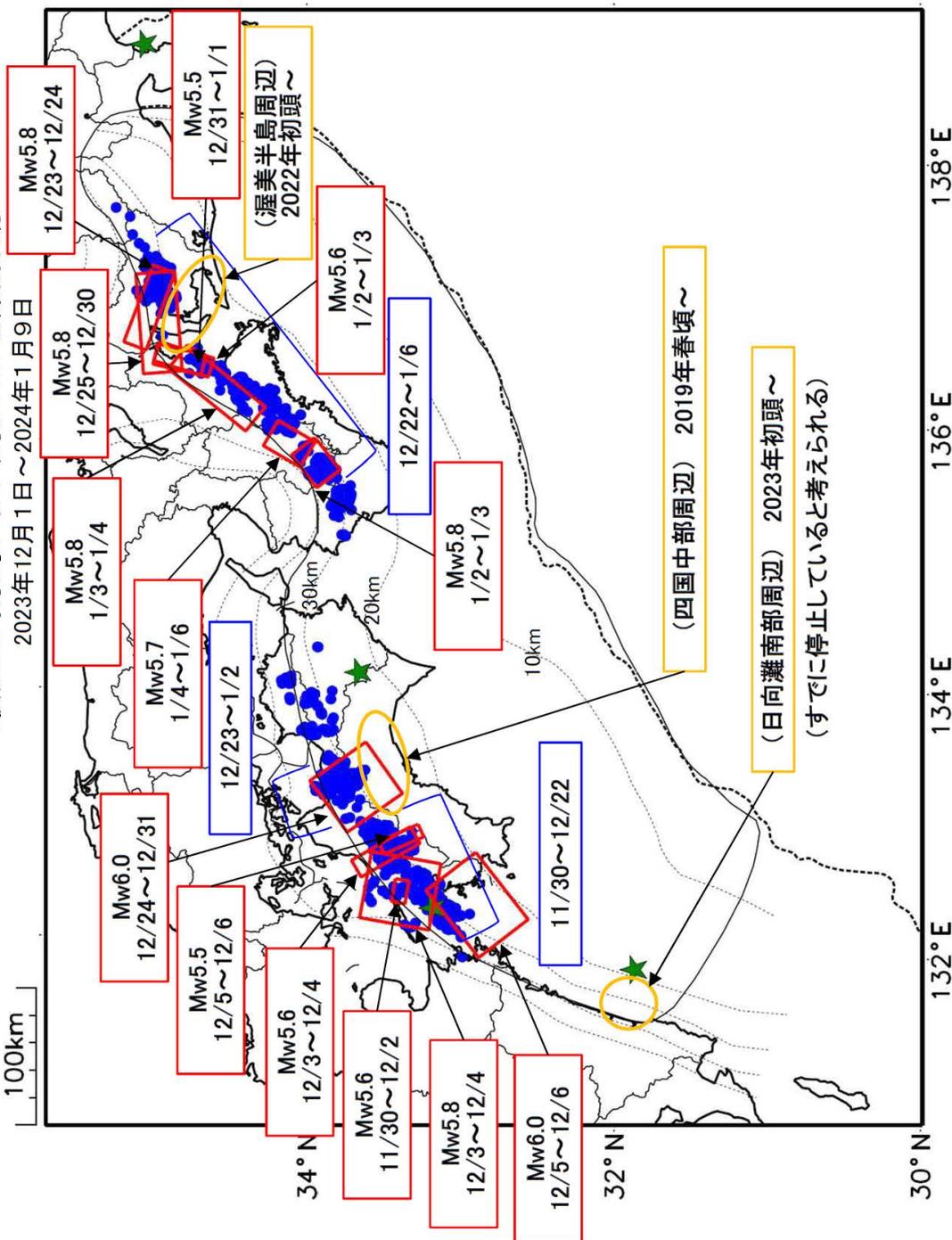
・「短期的ゆっくりすべり（短期的スロースリップ）」

「短期的ゆっくりすべり」は、長期的ゆっくりすべりが発生する領域のさらに深部の、深部低周波地震（微動）の発生領域とほぼ同じ領域でのフィリピン海プレートと陸のプレートの境界のすべりと考えられている。数日～1週間程度継続する「短期的ゆっくりすべり（短期的スロースリップ）」が観測されるときは、ほぼ同時に深部低周波地震（微動）活動が観測されることが多い。短期的ゆっくりすべりは、数ヶ月から1年程度の間隔で繰り返し発生している。

注）地震活動および地殻活動の解析にはHirose et al. (2008)、Baba et al. (2002)によるフィリピン海プレートと陸のプレートの境界データを使用している。

気象庁では、大規模地震の切迫性が高いと指摘されている南海トラフ周辺の地震活動や地殻変動等の状況を定期的に評価するため、南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会、地震防災対策強化地域判定会を毎月開催して委員の意見提供等を受け、現在の状況を「最近の南海トラフ周辺の地殻活動」として取りまとめ南海トラフ地震関連解説情報を発表している。

### 最近の南海トラフ周辺の地殻活動



緑(★) 通常の地震(最大震度3以上もしくはM3.5以上)  
 青(●) 深部低周波地震(微動)  
 赤(□) 短期的ゆっくりすべり  
 黄(○) 長期的ゆっくりすべり

※地図中の点線は、Hirose et al.(2008), Baba et al.(2002)によるフィリピン海プレート上面の深さを示す。  
 ※M5.0以上の地震に吹き出しを付けている。  
 ※深部低周波地震(微動)及び短期的ゆっくりすべりは、11月30日以降のものを示す。

通常の地震(最大震度3以上もしくはM3.5以上).....気象庁の解析結果による。  
 深部低周波地震(微動).....(震源データ)気象庁の解析結果による。(活動期間)気象庁の解析結果による。  
 短期的ゆっくりすべり.....【東海から紀伊半島中部】気象庁の解析結果を示す。【四国中部、四国西部】産業技術総合研究所の解析結果を示す。  
 長期的ゆっくりすべり.....【渥美半島周辺、四国中部周辺、日向灘南部周辺】国土地理院の解析結果を元におよその場所を表示している。

● 日本の主な火山活動

全国月間火山概況（令和5年12月）

警報・予報事項に変更のあった火山は以下のとおりです。その他の火山では、警報・予報事項に変更はありません（令和6年1月12日14時現在）。

霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）では、12月6日に噴火予報を発表し、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から1（活火山であることに留意）に引き下げました。

表1 令和6年1月12日現在の火山現象に関する警報及び予報の発表状況

特別警報・警報・予報	噴火警戒レベル及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	レベル3（入山規制）	桜島、口永良部島*
	入山危険	西之島*
	レベル2（火口周辺規制）	浅間山、薩摩硫黄島、諏訪之瀬島
	火口周辺危険	硫黄島*
噴火警報（周辺海域）	周辺海域警戒	ペヨネース列岩*、海徳海山*、福徳岡ノ場*
噴火予報	レベル1（活火山であることに留意）	アトサヌプリ、雌阿寒岳、大雪山、十勝岳、樽前山、倶多楽、有珠山、北海道駒ヶ岳、恵山、岩木山、八甲田山、十和田、秋田焼山、岩手山、秋田駒ヶ岳、鳥海山、栗駒山、蔵王山、吾妻山、安達太良山、磐梯山、那須岳、日光白根山、草津白根山（白根山（湯釜付近））、草津白根山（本白根山）、新潟焼山、弥陀ヶ原、焼岳、乗鞍岳、御嶽山、白山、富士山、箱根山、伊豆東部火山群、伊豆大島、新島、神津島、三宅島、八丈島、青ヶ島、鶴見岳・伽藍岳、九重山、阿蘇山、雲仙岳、霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）、霧島山（大幡池）、霧島山（新燃岳）、霧島山（御鉢）
	活火山であることに留意	知床硫黄山、羅臼岳、天頂山、摩周、雄阿寒岳、丸山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、恐山、八幡平、鳴子、肘折、沼沢、燧ヶ岳、高原山、男体山、赤城山、榛名山、草津白根山、横岳、妙高山、アカンダナ山、利島、御蔵島、須美寿島、伊豆鳥島、孀婦岩、海形海山、噴火浅根、北福徳堆、南日吉海山、日光海山、三瓶山、阿武火山群、由布岳、福江火山群、霧島山、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄鳥島、西表島北北東海底火山、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田崩山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山

※印を付した火山は火山現象に関する海上警報も発表中。

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>



図1 火山現象に関する警報を発表中の火山

**【各火山の活動状況及び警報・予報事項】（12月1日～31日）**

全国の主な火山の活動状況及び警報・予報事項は以下のとおりです。その他の火山については、警報・予報事項に変更はありません。

**浅間山 [火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）]**

火山性地震は、7月下旬以降、概ね少ない状態で経過しています。山体の西側での膨張を示すと考えられる地殻変動は11月頃より停滞しています。一方、火山ガス（二酸化硫黄）放出量は、1日あたり500トン前後で推移しており、3月下旬以前に比べて多い状態が続いています。引き続き、山頂火口から概ね2kmの範囲に影響を及ぼす噴火が発生する可能性があります。

山頂火口から概ね2kmの範囲では、弾道を描いて飛散する大きな噴石や火砕流に警戒してください。地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

噴火時には、風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

**ペヨネース列岩 [噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報]**

今期間、噴火や変色水等の特異事象は認められなかったものの、明神礁付近では今年2月に変色水が認められていることから、引き続き、海底噴火が発生する可能性があります。

ペヨネース列岩（明神礁）の周辺海域では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石やベースサージ（横なぐりの噴煙）に警戒してください。また、噴火による浮遊物（軽石等）に注意してください。

**西之島 [火口周辺警報（入山危険）及び火山現象に関する海上警報]**

山頂火口付近で噴気活動がみられ、島の周囲に変色水が引き続き認められます。今期間、噴火は観測されていませんが、2022年10月以降しばしば噴火が観測されており、比較的活発な火山活動は継続し

ていると考えられます。

山頂火口から概ね 1.5kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石や溶岩流に警戒してください。

#### **海徳海山 [噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報]**

今期間、噴火は認められないものの、2023年1月に変色水が認められたことから、活発な火山活動は継続しており、海底噴火が発生する可能性があります。

海徳海山の周辺海域では、海底噴火に警戒してください。また、海底噴火による浮遊物（軽石等）に注意してください。

#### **硫黄島 [火口周辺警報（火口周辺危険）及び火山現象に関する海上警報]**

翁浜沖では、噴火が断続的に発生しています。10月21日から発生していた断続的な噴火は、12月11日以降一旦停止しましたが、31日より再開しました。

GNSS連続観測によると、長期的に島全体の隆起を示す地殻変動がみられています。また、硫黄島の島内は全体的に地温が高く、多くの噴気地帯や噴気孔があり、各所で小規模な噴火が時々発生していることから、従来から小規模な噴火が見られていた領域も含め、噴火に警戒してください。

#### **福徳岡ノ場 [噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報]**

2021年8月下旬以降、噴火は認められないものの、変色水域が確認されています。

福徳岡ノ場の過去の活動履歴を考慮すると、2021年8月に発生した陸地を形成するような規模の噴火が、再びすぐに発生する可能性は低いと考えられます。しかし、最近でも変色水域が確認されるなど、活発な火山活動が継続しており、今後も噴火の可能性があります。

福徳岡ノ場の周辺海域では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石やベースサージ（横なぐりの噴煙）に警戒してください。噴火による浮遊物（軽石）にも注意が必要です。

#### **霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺） [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）] ←12月6日に噴火予報を発表し、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から1（活火山であることに留意）に引下げ。**

GNSS連続観測では、硫黄山近傍の基線において、2023年5月頃から硫黄山の山体浅部における膨張を示すと考えられるわずかな伸びがみられていましたが、10月頃から鈍化し11月頃から停滞しています。また、硫黄山付近の浅いところを震源とする火山性地震は少ない状態で経過しています。火山性微動は7月8日以降観測されていません。

これらのことから、硫黄山では6日11時00分に噴火予報を発表し、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から1（活火山であることに留意）に引き下げました。

硫黄山では、現時点では噴火の兆候は認められませんが、活火山であることから、現在活発な噴気活動がみられている硫黄山火口内、及び硫黄山の西側500mの噴気地帯から概ね100mの範囲では、熱水・熱泥等が飛散する可能性がありますので注意してください。また、火山ガスにも注意が必要です。地元自治体等が行う立ち入り規制に従うとともに、火口周辺や噴気孔の近くにはとどまらないでください。

#### **桜島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）]**

南岳山頂火口では、噴火<sup>1)</sup>が3回発生し、このうち爆発は2回でした。噴煙は最高で火口縁上1,800mまで上がり、弾道を描いて飛散する大きな噴石は最大で9合目（南岳山頂火口から約500m）まで達しました。

昭和火口では、ごく小規模なものも含め噴火は発生しませんでした。

広域のGNSS連続観測によると、始良カルデラ（鹿児島湾奥部）の地下深部にマグマが長期にわたり蓄積した状態と考えられます。また、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は概ね多い状態であることから、今後噴火活動が再び活発化すると考えられます。

南岳山頂火口及び昭和火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。

風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るため注意してください。爆発に伴う大きな空振によって窓ガラスが割れるなどのおそれがあるため注意してください。なお、今後の降灰状況次第では、降雨時に土石流が発生する可能性がありますので留意してください。

#### **薩摩硫黄島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）]**

火山性地震はやや多い状態で経過しました。

火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は1日あたり1,000トン前後の状態が長期的に継続しており、時折噴煙が高くなるほか、夜間に火映を観測しています。長期的には熱活動が高まった状態が続いていることから、硫黄岳火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生する可能性があります。

硫黄岳火口の中心から概ね0.5kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。また、火山ガスにも注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

### 口永良部島【火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）及び火山現象に関する海上警報】

口永良部島では、火口付近の浅いところで活発な地震活動が継続しており、新岳及び古岳の火口周辺において噴火が発生する可能性があります。

火山性地震は主に古岳火口付近で発生しており12月下旬から増加しています。また新岳火口付近の火山性地震は、時折やや多い状態となっています。

火山ガス（二酸化硫黄）の放出量はやや多い状態で経過しました。

GNSS連続観測では、2023年6月下旬頃から古岳付近の膨張を示唆する変動が観測されていましたが、11月頃から停滞しています。

新岳火口及び古岳火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。また、向江浜地区から新岳の南西にかけての火口から海岸までの範囲では、火砕流に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

### 諏訪之瀬島【火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）】

御岳（おたけ）火口では、噴火活動が続いています。

噴火に伴う噴煙は最高で火口縁上1,200mまで上がりました。弾道を描いて飛散する大きな噴石は火口中心から最大で約300mまで飛散しました。

GNSS連続観測では、島の西側深部におけるマグマの蓄積量の更なる増加と推定される変動は認められません。また、島の西側で発生していると推定される火山性地震は少ない状態で経過しています。

御岳火口中心から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

（火山の順は日本活火山総覧（第4版）による）

- 1) 桜島では噴火活動が活発なため、噴火のうち、爆発もしくは噴煙量が中量以上（概ね噴煙の高さが火口縁上1,000m以上）の噴火の回数を計数しています。資料の噴火回数はこの回数を示します。また、基準に達しない噴火は、ごく小規模な噴火として噴火回数に含めていません。

資料1 全国の火山現象に関する特別警報・警報・予報の発表状況のまとめ

(1) 主な活火山

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
北海道地方	アトサヌプリ	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2016年3月23日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	雌阿寒岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2008年9月29日火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年10月17日噴火予報（平常） 2008年11月17日火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年12月16日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年4月10日噴火予報（レベル1、平常） 2015年7月28日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年11月13日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年11月23日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年12月21日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	大雪山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年3月18日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	十勝岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2008年12月16日噴火予報（レベル1、平常） 2014年12月16日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年2月24日噴火予報（レベル1、平常）
	樽前山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	倶多楽	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2015年10月1日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	有珠山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2008年6月9日噴火予報（レベル1、平常）
	北海道駒ヶ岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
東北地方	恵山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2016年3月23日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	岩木山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2016年7月26日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	八甲田山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年7月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	十和田	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2022年3月24日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	秋田焼山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2013年7月25日噴火予報（レベル1、平常）
	岩手山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	秋田駒ヶ岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2009年10月27日噴火予報（レベル1、平常）
	鳥海山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2018年3月27日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	栗駒山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年5月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	蔵王山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2015年4月13日火口周辺警報（火口周辺危険） 2015年6月16日噴火予報（活火山であることに留意） 2016年7月26日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年1月30日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年3月6日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	吾妻山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2014年12月12日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2016年10月18日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年9月15日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年4月22日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年5月9日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年6月17日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	安達太良山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2009年3月31日噴火予報（レベル1、平常）
	磐梯山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2009年3月31日噴火予報（レベル1、平常）

令和5年12月 地震・火山月報（防災編）

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
関東・中部地方	那須岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2009年3月31日噴火予報（レベル1、平常）
	日光白根山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2016年12月6日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	草津白根山	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2018年11月27日噴火予報（活火山であることに留意）
	草津白根山（白根山（湯釜付近））	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2009年4月10日噴火予報（レベル1、平常）切替 2014年6月3日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年6月7日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年4月22日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年9月21日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年9月28日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年11月27日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年3月23日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	草津白根山（本白根山）	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2018年1月23日火口周辺警報（火口周辺危険） 2018年1月23日火口周辺警報（入山危険） 2018年3月16日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年11月27日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年4月5日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	浅間山	火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2008年8月8日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年2月1日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年2月3日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2009年4月7日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2010年4月15日噴火予報（レベル1、平常） 2015年6月11日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年8月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年8月7日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2019年8月19日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年11月6日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2020年6月25日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年2月5日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2021年3月23日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年8月6日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2023年3月23日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）
	新潟焼山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2011年3月31日噴火予報（レベル1、平常）
	弥陀ヶ原	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年5月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	焼岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2011年3月31日噴火予報（レベル1、平常） 2022年5月24日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2022年7月12日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	乗鞍岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年3月18日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	御嶽山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2008年3月31日噴火予報（レベル1、平常） 2014年9月27日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2014年9月28日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2015年1月19日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2015年3月31日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2015年6月26日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年8月21日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2022年2月23日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2022年4月18日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）切替 2022年6月23日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	白山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2015年9月2日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	富士山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）

令和5年12月 地震・火山月報（防災編）

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
関東・中部地方	箱根山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2009年3月31日噴火予報（レベル1、平常） 2015年5月6日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年6月30日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2015年9月11日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年11月20日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年5月19日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年10月7日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	伊豆東部火山群	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2011年3月31日噴火予報（レベル1、平常）
伊豆・小笠原諸島	伊豆大島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	新島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年7月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	神津島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年7月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	三宅島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年3月31日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年6月5日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	八丈島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2018年5月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	青ヶ島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2018年5月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	ベヨネース列岩	噴火警報（周辺海域警戒）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2017年3月24日噴火警報（周辺海域警戒） 2018年10月31日噴火予報（活火山であることに留意） 2023年1月26日噴火警報（周辺海域警戒）
	西之島	火口周辺警報（入山危険）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2013年11月20日火口周辺警報（火口周辺危険） 2014年6月3日火口周辺警報（入山危険） 2014年6月11日火口周辺警報（入山危険）切替 2015年2月24日火口周辺警報（入山危険）切替 2016年2月17日火口周辺警報（入山危険）切替 2016年8月17日火口周辺警報（火口周辺危険） 2017年2月14日噴火予報（活火山であることに留意） 2017年4月20日火口周辺警報（入山危険） 2018年6月20日火口周辺警報（火口周辺危険） 2018年7月13日火口周辺警報（入山危険） 2018年10月31日火口周辺警報（火口周辺危険） 2019年12月5日火口周辺警報（入山危険） 2019年12月16日火口周辺警報（入山危険）切替 2020年12月18日火口周辺警報（入山危険）切替
	海德海山	噴火警報（周辺海域警戒）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2022年8月23日噴火警報（周辺海域警戒）
	噴火浅根	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2022年3月27日噴火警報（周辺海域警戒） 2023年9月21日噴火予報（活火山であることに留意）
	硫黄島	火口周辺警報（火口周辺危険）	2007年12月1日火口周辺警報（火口周辺危険）
福德岡ノ場	噴火警報（周辺海域警戒）	2007年12月1日噴火警報（周辺海域警戒） 2021年8月16日噴火警報（周辺海域警戒）切替	

令和5年12月 地震・火山月報（防災編）

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
九州地方・ 南西諸島	鶴見岳・伽藍岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2016年7月26日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2022年7月8日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2022年7月27日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	九重山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	阿蘇山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2011年5月16日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2011年6月20日噴火予報（レベル1、平常） 2013年9月25日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2013年10月11日噴火予報（レベル1、平常） 2013年12月27日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2014年3月12日噴火予報（レベル1、平常） 2014年8月30日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年9月14日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2015年11月24日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2016年10月8日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2016年12月20日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年2月7日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年3月12日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年3月29日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年4月14日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2020年8月18日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2021年5月2日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年6月9日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2021年10月13日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年10月20日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2021年11月18日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2022年2月24日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2022年3月14日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2022年4月15日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2023年1月30日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2023年3月23日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	雲仙岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	霧島山	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2016年12月6日噴火予報（活火山であることに留意）
	霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2014年10月24日火口周辺警報（火口周辺危険） 2015年5月1日噴火予報（平常） 2016年2月28日火口周辺警報（火口周辺危険） 2016年3月29日噴火予報（活火山であることに留意） 2016年12月6日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2016年12月12日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年1月13日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2017年5月9日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年10月31日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年2月20日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年4月19日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2018年5月1日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年4月18日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2023年7月7日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2023年12月6日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	霧島山（大幡池）	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2021年3月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	霧島山（新燃岳）	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2008年8月22日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年10月29日噴火予報（レベル1、平常） 2010年3月30日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2010年4月16日噴火予報（レベル1、平常） 2010年5月6日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2011年1月26日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2011年1月31日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2011年2月1日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2011年3月22日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2012年6月26日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替

令和5年12月 地震・火山月報（防災編）

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
九州地方・南西諸島	霧島山(新燃岳) (つづき)		2013年10月22日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年5月26日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2017年10月5日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年10月11日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2017年10月15日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2017年10月31日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2018年3月1日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2018年3月10日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2018年3月15日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2018年6月28日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年1月18日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年2月25日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年4月5日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年11月18日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年12月20日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2020年1月2日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2020年12月11日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2020年12月25日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年3月1日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2022年3月27日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2022年8月19日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	霧島山（御鉢）	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2018年2月9日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年3月15日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	桜島	火口周辺警報 （レベル3、入山規制）	2007年12月1日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年2月3日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2008年2月30日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年4月8日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2008年7月14日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年7月28日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2008年8月28日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年2月2日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年2月19日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年3月2日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年3月10日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2009年4月24日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年7月19日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2010年9月30日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2010年10月13日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2012年3月12日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2012年3月21日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2015年8月15日噴火警報（レベル4、避難準備） 2015年9月1日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2015年11月25日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2016年2月5日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2021年4月25日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2021年4月25日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2022年7月24日噴火警報（レベル5、避難） 2022年7月27日火口周辺警報（レベル3、入山規制）
	薩摩硫黄島	火口周辺警報 （レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2012年11月29日噴火予報（レベル1、平常） 2013年6月4日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2013年7月10日噴火予報（レベル1、平常） 2017年1月5日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年2月24日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年3月19日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年4月27日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年11月2日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年3月8日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）切替

令和5年12月 地震・火山月報（防災編）

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
九州地方・南西諸島	口永良部島	火口周辺警報 (レベル3、入山規制)	2007年12月1日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2008年1月25日噴火予報(レベル1、平常) 2008年9月4日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2008年10月27日火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2009年3月18日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2009年8月4日噴火予報(レベル1、平常) 2009年9月27日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2009年10月30日噴火予報(レベル1、平常) 2011年12月15日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2012年1月20日噴火予報(レベル1、平常) 2014年8月3日火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2014年8月7日火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替 2015年5月29日噴火警報(レベル5、避難) 2015年10月21日噴火警報(レベル5、避難)切替 2016年6月14日火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2018年4月18日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2018年8月15日噴火警報(レベル4、避難準備) 2018年8月29日火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2019年6月12日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2019年10月28日火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2021年1月19日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2021年2月28日火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2021年7月5日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2022年5月25日噴火予報(レベル1、活火山であることに留意) 2022年7月31日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2022年9月1日噴火予報(レベル1、活火山であることに留意) 2023年6月26日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2023年6月27日火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2023年7月10日火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替
	諏訪之瀬島	火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)	2007年12月1日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2020年12月28日火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2021年1月14日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2021年3月31日火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2021年4月5日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2021年6月23日火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2021年7月29日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2021年9月17日火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2022年7月11日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2022年9月28日火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2023年1月24日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2023年3月5日火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2023年6月9日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制)

注) 特別警報、警報及び予報の発表履歴欄には、2007年12月1日の火山現象に関する警報・予報及び噴火警戒レベルの運用開始からの経過を示しています。この表では、主な活火山として、警報を発表している、または常時観測を行っている火山を示しています。また、ここで示すレベルは噴火警戒レベルを示しています。

（2）その他の活火山

以下の活火山（\*印及び\*\*印を除く）では2007年12月1日に噴火予報（平常）を発表しました。また、\*印の活火山では、活火山として選定された2011年6月7日に噴火予報（平常）を発表し、\*\*印の活火山では、活火山として選定された後の2017年12月5日に噴火予報（活火山であることに留意）を発表しました。その後、いずれも火山活動に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

	火山名
北海道地方	知床硫黄山、羅臼岳、天頂山*、摩周、雄阿寒岳*、丸山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山
東北地方	恐山、八幡平、鳴子、肘折、沼沢、燧ヶ岳
関東・中部地方	高原山、男体山**、赤城山、榛名山、横岳、妙高山、アカンダナ山
伊豆・小笠原諸島	利島、御蔵島、須美寿島、伊豆鳥島、孀婦岩、海形海山、北福德堆、南日吉海山、日光海山
中国・九州地方 及び南西諸島	三瓶山、阿武火山群、由布岳、福江火山群、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄鳥島、西表島北北東海底火山

注）2015年5月18日から（平常）は（活火山であることに留意）に変更しました。

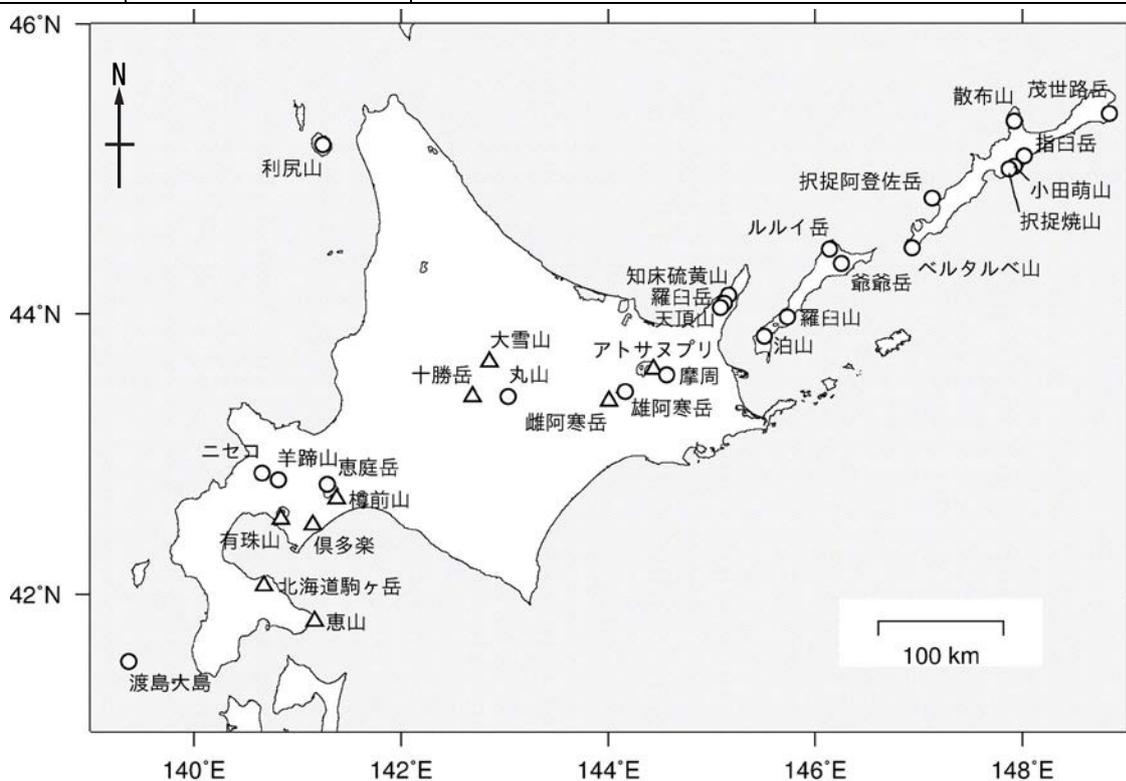
## ○ 北海道地方の火山活動

### 管内月間火山概況（令和5年12月）

札幌管区気象台  
地域火山監視・警報センター

#### 噴火警報及び噴火予報の発表状況（12月31日現在）

警報・予報	噴火警戒レベル及びキーワード	該当火山
噴火予報	レベル1（活火山であることに留意）	アトサヌプリ、雌阿寒岳、大雪山、十勝岳、樽前山、倶多楽、有珠山、北海道駒ヶ岳、恵山
	活火山であることに留意	知床硫黄山、羅臼岳、天頂山、摩周、雄阿寒岳、丸山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山



凡例				
噴火警戒レベル対象火山	▲	噴火警報発表中	△	噴火予報発表中
噴火警戒レベル対象外の火山	●	噴火警報発表中	○	噴火予報発表中

※噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山で運用しています。

この管内月間火山概況は気象庁のホームページでも閲覧することができます。

[https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly\\_v-act\\_doc/monthly\\_vact.php](https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php)

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、国土交通省北海道開発局、国土地理院、北海道大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、国立研究開発法人産業技術総合研究所、北海道及び地方独立行政法人北海道立総合研究機構エネルギー・環境・地質研究所のデータも利用して作成しています。

## 各火山の活動状況及び予報警報事項（12月1日～31日）

主な火山の活動及び予報警報事項の状況は以下のとおりで、予報警報事項に変更はありません。

### アトサヌプリ〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は概ね静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

### 雌阿寒岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

8日から9日にかけてポンマチネシリ火口付近で振幅の小さな火山性地震が一時的に増加し、その後も下旬までやや多い状態が続きました。そのほかの観測データには特段の変化は認められず、火山活動は概ね静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

### 大雪山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

### 十勝岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

GNSS 連続観測では、2021年頃から山体浅部の収縮を示すと考えられる地殻変動が続いており、62-2火口、振子沢噴気孔群及びその周辺では引き続き噴煙・噴気が多い状態です。また、2023年2月以降、火口浅部の地震の一時増加や火山性微動、これらと同期した傾斜変動が時々観測されています。これらのことから、今後の火山活動の推移には注意が必要です。

### 樽前山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は概ね静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

なお、山頂溶岩ドーム周辺では高温の状態が続いていますので、突発的な火山ガス等の噴出に注意してください。

### 倶多楽〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

### 有珠山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

### 北海道駒ヶ岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

山頂火口原浅部の活動がやや活発化していますので、今後の火山活動の推移には注意が必要です。

### 恵山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

上記以外の火山の活動状況に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

## ○ 東北地方の火山活動

### 管内月間火山概況（令和5年12月）

仙台管区気象台  
地域火山監視・警報センター

噴火警報及び噴火予報の発表状況（12月31日現在）

警報・予報	噴火警戒レベル 及びキーワード	該当火山
噴火予報	レベル1（活火山であることに留意）	岩木山、八甲田山、十和田、秋田焼山、岩手山、秋田駒ヶ岳、鳥海山、栗駒山、蔵王山、吾妻山、安達太良山、磐梯山
	活火山であることに留意	恐山、八幡平、鳴子、肘折、沼沢、燧ヶ岳

各火山の活動状況及び予報警報事項（12月1日～31日）

主な火山の活動及び予報警報事項の状況は以下のとおりで、予報警報事項に変更はありません。

**岩木山**〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

**八甲田山**〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

**十和田**〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

**秋田焼山**〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

GNSS 連続観測で認められていた 2020 年中頃からの秋田焼山を挟む基線の伸びの変化は、2022 年終わり頃から鈍化しています。地震活動や噴気、地熱域等には特段の変化はみられませんが、今後の火山活動の推移に留意してください。

**岩手山**〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

**秋田駒ヶ岳**〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

今期間、火山活動に特段の変化はありませんでした。

山頂付近では、火山性地震の発生頻度がやや高い状態で推移しています。そのうち <sup>めだけ</sup>女岳 付近では 2015 年頃にかけて地熱域の拡大がみられ、その後大きな変化は認められていませんが、地震活動や熱活



動がやや高まった状態で経過していることから、今後の火山活動の推移に留意が必要です。

**鳥海山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕**

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

**栗駒山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕**

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

**蔵王山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕**

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

**吾妻山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕**

火山性地震は今期間少ない状態で経過しており、また大穴火口浅部の緩やかな膨張を示唆する変化は収縮傾向に転じています。大穴火口周辺では、熱水活動がやや低下した可能性があるものの継続しており、今後の火山活動の推移に留意してください。

大穴火口周辺では熱活動が継続しており、噴出現象が突発的に発生する可能性があることに留意が必要です。また、入山する際には火山ガスに注意してください。

**安達太良山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕**

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

**磐梯山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕**

今期間、火山活動に特段の変化はありませんでした。

火山性地震は2022年10月以前に比べて多い状態で経過しています。また今期間、火山性微動が2回観測されました。GNSS連続観測で認められていた2022年後半からの山体膨張を示すわずかな変化は2023年10月頃から停滞している可能性があります。今後の火山活動の推移に留意してください。

上記以外の火山の活動状況に特段の変化はなく、予報警報事項に変更はありません。

※噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山で運用しています。

---

この管内月間火山概況は気象庁ホームページで閲覧することができます。

[https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly\\_v-act\\_doc/monthly\\_vact.php](https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php)

資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、国土交通省東北地方整備局、国土地理院、北海道大学、弘前大学、東北大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、青森県及び公益財団法人地震予知総合研究振興会のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『数値地図25000（行政界・海岸線）』を使用しています。

# ○ 関東・中部地方及び伊豆・小笠原諸島の火山活動

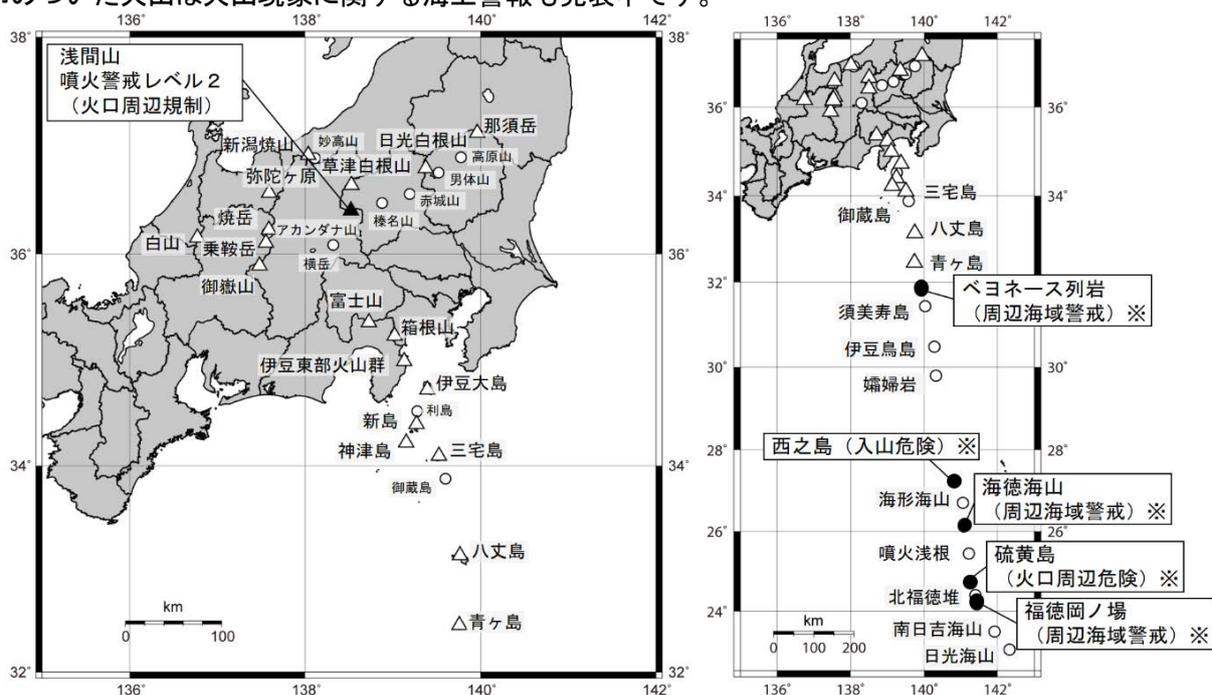
## 管内月間火山概況（令和5年12月）

気象庁地震火山部  
火山監視・警報センター

### 噴火警報及び噴火予報の発表状況（12月31日現在）

警報・予報	噴火警戒レベル及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	入山危険	西之島※
	レベル2（火口周辺規制）	浅間山
	火口周辺危険	硫黄島※
噴火警報（周辺海域）	周辺海域警戒	ベヨネース列岩※、海德海山※、福德岡ノ場※
噴火予報	レベル1（活火山であることに留意）	那須岳、日光白根山、草津白根山（白根山（湯釜付近）、草津白根山（本白根山）、新潟焼山、弥陀ヶ原、焼岳、乗鞍岳、御嶽山、白山、富士山、箱根山、伊豆東部火山群、伊豆大島、新島、神津島、三宅島、八丈島、青ヶ島
	活火山であることに留意	高原山、男体山、赤城山、榛名山、草津白根山、横岳、妙高山、アカンダナ山、利島、御蔵島、須美寿島、伊豆鳥島、孀婦岩、海形海山、噴火浅根、北福德堆、南日吉海山、日光海山

※印のついた火山は火山現象に関する海上警報も発表中です。



凡 例  
 噴火警戒レベル対象火山 ▲：噴火警報発表中 △：噴火予報発表中  
 噴火警戒レベル対象外の火山 ●：噴火警報発表中 ○：噴火予報発表中

\* 噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山で運用されています。

この管内月間火山概況は気象庁ホームページでも閲覧することができます。

[https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly\\_v-act\\_doc/monthly\\_vact.php](https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php)

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、北陸地方整備局、関東地方整備局、中部地方整備局、国土地理院、海上保安庁、海上自衛隊、東北大学、東京大学、東京工業大学、名古屋大学、京都大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、国立研究開発法人産業技術総合研究所、東京都、新潟県、長野県、岐阜県、神奈川県温泉地学研究所及び公益財団法人地震予知総合研究振興会のデータも利用して作成しています。資料の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています。

## 各火山の活動状況及び予報警報事項（12月1日～31日）

主な火山の活動及び予報警報事項の状況は以下のとおりです。

### 那須岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

### 日光白根山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

### 草津白根山（白根山（湯釜付近））〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

湯釜周辺の地震活動は低調で浅部の膨張を示す明瞭な地殻変動もみられず、火山活動は静穏に経過しました。しかし、湯釜付近の浅部の熱水活動は継続しており、中長期的には再活発化も考えられるため、今後も火山活動の推移に十分注意が必要です。

湯釜火口から概ね500mの範囲では、ごく小規模な火山灰等の噴出の可能性があります。地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。また、湯釜火口周辺では火山ガスの噴出がみられ、その周辺のくぼ地や谷地形などでは高濃度の火山ガスが滞留することがありますので注意してください。

### 草津白根山（本白根山）〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

ただし、2018年1月のように突発的に噴火が発生したことを踏まえ、今後も火口付近では、突発的な噴出に注意する必要があります。地元自治体の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

### 浅間山〔火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）〕

火山性地震は、7月下旬以降、概ね少ない状態で経過しています。山体の西側での膨張を示すと考えられる地殻変動は11月頃より停滞しています。一方、火山ガス（二酸化硫黄）放出量は、1日あたり500トン前後で推移しており、3月下旬以前に比べて多い状態が続いています。引き続き、山頂火口から概ね2kmの範囲に影響を及ぼす噴火が発生する可能性があります。

山頂火口から概ね2kmの範囲では、弾道を描いて飛散する大きな噴石や火砕流に警戒してください。地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

噴火時には、風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

### 新潟焼山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

### 弥陀ヶ原〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

地獄谷周辺の地震活動は低調で、火山活動によるとみられる地殻変動もみられませんが、地獄谷では活発な熱活動が続いていますので、今後の火山活動の推移に注意してください。また、地獄谷付近では火山ガスに注意が必要です。

### 焼岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

山頂付近の微小な地震は、少ない状態で推移しています。山頂付近の噴気状況に変化は認められません。

ただし、GNSS連続観測では、山頂付近での緩やかな膨張を示すと考えられる変化は継続しており、焼岳周辺では数年おきに震度1以上を観測する地震を含む活発な地震活動がみられることから、中長期的に焼岳の火山活動は高まってきている可能性がありますので、今後の火山活動の推移に注意が必要です。

山頂付近を含む想定火口域内では、突発的に火山ガス等が噴出する可能性があります。登山する際は、火山活動の異変に注意するとともに、ヘルメットを着用するなどの安全対策をしてください。また、噴気地帯にはとどまらないでください。

### 乗鞍岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

**御嶽山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕**

地震活動は長期的に低下傾向がみられ、GNSS連続観測でも山体の収縮によると考えられる地殻変動に鈍化がみられます。

火山活動は静穏な状態に戻る傾向が続いています。ただし、地獄谷火口内では、突発的な火山灰等の噴出に引き続き注意が必要です。

地元自治体等が行う立入規制等に従い、登山する際はヘルメットを持参するなどの安全対策をしてください。

**白山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕**

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

**富士山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕**

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

**箱根山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕**

地震活動は低調に経過していますが、GNSS連続観測では一部の基線で伸びの変化がみられていますので、今後の火山活動の推移に注意してください。

大涌谷周辺の想定火口域では、活発な噴気活動が続いていますので、火山灰等の突発的な噴出現象に注意が必要です。

**伊豆東部火山群〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕**

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

**伊豆大島〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕**

熱活動、地震活動は低調に経過し、火山性微動も発生しておらず、ただちに噴火が発生する兆候は認められません。地下深部へのマグマ供給によると考えられる長期的な島全体の膨張は、2018年頃からほぼ停滞しています。これまでに供給されたマグマは地下深部に蓄積されていると考えられることから、今後火山活動が活発化する可能性がありますので、火山活動の推移に注意してください。

**新島〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕**

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

**神津島〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕**

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

**三宅島〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕**

GNSS連続観測で山体深部の膨張を示す伸びが続いています。2019年4月頃からみられた山体浅部の膨張を示すと考えられる伸びの傾向は2023年に入り停滞していますが、引き続き地下のマグマの蓄積は進んでいると考えられることから、今後火山活動が活発化する可能性があります。

現在も、主火孔の噴煙活動は弱いながらも続いており、火口内での噴出現象が突発的に発生する可能性があります。山頂火口内及び主火孔から500m以内では火山灰噴出に警戒してください。

**八丈島〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕**

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

**青ヶ島〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕**

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

**ベヨネース列岩〔噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報〕**

今期間、噴火や変色水等の特異事象は認められなかったものの、明神礁付近では今年2月に変色水が認められていることから、引き続き、海底噴火が発生する可能性があります。

ベヨネース列岩（明神礁）の周辺海域では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石やベースサージ（横なぐりの噴煙）に警戒してください。また、噴火による浮遊物（軽石等）に注意してください。

**西之島〔火口周辺警報（入山危険）及び火山現象に関する海上警報〕**

山頂火口付近で噴気活動がみられ、島の周囲に変色水が引き続き認められます。今期間、噴火は観測されていませんが、2022年10月以降しばしば噴火が観測されており、比較的活発な火山活動は継続していると考えられます。

山頂火口から概ね1.5kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石や溶岩流に警戒してください。

**海徳海山〔噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報〕**

今期間、噴火は認められないものの、2023年1月に変色水が認められたことから、活発な火山活動は継続しており、海底噴火が発生する可能性があります。

海徳海山の周辺海域では、海底噴火に警戒してください。また、海底噴火による浮遊物（軽石等）に注意してください。

**硫黄島〔火口周辺警報（火口周辺危険）及び火山現象に関する海上警報〕**

翁浜沖では、噴火が断続的に発生しています。10月21日から発生していた断続的な噴火は、12月11日以降一旦停止しましたが、31日より再開しました。

GNSS連続観測によると、長期的に島全体の隆起を示す地殻変動がみられています。また、硫黄島の島内は全体的に地温が高く、多くの噴気地帯や噴気孔があり、各所で小規模な噴火が時々発生していることから、従来から小規模な噴火が見られていた領域も含め、噴火に警戒してください。

**福徳岡ノ場〔噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報〕**

2021年8月下旬以降、噴火は認められないものの、変色水域が確認されています。

福徳岡ノ場の過去の活動履歴を考慮すると、2021年8月に発生した陸地を形成するような規模の噴火が、再びすぐに発生する可能性は低いと考えられます。しかし、最近でも変色水域が確認されるなど、活発な火山活動が継続しており、今後も噴火の可能性あります。

福徳岡ノ場の周辺海域では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石やベースサージ（横なぐりの噴煙）に警戒してください。噴火による浮遊物（軽石）にも注意が必要です。

上記以外の火山の活動状況に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

## ○ 近畿・中国・四国地方の火山活動

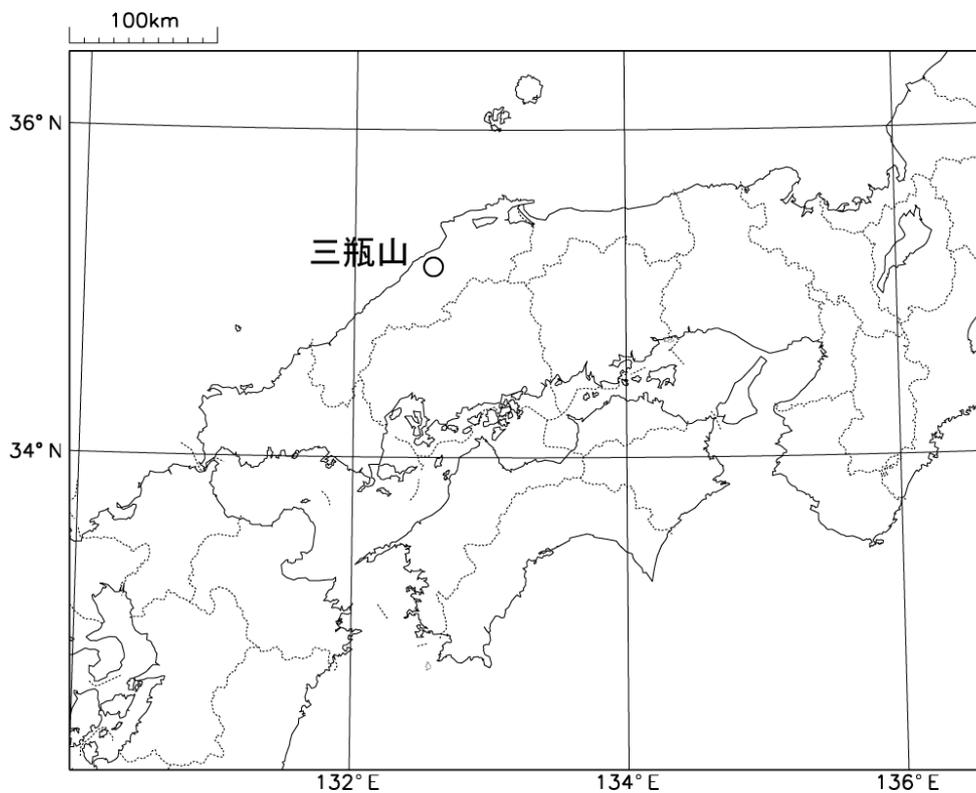
### 管内月間火山概況（令和5年12月）

気象庁地震火山部  
火山監視・警報センター  
大阪管区气象台地震火山課

#### 噴火警報及び噴火予報の発表状況と活動状況

##### 三瓶山〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。



この管内月間火山概況は気象庁ホームページでも閲覧することができます。

[https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly\\_v-act\\_doc/monthly\\_vact.php](https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php)

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、国立研究開発法人防災科学技術研究所のデータも利用して作成しています。

資料の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています。

## ○ 九州地方の火山活動

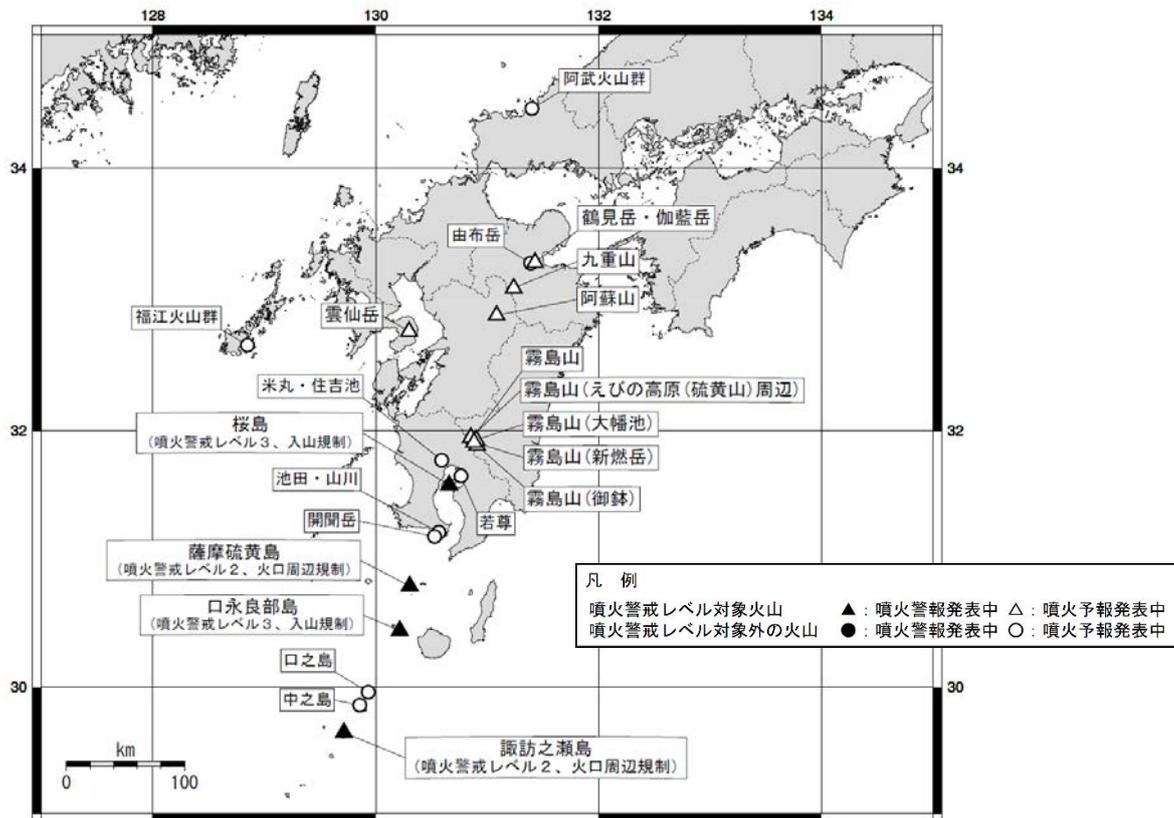
### 管内月間火山概況（令和5年12月）

福岡管区气象台  
地域火山監視・警報センター

噴火警報及び噴火予報の発表状況（令和5年12月31日現在）

警報・予報	噴火警戒レベル及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	レベル3（入山規制）	桜島、口永良部島※
	レベル2（火口周辺規制）	薩摩硫黄島、諏訪之瀬島
噴火予報	レベル1（活火山であることに留意）	鶴見岳・伽藍岳、九重山、阿蘇山、雲仙岳、霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）、霧島山（大幡池）、霧島山（新燃岳）、霧島山（御鉢）
	活火山であることに留意	阿武火山群、由布岳、福江火山群、霧島山、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島

※印の付いた火山は火山現象に関する海上警報も発表中です。



噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山で運用されています。

この管内月間火山概況は気象庁ホームページでも閲覧することができます。

[https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly\\_v-act\\_doc/monthly\\_vact.php](https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php)

資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、九州地方整備局、国土地理院、東京大学、京都大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構、大分県、長崎県、宮崎県、鹿児島県、屋久島町、三島村、十島村及び阿蘇火山博物館のデータも利用して作成しています。

資料の地図の作成に当たって、国土地理院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』『電子地形図（タイル）』を使用しています。

## 各火山の活動状況及び予報警報事項（12月1日～31日）

主な火山の活動及び予報警報事項の状況は以下のとおりです。

霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）では、12月6日に噴火予報を発表し、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から1（活火山であることに留意）に引き下げました。

### 鶴見岳・伽藍岳 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

火山性地震は少ない状態で経過しました。B型地震<sup>1)</sup>が時々発生しています。その他の火山活動に特段の変化はなく、噴火の兆候は認められません。

鶴見岳・伽藍岳の想定火口域内では、噴気、火山ガス等の噴出が見られますので、注意してください。

### 九重山 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

火山性地震は少ない状態であり、噴気地帯の状況にも特段の変化はなく、噴火の兆候は認められません。長期的には地熱域の温度は低下していますが、硫黄山付近の噴気地帯地下の温度上昇を示す全磁力の変化は継続しています。今後の火山活動に留意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

### 阿蘇山 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

阿蘇山では、12月下旬以降火山活動にわずかな高まりがみられます。

火山性微動の振幅は概ね小さい状態で経過しましたが、12月下旬から振幅の高まりがみられています。

火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は4月以降少ない状態でしたが、12月以降やや増加しています。GNSS連続観測では、深部にマグマだまりがあると考えられている草千里を挟む基線において、2023年1月頃から縮みの傾向がみられています。

火口内では、土砂や火山灰が噴出する可能性があります。また、火口付近では火山ガスに注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

### 雲仙岳 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

火山活動に特段の変化はありませんが、2010年頃から普賢岳から平成新山直下の深さ1～2km付近を震源とする火山性地震が時々発生していますので、今後の火山活動に留意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

### 霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺） [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

←12月6日に噴火予報を発表し、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から1（活火山であることに留意）に引下げ。GNSS連続観測では、硫黄山近傍の基線において、2023年5月頃から硫黄山の山体浅部における膨張を示すと考えられるわずかな伸びがみられていましたが、10月頃から鈍化し11月頃から停滞しています。また、硫黄山付近の浅いところを震源とする火山性地震は少ない状態で経過しています。火山性微動は7月8日以降観測されていません。

これらのことから、硫黄山では6日11時00分に噴火予報を発表し、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から1（活火山であることに留意）に引き下げました。

硫黄山では、現時点では噴火の兆候は認められませんが、活火山であることから、現在活発な噴気活動がみられている硫黄山火口内、及び硫黄山の西側500mの噴気地帯から概ね100mの範囲では、熱水・熱泥等が飛散する可能性がありますので注意してください。また、火山ガスにも注意が必要です。地元自治体等が行う立ち入り規制に従うとともに、火口周辺や噴気孔の近くにはとどまらないでください。

### 霧島山（大幡池） [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

火山活動に特段の変化はなく、噴火の兆候は認められません。

活火山であることから、規模の小さな噴出現象が突発的に発生する可能性がありますので、留意してください。

霧島山（新燃岳）きりしまやま しんもえだけ [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

新燃岳では、火口直下を震源とする火山性地震は少ない状態で経過しています。

GNSS連続観測では、霧島山を挟む基線において、2022年11月頃から、霧島山の深い場所でのマグマの蓄積を示すと考えられる伸びがみられていましたが、2023年4月以降は停滞しています。

火山活動に高まりは認められず、噴火の兆候は認められませんが、活火山であることから、新燃岳火口内、火口縁及び西側斜面の割れ目付近では、火山灰の噴出や火山ガス等に注意してください。地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

霧島山（御鉢）きりしまやま おはち [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

火山活動に特段の変化はなく、噴火の兆候は認められません。

活火山であることから、火口内のごく少量の火山灰等を噴出する規模の小さな現象が突発的に発生する可能性がありますので注意してください。

地元自治体等が行う立入規制等に留意してください。

桜島さくらじま [火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）]

南岳山頂火口では、噴火<sup>2)</sup>が3回発生し、このうち爆発<sup>3)</sup>は2回でした。噴煙は最高で火口縁上1,800mまで上がり、弾道を描いて飛散する大きな噴石は最大で9合目（南岳山頂火口から約500m）まで達しました。

昭和火口では、ごく小規模なものも含め噴火は発生しませんでした。

広域のGNSS連続観測によると、始良カルデラ（鹿児島湾奥部）の地下深部にマグマが長期にわたり蓄積した状態と考えられます。また、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は概ね多い状態であることから、今後噴火活動が再び活発化すると考えられます。

南岳山頂火口及び昭和火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。

風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るため注意してください。爆発に伴う大きな空振によって窓ガラスが割れるなどのおそれがあるため注意してください。なお、今後の降灰状況次第では、降雨時に土石流が発生する可能性がありますので留意してください。

薩摩硫黄島さつまいおうじま [火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）]

火山性地震はやや多い状態で経過しました。

火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は1日あたり1,000トン前後の状態が長期的に継続しており、時折噴煙が高くなるほか、夜間に火映を観測しています。長期的には熱活動が高まった状態が続いていることから、硫黄岳火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生する可能性があります。

硫黄岳火口の中心から概ね0.5kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。また、火山ガスにも注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

口永良部島くちのえらぶじま [火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）及び火山現象に関する海上警報]

口永良部島では、火口付近の浅いところで活発な地震活動が継続しており、新岳及び古岳の火口周辺において噴火が発生する可能性があります。

火山性地震は主に古岳火口付近で発生しており12月下旬から増加しています。また新岳火口付近の火山性地震は、時折やや多い状態となっています。

火山ガス（二酸化硫黄）の放出量はやや多い状態で経過しました。

GNSS連続観測では、2023年6月下旬頃から古岳付近の膨張を示唆する変動が観測されていましたが、11月頃から停滞しています。

新岳火口及び古岳火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。また、向江浜地区から新岳の南西にかけての火口から海岸までの範囲では、火砕流に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

すわのせじま  
諏訪之瀬島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）]

御岳（おたけ）火口では、噴火活動が続いています。

噴火に伴う噴煙は最高で火口縁上 1,200mまで上がりました。弾道を描いて飛散する大きな噴石は火口中心から最大で約 300mまで飛散しました。

GNSS 連続観測では、島の西側深部におけるマグマの蓄積量の更なる増加と推定される変動は認められません。また、島の西側で発生していると推定される火山性地震は少ない状態で経過しています。

御岳火口中心から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

上記以外の火山の活動状況に変化はなく、予報事項に変更はありません。

- 1) 一般的に、火山性地震のうち、相が不明瞭で、比較的周期が長いものをB型地震と呼んでいます。火道内のガスの移動やマグマの発泡などにより発生すると考えられています。
- 2) 桜島では噴火活動が活発なため、噴火のうち、爆発もしくは噴煙量が中量以上（概ね噴煙の高さが火口縁上 1,000m以上）の噴火の回数を計数しています。資料の噴火回数はこの回数を示します。また、基準に達しない噴火は、ごく小規模な噴火として噴火回数に含めていません。
- 3) 桜島では、火道内の爆発による地震を伴い、爆発音、体に感じる空気の振動、噴石の火口外への飛散、または、气象台や島内の観測点で一定基準以上の空気の振動のいずれかを観測した場合に爆発としています。

## ○ 沖縄地方の火山活動

### 管内月間火山概況（令和5年12月）

気象庁地震火山部  
火山監視・警報センター  
沖縄気象台地震火山課

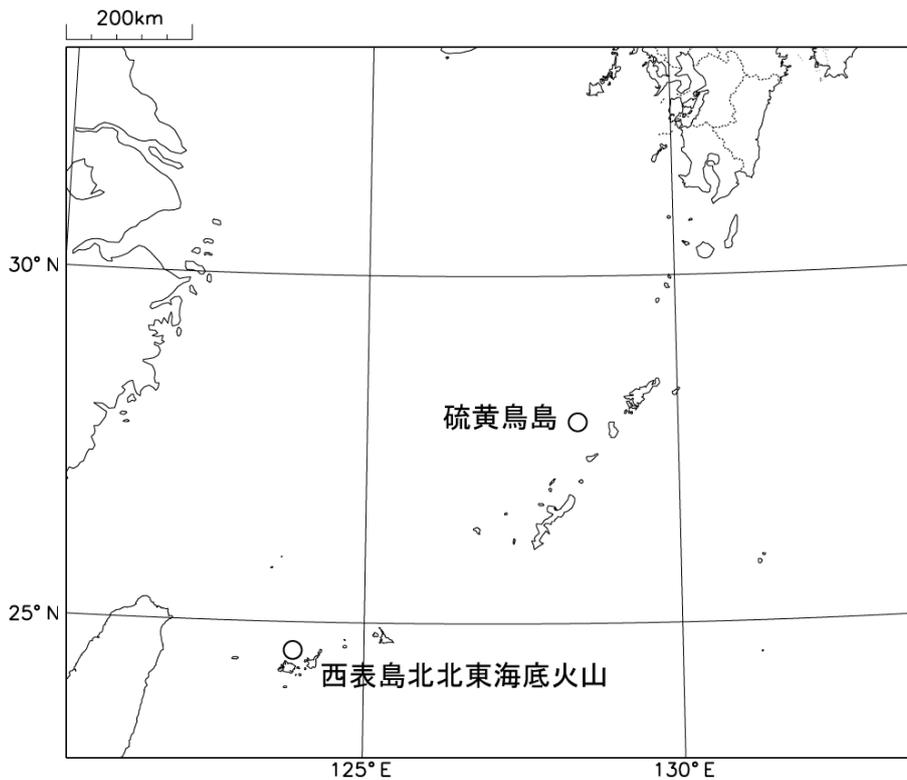
#### 噴火警報及び噴火予報の発表状況と活動状況

##### 硫黄鳥島〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

##### 西表島北北東海底火山〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。



この管内月間火山概況は気象庁ホームページでも閲覧することができます。

[https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly\\_v-act\\_doc/monthly\\_vact.php](https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php)

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/kaietsu/kazanyougo/mokuji.html>

資料の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています。

表 令和5年12月の火山現象に関する特別警報、警報、予報及び情報の発表履歴

火山名	特別警報、警報及び予報の状況	発表した火山現象に関する特別警報・警報・予報・情報等		概要
桜島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル3、 入山規制)	解説情報 第121～129号	1日、4日、8日、11日、15日、18日、22日、25日、29日 16時00分	噴火活動が継続。南岳山頂火口の爆発、噴火、噴煙、大きな噴石飛散、火映の状況。昭和火口では噴火及び火映は観測されていない。 現地調査による火山ガス（二酸化硫黄）放出量は多い状態。 火山性地震、微動の発生状況。 GNSS連続観測では、長期にわたり始良カルデラの地下深部の膨張を示す緩やかな基線の伸びがみられる。始良カルデラ地下のマグマ蓄積の状況。
		降灰予報(速報)	(今期間発表なし)	噴火発生から1時間以内に予想される、降灰量分布や小さな噴石の落下範囲。
		降灰予報(詳細)	(今期間発表なし)	噴火発生から6時間先まで(1時間ごと)に予想される降灰量分布、降灰開始時刻。
口永良部島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル3、 入山規制)	解説情報 第70～78号	1日、4日、8日、11日、15日、18日、22日、25日、29日 16時00分	新岳の噴煙の状況。火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は、やや多い状態。古岳の噴煙は観測されず。 古岳付近の浅いところで火山性地震が概ね多い状態。新岳付近の火山性地震は概ね少ない状態。GNSS連続観測では、6月下旬頃から古岳付近の膨張を示唆する変動。6～8日の現地調査で特段の変化はみられない。
浅間山	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、 火口周辺規制)	解説情報 第87～95号	1日、4日、8日、11日、15日、18日、22日、25日、29日 16時00分	火山性地震は、7月下旬以降、概ね少ない状態で経過。8日の上空からの観測の状況。山体の西側での膨張を示すと考えられる地殻変動は、11月頃から停滞。火山ガス（二酸化硫黄）放出量は11月下旬以降、500トン/日前後で推移。
薩摩硫黄島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、 火口周辺規制)	解説情報 第45～48号	4日、11日、18日、25日 16時00分	火山性地震が増加しやや多い状態。火山性微動はなし。噴煙、火映、地殻変動等の火山活動の状況。
諏訪之瀬島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、 火口周辺規制)	解説情報 第75～78号	4日、11日、18日、25日 16時00分	噴火活動が継続。爆発はなし。大きな噴石の飛散、噴煙、火映の状況。集落での降灰の状況。火山性地震、微動の発生状況。 GNSSでは、島の西側深部におけるマグマの蓄積量の増加を示す変動は認められない。
		降灰予報(速報)	(今期間発表なし)	噴火発生から1時間以内に予想される、降灰量分布や小さな噴石の落下範囲。
		降灰予報(詳細)	(今期間発表なし)	噴火発生から6時間先まで(1時間ごと)に予想される降灰量分布、降灰開始時刻。
霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、 火口周辺規制)	解説情報 第31号	4日 16時00分	GNSSの硫黄山近傍の一部の基線の、山体浅部の膨張を示すと考えられるわずかな伸びは、10月頃から鈍化。 硫黄山の南側の噴気地帯では活発な噴気活動が継続。西側500m付近では、弱い噴気を観測。
		噴火予報	6日 11時00分	GNSS基線の山体浅部の膨張を示すと考えられるわずかな伸びは、11月頃から停滞。 火山性微動は7月8日以降発生なし。火山性地震は少ない状態。 硫黄山火口周辺影響を及ぼす噴火の可能性は低くなったと考えられる。
		解説情報 第32号	6日 11時10分	GNSSの硫黄山近傍の一部の基線の、山体浅部の膨張を示すと考えられるわずかな伸びは、11月頃から停滞。 硫黄山火口付近の火山性微動は、7月8日以降発生なし。硫黄山付近の浅いところでの火山性地震は少ない状態。 硫黄山の南側の噴気地帯及び西側500m付近の噴気や地熱域の状況に特段の変化は認められない。

令和5年12月 地震・火山月報（防災編）

火山名	特別警報、警報及び予報の状況	発表した火山現象に関する特別警報・警報・予報・情報等		概要
雌阿寒岳	噴火予報 (噴火警戒レベル1、活火山であることに留意)	解説情報 第6～12号	8日 13時00分 16時30分 9日 11時20分 16時10分 10日、11日、15日 16時00分	8日6時頃から10日にかけてポンマチネシリ火口付近で小さな火山性地震が一時的に増加。その後は徐々に減少し11日以降は少ない。火山性微動の発生はなし。ポンマチネシリ火口の噴気の状態、地殻変動の状況は、特段の変化なし。

注1) 表中、解説情報とは「火山の状況に関する解説情報」のことである。

注2) 浅間山、霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）、桜島、薩摩硫黄島、口永良部島、諏訪之瀬島においては、噴火警報を公表している間、毎日02時から3時間毎に8回降灰予報（定時）を公表している。霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）は6日08時で終了した。

## ● 世界の主な地震

令和5年（2023年）12月に世界で発生したマグニチュード（M）6.0以上または被害を伴った地震の震央分布を図1に示す。また、その震源要素等を表1に示す。

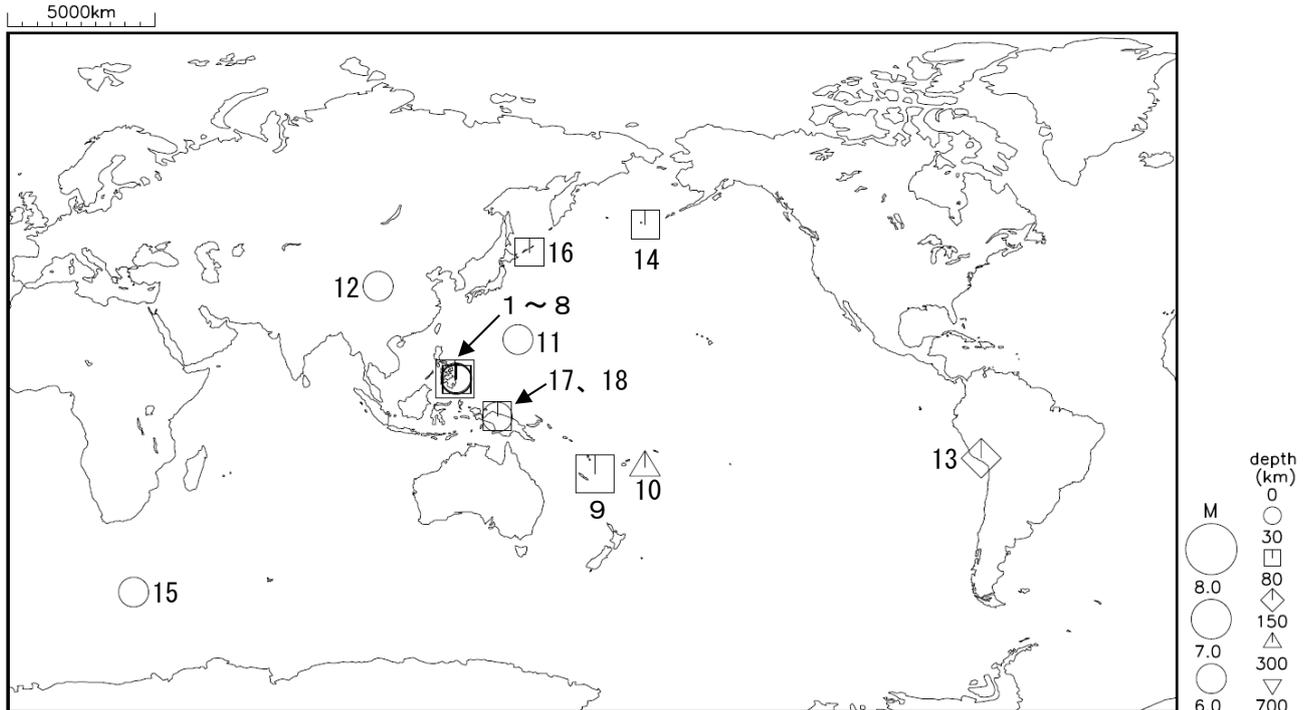


図1 令和5年（2023年）12月に世界で発生したM6.0以上または被害を伴った地震の震央分布

表1 令和5年（2023年）12月に世界で発生したM6.0以上または被害を伴った地震の震源要素等

番号	地震発生時刻	緯度	経度	深さ (km)	mb	Mj	Mw	震央地名	備考 (被害状況など)	北西	遠地
1	12月02日23時37分	N 8° 31.5′	E126° 25.0′	40			(7.5)	フィリピン諸島、ミンダナオ	死者3人など 津波観測0.4m（八丈島八重根）など	○	○
2	12月03日01時03分	N 8° 26.0′	E126° 45.1′	35			6.4	フィリピン諸島、ミンダナオ			
3	12月03日02時40分	N 8° 22.5′	E126° 44.7′	51			6.1	フィリピン諸島、ミンダナオ			
4	12月03日03時09分	N 8° 26.8′	E126° 57.6′	51			6.2	フィリピン諸島、ミンダナオ			
5	12月03日05時52分	N 8° 26.8′	E126° 46.6′	9			6.0	フィリピン諸島、ミンダナオ			
6	12月03日19時35分	N 8° 29.5′	E126° 44.8′	13			6.6 <sub>G</sub>	フィリピン諸島、ミンダナオ		○	○
7	12月03日23時35分	N 8° 43.5′	E126° 52.2′	27			6.0	フィリピン諸島、ミンダナオ			
8	12月04日04時49分	N 8° 57.2′	E126° 37.1′	29			6.8 <sub>G</sub>	フィリピン諸島、ミンダナオ		○	○
9	12月07日21時56分	S20° 35.7′	E169° 17.3′	54			7.1	バヌアツ諸島	津波観測0.08m（ラナケル）など		○
10	12月11日15時33分	S18° 40.5′	W175° 28.9′	238			6.1	トンガ諸島			
11	12月16日18時50分	N20° 31.9′	E145° 38.5′	ごく浅い		6.3	(5.7)	マリアナ諸島			
12	12月19日00時59分	N35° 44.3′	E102° 48.2′	10			(6.1)	中国、チンハイ省	死者151人など		
13	12月20日21時11分	S15° 52.2′	W 72° 31.1′	97			6.2	ペルー南部			
14	12月21日23時55分	N51° 19.5′	W175° 21.3′	30			6.1	アリューシャン列島アンドリアノフ諸島			
15	12月23日02時36分	S52° 05.1′	E 27° 56.3′	10			6.1	アフリカ南方			
16	12月28日18時15分	N44° 36.1′	E149° 09.2′	40*		6.6	(6.5)	択捉島南東沖			
17	12月31日02時16分	S 3° 12.3′	E139° 17.3′	10			6.5	インドネシア、イリアンジャヤ		○	
18	12月31日02時16分	S 2° 57.2′	E139° 21.1′	33			6.3	インドネシア、イリアンジャヤ北岸			

- 震源要素は米国地質調査所(USGS)ホームページの” Search Earthquake Catalog” (<https://earthquake.usgs.gov/earthquakes/search/>) による (2024年1月10日現在)。ただし、日本付近で発生した地震の震源要素、Mjの欄に記載したマグニチュード、Mwの欄に括弧を付して記載したモーメントマグニチュードは気象庁による。Mwの欄に下付きで「G」を付して記載したモーメントマグニチュードは、Global CMTによる。
- 被害状況は、出典のないものはOCHA (UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs: 国連人道問題調整事務所、2024年1月10日現在)、国内は総務省消防庁による。
- 地震発生時刻は日本時間 [日本時間=協定世界時+9時間] である。
- 「北西」欄の○印は、気象庁が北西太平洋域に提供している北西太平洋津波情報 (NWPTA) (※) を発表したことを表す。  
※気象庁ホームページの「国際的な津波監視体制」 (<https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/joho/nwpta.html>) 参照。
- 「遠地」欄の○印は、気象庁が「遠地震に関する情報」を発表したことを表す。
- 海外の津波の観測値は、米国海洋大気庁(NOAA; National Oceanic and Atmospheric Administration)による (2023年1月10日現在)。

## ● 世界の主な火山活動

令和5年（2023年）12月に顕著な被害を伴った噴火が報告された主な火山（日本を除く）\*は以下のとおり。

### マラピ（Marapi） インドネシア 標高2885m

12月3日に爆発的な噴火が発生し、噴煙の高さは約15,000mに達した。火口から13kmの範囲で降灰があった。その時点の登山者75名のうち23名が死亡し、生存者もほとんどが火傷を負った。

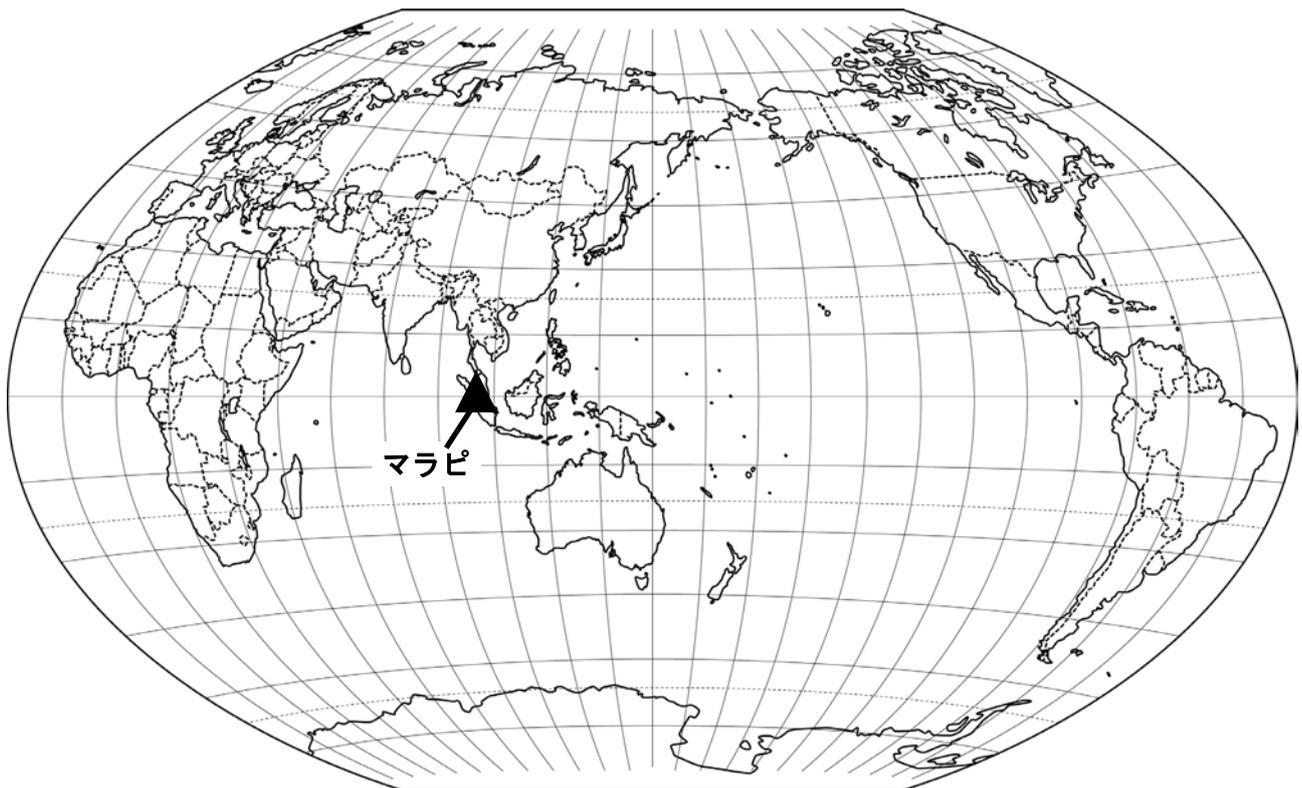


図 令和5年（2023年）12月に顕著な被害を伴った噴火が発生した主な火山（日本を除く）\*

\* 米国スミソニアン自然史博物館のホームページ“Global Volcanism Program | Smithsonian / USGS Weekly Volcanic Activity Report” ([https://volcano.si.edu/reports\\_weekly.cfm](https://volcano.si.edu/reports_weekly.cfm))、ダーウィン航空路火山灰情報センター“Darwin Volcanic Ash Advisory Centre”による。日付は全て現地時間。

## ●特集1 2023年12月2日 フィリピン諸島、ミンダナオの地震

### （1）概要<sup>（注1）</sup>

2023年12月2日23時37分（日本時間、以下同じ）にフィリピン諸島、ミンダナオの深さ40kmでMw7.5の地震（Mwは気象庁によるモーメントマグニチュード）が発生した。この地震の発震機構（気象庁によるCMT解）は東西方向に圧力軸を持つ逆断層型で、フィリピン海プレートとユーラシアプレートの境界で発生した。

気象庁はこの地震に伴い、2日23時56分に千葉県から鹿児島県にかけての太平洋沿岸、伊豆諸島、小笠原諸島及び宮古島・八重山諸島に、3日03時19分に奄美群島・トカラ列島に津波注意報を発表した（3日09時00分に解除）。この地震により、伊豆諸島の八丈島八重根で0.4mなど、宮城県から鹿児島県にかけての太平洋沿岸、沖縄県、伊豆諸島及び小笠原諸島で津波を観測した。また、海外においても、フィリピンのマウエス島で0.32mなどの津波を観測した。

また、この地震により、フィリピンで死者3人、負傷者86人などの被害が生じた（2023年12月11日現在）。

今回の地震の震源付近（図2-2の領域b）では、この地震の発生後に地震活動が活発になり、3日19時35分にはMw6.6の地震、4日04時49分にはMw6.8の地震が発生した（ともにMwはGlobal CMTによる）。気象庁はこれらの地震に対して、それぞれ3日19時58分及び4日05時15分に遠地地震に関する情報（日本沿岸で若干の海面変動あり）を発表した。

12月2日のフィリピン諸島、ミンダナオの地震に伴い発表した津波注意報を図1に、12月2日から4日にかけて気象庁が発表した主な情報及び報道発表を表1に示す。

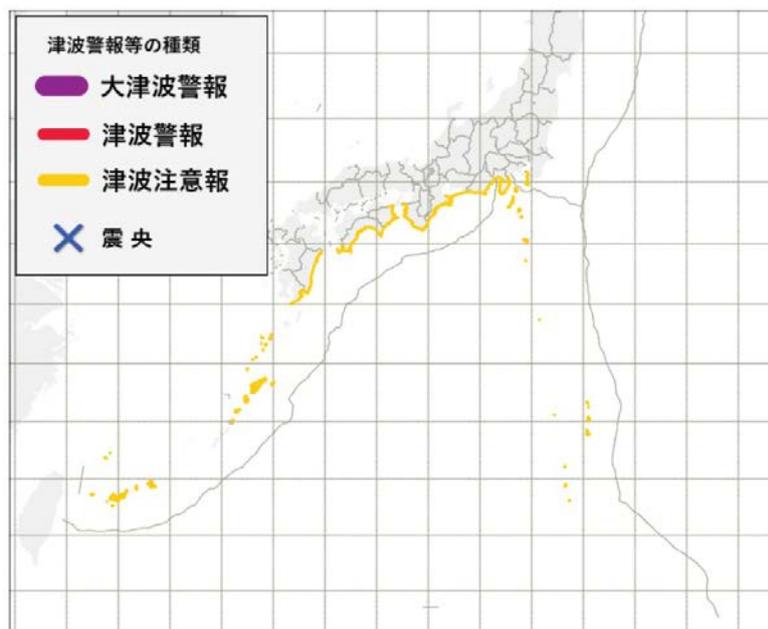


図1 12月2日のフィリピン諸島、ミンダナオの地震に対して発表した津波注意報

<sup>（注1）</sup> 震源要素は、米国地質調査所 (USGS) による (2024年1月9日現在)。ただし、発震機構及びMwは、今回の地震は気象庁、その他の地震はGlobal CMTによる。海外の津波の高さは米国海洋大気庁 (NOAA) による (2024年1月9日現在)。地震の被害は、OCHA (UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs: 国連人道問題調整事務所、2023年12月11日現在) による。

令和5年12月 地震・火山月報（防災編）

表1 気象庁が発表した主な情報及び報道発表（2023年12月2日～4日）

月 日	時刻	情報発表、報道発表等の状況	備考（主な内容等）
12月2日	23時37分	地震発生	フィリピン諸島、ミンダナオ、Mw7.5
	23時56分	津波注意報	千葉県内房、伊豆諸島、小笠原諸島、静岡県、愛知県外海、三重県南部、和歌山県、徳島県、高知県、宮崎県、鹿児島県東部、宮古島・八重山地方に津波注意報を発表
		津波予報（若干の海面変動）	
		津波情報（各地の満潮時刻・津波到達予想時刻に関する情報）	
	23時58分	地震情報（遠地地震に関する情報）	地震の概要
12月3日	00時15分	地震情報（遠地地震に関する情報）	太平洋で津波発生の可能性あり
	02時00分	報道発表	令和5年12月2日23時37分頃のフィリピン付近の地震について
	02時03分	地震情報（遠地地震に関する情報）	海外での津波の観測状況
	03時19分	津波注意報の切り替え	奄美群島・トカラ列島に津波注意報を発表
		津波予報（若干の海面変動）	
	03時20分	津波情報（各地の満潮時刻・津波到達予想時刻に関する情報）	
	03時22分	津波情報（津波観測に関する情報）	[3日03時20分現在の値]
	03時52分	津波情報（津波観測に関する情報）	[3日03時50分現在の値]
	04時13分	津波情報（津波観測に関する情報）	[3日04時11分現在の値]
	04時30分	報道発表	令和5年12月2日23時37分頃のフィリピン付近の地震について（第2報）
	04時36分	津波情報（津波観測に関する情報）	[3日04時32分現在の値]
	05時17分	津波情報（津波観測に関する情報）	[3日05時14分現在の値]
	05時40分	津波情報（津波観測に関する情報）	[3日05時39分現在の値]
	05時53分	津波情報（津波観測に関する情報）	[3日05時51分現在の値]
	07時00分	津波注意報の一部解除	宮古島・八重山地方の津波注意報を解除
		津波情報（各地の満潮時刻・津波到達予想時刻に関する情報）	
	07時30分	報道発表	令和5年12月2日23時37分頃のフィリピン付近の地震について（第3報）
	09時00分	津波注意報の解除	
	09時01分	津波情報（津波観測に関する情報）	[3日08時59分現在の値]
	09時20分	報道発表	令和5年12月2日23時37分頃のフィリピン付近の地震について（第4報）
19時35分	地震発生	フィリピン諸島、ミンダナオ、Mw6.6	
19時58分	地震情報（遠地地震に関する情報）	地震の概要、日本沿岸で若干の海面変動あり	
20時08分	津波予報（若干の海面変動）		
12月4日	04時49分	地震発生	フィリピン諸島、ミンダナオ、Mw6.8
	05時15分	地震情報（遠地地震に関する情報）	地震の概要、日本沿岸で若干の海面変動あり
	05時25分	津波予報（若干の海面変動）	

（2）地震活動

ア. 最近の地震活動（注2）

2023年12月2日23時37分（日本時間、以下同じ）にフィリピン諸島、ミンダナオの深さ40kmでMw7.5の地震（Mwは気象庁によるモーメントマグニチュード）が発生した。この地震の発震機構（気象庁によるCMT解）は東西方向に圧力軸を持つ逆断層型で、フィリピン海プレートとユーラシアプレートの境界で発生した。また、今回の地震の震央付近（図2-4の領域c）では、この地震の発生後に地震活動が活発になり、3日19時35分にはMw6.6の地震、4日04時49分にはMw6.8の地震が発生した（ともにMwはGlobal CMTによる）。

1980年以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（図2-2の領域b）ではM7.0以上の地震が時々発生している。2012年8月31日にはMw7.6の地震が発生し、この地震により、日本国内では、八丈島八重根で0.5mなど、宮城県から九州地方にかけての太平洋沿岸、沖縄県、伊豆諸島及び小笠原諸島で、海外ではフィリピンのダバオで0.09mなどの津波を観測した。

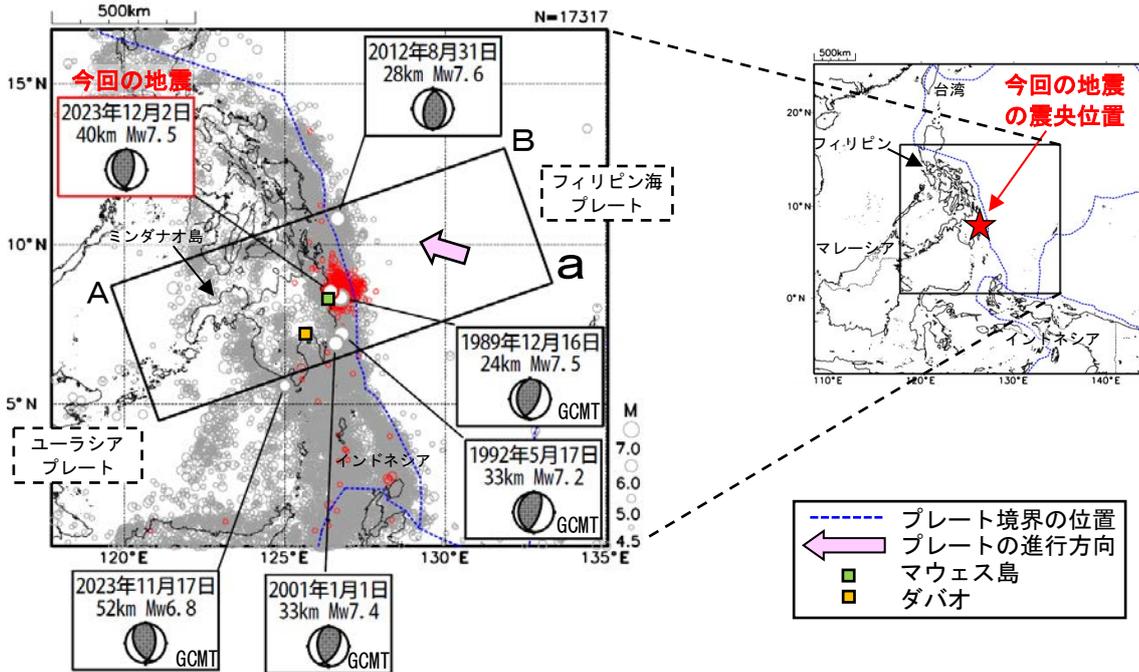


図2-1 震央分布図（1980年1月1日～2023年12月31日、深さ0～700km、M≥4.5）  
2023年12月の地震を赤色で表示

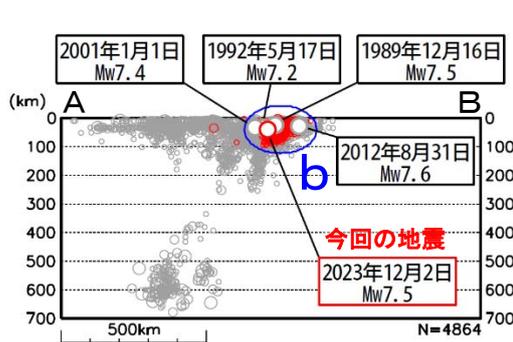


図2-2 図2-1の領域a内の断面図（A-B投影）

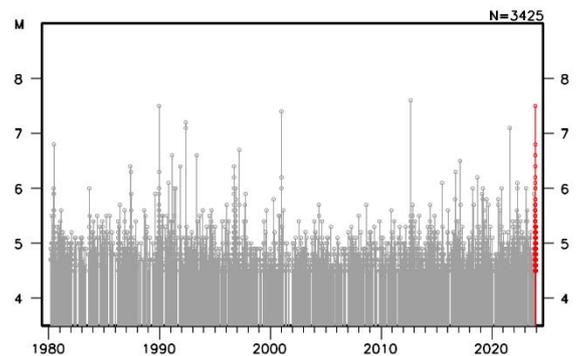


図2-3 図2-2の領域b内のM-T図

（注2）震源要素は、米国地質調査所（USGS）による（2024年1月9日現在）。ただし、吹き出しを付けた地震の発震機構及びMwは、今回の地震及び2012年8月21日の地震は気象庁、その他の地震はGlobal CMTによる。海外の津波の高さは米国海洋大気庁（NOAA）による（2024年1月9日現在）。プレート境界の位置はBird(2003)\*1より引用。

\*1 参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.

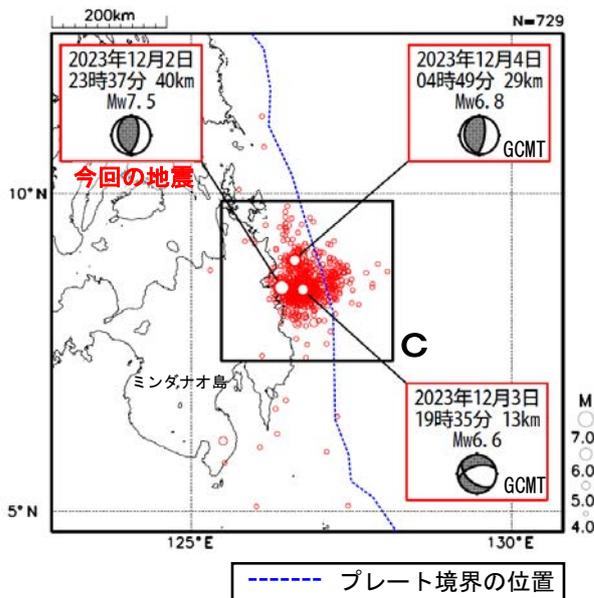


図2-4 震央分布図（2023年12月1日～31日、深さ0～150km、 $M \geq 4.0$ ）  
2023年12月の地震を赤色で表示

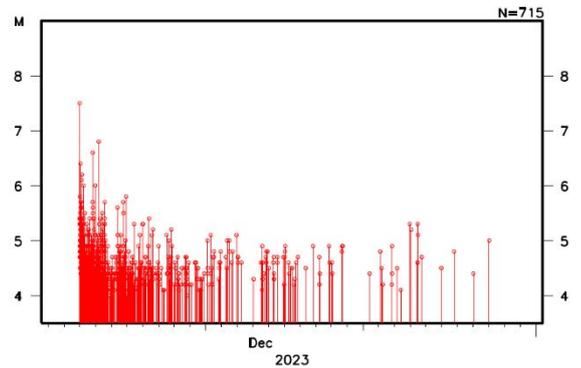


図2-5 図2-4の領域c内のM-T図

イ. 発震機構（注3）

今回の地震の震央周辺（領域d）の発震機構の分布をみると、概ね東西方向に圧力軸を持つ逆断層型の地震が多く発生している（図2-6）。今回の地震の発震機構は、これまでの地震の傾向と調和的である。

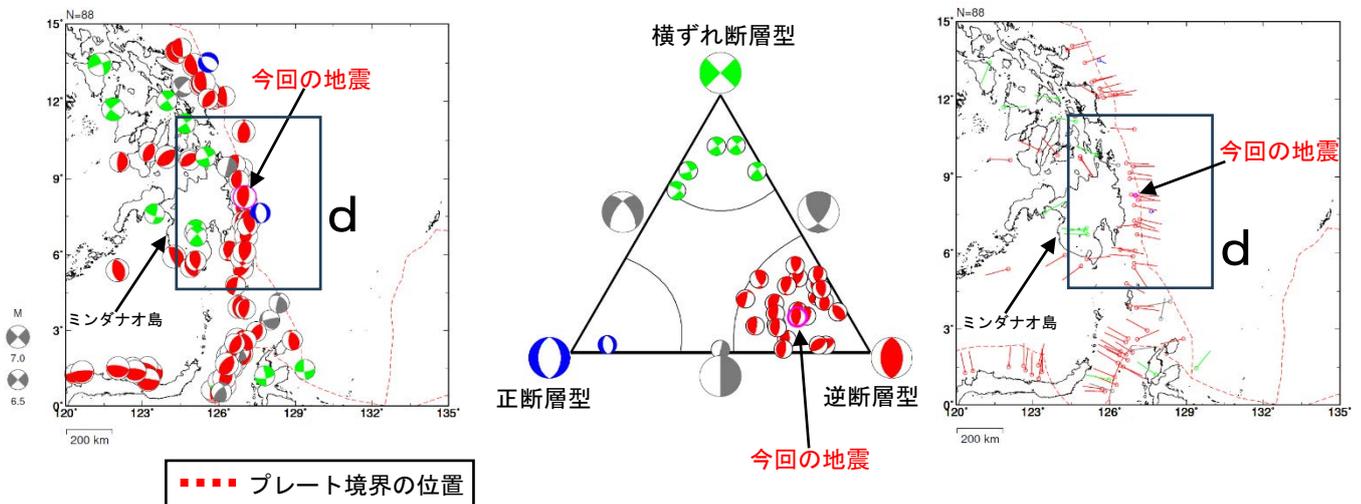


図2-6 発震機構分布図（左）、領域b内の発震機構の型の分布（中）及び発震機構の圧力軸の向きの分布（右）  
（1980年1月1日～2023年12月31日、深さ0～100km）

正断層型の地震を青色、逆断層型の地震を赤色、横ずれ断層型の地震を緑色で表示（Frohlich（2001）による分類）。

（注3）震源要素及び発震機構は、今回の地震は気象庁、その他の地震はGlobal CMTによる。震源の位置はセントロイドの位置。プレート境界の位置はBird（2003）\*1より引用。

\*1 参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.

ウ. 過去に発生した主な地震（注4）

1904年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域e）では、M7.0以上の地震がしばしば発生している。1976年8月17日にはM8.0の地震が発生し、死者8,000人などの被害が生じた。

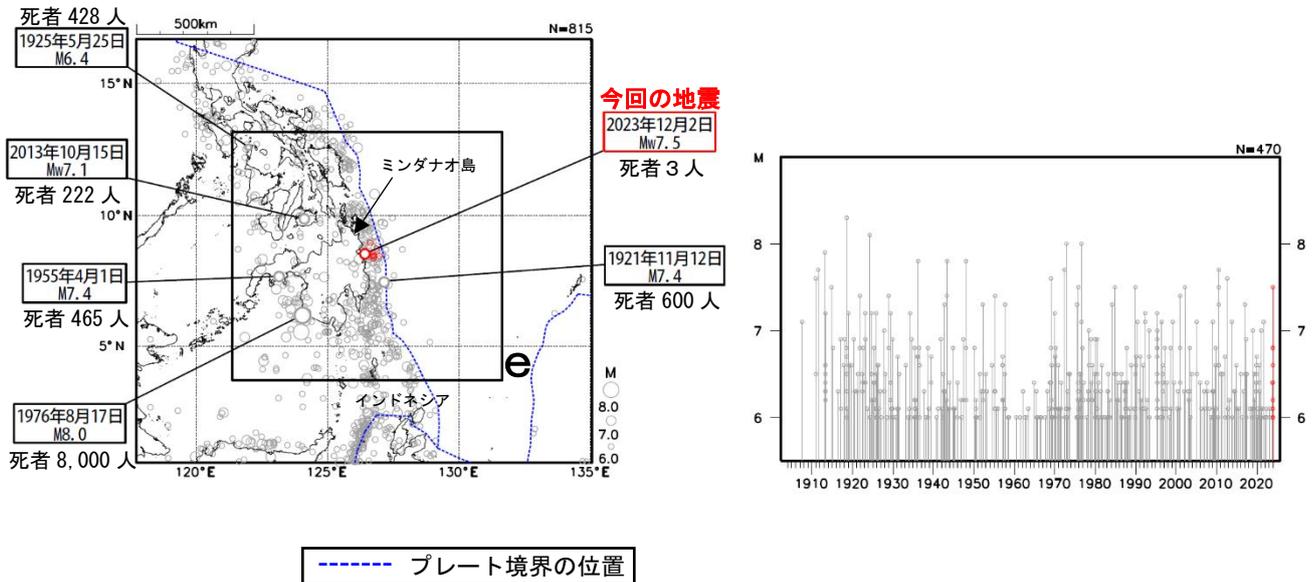


図2-7 震央分布図（1904年1月1日～2023年12月31日、深さ0～700km、M≥6.0）  
2023年12月の地震を赤色で表示  
領域e内で死者100人以上の地震に吹き出しを付加

図2-8 図2-7の領域e内のM-T図

（注4）震源要素は、2019年まではISC-GEM Global Instrumental Earthquake Catalogue Version 10（1904-2019）、2020年以降は米国地質調査所（USGS）による（2024年1月9日現在）。ただし、吹き出しのある地震のMwは、今回の地震及び2013年10月15日の地震は気象庁による。被害は、今回の地震はOCHA（UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs：国連人道問題調整事務所、2023年12月11日現在）、その他の地震は宇津及び国際地震工学センターの「世界の被害地震の表」による。プレート境界の位置はBird（2003）\*1より引用。

\*1参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.

（3）津波

ア．2023年12月02日23時37分 フィリピン諸島、ミンダナオの地震（Mw7.5）

この地震により、伊豆諸島の八丈島八重根で最大0.4mの津波を観測したほか、宮城県から沖縄県にかけて津波を観測した。

表3-1 津波観測値

都道府県	観測点名	所属	第一波	最大波	
			到達時刻	発現時刻	高さ (cm)
宮城県	石巻市鮎川	気象庁	03日 -:-	03日 08:27	6
千葉県	館山市布良	気象庁	03日 04:-	03日 06:10	12
東京都	伊豆大島岡田	気象庁	03日 04:-	03日 05:05	7
	三宅島坪田	気象庁	03日 04:-	03日 09:16	11
	神津島神津島港	海上保安庁	03日 03:-	03日 06:29	17
	三宅島阿古	海上保安庁	03日 03:-	03日 04:59	14
	八丈島神湊	海上保安庁	03日 03:53	03日 04:19	19
	八丈島八重根*1	気象庁	03日 03:-	03日 04:27	0.4m
	父島二見	気象庁	03日 03:-	03日 04:06	9
神奈川県	三浦市油壺	国土地理院	03日 04:57	03日 07:00	9
	小田原	気象庁	03日 04:-	03日 06:15	3
	三浦市三崎漁港*1	気象庁	03日 04:39	03日 06:41	0.1m
静岡県	南伊豆町手石港	気象庁	03日 03:-	03日 06:03	16
	沼津市内浦	気象庁	03日 04:-	03日 08:21	6
	御前崎	気象庁	03日 04:08	03日 05:44	8
	舞阪	気象庁	03日 03:55	03日 05:44	3
	下田港	港湾局	03日 04:-	03日 05:40	7
	西伊豆町田子	国土地理院	03日 03:-	03日 06:15	8
	焼津	国土地理院	03日 03:52	03日 06:14	9
愛知県	田原市赤羽根	気象庁	03日 03:56	03日 10:21	9
三重県	鳥羽	気象庁	03日 04:-	03日 06:00	5
	尾鷲	気象庁	03日 03:40	03日 04:39	8
	熊野市遊木	気象庁	03日 03:31	03日 04:55	8
大阪府	岬町淡輪	気象庁	03日 03:24	03日 06:44	4
和歌山県	那智勝浦町浦神	気象庁	03日 03:31	03日 03:37	6
	串本町袋港	気象庁	03日 03:-	03日 04:08	17
	御坊市祓井戸	気象庁	03日 03:59	03日 04:16	15
徳島県	小松島	気象庁	03日 -:-	03日 08:34	7
	徳島由岐	気象庁	03日 03:41	03日 05:36	12
高知県	室戸市室戸岬	気象庁	03日 03:34	03日 03:42	10
	土佐清水	気象庁	03日 03:31	03日 03:53	16
	中土佐町久礼港	国土地理院	03日 03:46	03日 05:29	12
鹿児島県	南大隅町大泊	海上保安庁	03日 03:-	03日 07:22	16

	種子島熊野	気象庁	03日 -:-	03日 04:47	16
	種子島西之表	海上保安庁	03日 03:-	03日 07:20	11
	奄美市小湊	気象庁	03日 02:36	03日 03:12	19
沖縄県	那覇	気象庁	03日 02:20	03日 04:11	8
	南城市安座真	国土地理院	03日 02:-	03日 02:44	5
	南大東漁港	気象庁	03日 02:-	03日 06:53	4
	宮古島平良	港湾局	03日 02:-	03日 03:07	6

- は値が決定できないことを示す。  
 ※観測値は後日の精査により変更される場合がある。  
 ※所属機関の観測波形データをもとに気象庁が検出した値。  
 \*1 は巨大津波観測計により観測されたことを示す（観測単位は0.1m）。

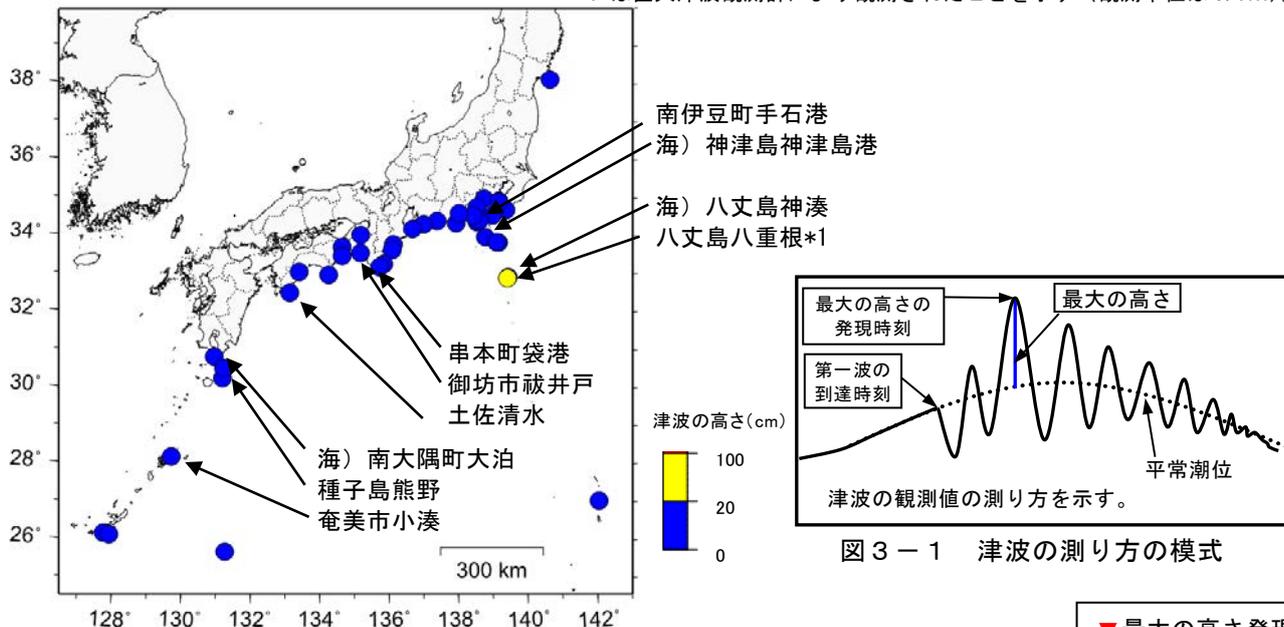


図3-2 津波を観測した地点  
 ※ 海) は海上保安庁の所属であることを表す。

▼ 最大の高さ発現時刻  
 | 初動の発現時刻

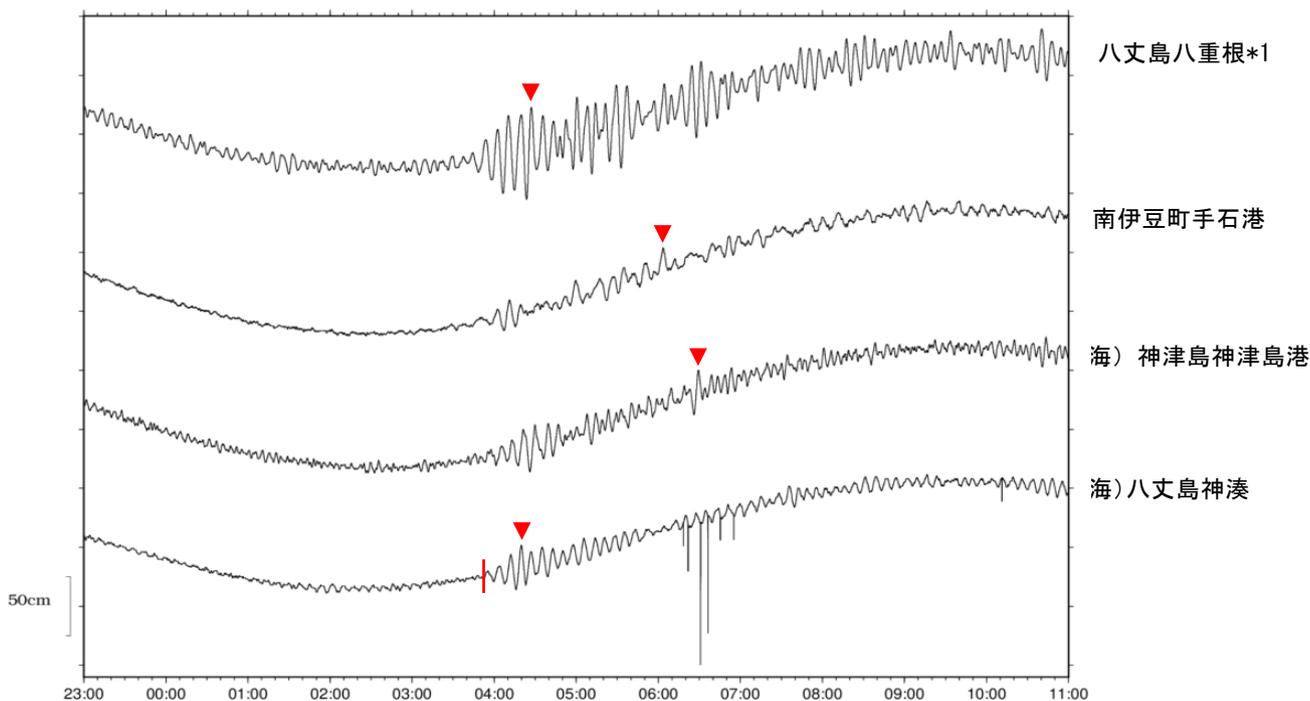


図3-3-1 主な津波波形（2023年12月2日23時から3日11時まで）  
 ※ 海) は海上保安庁の所属であることを表す。

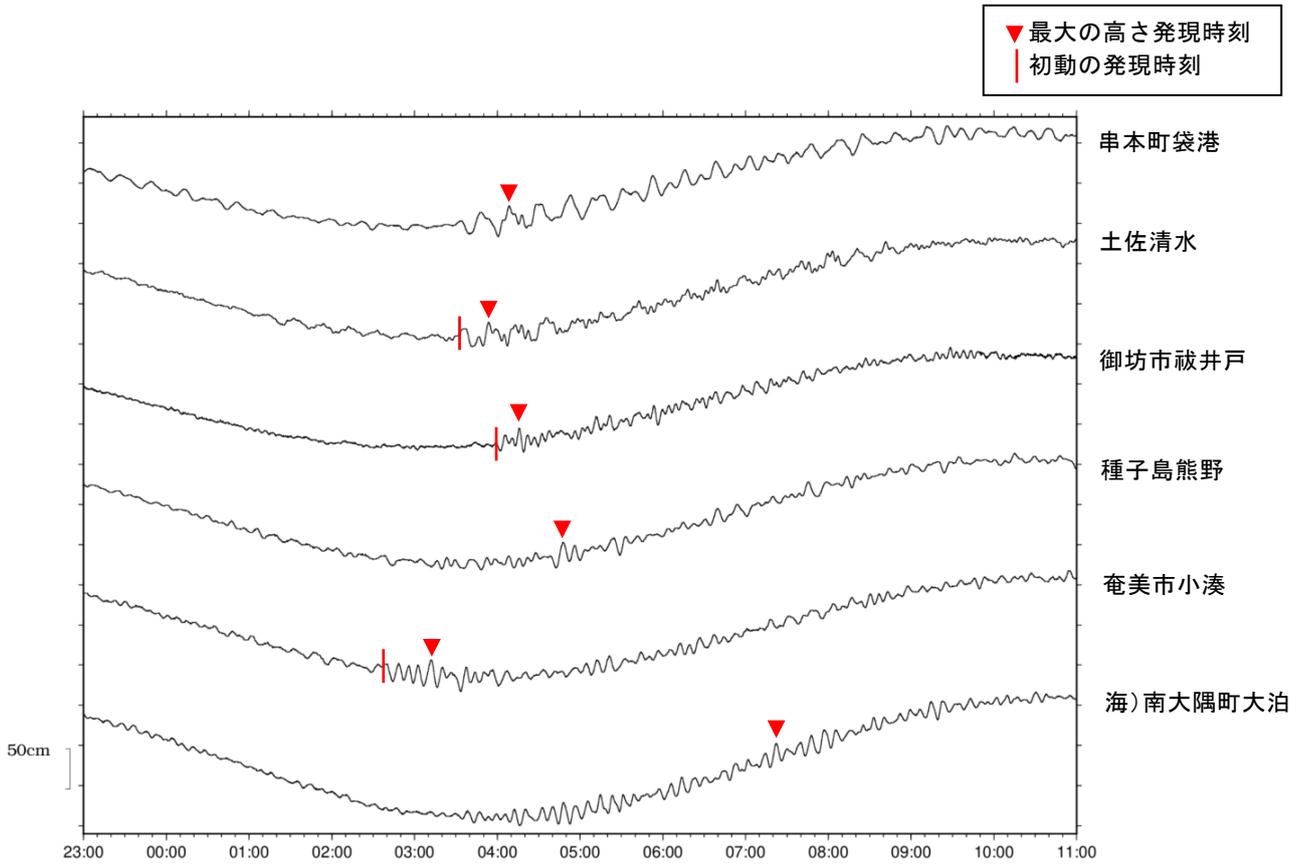


図3-3-2 主な津波波形（2023年12月2日23時から3日11時まで）  
※ 海)は海上保安庁の所属であることを表す。

## ●特集2 2023年12月19日 中国、チンハイ省の地震

### （1）概要及び最近の地震活動（注1）

2023年12月19日00時59分（日本時間、以下同じ）に中国、チンハイ省の深さ10kmでMw6.1の地震（Mwは気象庁によるモーメントマグニチュード）が発生した。この地震は、ユーラシアプレート内で発生した。この地震の発震機構（気象庁によるCMT解）は北東-南西方向に圧力軸を持つ逆断層型である。今回の地震により、死者151人などの被害が生じた（2024年1月8日現在）。

今回の地震の震央周辺は、インド・オーストラリアプレートがユーラシアプレートに衝突している地域で、大きな被害を伴う地震が度々発生している地域である。1980年以降の活動をみると、今回の地震の震央付近（領域a）ではM6.0以上の地震が時々発生している。また、今回の地震の震央から南に約500km離れたところでは、2008年5月12日にはMw7.9の地震（MwはGlobal CMTによる）が発生し、死者69,195人などの被害が生じた。

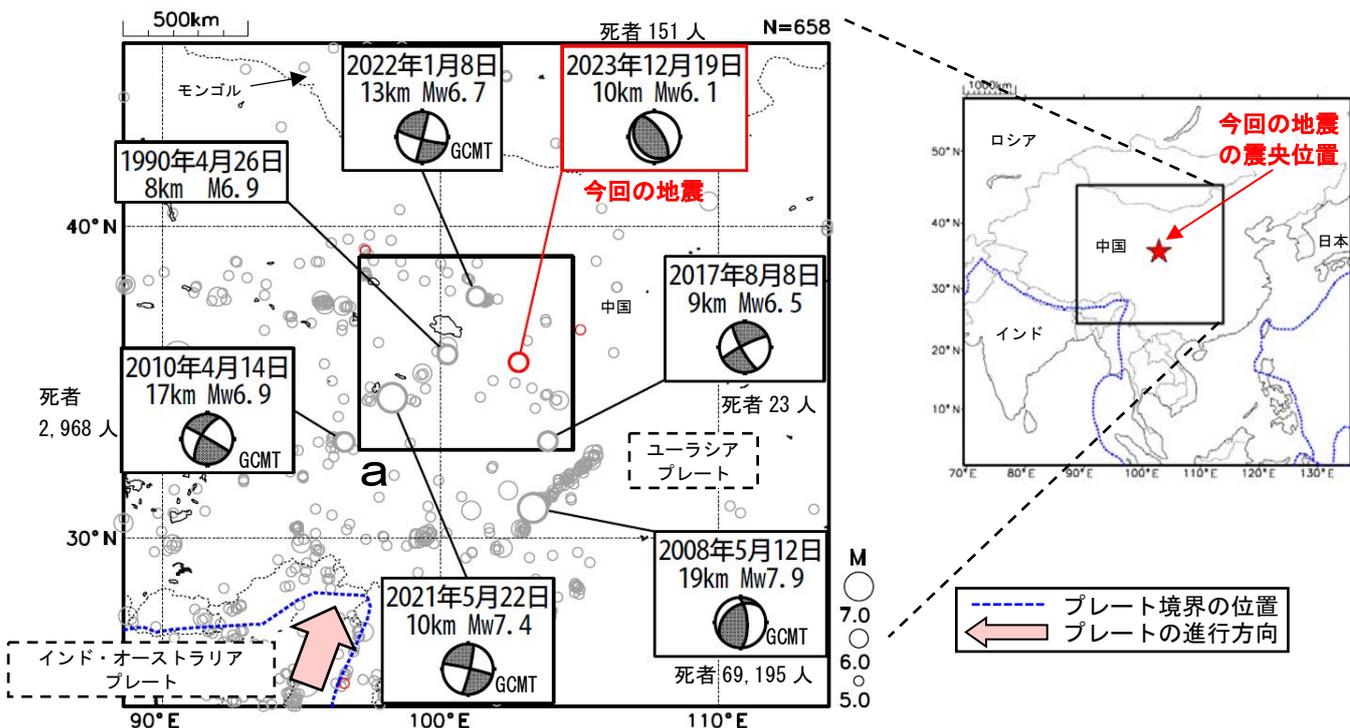


図1-1 震央分布図（1980年1月1日～2023年12月31日、深さ0～100km、M≥5.0）  
2023年12月の地震を赤色で表示

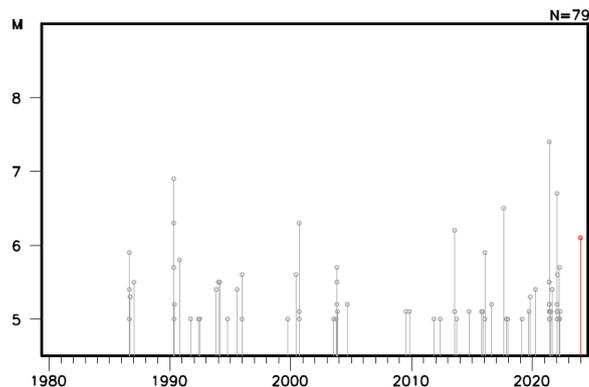


図1-2 図1-1の領域a内のM-T図

（注1）震源要素は、米国地質調査所(USGS)による(2024年1月4日現在)。ただし、吹き出しを付けた地震の発震機構及びMwは、今回の地震は気象庁、その他の地震はGlobal CMTによる。地震の被害は、今回の地震はOCHA(UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs:国連人道問題調整事務所、2024年1月8日現在)、その他の地震は宇津及び国際地震工学センターの「世界の被害地震の表」による。プレート境界の位置はBird(2003)\*1より引用。

\*1参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.

(2) 発震機構 (注2)

今回の地震の震央周辺（領域b）の発震機構の分布をみると、概ね北東-南西方向に圧力軸を持つ逆断層型又は横ずれ断層型の地震が多く発生している（図2）。今回の地震の発震機構（気象庁によるCMT解）は、北東-南西方向に圧力軸を持つ逆断層型であり、これまでの地震の傾向と調和的である。

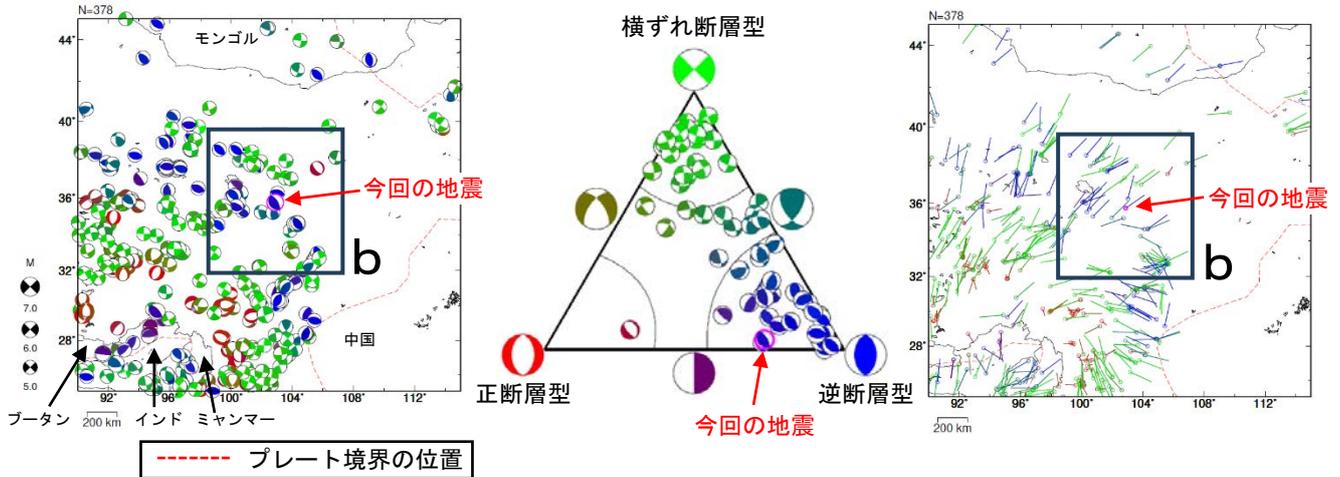


図2 発震機構分布図（左）、領域b内の発震機構の型の分布（中）及び発震機構の圧力軸の向きの分布（右）  
 （1980年1月1日～2023年12月31日、深さ0～100km、M≥5.0）  
 逆断層型の地震を青色、正断層型の地震を赤色、横ずれ断層型の地震を緑色で表示（Frohlich（2001）による分類）。

(3) 過去に発生した主な地震 (注3)

1904年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域c）では、M7.0以上の地震が時々発生しており、大きな被害を伴っている。1920年12月16日にはM7.9の地震が発生し、死者235,502人などの被害が生じた。今回の地震の震央から南に約500km離れたところでは、2008年5月12日にMw7.9の地震が発生し、死者69,195人などの被害が生じた。

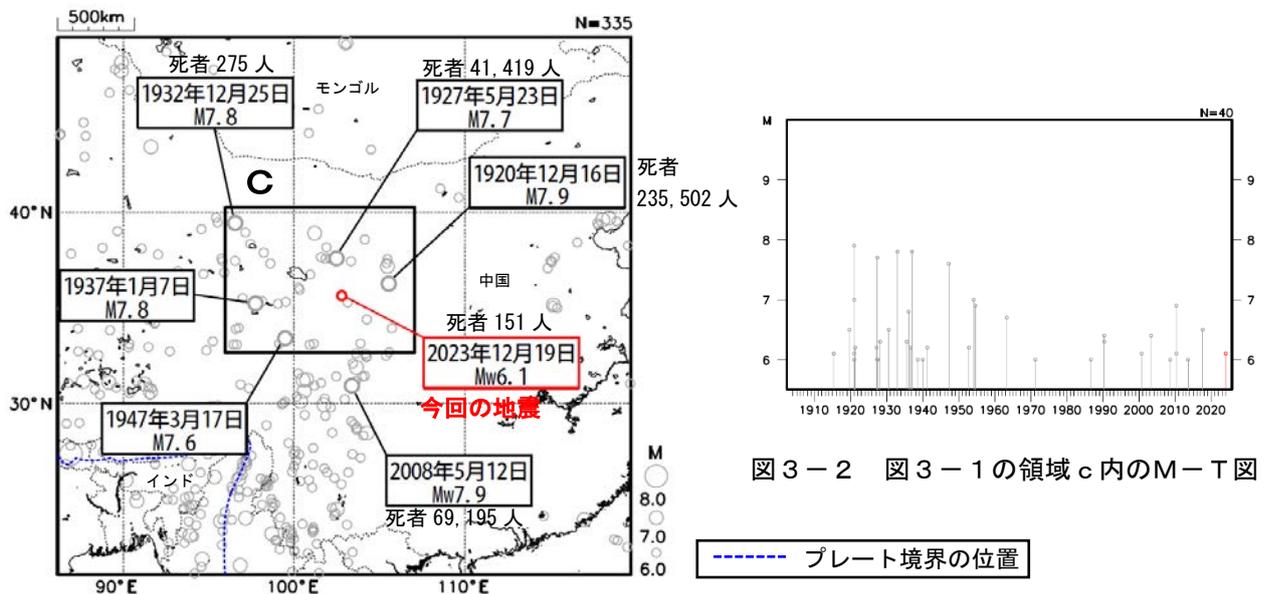


図3-1 震央分布図（1904年1月1日～2023年12月31日、深さ0～100km、M≥6.0）  
 2023年12月の地震を赤色で表示  
 領域c内のM7.5以上の地震、2008年5月12日の地震及び今回の地震に吹き出しを付加

(注2) 震源要素及び発震機構は、今回の地震は気象庁、その他の地震はGlobal CMTによる。震源の位置はセントロイドの位置。プレート境界の位置はBird（2003）\*1より引用。

(注3) 震源要素は、2019年まではISC-GEM Global Instrumental Earthquake Catalogue Version 10（1904-2019）、2020年以降は米国地質調査所（USGS）による（2024年1月4日現在）。ただし、吹き出しのある地震のMwは、2008年5月12日はGlobal CMT、2015年4月25日の地震及び今回の地震は気象庁による。被害は、今回の地震はOCHA（UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs：国連人道問題調整事務所、2024年1月8日現在）、その他の地震は宇津及び国際地震工学センターの「世界の被害地震の表」による。プレート境界の位置はBird（2003）\*1より引用。

\*1 参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.

## ● 付録1. 震度1以上を観測した地震の表

令和5年12月中に震度1以上を観測した地震は150回であった。

※ 震度データは、震度データベース検索 [気象庁ホームページ: <https://www.data.jma.go.jp/eqdb/data/shindo/index.php>] で確認できる。震源要素及び震度は再調査後、修正することがある。確定した震源要素は地震月報（カタログ編）[気象庁ホームページ: <https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/bulletin/index.html>] に掲載する。

※ 震度データは都道府県別に掲載し、各観測点の末尾に計測震度（平成25年12月地震・火山月報（防災編）の付録2参照）を記す。なお、\*のついてる地点は、地方公共団体もしくは国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点、（注）を付した地震については、近接した地域でほぼ同時刻に発生した地震であるため震度の分離ができないことを示す。震源の深さの後に「D」を付した地震は、その深さに仮定して震源決定していることを示す。また、本文中で震源の深さに CMT 解による深さを採用している場合があり、本表の震源決定による深さと異なる場合がある。震度3以上を観測した地震については、震源要素を太字で表示する。

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度（計測震度）	緯度	経度	深さ	規模
1	1 03 23	十勝地方南部 北海道 1 更別村更別*0.5	42° 20.4' N	143° 06.4' E	50km	M: 3.3
2	1 11 14	茨城県南部 茨城県 2 筑西市舟生=1.6 坂東市馬立*1.6 結城市中央町*1.5 笠間市石井*1.5 笠間市笠間*1.5 桜川市岩瀬*1.5 茨城古河市下大野*1.5 1 坂東市役所*1.4 笠間市下郷*1.2 筑西市門井*1.2 境町旭町*1.2 坂東市山*1.2 筑西市海老ヶ島*1.1 筑西市二本成*1.1 桜川市真壁*1.1 常総市新石下*1.1 常陸大宮市北町*1.1 土浦市藤沢*1.1 八千代町菅谷*1.0 桜川市羽田*1.0 城里町徳蔵*1.0 坂東市岩井*1.0 土浦市常名=1.0 笠間市中央*1.0 茨城古河市仁連*1.0 石岡市柿岡=1.0 下妻市本城町（旧）*1.0 城里町石塚*0.9 下妻市鬼怒*0.9 水戸市内原町*0.8 五霞町小福田*0.8 小美玉市堅倉*0.7 取手市寺田*0.7 つくば市小茎*0.7 城里町阿波山*0.7 大子町池田*0.7 石岡市岩宮*0.6 守谷市大柏*0.6 かすみがうら市上土田*0.6 石岡市石岡*0.5 水戸市金町=0.5 稲敷市江戸崎甲*0.5 常総市水海道諏訪町*0.5 つくばみらい市福田*0.5 日立市助川小学校*0.5 水戸市千波町*0.5 つくば市天王台*0.5 かすみがうら市大和田*0.5 つくば市研究学園*0.5 栃木県 2 下野市笹原*2.4 壬生町壬生甲*2.2 下野市田中*2.2 宇都宮市明保野町=2.0 栃木市岩舟町静*1.8 佐野市中町*1.8 佐野市高砂町*1.8 栃木市旭町=1.7 佐野市葛生東*1.7 足利市大正町*1.7 益子町益子=1.6 真岡市石島*1.6 鹿沼市晃望台*1.6 栃木市藤岡町藤岡*1.5 1 小山市神鳥谷*1.4 小山市中央町*1.4 宇都宮市旭*1.3 宇都宮市中里町*1.3 佐野市田沼町*1.3 栃木市西方町本城*1.2 野木町丸林*1.2 高根沢町石末*1.2 栃木市大平町富田*1.2 栃木市都賀町家中*1.2 日光市足尾町中才*1.1 栃木市万町*1.0 宇都宮市塙田*1.0 日光市足尾町通洞*0.9 鹿沼市口栗野*0.9 日光市鬼怒川温泉大原*0.9 芳賀町祖母井*0.8 栃木さくら市氏家*0.8 日光市芹沼*0.8 真岡市田町*0.8 上三川町しらさぎ*0.7 茂木町茂木*0.7 日光市藤原守舎*0.7 日光市黒部*0.7 下野市大松山*0.6 鹿沼市今宮町*0.6 日光市瀬川=0.6 真岡市荒町*0.5 日光市湯元*0.5 群馬県 2 板倉町板倉=2.1 桐生市元宿町*1.7 館林市上三林町*1.7 邑楽町中野*1.7 太田市西本町*1.6 千代田町赤岩*1.6 大泉町日の出*1.6 1 桐生市新里町*1.4 伊勢崎市西久保町*1.4 群馬明和町新里*1.4 みどり市大間々町*1.2 沼田市西倉内町=1.1 伊勢崎市東町*1.1 太田市大原町*1.1 渋川市赤城町*1.1 前橋市粕川町*1.0 太田市浜町*1.0 館林市城町*1.0 太田市粕川町*0.9 沼田市下久屋町*0.9 片品村鎌田*0.9 前橋市堀越町*0.9 藤岡市鬼石*0.9 前橋市富士見町*0.9 桐生市錦町=0.9 桐生市黒保根町*0.9 渋川市吹屋*0.8 前橋市鼻毛石町*0.7 高崎市吉井町吉井川*0.7 神流町生利*0.7 みどり市笠懸町*0.7 沼田市白沢町*0.6 みどり市東町*0.6 太田市新田金井町*0.6 前橋市昭和町=0.5 伊勢崎市今泉町*0.5 埼玉県 2 熊谷市江南*2.3 加須市騎西*2.0 加須市大利根*1.7 本庄市児玉町=1.7 東松山市松葉町*1.7 久喜市下早見=1.7 宮代町笠原*1.7 滑川町福田*1.5 越生町越生*1.5 長瀬町野上下郷*1.5 1 埼玉美里町木部*1.4 熊谷市桜町=1.3 行田市南河原*1.3 羽生市東*1.3 鴻巣市川里*1.3 久喜市鷲宮*1.3 ときがわ町桃木*1.3 川口市中青木分室*1.3 春日部市粕壁*1.3 加須市三俣*1.2 東松山市市ノ川*1.2 深谷市川本*1.2 深谷市仲町*1.2 秩父市近戸町*1.2 加須市北川辺*1.1 鴻巣市中央*1.1 久喜市菖蒲*1.1 久喜市栗橋*1.1 嵐山町杉山*1.1 小川町大塚*1.1 行田市本丸*1.1 春日部市金崎*1.1 上尾市本町*1.1 北本市本町*1.1 さいたま見沼区堀崎*1.1 熊谷市宮町*1.0 桶川市泉*1.0 坂戸市千代田*1.0 さいたま北区宮原*1.0 さいたま南区別所*1.0 白岡市千駄野*1.0 埼玉神川町植竹*0.9 深谷市普濟寺*0.9 幸手市東*0.9 久喜市青葉*0.9 さいたま大宮区大門*0.9 伊奈町中央*0.8 さいたま西区指扇*0.8 蓮田市黒浜*0.8 蕨市中央*0.7 熊谷市妻沼*0.7 川島町下八ツ林*0.7 東秩父村御堂*0.7 さいたま中央区下落合*0.7 ときがわ町玉川*0.7 秩父市上町*0.7 皆野町皆野*0.7 長瀬町本野上*0.7 春日部市谷原新田*0.6 戸田市上戸田*0.6 鳩山町大豆戸*0.6 鴻巣市吹上富士見*0.6 深谷市花園*0.6 毛呂山町中央*0.6 熊谷市大里*0.5 さいたま緑区中尾*0.5 吉見町下細谷*0.5 埼玉神川町下阿久原*0.5 千葉県 1 野田市鶴奉*1.1 野田市東宝珠花*0.8 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷*0.7 白井市復*0.6 柏市旭町=0.5 東京都 1 東京文京区大塚*0.8 東京新宿区上落合*0.7 東京中野区中野*0.7 東京杉並区高井戸*0.7 東京千代田区大手町=0.5 東京板橋区高島平*0.5 東京板橋区相生町*0.5 日野市神明*0.5				
3	1 12 52	宮城県沖 岩手県 2 一関市千厩町*1.7 一関市室根町*1.5 奥州市前沢*1.5 1 一関市藤沢町*1.4 一関市竹山町*1.3 平泉町平泉*1.3 奥州市胆沢*1.2 一関市東山町*1.2 奥州市衣川*1.1 花巻市東和町（旧4）*1.1 住田町世田米*1.1 奥州市江刺*1.0 一関市花泉町*1.0 北上市相去町*0.9 大船渡市大船渡町=0.8 金ヶ崎町西根*0.8 花巻市石鳥谷町*0.8 陸前高田市高田町*0.8 北上市柳原町=0.8 盛岡市薮川*0.7	37° 57.3' N	141° 45.1' E	57km	M: 4.5

令和5年12月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		一関市大東町=0.7 釜石市中妻町*=0.6 奥州市水沢大鐘町=0.6 遠野市青笹町*=0.6 奥州市水沢佐倉河*=0.5 宮城県 2 大崎市田尻*=2.1 松島町高城=2.0 石巻市桃生町*=1.9 栗原市志波姫*=1.8 登米市豊里町*=1.8 栗原市築館*=1.7 名取市増田*=1.7 石巻市鮎川浜*=1.7 栗原市高清水*=1.7 涌谷町新町裏=1.7 登米市米山町(旧)*=1.7 登米市南方町*=1.7 大崎市古川旭*=1.7 蔵王町円田*=1.6 栗原市一迫*=1.6 栗原市瀬峰*=1.6 登米市迫町*=1.6 岩沼市桜*=1.5 村田町村田*=1.5 仙台青葉区作並*=1.5 石巻市北上町*=1.5 大崎市古川三日町=1.5 1 登米市中田町=1.4 宮城美里町北浦*=1.4 宮城川崎町前川*=1.4 仙台宮城野区苦竹*=1.4 石巻市大街道南*=1.4 気仙沼市笹が陣*=1.3 山元町浅生原*=1.3 仙台青葉区大倉=1.3 栗原市栗駒=1.3 石巻市泉町=1.3 栗原市若柳*=1.3 東松島市小野*=1.3 東松島市矢本*=1.3 女川町女川*=1.3 宮城美里町木間塚*=1.3 大崎市鹿島台*=1.3 亶理町悠里*=1.2 気仙沼市赤岩=1.2 大崎市三本木*=1.2 仙台空港=1.2 石巻市雄勝町*=1.2 登米市登米町*=1.2 丸森町島屋*=1.2 大衡村大衡*=1.2 登米市東和町*=1.1 角田市角田*=1.1 七ヶ浜町東宮浜*=1.1 仙台区区将監*=1.1 大郷町柏川*=1.0 仙台太白区山田*=1.0 大河原町新南*=1.0 気仙沼市唐桑町*=1.0 大崎市古川大崎=1.0 石巻市相野谷*=1.0 宮城加美町中新田*=1.0 南三陸町歌津*=1.0 仙台青葉区落合*=1.0 石巻市前谷地*=0.9 仙台宮城野区五輪=0.9 多賀城市中央*=0.9 仙台若林区遠見塚*=0.9 柴田町船岡=0.9 利府町利府*=0.9 富谷市富谷*=0.8 塩竈市今宮町*=0.8 栗原市金成*=0.8 登米市石越町*=0.8 色麻町四籠*=0.8 大和町吉岡*=0.7 栗原市花山*=0.7 白石市亶理町*=0.7 丸森町上滝=0.7 大崎市鳴子*=0.6 登米市津山町*=0.6				
		福島県 2 田村市船引町=1.9 国見町藤田*=1.8 川俣町五百田*=1.8 福島伊達市霊山町*=1.8 相馬市中村*=1.6 大熊町大川原*=1.6 飯館村伊丹沢*=1.5 1 福島伊達市梁川町*=1.4 福島伊達市保原町*=1.4 本宮市本宮*=1.4 新地町谷地小屋*=1.4 福島市五老内町*=1.3 二本松市金色*=1.3 二本松市針道*=1.3 田村市大越町*=1.3 田村市常葉町*=1.3 福島市花園町=1.2 福島市桜木町*=1.2 郡山市朝日=1.2 桑折町谷地*=1.2 小野町小野新町*=1.2 小野町中通*=1.1 田村市都路町*=1.1 福島伊達市前川原*=1.1 二本松市油井*=1.1 本宮市白岩*=1.1 双葉町長塚*=1.1 南相馬市原町区三島町=1.1 南相馬市鹿島区西町*=1.1 玉川村小高*=1.0 田村市滝根町*=1.0 福島市飯野町*=1.0 郡山市開成*=1.0 須賀川市岩瀬支所*=1.0 檜葉町北田*=1.0 南相馬市原町区高見町*=1.0 浪江町幾世橋=0.9 大玉村玉井*=0.9 石川町長久保*=0.9 福島伊達市月館町*=0.8 川内村下川内=0.8 郡山市湖南町*=0.8 白河市郭内=0.8 大玉村南小屋=0.7 富岡町本岡*=0.7 川内村上川内早渡*=0.7 南相馬市鹿島区栞窪=0.7 天栄村下松本*=0.6 棚倉町棚倉中居野=0.6 白河市新白河*=0.6 須賀川市八幡山*=0.6 大熊町野上*=0.5 浅川町浅川*=0.5 福島広野町下北迫大谷地原*=0.5				
		山形県 1 西川町大井沢*=0.7				
4	1 14 09	紀伊水道 和歌山県 1 白浜町日置*=0.9	33° 39.2' N	135° 04.4' E	38km	M: 2.9
5	1 19 01	日向灘 宮崎県 1 宮崎市霧島=0.9 国富町本庄*=0.6 宮崎市佐土原町下田島*=0.5	31° 54.1' N	131° 51.5' E	37km	M: 3.6
6	2 04 06	福岡県北西沖 福岡県 1 宗像市大島*=0.9 宗像市東郷*=0.7 宗像市神湊*=0.6 宗像市江口神原*=0.5	33° 55.8' N	130° 10.8' E	14km	M: 3.2
7	2 09 35	秋田県内陸南部 岩手県 1 大槌町上町*=0.7 住田町世田米*=0.6 釜石市中妻町*=0.6 大船渡市大船渡町=0.5 宮古市五月町*=0.5	39° 40.7' N	140° 49.4' E	109km	M: 3.7
8	2 12 28	岩手県沿岸北部 岩手県 1 遠野市青笹町*=0.9 宮古市川井*=0.6 宮古市茂市*=0.5	39° 45.5' N	141° 49.9' E	58km	M: 3.4
9	2 17 36	宮城県沖 岩手県 1 一関市千厩町*=1.1 陸前高田市高田町*=0.6 大船渡市猪川町=0.6 住田町世田米*=0.5 宮城県 1 気仙沼市唐桑町*=0.6 石巻市北上町*=0.6	38° 38.5' N	141° 54.2' E	47km	M: 3.6
10	3 01 42	熊本県天草・芦北地方 熊本県 2 水俣市陣内*=1.6 球磨村渡*=1.5 1 水俣市牧ノ内*=1.4 津奈木町小津奈木*=1.3 芦北町芦北=0.9 上天草市龍ヶ岳町*=0.8 鹿児島県 1 長島町伊唐島*=0.8	32° 13.0' N	130° 27.7' E	9km	M: 3.1
11	3 12 44	岩手県内陸北部 岩手県 2 二戸市浄法寺町*=2.3 1 八幡平市叭田*=0.6	40° 11.0' N	141° 08.3' E	9km	M: 3.1
12	3 13 18	岩手県内陸北部 岩手県 1 二戸市浄法寺町*=0.9	40° 11.1' N	141° 08.3' E	9km	M: 2.5
13	3 21 40	青森県下北地方 青森県 1 むつ市金曲=0.7 東通村砂子又沢内*=0.5	41° 20.4' N	141° 16.6' E	9km	M: 2.2
14	4 00 35	茨城県北部 茨城県 1 水戸市千波町*=1.1 小美玉市堅倉*=1.0 笠間市石井*=0.9 水戸市内原町*=0.8 笠間市笠間*=0.7 常陸大宮市山方*=0.7 笠間市中央*=0.7 笠間市下郷*=0.6 水戸市栗崎町*=0.6 城里町石塚*=0.5 日立市助川小学校*=0.5	36° 16.2' N	140° 28.5' E	52km	M: 3.0

令和5年12月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度（計測震度）	緯度	経度	深さ	規模
15	4 00 45	茨城県北部 茨城県	36° 16.2' N	140° 28.4' E	52km	M: 3.4
		2 小美玉市堅倉*=1.5 1 笠間市石井*=1.3 水戸市内原町*=1.2 土浦市常名=1.1 笠間市笠間*=1.0 日立市助川小学校*=1.0 ひたちなか市南神敷台*=0.9 常陸大宮市山方*=0.9 水戸市千波町*=0.9 銚田市汲上*=0.9 城里町石塚*=0.8 笠間市下郷*=0.8 稲敷市江戸崎甲*=0.8 かすみがうら市上土田*=0.8 笠間市中央*=0.8 銚田市造谷*=0.8 水戸市金町=0.7 桜川市真壁*=0.7 水戸市栗崎町*=0.7 筑西市門井*=0.7 石岡市若宮*=0.6 かすみがうら市大和田*=0.6 小美玉市小川*=0.6 つくば市小莖*=0.5 桜川市羽田*=0.5 茨城鹿嶋市鉢形=0.5 常陸大宮市北町*=0.5				
16	4 01 59	石川県能登地方 石川県	37° 31.2' N	137° 15.9' E	14km	M: 3.3
		1 珠洲市正院町*=1.4 珠洲市大谷町*=0.7 能登町松波*=0.6				
17	4 06 44	愛媛県南予 愛媛県	33° 29.4' N	132° 26.5' E	46km	M: 3.2
		1 宇和島市三間町*=0.8				
18	4 07 25	新島・神津島近海 東京都	34° 15.4' N	139° 10.0' E	8km	M: 2.2
		1 神津島村役場*=0.5				
19	4 07 30	新島・神津島近海 東京都	34° 15.5' N	139° 09.9' E	7km	M: 2.4
		1 神津島村役場*=0.8 神津島村金長=0.7				
20	4 09 11	新島・神津島近海 東京都	34° 15.5' N	139° 09.6' E	8km	M: 2.3
		1 神津島村役場*=0.6				
<b>21</b>	<b>4 11 21</b>	<b>伊豆半島東方沖</b> 静岡県	<b>35° 04.1' N</b>	<b>139° 08.7' E</b>	<b>7km</b>	<b>M: 3.9</b>
		3 熱海市泉*=2.7 2 熱海市網代=2.3 熱海市中央町*=1.9 1 東伊豆町奈良本*=1.3 伊豆の国市長岡*=1.3 函南町平井*=1.0 伊豆市中伊豆グラウンド=1.0 伊東市大原=1.0 三島市東本町=1.0 沼津市西間門*=0.7 伊豆の国市田京*=0.7 神奈川県 2 湯河原町中央=1.8 1 真鶴町岩*=1.4 箱根町湯本*=0.9				
22	4 17 17	富山湾 石川県	37° 24.1' N	137° 19.9' E	6km	M: 2.7
		2 珠洲市正院町*=1.6 1 珠洲市三崎町=1.1 能登町松波*=0.8 珠洲市大谷町*=0.5				
23	4 18 01	渡島地方東部 北海道	41° 54.7' N	140° 57.9' E	10km	M: 1.9
		1 函館市川汲町*=0.7				
24	4 20 59	新潟県中越地方 新潟県	37° 19.0' N	138° 51.3' E	18km	M: 3.6
		2 魚沼市今泉*=2.1 長岡市山古志竹沢*=2.0 小千谷市城内=1.6 魚沼市須原*=1.5 1 長岡市東川口*=1.4 小千谷市旭町*=1.4 魚沼市堀之内*=1.2 魚沼市穴沢*=1.2 長岡市千手*=1.1 長岡市小国町法坂*=1.1 長岡市幸町=1.1 出雲崎町米田=1.0 長岡市浦*=1.0 上越市安塚区安塚*=1.0 魚沼市下折立=0.9 刈羽村割町新田*=0.8 柏崎市日石町*=0.8 魚沼市大沢*=0.8 柏崎市西山町池浦*=0.7 十日町市下条*=0.7 魚沼市小出島*=0.7 十日町市千歳町*=0.7 南魚沼市浦佐*=0.7 長岡市小島谷*=0.6 長岡市上岩井*=0.5 十日町市上山*=0.5				
25	4 21 21	岩手県沿岸北部 岩手県	39° 53.2' N	141° 55.2' E	61km	M: 3.3
		2 八幡平市田頭*=1.6 1 盛岡市洪民*=0.5				
26	5 02 08	紀伊水道 和歌山県 徳島県	33° 44.9' N	134° 42.6' E	41km	M: 3.2
		1 御坊市湯川*=0.5 1 美波町西の地*=0.9 那賀町和食*=0.6 阿南市山口町*=0.5 阿南市富岡町=0.5				
27	5 03 11	茨城県南部 茨城県	36° 15.0' N	140° 06.5' E	54km	M: 3.2
		1 筑西市門井*=1.2 笠間市笠間*=1.0 桜川市岩瀬*=0.9 桜川市真壁*=0.9 笠間市下郷*=0.7 桜川市羽田*=0.6 水戸市内原町*=0.5 かすみがうら市上土田*=0.5 栃木県 1 宇都宮市明保野町=1.1 宇都宮市中里町*=1.0 栃木市旭町=0.7 壬生町壬生甲*=0.7 栃木市岩舟町静*=0.6 真岡市田町*=0.6 茂木町茂木*=0.5 栃木市西方町本城*=0.5				
28	5 08 35	能登半島沖 石川県	37° 36.2' N	137° 19.0' E	12km	M: 3.2
		1 珠洲市正院町*=0.6				
29	5 11 46	千葉県南部 千葉県	35° 20.8' N	140° 20.5' E	28km	M: 2.5
		2 一宮町一宮=1.7 1 長南町総合グラウンド=0.9 睦沢町下之郷*=0.6 長南町長南*=0.6 長生村本郷*=0.5				
30	5 12 48	山梨県東部・富士五湖 山梨県	35° 28.6' N	138° 56.7' E	24km	M: 2.6
		1 富士河口湖町船津=0.7				

令和5年12月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度（計測震度）	緯度	経度	深さ	規模
31	5 17 54	福島県浜通り 福島県 茨城県 1 大熊町大川原*=0.9 1 日立市助川小学校*=0.7 城里町石塚*=0.5	36° 52.2' N	140° 46.6' E	93km	M: 3.5
32	6 03 30	和歌山県北部 和歌山県 1 由良町里*=0.9	34° 00.5' N	135° 10.3' E	6km	M: 2.4
33	6 12 08	茨城県南部 栃木県 群馬県 茨城県 埼玉県 千葉県 2 壬生町壬生甲*=2.0 佐野市高砂町*=2.0 下野市笹原*=1.6 栃木市大平町富田*=1.5 1 宇都宮市明保野町=1.4 鹿沼市晃望台*=1.3 小山市神鳥谷*=1.3 佐野市中町*=1.3 栃木市岩舟町静*=1.2 栃木市旭町=1.1 佐野市葛生東*=1.1 下野市田中*=1.0 佐野市田沼町*=1.0 小山市中央町*=1.0 野木町丸林*=1.0 栃木市西方町本城*=0.9 鹿沼市口栗野*=0.9 真岡市田町*=0.9 栃木市藤岡町藤岡*=0.8 宇都宮市中里町*=0.7 足利市大正町*=0.7 真岡市石島*=0.7 益子町益子=0.7 日光市鬼怒川温泉大原*=0.6 日光市足尾町中才*=0.6 宇都宮市塙田*=0.6 宇都宮市旭*=0.6 真岡市荒町*=0.6 日光市足尾町通洞*=0.5 2 板倉町板倉=2.1 1 大泉町日の出*=1.4 邑楽町中野*=1.0 群馬明和町新里*=0.9 桐生市新里町*=0.8 千代田町赤岩*=0.7 桐生市元宿町*=0.6 桐生市黒保根町*=0.6 渋川市赤城町*=0.6 みどり市大間々町*=0.6 館林市城町*=0.5 1 筑西市二木成*=1.4 坂東市馬立*=1.2 桜川市真壁*=1.2 水戸市内原町*=1.1 笠間市石井*=1.1 石岡市柿岡=1.1 筑西市舟生=1.0 常陸大宮市野口*=1.0 桜川市岩瀬*=0.9 土浦市常名=0.9 筑西市門井*=0.9 坂東市役所*=0.9 下妻市本城町（旧）*=0.8 かすみがうら市上土田*=0.7 笠間市笠間*=0.7 笠間市中央*=0.7 境町旭町*=0.6 取手市寺田*=0.6 坂東市山*=0.6 城里町石塚*=0.5 つくば市天王台*=0.5 八千代町菅谷*=0.5 結城市中央町*=0.5 土浦市藤沢*=0.5 1 宮代町笠原*=1.2 加須市大利根*=1.1 久喜市栗橋*=1.1 埼玉美里町木部*=1.0 春日部市粕壁*=1.0 東松山市松葉町*=0.9 加須市騎西*=0.8 春日部市金崎*=0.8 久喜市下早見=0.8 鴻巣市川里*=0.7 熊谷市江南*=0.7 加須市北川辺*=0.6 さいたま見沼区堀崎*=0.6 白岡市千駄野*=0.6 久喜市鷲宮*=0.5 滑川町福田*=0.5 本庄市児玉町=0.5 羽生市東*=0.5 1 野田市鶴奉*=1.2	36° 06.4' N	140° 01.2' E	68km	M: 3.7
34	6 19 16	トカラ列島近海 鹿児島県 1 鹿児島十島村中之島徳之尾=0.7	29° 54.3' N	130° 00.5' E	10km	M: 2.2
35	7 15 58	トカラ列島近海 鹿児島県 1 鹿児島十島村中之島徳之尾=1.1	29° 55.4' N	130° 01.7' E	13km	M: 2.7
36	8 03 53	東京湾 千葉県 東京都 神奈川県 静岡県 1 千葉若葉区野呂町*=1.4 木更津市富士見*=1.2 千葉緑区おゆみ野*=1.1 富津市下飯野*=1.0 市原市姉崎*=0.9 長南町総合グラウンド=0.9 大多喜町大多喜*=0.8 千葉花見川区花島町*=0.8 千葉若葉区小倉台*=0.8 君津市久留里市場*=0.8 千葉稲毛区園生町*=0.8 千葉中央区中央港=0.7 南房総市白浜町白浜*=0.7 市川市大町*=0.7 八千代市大和田新田*=0.6 山武市埴谷*=0.5 東金市日吉台*=0.5 木更津市太田=0.5 1 東京練馬区豊玉北*=1.3 東京国際空港=0.7 東京世田谷区成城*=0.7 東京千代田区大手町=0.6 八王子市堀之内*=0.6 東京目黒区中央町*=0.5 東京港区海岸=0.5 調布市西つつじヶ丘*=0.5 小金井市本町*=0.5 稲城市東長沼*=0.5 東京新宿区上落合*=0.5 1 横浜鶴見区末広町*=0.9 横浜神奈川区神大寺*=0.9 横浜港北区日吉本町*=0.9 横浜保土ヶ谷区上菅田町*=0.8 横浜磯子区洋光台*=0.8 横浜神奈川区広台太田町*=0.7 横浜金沢区釜利谷南*=0.7 横浜旭区今宿東町*=0.7 横浜港南区野庭町*=0.6 横浜中区山手町=0.5 横浜緑区十日市場町*=0.5 三浦市城山町*=0.5 大和市下鶴間*=0.5 1 東伊豆町奈良本*=0.7	35° 33.1' N	140° 04.4' E	73km	M: 3.6
37	8 05 25	トカラ列島近海 鹿児島県 1 鹿児島十島村中之島徳之尾=0.7	29° 54.9' N	130° 02.1' E	13km	M: 2.1
38	8 08 09	福島県会津 福島県 2 檜枝岐村上河原*=1.7	36° 57.5' N	139° 22.5' E	4km	M: 2.1
39	8 10 09	トカラ列島近海 鹿児島県 1 鹿児島十島村中之島徳之尾=0.6	29° 55.6' N	130° 01.7' E	13km	M: 2.3
40	8 18 58	トカラ列島近海 鹿児島県 1 鹿児島十島村中之島徳之尾=1.3	29° 55.2' N	130° 02.2' E	13km	M: 2.5
41	8 20 31	鹿児島県大隅地方 鹿児島県 1 鹿屋市新栄町=1.4 大崎町仮宿*=0.9 鹿屋市礼元*=0.7 錦江町田代支所*=0.7 鹿屋市吾平町麓*=0.6 鹿屋市串良町岡崎*=0.5	31° 12.2' N	130° 58.3' E	63km	M: 3.4
42	8 23 03	岩手県沖 青森県 岩手県 1 八戸市内丸*=1.0 青森南部町苔米地*=0.7 八戸市湊町=0.6 青森南部町平*=0.6 八戸市南郷*=0.6 三戸町在府小路町*=0.5 1 軽米町軽米*=0.7	40° 19.3' N	142° 16.6' E	44km	M: 3.7

令和5年12月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度（計測震度）	緯度	経度	深さ	規模
43	9 07 24	宮城県北部 宮城県 2 栗原市花山*=1.8 1 栗原市栗駒=1.4 栗原市一迫*=1.2 栗原市鶯沢*=0.9 大崎市鳴子*=0.9 栗原市築館*=0.8	38° 51.1' N	140° 49.6' E	8km	M: 3.2
44	9 15 19	与那国島近海 沖縄県 1 石垣市新栄町*=0.5 与那国町久部良=0.5	24° 28.0' N	122° 38.7' E	94km	M: 4.3
45	9 16 03	房総半島南方沖 千葉県 2 館山市長須賀=2.0 館山市北条*=1.9 南房総市白浜町白浜*=1.9 鋸南町下佐久間*=1.5 南房総市富浦町青木*=1.5 鴨川市八色=1.5 南房総市岩糸*=1.5 南房総市谷向*=1.5 南房総市千倉町瀬戸*=1.5 1 鴨川市横渚*=1.4 君津市久留里市場*=1.4 南房総市上堀=1.3 市原市姉崎*=1.2 勝浦市墨名=1.2 いすみ市国府台*=1.2 睦沢町下之郷*=1.1 勝浦市新官*=0.9 富津市下飯野*=0.9 大多喜町大多喜*=0.8 一宮町一宮=0.6 鴨川市内浦=0.6 長南町総合グラウンド=0.6 千葉美浜区ひび野=0.5 東京都 2 伊豆大島町波浮港*=1.5 1 東京千代田区大手町=1.3 伊豆大島町差木地=1.2 御蔵島村西川=1.1 三宅村坪田=1.0 三宅村神着=0.9 新島村大原=0.8 東京江東区枝川*=0.8 東京江戸川区船堀*=0.7 東京品川区平塚*=0.5 新島村本村*=0.5 東京渋谷区宇田川町*=0.5 東京利島村東山=0.5 埼玉県 1 さいたま北区宮原*=0.5 神奈川県 1 藤沢市大庭*=1.1 三浦市城山町*=1.1 厚木市中町*=1.0 横浜中区山手町=0.9 川崎川崎区千鳥町*=0.9 横須賀市光の丘=0.9 横浜泉区和泉町*=0.8 秦野市萱屋=0.8 湯河原町中央=0.8 相模原中央区水郷田名*=0.8 川崎宮前区宮前平*=0.8 川崎中原区小杉町*=0.7 山梨県 1 富士河口湖町長浜*=1.1 富士川町鰐沢*=1.0 大月市御太刀*=0.6 静岡県 1 東伊豆町奈良本*=1.3 伊豆市中伊豆グラウンド=0.8 伊豆の国市長岡*=0.8 沼津市西間門*=0.7 東伊豆町稲取*=0.5	34° 30.6' N	140° 15.6' E	64km	M: 4.6
46	10 09 49	硫黄島近海 東京都 1 小笠原村母島=1.0	25° 02.7' N	140° 48.1' E	153km	M: 5.2
47	10 19 52	千葉県北西部 東京都 1 東京練馬区豊玉北*=0.9	35° 41.2' N	140° 02.2' E	72km	M: 3.1
48	10 21 17	宮城県沖 岩手県 1 一関市千厩町*=0.9	38° 25.7' N	141° 52.7' E	56km	M: 3.6
49	11 21 28	埼玉県南部 栃木県 埼玉県 東京都 1 宇都宮市明保野町=0.5 1 長瀬町野上下郷*=0.5 1 調布市西つつじヶ丘*=0.8 東京中央区勝どき*=0.7 東京千代田区大手町=0.6 東京渋谷区本町*=0.5	35° 54.5' N	139° 52.2' E	92km	M: 3.5
50	12 07 15	岩手県沖 青森県 1 青森南部町苔米地*=0.5	40° 11.8' N	142° 18.1' E	42km	M: 3.7
51	12 10 19	千葉県北西部 東京都 1 調布市西つつじヶ丘*=0.7	35° 39.2' N	140° 03.8' E	69km	M: 3.1
52	12 10 27	伊豆半島東方沖 静岡県 1 熱海市泉*=0.6	35° 04.4' N	139° 09.3' E	9km	M: 2.2
53	12 12 37	宮古島近海 沖縄県 1 宮古島市下地*=1.0	25° 09.8' N	125° 33.7' E	29km	M: 4.1
54	12 15 33	宮古島近海 沖縄県 1 宮古島市下地*=1.4 宮古島市平良西里*=1.1 宮古島市伊良部前里添=0.8 宮古島市平良狩俣*=0.8 宮古島市城辺福北=0.6	24° 48.6' N	125° 15.6' E	18km	M: 3.4
55	12 18 14	能登半島沖 石川県 1 珠洲市正院町*=1.1	37° 31.7' N	137° 14.4' E	11km	M: 3.0
56	13 11 02	茨城県北部 茨城県 1 水戸市千波町*=0.7 ひたちなか市東石川*=0.7 笠間市石井*=0.6 水戸市金町=0.6 常陸大宮市北町*=0.5 城里町石塚*=0.5	36° 28.1' N	140° 36.1' E	56km	M: 3.1
57	13 13 52	熊本県阿蘇地方 熊本県 大分県 2 南阿蘇村中松=2.1 1 阿蘇市内牧*=1.0 阿蘇市波野*=0.8 産山村山鹿*=0.8 1 竹田市荻町*=1.0	32° 58.8' N	131° 06.9' E	8km	M: 3.0
58	13 20 10	十勝地方南部 北海道 2 浦幌町桜町*=1.5 1 十勝池田町西1条*=1.2 豊頃町茂岩本町*=1.0 幕別町本町*=0.6 本別町向陽町*=0.5	42° 38.0' N	143° 29.5' E	69km	M: 3.7

令和5年12月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
59	13 23 27	留萌地方中北部 北海道	44° 54.3' N	141° 49.6' E	13km	M: 2.8 1 天塩町川口*=1.4
60	14 06 04	トカラ列島近海 鹿児島県	29° 56.1' N	130° 00.0' E	12km	M: 2.7 1 鹿児島十島村中之島徳之尾=1.1 鹿児島十島村口之島出張所*=0.9
61	14 17 26	滋賀県北部 福井県	35° 28.1' N	135° 56.7' E	14km	M: 3.2 1 敦賀市松栄町=1.3 小浜市四谷町*=1.3 福井若狭町市場*=1.0 福井おおい町名田庄久坂*=0.8 高浜町宮崎=0.5 福井おおい町本郷*=0.5 滋賀県 1 高島市マキノ町*=1.1 高島市今津町日置前*=1.0 長浜市西浅井町大浦*=0.8 高島市朽木柏*=0.6
62	14 18 37	青森県東方沖 青森県	41° 19.6' N	142° 25.4' E	39km	M: 3.8 1 青森南部町苫米地*=0.6
63	15 04 17	長野県中部 長野県	36° 17.9' N	138° 01.9' E	6km	M: 2.9 1 松本市丸の内*=1.3 上田市下武石*=1.1 青木村田沢青木*=1.1 松本市会田*=1.0 松本市美須々*=1.0 松本市沢村=0.9 上田市築地=0.8 上田市大手*=0.7 安曇野市堀金*=0.7 筑北村西条*=0.6 筑北村坂井=0.5
64	15 06 36	日高地方中部 北海道	42° 20.6' N	142° 34.8' E	0km	M: 2.7 2 新ひだか町三石旭町*=1.5
65	15 18 04	豊後水道 愛媛県	33° 13.7' N	132° 17.7' E	39km	M: 3.7 2 西予市三瓶町*=2.0 西予市明浜町*=1.7 伊方町湊浦*=1.5 宇和島市三間町*=1.5 1 宇和島市丸穂*=1.4 大洲市肱川町*=1.4 八幡浜市五反田*=1.3 西予市宇和町*=1.0 大洲市長浜*=0.9 伊方町三崎*=0.9 松野町松丸*=0.9 宇和島市津島町*=0.9 西予市野村町=0.8 久万高原町久万*=0.8 愛南町船越*=0.8 愛南町柏*=0.8 内子町内子*=0.7 宇和島市吉田町*=0.7 西予市城川町*=0.7 愛媛鬼北町近永*=0.7 伊方町三机*=0.6 内子町平岡*=0.6 八幡浜市保内町*=0.6 東温市南方*=0.5 砥部町総津*=0.5 伊予市中山町*=0.5 高知県 2 宿毛市桜町*=1.7 1 四万十市古津賀*=0.7 宿毛市片島=0.5 四万十町大正*=0.5 大分県 1 佐伯市蒲江蒲江浦=0.6
66	16 07 39	青森県東方沖 北海道	40° 50.4' N	141° 42.3' E	93km	M: 3.7 1 函館市泊町*=0.6 青森県 1 東通村砂子又沢内*=1.2 青森南部町苫米地*=1.1 八戸市湊町=1.0 八戸市内丸*=0.9 東通村白糠*=0.7 五戸町倉中市*=0.6 階上町道仏*=0.6 佐井村長後*=0.5 むつ市川内町*=0.5 岩手県 1 軽米町軽米*=0.9 久慈市枝成沢=0.5
67	16 09 15	岩手県沖 岩手県	39° 38.0' N	142° 06.2' E	49km	M: 4.1 2 宮古市五月町*=2.0 山田町大沢*=1.8 宮古市田老*=1.6 山田町八幡町=1.5 1 宮古市鎌ヶ崎=1.4 釜石市中妻町*=1.3 釜石市只越町=1.2 宮古市川井*=1.2 住田町世田米*=1.2 宮古市茂市*=1.0 大槌町上町*=1.0 普代村銅屋*=0.8 花巻市大迫総合支所*=0.7 花巻市大迫町=0.6 盛岡市藪川*=0.5 田野畑村役場*=0.5 宮古市区界*=0.5 遠野市青笹町*=0.5 一関市大東町=0.5 青森県 1 青森南部町苫米地*=0.7 八戸市内丸*=0.6 宮城県 1 気仙沼市唐桑町*=0.5
68	16 11 44	岐阜県美濃中西部 福井県	35° 57.5' N	136° 51.6' E	10km	M: 3.7 2 大野市貝皿*=1.6 岐阜県 2 高山市荘川町*=2.3 郡上市白鳥町長滝*=1.9 郡上市高鷲町*=1.6 揖斐川町東杉原*=1.5 郡上市八幡町旭*=1.5 1 郡上市八幡町島谷=1.3 高山市上宝町本郷*=1.2 飛騨市古川町*=1.0 高山市一の宮町*=1.0 郡上市明宝*=1.0 郡上市大和町*=1.0 郡上市白鳥町白鳥*=1.0 飛騨市河合町元田*=0.9 飛騨市河合町角川*=0.9 下呂市金山町*=0.8 高山市消防署*=0.8 郡上市和良町*=0.8 飛騨市神岡町東町*=0.7 飛騨市宮川町*=0.6 高山市丹生川町坊方*=0.6 高山市高根町*=0.6 下呂市馬瀬*=0.6 下呂市萩原町*=0.6 高山市国府町*=0.5 石川県 1 加賀市直下町=0.5 白山市白峰*=0.5 愛知県 1 新城市作手高里松風呂*=0.5
69	16 14 09	網走地方 北海道	43° 51.0' N	144° 49.2' E	10km	M: 2.8 1 斜里町本町=0.6
70	16 17 58	宮城県沖 岩手県	38° 26.7' N	141° 49.9' E	57km	M: 3.4 1 一関市千厩町*=0.9
71	17 00 47	福島県沖 宮城県	37° 31.0' N	141° 21.5' E	37km	M: 4.0 1 岩沼市桜*=1.3 山元町浅生原*=0.9 名取市増田*=0.9 角田市角田*=0.8 亶理町悠里*=0.7 福島県 1 浪江町幾世橋=1.4 田村市大越町*=1.3 田村市都路町*=1.2 大熊町大川原*=1.1 川俣町五百田*=1.1 檜葉町北田*=0.9 南相馬市原町区高見町*=0.8 南相馬市原町区三島町=0.7 白河市新白河*=0.7 福島広野町下北迫大谷地原*=0.6 田村市船引町=0.6 新地町谷地小屋*=0.6 小野町中通*=0.5 白河市郭内=0.5 天栄村下松本*=0.5 茨城県 1 笠間市石井*=0.9 水戸市千波町*=0.6 日立市助川小学校*=0.6 城里町石塚*=0.6 水戸市内原町*=0.5

令和5年12月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
72	17 05 33	福岡県北西沖 長崎県 山口県	34° 29.9' N	130° 34.8' E	19km	M: 3.8
73	17 14 11	栃木県南部 茨城県	36° 15.0' N	139° 46.8' E	59km	M: 4.3
		茨城県				3 桜川市岩瀬*=2.9 桜川市真壁*=2.6 笠間市笠間*=2.5 2 笠間市石井*=2.4 土浦市常名=2.4 水戸市内原町*=2.2 土浦市藤沢*=2.2 筑西市舟生=2.2 桜川市羽田*=2.1 かすみがうら市大和田*=2.1 石岡市石岡*=2.0 結城市中央町*=2.0 五霞町小福田*=2.0 水戸市千波町*=2.0 茨城古河市下大野*=2.0 石岡市柿岡=2.0 石岡市若宮*=2.0 筑西市海老ヶ島*=1.9 笠間市下郷*=1.9 行方市玉造*=1.9 稲敷市江戸崎甲*=1.9 つくば市天王台*=1.9 筑西市門井*=1.9 常陸大宮市野口*=1.8 つくば市研究学園*=1.8 城里町石塚*=1.8 坂東市馬立*=1.8 かすみがうら市上土田*=1.8 笠間市中央*=1.8 取手市寺田*=1.7 筑西市二本成*=1.7 坂東市役所*=1.7 石岡市八郷*=1.7 城里町阿波山*=1.7 常陸大宮市北町*=1.7 つくば市小茎*=1.6 美浦村受領*=1.6 城里町徳蔵*=1.6 小美玉市小川*=1.6 小美玉市堅倉*=1.6 常総市水海道諏訪町*=1.6 水戸市金町=1.6 境町旭町*=1.5 坂東市岩井=1.5 茨城町小堤*=1.5 茨城鹿嶋市鉢形=1.5 日立市助川小学校*=1.5 茨城古河市長谷町*=1.5 1 常陸大宮市山方*=1.4 小美玉市上玉里*=1.4 茨城古河市仁連*=1.4 八千代町菅谷*=1.4 守谷市大柏*=1.4 常総市新石下*=1.4 行方市麻生*=1.3 鉾田市鉾田=1.3 下妻市鬼怒*=1.3 大子町池田*=1.3 土浦市田中*=1.3 坂東市山*=1.3 北茨城市中郷町*=1.2 ひたちなか市南神敷台*=1.2 稲敷市結佐*=1.2 那珂市福田*=1.2 鉾田市汲上*=1.2 水戸市栗崎町*=1.2 日立市十王町友部*=1.2 阿見町中央*=1.2 茨城鹿嶋市宮中*=1.1 ひたちなか市東石川*=1.1 大洗町磯浜町*=1.1 日立市役所*=1.1 稲敷市須賀津*=1.1 那珂市瓜連*=1.1 行方市山田*=1.1 常陸太田市町屋*=1.1 常陸太田市高柿町*=1.1 鉾田市造谷*=1.1 牛久中央*=1.0 常陸大宮市中富町=1.0 龍ヶ崎市役所*=0.9 取手市井野*=0.9 稲敷市役所*=0.9 稲敷市伊佐津*=0.9 常陸太田市町田町*=0.8 高萩市安良川*=0.8 利根町布川=0.7 潮来市辻*=0.7 常陸大宮市上小瀬*=0.7 ひたちなか市山ノ上町=0.5 常陸大宮市高部*=0.5 取手市藤代*=0.5
		栃木県				3 鹿沼市晃望台*=2.8 高根沢町石末*=2.6 宇都宮市明保野町=2.5 2 小山市神鳥谷*=2.4 栃木市藤岡町藤岡*=2.3 下野市田中*=2.3 下野市笹原*=2.3 栃木市大平町富田*=2.2 佐野市高砂町*=2.2 真岡市石島*=2.2 壬生町壬生甲*=2.2 宇都宮市中里町*=2.2 佐野市田沼町*=2.1 大田原市湯津上*=2.1 芳賀町祖母井*=2.1 佐野市中町*=2.1 佐野市葛生東*=2.1 栃木市岩舟町静*=1.9 那須烏山市大金*=1.9 日光市鬼怒川温泉大原*=1.9 鹿沼市口栗野*=1.9 日光市湯元*=1.9 日光市足尾町中才*=1.8 栃木市旭町=1.8 小山市中央町*=1.8 栃木市西方町本城*=1.7 日光市芹沼*=1.7 宇都宮市中岡本町*=1.7 宇都宮市塙田*=1.6 真岡市田町*=1.6 栃木市都賀町家中*=1.6 野木町丸林*=1.6 真岡市荒野*=1.5 栃木市万町*=1.5 上三川町しらすぎ*=1.5 益子町益子=1.5 市貝町市塙*=1.5 宇都宮市旭*=1.5 足利市大正町*=1.5 栃木那珂川町小川*=1.5 下野市大松山*=1.5 大田原市黒羽田町=1.5 1 日光市藤原庁舎*=1.4 日光市今市本町*=1.4 矢板市本町*=1.4 那須烏山市神長=1.4 日光市瀬川=1.3 日光市黒部*=1.3 塩谷町玉生*=1.3 栃木さくら市氏家*=1.3 栃木那珂川町馬頭*=1.3 大田原市本町*=1.2 茂木町茂木*=1.2 那須烏山市役所*=1.2 日光市足尾町通洞*=1.2 那須塩原市あたご町*=1.1 那須塩原市塩原庁舎*=1.1 鹿沼市今宮町*=1.0 日光市中宮祠=1.0 栃木さくら市喜連川*=1.0 日光市御幸町*=0.9 那須町寺子*=0.8 那須塩原市藁沼=0.6 茂木町北高岡天矢場*=0.5 那須塩原市鍋掛*=0.5
		福島県				2 白河市表郷*=1.6 白河市大信*=1.6 白河市新白河*=1.6 1 白河市東*=1.4 古殿町松川新桑原*=1.4 玉川村小高*=1.3 西郷村熊倉*=1.2 棚倉町棚倉中居野=1.2 須賀川市岩瀬支所*=1.2 鏡石町不時沼*=1.2 いわき市三和町=1.1 大熊町大川原*=1.1 泉崎村泉崎*=1.1 須賀川市八幡山*=1.1 浪江町幾世橋=1.0 下郷町塩生*=1.0 田村市大越町*=0.9 浅川町浅川*=0.9 檜葉町北田*=0.9 白河市郭内=0.9 いわき市錦町*=0.8 双葉町長塚*=0.8 福島広野町下北迫苗代替*=0.8 矢祭町東館*=0.8 郡山市湖南町*=0.7 いわき市小浜=0.7 矢祭町戸塚*=0.7 小野町小野新町*=0.7 福島広野町下北迫大谷地原*=0.7 田村市都路町*=0.6 石川町長久保*=0.6 田村市常葉町*=0.6 天栄村下松本*=0.5 田村市船引町=0.5 小野町中通*=0.5
		群馬県				2 板倉町板倉=2.0 桐生市元宿町*=1.8 大泉町日の出*=1.8 桐生市新里町*=1.7 渋川市赤城町*=1.6 邑楽町中野*=1.6 桐生市黒保根町*=1.5 1 前橋市粕川町*=1.4 太田市西本町*=1.4 館林市上三林町*=1.4 片品村鎌田*=1.3 伊勢崎市西久保町*=1.3 伊勢崎市東町*=1.3 太田市大原町*=1.3 渋川市吹屋*=1.3 沼田市白沢町*=1.3 千代田町赤岩*=1.2 みどり市東町*=1.2 みどり市大間々町*=1.2 太田市新田金井町*=1.2 太田市浜町*=1.1 館林市城町*=1.1 群馬明和町新里*=1.1 みどり市笠懸町*=1.1 沼田市下久屋町*=1.1 前橋市鼻毛石町*=1.0 渋川市伊香保町*=1.0 桐生市錦町=1.0 沼田市西倉内町=1.0 前橋市堀越町*=0.9 榛東村新井*=0.9 太田市粕川町*=0.8 前橋市富士見町*=0.8 沼田市尾瀬高等学校=0.8 伊勢崎市今泉町*=0.7 伊勢崎市境*=0.7 東吾妻町本宿*=0.7 東吾妻町奥田*=0.7 前橋市昭和町=0.7 藤岡市鬼石*=0.6 高崎市吉井町吉井川*=0.6 群馬昭和村糸井*=0.5 吉岡町下野田*=0.5 神流町生利*=0.5 前橋市大手町*=0.5 沼田市利根町*=0.5 渋川市村上*=0.5
		埼玉県				2 加須市北川辺*=2.1 行田市本丸*=2.0 久喜市下早見=2.0 加須市大利根*=1.9 宮代町笠原*=1.9 久喜市青葉*=1.8 春日部市粕壁*=1.8 幸手市東*=1.8 東松山市松葉町*=1.7 久喜市栗橋*=1.7 熊谷市大里*=1.5 加須市三俣*=1.5 加須市騎西*=1.5 鴻巣市中央*=1.5 久喜市鷲宮*=1.5 滑川町福田*=1.5 春日部市金崎*=1.5 1 行田市南河原*=1.4 羽生市東*=1.4 深谷市川本*=1.4 久喜市菖蒲*=1.4 ときがわ町桃木*=1.4 春日部市谷原新田*=1.4 桶川市泉*=1.4 北本市本町*=1.4 さいたま大宮区大門*=1.4 白岡市千駄野*=1.4 熊谷市江南*=1.3 鴻巣市川里*=1.3 東松山市市ノ川*=1.2 鴻巣市吹上富士見*=1.2 吉見町下細谷*=1.2 上尾市本町*=1.2 川島町下八ツ林*=1.2

令和5年12月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		杉戸町清地*1.2 ときがわ町玉川*1.1 川口市中青木分室*1.1 蓮田市黒浜*1.1 越生町越生*1.1 さいたま北区宮原*1.1 長瀬町野上下郷*1.1 熊谷市宮町*1.1 熊谷市妻沼*1.0 本庄市児玉町*1.0 さいたま大宮区天沼町*1.0 小川町大塚*1.0 さいたま見沼区堀崎*1.0 伊奈町中央*0.9 深谷市花園*0.9 さいたま西区指扇*0.9 嵐山町杉山*0.9 熊谷市桜町*0.9 埼玉美里町木部*0.9 さいたま浦和区高砂*0.9 坂戸市千代田*0.8 狭山市入間川*0.8 さいたま中央区下落合*0.8 さいたま緑区中尾*0.8 秩父市近戸町*0.8 深谷市仲町*0.7 毛呂山町中央*0.7 鳩山町大豆戸*0.7 松伏町松伏*0.7 東秩父村御堂*0.7 さいたま南区別所*0.6 越谷市越ヶ谷*0.6 秩父市上町*0.6 入間市豊岡*0.6 皆野町皆野*0.6 長瀬町本野上*0.6 八潮市中央(旧)*0.6 三郷市中央*0.6 川越市新宿町*0.6 富士見市鶴馬*0.5 埼玉神川町植竹*0.5 寄居町寄居*0.5 千葉県 2 野田市鶴奉*1.7 香取市役所*1.5 1 香取市仁良*1.3 成田市名古屋*1.3 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷*1.3 白井市復*1.3 成田国際空港*1.2 柏市旭町*1.2 印西市大森*1.2 芝山町小池*1.1 香取市佐原平田*1.1 香取市佐原諏訪台*1.1 柏市柏*1.1 八千代市大和田新田*1.1 神崎町神崎本宿*1.0 野田市東宝珠花*1.0 栄町安食台*1.0 香取市岩部*0.9 千葉花見川区花島町*0.9 印西市美瀬*0.8 香取市羽根川*0.8 松戸市西馬橋*0.8 習志野市鷺沼*0.8 柏市大島田*0.8 山武市埴谷*0.7 千葉美浜区ひび野*0.6 成田市松子*0.6 多古町多古*0.6 市川市本行徳*0.5 成田市猿山*0.5 浦安市日の出*0.5 富里市七栄*0.5 東京都 1 東京荒川区東尾久*1.1 東京千代田区大手町*1.0 調布市西つつじヶ丘*1.0 東京北区西ヶ原*0.9 国分寺市泉町*0.9 東京文京区大塚*0.8 東京品川区平塚*0.8 東京渋谷区本町*0.8 東京中野区中野*0.8 東京府中市寿町*0.8 日野市神明*0.8 東京足立区伊興*0.7 東京江戸川区中央*0.7 東大和市中央*0.7 青梅市日向和田*0.7 東京港区海岸*0.7 東京品川区北品川*0.7 青梅市東青梅*0.6 東京中央区勝どき*0.6 東京新宿区上落合*0.6 東京世田谷区成城*0.6 東京杉並区高井戸*0.6 東京板橋区相生町*0.6 国分寺市戸倉*0.6 東京千代田区富士見*0.5 東京文京区本郷*0.5 東京大田区本羽田*0.5 東京渋谷区宇田川町*0.5 東京足立区神明南*0.5 神奈川県 1 横浜神奈川区神大寺*1.2 横浜港北区日吉本町*1.1 川崎宮前区宮前平*1.0 横浜旭区川井宿町*0.9 横浜緑区十日市場町*0.9 相模原緑区中野*0.9 横浜中区山手町*0.8 川崎中原区小杉町*0.8 川崎宮前区野川*0.8 横浜磯子区洋光台*0.7 山梨県 1 山梨北杜市長坂町*1.1 笛吹市境川町藤袋*0.9 富士川町鯉沢*0.9 大月市御大刀*0.9 富士河口湖町長浜*0.9 甲斐市下今井*0.8 南アルプス市寺部*0.7 笛吹市役所*0.7 甲州市塩山上於曾*0.7 忍野村忍草*0.7 甲府市飯田*0.6 長野県 1 茅野市葛井公園*0.8 長野南牧村海ノ口*0.7				
74	17 16 57	東京湾 東京都 1 東京千代田区大手町=0.5	35° 19.6' N	139° 42.9' E	127km	M: 3.4
75	17 18 22	根室半島南東沖 北海道 1 根室市落石東*1.2 根室市瑠璃瑠*0.9	43° 17.7' N	146° 30.7' E	45km	M: 4.2
76	18 04 06	栃木県南部 福島県 茨城県 1 棚倉町棚倉中居野*1.0 浅川町浅川*0.7 矢祭町戸塚*0.5 1 笠間市石井*0.9 ひたちなか市南神敷台*0.6	36° 42.3' N	140° 06.8' E	94km	M: 3.2
77	19 03 37	熊本県天草・芦北地方 鹿児島県 1 伊佐市大口山野*0.5	32° 09.1' N	130° 32.0' E	6km	M: 2.3
78	19 13 29	新潟県中越地方 新潟県 1 十日町市下条*0.7	37° 11.2' N	138° 50.9' E	9km	M: 2.5
79	19 13 56	福島県会津 福島県 1 南会津町界*0.9	37° 16.2' N	139° 29.0' E	7km	M: 2.0
80	19 14 33	新潟県中越地方 新潟県 1 出雲崎町米田*1.1 刈羽村割町新田*1.1 上越市大島区岡*1.0 柏崎市日石町*1.0 上越市吉川区原之町*0.7 長岡市小国町法坂*0.6 出雲崎町川西*0.5 柏崎市西山町池浦*0.5	37° 21.4' N	138° 34.1' E	17km	M: 3.1
81	19 16 25	茨城県沖 茨城県 1 日立市助川小学校*1.1 水戸市金町*0.8 常陸大宮市北町*0.8 水戸市千波町*0.6 笠間市石井*0.6 ひたちなか市東石川*0.6 水戸市栗崎町*0.6	36° 31.6' N	140° 41.2' E	55km	M: 3.3
82	20 21 57	大分県中部 大分県 2 別府市鶴見*1.7 1 別府市上野口町*1.4 由布市湯布院町川上*0.6 別府市天間*0.5	33° 16.9' N	131° 28.6' E	2km	M: 2.5
83	20 22 39	大分県中部 大分県 1 別府市上野口町*0.5	33° 16.9' N	131° 28.3' E	3km	M: 1.6
84	21 02 31	宮城県沖 岩手県 宮城県 1 釜石市中妻町*1.0 盛岡市藪川*0.6 一関市室根町*0.5 住田町世田米*0.5 一関市千厩町*0.5 1 石巻市桃生町*1.0 石巻市大街道南*0.8 東松島市矢本*0.7 石巻市北上町*0.6 栗原市栗駒*0.6 石巻市泉町*0.6 登米市中田町*0.5	38° 25.7' N	142° 14.8' E	28km	M: 4.3

令和5年12月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
85	21 05 11	能登半島沖 石川県 1 珠洲市三崎町=1.4 珠洲市正院町*=1.1	37° 35.9' N	137° 19.7' E	10km	M: 3.7
86	21 10 59	長野県中部 長野県 2 松本市丸の内*=1.5 1 松本市寿*=1.1 松本市沢村=0.5	36° 11.6' N	138° 00.7' E	5km	M: 2.4
87	21 20 29	千葉県東方沖 千葉県 2 銚子市小畑新町=1.8 旭市南堀之内*=1.6 香取市仁良*=1.6 1 旭市萩園*=1.4 白子町関*=1.4 いすみ市国府台*=1.4 いすみ市岬町長者*=1.4 旭市高生*=1.3 香取市羽根川*=1.3 横芝光町宮川*=1.3 山武市蓮沼ニ*=1.3 山武市蓮沼ハ*=1.3 市原市姉崎*=1.3 銚子市若宮町*=1.3 九十九里町片貝*=1.3 睦沢町下之郷*=1.2 東金市日吉台*=1.2 大網白里市大網*=1.2 匝瑳市今泉*=1.2 旭市ニ*=1.2 銚子市川口町=1.1 成田市松子*=1.1 長南町総合グラウンド=1.1 香取市佐原平田=1.1 多古町多古=1.0 山武市殿台*=1.0 一宮町一宮=0.9 東金市東新宿=0.9 千葉中央区中央港=0.8 君津市久留里市場*=0.8 香取市佐原諏訪台*=0.7 勝浦市墨名=0.6 勝浦市新官*=0.6 鴨川市八色=0.5 館山市長須賀=0.5 茨城県 1 神栖市波崎*=1.2 潮来市辻*=1.1 坂東市岩井=0.7 笠間市石井*=0.6 筑西市舟生=0.6 石岡市柿岡=0.5 茨城鹿嶋市鉢形=0.5 埼玉県 1 春日部市谷原新田*=1.0 宮代町笠原*=1.0 さいたま緑区中尾*=0.6 神奈川県 1 横浜中区山手町=0.5	35° 14.0' N	141° 08.9' E	11km	M: 4.8
88	21 22 36	群馬県南部 群馬県 1 前橋市富士見町*=0.6 渋川市赤城町*=0.6	36° 27.6' N	139° 09.4' E	13km	M: 2.4
89	21 23 04	千葉県東方沖 茨城県 2 取手市藤代*=2.1 神栖市波崎*=1.7 稲敷市結佐*=1.7 神栖市溝口*=1.7 つくばみらい市加藤*=1.6 河内町源清田*=1.6 つくばみらい市福田*=1.5 1 潮来市辻*=1.4 稲敷市江戸崎甲*=1.2 利根町布川=1.1 茨城鹿嶋市鉢形=1.1 筑西市舟生=1.0 石岡市柿岡=1.0 つくば天王台*=0.9 坂東市岩井=0.8 銚子市鉢田=0.8 埼玉県 2 宮代町笠原*=1.9 春日部市谷原新田*=1.9 加須市大利根*=1.7 1 幸手市東*=1.4 吉川市きよみ野*=1.4 さいたま緑区中尾*=1.4 久喜市青葉*=1.3 八潮市中央 (旧) *=1.3 久喜市菖蒲*=1.2 川口市三ツ和*=1.2 さいたま中央区下落合*=1.2 さいたま南区別所*=1.2 春日部市金崎*=1.2 鴻巣市吹上富士見*=1.1 蕨市中央*=1.1 久喜市栗橋*=1.1 久喜市鷲宮*=1.1 さいたま桜区道場*=1.1 さいたま浦和区高砂=1.1 加須市三俣*=1.1 春日部市粕壁*=1.1 草加市中央*=1.0 松伏町松伏*=1.0 さいたま大宮区天沼町*=1.0 戸田市上戸田*=1.0 三郷市中央*=1.0 さいたま浦和区常盤*=1.0 加須市騎西*=0.9 白岡市千駄野*=0.9 越谷市越ヶ谷*=0.9 久喜市下早見=0.9 富士見市鶴馬*=0.8 千葉県 2 長生村本郷*=2.1 白子町関*=2.1 香取市羽根川*=2.1 いすみ市岬町長者*=2.1 銚子市若宮町*=2.0 香取市役所*=2.0 睦沢町下之郷*=1.9 銚子市小畑新町=1.8 旭市南堀之内*=1.8 いすみ市国府台*=1.8 旭市萩園*=1.8 東金市日吉台*=1.7 山武市蓮沼ハ*=1.7 旭市ニ*=1.7 九十九里町片貝*=1.7 香取市佐原平田=1.6 東庄町笹川*=1.6 東金市東岩崎*=1.6 山武市蓮沼ニ*=1.6 千葉中央区中央港=1.6 松戸市西馬橋*=1.6 市原市姉崎*=1.6 鋸南町下佐久間*=1.6 銚子市川口町=1.6 長南町総合グラウンド=1.5 長南町長南*=1.5 大網白里市大網*=1.5 匝瑳市八日市場ハ*=1.5 匝瑳市今泉*=1.5 浦安市日の出=1.5 鴨川市横渚*=1.5 旭市高生*=1.5 一宮町一宮=1.5 横芝光町宮川*=1.5 1 東金市東新宿=1.4 多古町多古=1.4 香取市仁良*=1.4 横芝光町栗山*=1.4 山武市殿台*=1.4 山武市松尾町五反田*=1.4 印西市笠神*=1.4 君津市久留里市場*=1.4 千葉美浜区ひび野=1.3 香取市佐原諏訪台*=1.3 いすみ市大原*=1.3 千葉美浜区稲毛海岸*=1.2 市川市本行徳*=1.2 千葉緑区おゆみ野*=1.2 館山市長須賀=1.1 山武市埴谷*=1.1 鴨川市八色=1.0 千葉若葉区小倉台*=1.0 木更津市太田=1.0 勝浦市墨名=1.0 勝浦市新官*=1.0 千葉花見川区花島町*=0.9 千葉稲毛区園生町*=0.7 東京都 1 東京足立区神明南*=1.4 東京足立区伊興*=1.3 東京江東区亀戸*=1.2 東京荒川区東尾久*=1.2 東京足立区千住中居町*=1.2 東京江戸川区船堀*=1.2 東京江東区越中島*=1.1 東京荒川区荒川*=1.1 東京葛飾区金町*=1.1 東京江東区青海=1.0 東京江東区枝川*=1.0 東京板橋区高島平*=1.0 東京墨田区東向島*=0.9 東京江東区森下*=0.9 東京江戸川区鹿骨*=0.9 東京大田区本羽田*=0.9 東京品川区北品川*=0.7 東京北区赤羽南*=0.7 東京中央区勝どき*=0.7 東京大田区多摩川*=0.6 神奈川県 1 横浜中区山手町=1.3 川崎川崎区千鳥町*=1.0 川崎川崎区中島*=0.9 川崎幸区戸手本町*=0.7 川崎宮前区野川*=0.7 湯河原町中央=0.5 新潟県 1 南魚沼市六日町=0.7 山梨県 1 忍野村忍草*=0.9 山中湖村山中*=0.7	35° 14.0' N	141° 09.0' E	3km	M: 5.4
90	22 01 11	千葉県東方沖 茨城県 2 神栖市波崎*=1.7 取手市藤代*=1.5 1 潮来市辻*=1.4 稲敷市結佐*=1.4 神栖市溝口*=1.3 小美玉市上玉里*=1.2 那珂市福田*=1.1 坂東市岩井=1.0 茨城鹿嶋市鉢形=1.0 笠間市石井*=1.0 筑西市舟生=0.9 石岡市柿岡=0.9 銚子市鉢田=0.9 稲敷市江戸崎甲*=0.7 利根町布川=0.6 水戸市金町=0.5 土浦市常名=0.5 千葉県 2 銚子市小畑新町=2.0 旭市南堀之内*=2.0 銚子市若宮町*=1.9 香取市仁良*=1.9 香取市羽根川*=1.8 いすみ市岬町長者*=1.8 睦沢町下之郷*=1.7 銚子市川口町=1.7 市原市姉崎*=1.7 いすみ市国府台*=1.7 旭市萩園*=1.7 旭市高生*=1.6 白子町関*=1.6 香取市役所*=1.6 旭市ニ*=1.6 九十九里町片貝*=1.5 長生村本郷*=1.5 横芝光町宮川*=1.5 山武市蓮沼ハ*=1.5 大網白里市大網*=1.5 東金市日吉台*=1.5 匝瑳市今泉*=1.5 香取市佐原平田=1.5 1 東庄町笹川*=1.4 山武市蓮沼ニ*=1.4 印西市笠神*=1.4 多古町多古=1.3 長南町総合グラウンド=1.3 長南町長南*=1.3 匝瑳市八日市場ハ*=1.3 東金市東岩崎*=1.3 香取市岩部*=1.2	35° 14.3' N	141° 08.2' E	10km	M: 4.8

令和5年12月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		横芝光町栗山*1.2 山武市殿台*1.2 山武市松尾町五反田*1.2 千葉中央区中央港=1.2 成田市松子*1.2 東金市東新宿=1.2 香取市佐原諏訪台*1.1 千葉美浜区ひび野=1.1 一宮町一宮=1.1 山武市埴谷*1.1 鴨川市横渚*1.1 君津市久留里市場*1.1 浦安市日の出=0.9 千葉若葉区小倉台*0.8 千葉花見川区花島町*0.7 成田市名古屋=0.7 館山市長須賀=0.6 勝浦市墨名=0.6 勝浦市新官*0.6 木更津市太田=0.5 鴨川市八色=0.5				
		栃木県 1 益子町益子=0.5				
		埼玉県 1 宮代町笠原*1.4 春日部市谷原新田*1.3 さいたま緑区中尾*1.1 春日部市金崎*0.9 吉川市きよみ野*0.8 加須市大利根*0.8 富士見市鶴馬*0.8 幸手市東*0.8 さいたま南区別所*0.7 鴻巣市吹上富士見*0.7 さいたま浦和区高砂=0.6				
		東京都 1 東京足立区神明南*0.8 東京墨田区東向島*0.7 東京江東区枝川*0.7 東京板橋区相生町*0.6				
91	22 05 21	岩手県内陸北部 岩手県 1 二戸市浄法寺町*0.6	40° 09.2' N	141° 11.1' E	10km	M: 2.4
92	22 05 45	千葉県東方沖 茨城県 2 取手市藤代*1.6 神栖市波崎*1.5 1 稲敷市結佐*1.4 神栖市溝口*1.3 茨城鹿嶋市鉢形=0.9 石岡市柿岡=0.8 筑西市舟生=0.8 稲敷市江戸崎*0.8 笠間市石井*0.7 坂東市岩井=0.7 利根町布川=0.6 鉾田市鉾田=0.6	35° 14.5' N	141° 06.9' E	9km	M: 5.1
		埼玉県 2 宮代町笠原*1.5 1 春日部市谷原新田*1.3 加須市大利根*1.1 幸手市東*1.0 久喜市青葉*1.0 吉川市きよみ野*0.9 さいたま浦和区高砂=0.9 さいたま南区別所*0.9 さいたま緑区中尾*0.9 八潮市中央(旧)*0.8				
		千葉県 2 いすみ市国府台*2.0 いすみ市岬町長者*1.8 銚子市小畑新町=1.7 長生村本郷*1.7 旭市萩園*1.6 九十九里町片貝*1.6 睦沢町下之郷*1.6 銚子市若宮町*1.6 旭市南堀之内*1.6 東金市日吉台*1.5 銚子市川口町=1.5 白子町関*1.5 香取市羽根川*1.5 山武市蓮沼ハ*1.5 市原市姉崎*1.5 1 旭市ニ*1.4 長南町長南*1.4 匝瑳市今泉*1.4 香取市仁良*1.4 横芝光町宮川*1.4 山武市蓮沼ニ*1.4 千葉中央区中央港=1.4 長南町総合グラウンド=1.3 大網白里市大網*1.3 香取市役所*1.3 いすみ市大原*1.3 多古町多古=1.2 一宮町一宮=1.2 旭市高生*1.2 香取市佐原平田=1.1 鴨川市横渚*1.1 君津市久留里市場*1.1 東金市東新宿=1.1 千葉美浜区ひび野=1.0 浦安市日の出=1.0 香取市佐原諏訪台*0.9 勝浦市墨名=0.8 勝浦市新官*0.8 館山市長須賀=0.8 千葉若葉区小倉台*0.7 千葉緑区おゆみ野*0.7 鴨川市八色=0.6 柏市旭町=0.5				
		東京都 1 東京足立区神明南*1.1 東京江戸川区船堀*1.0 東京荒川区東尾久*0.8 東京足立区伊興*0.8 東京葛飾区金町*0.6 東京江東区森下*0.6				
		神奈川県 1 横浜中区山手町=0.7				
		山梨県 1 忍野村忍草*0.8				
93	22 06 06	薩摩半島西方沖 長崎県 1 五島市岐宿町*1.0	31° 53.8' N	128° 18.4' E	14km	M: 3.5
94	22 10 45	岩手県沖 岩手県 3 宮古市田老*3.2 2 宮古市五月町*2.3 普代村銅屋*2.3 野田村野田*2.0 盛岡市薮川*2.0 宮古市鯨ヶ崎=1.8 久慈市川崎町=1.7 1 八幡平市田頭*1.3 矢巾町南矢幅*1.3 山田町八幡町=1.3 盛岡市浪民*1.3 久慈市長内町*1.1 花巻市東和町(旧4)*1.1 山田町大沢*1.1 田野畑村田野畑=1.1 田野畑村役場*1.1 宮古市茂市*1.1 八幡平市大更=1.0 盛岡市山王町=1.0 宮古市川井*0.8 久慈市枝成沢=0.8 大槌町上町*0.7 花巻市石鳥谷町*0.7 遠野市青笹町*0.7 宮古市長沢=0.6 釜石市中妻町*0.6 住田町世田米*0.6 岩泉町大川*0.5 花巻市大迫町=0.5 雫石町千刈田=0.5 北上市柳原町=0.5	39° 58.6' N	142° 21.5' E	14km	M: 4.9
		青森県 1 七戸町森ノ上*1.1 おいらせ町中下田*1.1 階上町道仏*1.0 東北町上北南*0.9 六戸町犬落瀬*0.7 八戸市南郷*0.7 五戸町古館=0.7 青森南部町苔米地*0.5 八戸市内丸*0.5				
		宮城県 1 登米市南方町*1.4 登米市迫町*1.4 登米市登米町*1.3 石巻市桃生町*1.3 石巻市前谷地*1.2 宮城美里町木間塚*1.2 登米市米山町(旧)*1.1 大崎市松山*1.1 大崎市古川三日町=1.0 丸森町鳥屋*1.0 石巻市大街道南*1.0 石巻市相野谷*1.0 栗原市若柳*0.9 登米市中田町=0.9 松島町高城=0.9 栗原市一迫*0.8 栗原市築館*0.8 栗原市志波姫*0.8 大崎市田尻*0.8 栗原市栗駒=0.7 宮城美里町北浦*0.7 東松島市矢本*0.7 栗原市高清水*0.7 栗原市金成*0.6 栗原市花山*0.6				
		秋田県 1 大仙市高梨*1.0 横手市中央町*0.8 横手市大雄*0.8 由利本荘市西目町沼田*0.5				
		山形県 1 中山町長崎*0.8				
95	22 10 46	岩手県沖 岩手県 1 宮古市田老*1.3	39° 58.2' N	142° 23.1' E	6km	M: 4.0
96	22 18 30	浦河沖 北海道 1 浦河町潮見=1.0 浦河町築地*1.0 浦河町野深=0.9 新ひだか町三石旭町*0.8 新ひだか町静内山手町=0.6 えりも町えりも岬*0.5	42° 02.3' N	142° 35.6' E	63km	M: 4.0
97	22 18 37	トカラ列島近海 鹿児島県 1 鹿児島十島村小宝島*1.3	29° 13.7' N	129° 17.4' E	11km	M: 2.6
98	23 13 37	橋湾 長崎県 2 南島原市加津佐町*1.8 雲仙市南串山町*1.7 1 南島原市口之津町*1.3 長崎市元町*0.7	32° 39.3' N	130° 04.7' E	13km	M: 2.7

令和5年12月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度（計測震度）	緯度	経度	深さ	規模
99	23 14 49	熊本県 橋湾 長崎県 1 天草市有明町*=0.6 1 長崎市元町*=0.5	32° 39.3' N	130° 04.8' E	13km	M: 2.1
100	23 19 11	茨城県北部 茨城県 1 水戸市内原町*=0.7 東海村東海*=0.5	36° 30.5' N	140° 34.8' E	59km	M: 3.2
101	24 06 04	根室半島南東沖 北海道 1 根室市瑠璃瑠*=1.0	43° 02.8' N	145° 49.8' E	39km	M: 3.6
102	24 08 07	能登半島沖 石川県 1 珠洲市三崎町=1.4 珠洲市正院町*=1.1 珠洲市大谷町*=0.9 七尾市本府中町=0.6	37° 36.3' N	137° 19.7' E	11km	M: 3.8
103	24 13 59	伊豆大島近海 神奈川県 1 三浦市城山町*=0.6	35° 01.3' N	139° 37.9' E	36km	M: 2.6
104	24 18 58	天草灘 長崎県 2 長崎市野母町*=1.6 1 長崎市元町*=1.0	32° 30.0' N	129° 44.3' E	12km	M: 3.5
105	24 20 11	熊本県天草・芦北地方 熊本県 1 八代市平山新町=0.9 上天草市大矢野町=0.8	32° 31.6' N	130° 33.5' E	14km	M: 2.9
106	24 20 55	十勝地方中部 北海道 1 帯広市東6条*=0.7 むかわ町穂別*=0.6 新得町2条*=0.5 安平町早来北進*=0.5 十勝清水町南4条=0.5	42° 52.3' N	143° 08.6' E	106km	M: 3.7
107	25 03 31	福島県沖 宮城県 福島県 1 角田市角田*=0.7 1 田村市船引町=0.6	37° 50.9' N	141° 36.1' E	50km	M: 3.7
<b>108</b>	<b>25 04 42</b>	<b>兵庫県南東部</b> 兵庫県 3 丹波篠山市北新町=2.5 2 三田市下里*=2.2 丹波市春日町*=1.9 丹波篠山市宮田*=1.7 丹波篠山市杉*=1.5 1 三田市下深田=1.3 神戸北区藤原台南町*=1.0 多可町加美区*=0.9 三木市吉川町*=0.8 丹波市青垣町*=0.7 三木市細川町=0.6 加東市天神*=0.6 三木市福井*=0.5 朝来市和田山町枚田=0.5 丹波市氷上町*=0.5 朝来市生野町*=0.5 福井県 2 高浜町宮崎=1.6 1 福井おおい町本郷*=0.6 京都府 2 京丹波町蒲生*=2.2 南丹市園部町小桜町*=1.9 京都中京区西ノ京=1.8 京丹波町橘爪*=1.8 亀岡市安町=1.6 1 南丹市八木町八木*=1.4 亀岡市余部町*=1.3 京丹波町本庄*=1.2 京都伏見区醍醐*=1.2 久御山町田井*=1.0 京都西京区大枝*=1.0 京都中京区河原町御池*=1.0 八幡市八幡*=0.9 大山崎町円明寺*=0.9 京都西京区榎原*=0.8 南丹市日吉町保野田*=0.8 京都右京区京北周山町*=0.8 京都上京区藪ノ内町*=0.8 福知山市三和町千束*=0.7 京都右京区太秦*=0.7 向日市寺戸町*=0.6 京都伏見区竹田*=0.5 京都山科区安朱川向町*=0.5 長岡京市開田*=0.5 宇治市宇治琵琶=0.5 滋賀県 1 大津市国分*=0.9 大阪府 1 能勢町森上*=1.4 能勢町役場*=1.2 高槻市桃園町=0.9 島本町若山台*=0.8 豊能町余野*=0.8 高槻市消防本部*=0.8 奈良県 1 桜井市初瀬=0.5	<b>35° 04.7' N</b>	<b>135° 17.5' E</b>	<b>7km</b>	<b>M: 4.0</b>
109	25 09 11	茨城県沖 茨城県 1 水戸市内原町*=0.7 笠間市石井*=0.6 鉾田市汲上*=0.5	36° 22.3' N	141° 00.5' E	43km	M: 3.3
110	25 11 58	トカラ列島近海 鹿児島県 1 鹿児島十島村中之島徳之尾=0.7	29° 57.2' N	130° 01.0' E	6km	M: 2.0
111	25 13 49	三重県南東沖 栃木県 東京都 1 宇都宮市明保野町=0.6 1 東京千代田区大手町=0.6	33° 11.1' N	137° 57.5' E	340km	M: 4.8
112	26 04 09	三重県北部 三重県 1 菰野町潤田*=1.4 東員町山田*=0.8 四日市市新浜町*=0.8 四日市市諏訪町*=0.7 三重朝日町小向*=0.6	35° 02.9' N	136° 31.4' E	12km	M: 2.9
113	26 13 29	安芸灘 広島県 山口県 1 呉市二河町*=0.8 廿日市市大野*=0.6 1 周防大島町平野*=0.9 周防大島町東和総合支所*=0.8	33° 51.1' N	132° 27.8' E	47km	M: 3.2
114	26 15 30	鳥島近海 東京都 1 東京千代田区大手町=0.6	30° 24.6' N	138° 56.6' E	455km	M: 5.2

令和5年12月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
115	26 15 42	岐阜県飛騨地方 岐阜県 1 高山市高根町*=1.2	36° 00.8' N	137° 31.5' E	9km	M: 2.8
116	26 21 13	トカラ列島近海 鹿児島県 2 鹿児島十島村宝島*=2.4 鹿児島十島村小宝島*=2.2	29° 10.9' N	129° 10.4' E	12km	M: 3.5
117	26 21 21	トカラ列島近海 鹿児島県 1 鹿児島十島村宝島*=1.0	29° 09.1' N	129° 06.2' E	7km	M: 2.7
118	26 21 49	トカラ列島近海 鹿児島県 1 鹿児島十島村宝島*=1.4 鹿児島十島村小宝島*=0.8	29° 09.2' N	129° 07.3' E	8km	M: 2.8
119	26 22 28	トカラ列島近海 鹿児島県 2 鹿児島十島村宝島*=1.5	29° 09.7' N	129° 06.9' E	6km	M: 2.6
120	26 22 41	トカラ列島近海 鹿児島県 1 鹿児島十島村宝島*=1.2	29° 09.4' N	129° 06.9' E	6km	M: 2.5
121	26 23 02	トカラ列島近海 鹿児島県 2 鹿児島十島村宝島*=1.7	29° 09.5' N	129° 07.1' E	7km	M: 2.8
122	26 23 26	トカラ列島近海 鹿児島県 1 鹿児島十島村宝島*=0.9	29° 08.8' N	129° 07.5' E	6km	M: 2.8
123	27 00 02	トカラ列島近海 鹿児島県 1 鹿児島十島村宝島*=0.7	29° 10.7' N	129° 08.9' E	8km	M: 2.9
124	27 00 07	トカラ列島近海 鹿児島県 1 鹿児島十島村宝島*=0.8	29° 09.1' N	129° 06.2' E	5km	M: 2.6
125	27 00 16	トカラ列島近海 鹿児島県 1 鹿児島十島村宝島*=1.4	29° 09.6' N	129° 06.1' E	6km	M: 2.6
<b>126</b>	<b>27 02 00</b>	<b>トカラ列島近海</b> 鹿児島県 3 鹿児島十島村宝島*=2.5 2 鹿児島十島村小宝島*=2.1	<b>29° 09.1' N</b>	<b>129° 06.5' E</b>	<b>8km</b>	<b>M: 3.6</b>
127	27 02 07	トカラ列島近海 鹿児島県 1 鹿児島十島村宝島*=0.5	29° 08.3' N	129° 10.8' E	10km	M: 2.4
128	27 05 17	薩摩半島西方沖 鹿児島県 1 南さつま市笠沙町片浦*=0.9 南さつま市坊津町久志*=0.8 鹿児島市喜入町*=0.7 南さつま市大浦町*=0.6	31° 27.1' N	130° 06.9' E	4km	M: 3.0
<b>129</b>	<b>27 07 53</b>	<b>浦河沖</b> 北海道 3 安平町追分柏が丘*=2.8 むかわ町松風*=2.7 2 新冠町北星町*=2.4 新ひだか町静内山手町=2.4 厚真町鹿沼=2.3 新ひだか町静内御幸町*=2.2 恵庭市京町*=2.1 札幌東区元町*=2.1 日高地方日高町門別*=2.1 新ひだか町三石旭町*=2.1 千歳市若草*=1.9 南幌町栄町*=1.9 江別市緑町*=1.8 北広島市中之沢*=1.8 安平町早来北進*=1.8 函館市新浜町*=1.7 浦河町潮見=1.7 千歳市北栄=1.7 新千歳空港=1.6 厚真町京町*=1.6 新篠津村第4 7線*=1.6 長沼町中央*=1.6 胆振伊達市大滝区本町*=1.6 千歳市支笏湖温泉*=1.5 平取町振内*=1.5 函館市泊町*=1.5 様似町栄町*=1.5 札幌北区太平*=1.5 1 三笠市幸町*=1.4 むかわ町穂別*=1.4 浦河町築地*=1.4 岩見沢市栗沢町東本町*=1.3 当別町白樺*=1.3 由仁町新光*=1.3 苫小牧市旭町*=1.3 札幌白石区北郷*=1.3 浦河町野深=1.3 札幌南区石山*=1.3 浦幌町桜町*=1.3 札幌厚別区もみじ台*=1.3 小樽市勝納町=1.3 苫小牧市末広町=1.2 岩見沢市5条=1.2 白老町大町=1.2 江別市高砂町=1.2 新ひだか町静内御園=1.2 函館市川汲町*=1.2 札幌北区新琴似*=1.2 暮別町忠類錦町*=1.2 月形町円山公園*=1.2 胆振伊達市末永町*=1.2 室蘭市寿町*=1.2 登別市桜木町*=1.1 帯広市東4条=1.1 帯広市東6条*=1.1 夕張市若菜=1.1 札幌北区篠路*=1.1 広尾町並木通=1.1 広尾町白樺通=1.1 栗山町松風*=1.1 石狩市聚富=1.1 札幌手稲区前田*=1.0 十勝清水町南4条=1.0 札幌清田区平岡*=1.0 新得町2条*=0.9 岩見沢市嶋が丘*=0.9 胆振伊達市梅本=0.9 音更町元町*=0.9 十勝池田町西1条*=0.8 えりも町えりも岬*=0.8 十勝大樹町東本通*=0.8 白老町緑丘*=0.8 函館市尾札部町=0.8 登別市鉱山=0.8 札幌南区川沿*=0.8 札幌豊平区月寒東*=0.8 芽室町東2条*=0.8 えりも町目黒*=0.8 本別町北2丁目=0.7 札幌西区琴似*=0.7 美瑛市西5条=0.7 平取町本町*=0.7 壮瞥町滝之町*=0.7 鹿部町宮浜*=0.6 札幌中央区北2条=0.6 美瑛市西3条*=0.6 余市町浜中町*=0.6 小樽市花園町*=0.5 新ひだか町静内農屋*=0.5 本別町向陽町*=0.5 土幌町土幌*=0.5 青森県 2 東通村砂子又沢内*=1.9 1 むつ市大畑町中島*=1.4 東通村砂子又浦谷地=1.4 階上町道仏*=1.1 五戸町古館=0.9 むつ市金曲=0.9 八戸市湊町=0.7 三沢市桜町*=0.7 七戸町森ノ上*=0.7 五戸町倉石中市*=0.6 青森南部町平*=0.6 八戸市南郷*=0.6 横濱町林ノ脇*=0.6 八戸市内丸*=0.5 青森南部町苔米地*=0.5 おいらせ町中下田*=0.5 外ヶ浜町蟹田*=0.5 むつ市川内町*=0.5 六ヶ所村尾駈=0.5 東通村白糠*=0.5 風間浦村易国間*=0.5	<b>41° 55.2' N</b>	<b>142° 19.4' E</b>	<b>70km</b>	<b>M: 4.6</b>

令和5年12月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
130	27 13 07	岩手県 1 軽米町軽米*=-0.7 久慈市枝成沢=0.5 トカラ列島近海 鹿児島県 1 鹿児島十島村宝島*=-0.5	29° 08.0' N	129° 09.0' E	8km	M: 2.3
131	27 14 07	薩摩半島西方沖 鹿児島県 1 南さつま市笠沙町片浦*=-0.6 鹿児島市喜入町*=-0.5	31° 27.1' N	130° 06.9' E	4km	M: 2.9
132	27 14 40	トカラ列島近海 鹿児島県 1 鹿児島十島村宝島*=-1.4	29° 09.3' N	129° 07.4' E	7km	M: 2.6
133	27 16 08	福島県沖 福島県 2 白河市新白河*=-1.6 1 田村市都路町*=-1.4 矢祭町戸塚*=-1.3 田村市大越町*=-1.2 田村市滝根町*=-1.2 いわき市三和町=1.1 小野町小野新町*=-1.0 白河市郭内=1.0 田村市常葉町*=-1.0 川内村上川内早渡*=-1.0 田村市船引町=-0.9 檜葉町北田*=-0.9 いわき市小名浜=-0.9 鏡石町不時沼*=-0.8 天栄村下松本*=-0.8 川俣町五百田*=-0.8 いわき市平梅本*=-0.8 玉川村小高*=-0.8 小野町中通*=-0.8 いわき市平四ツ波*=-0.7 いわき市錦町*=-0.7 須賀川市岩瀬支所*=-0.7 福島広野町下北迫大谷地原*=-0.7 郡山市湖南町*=-0.7 浅川町浅川*=-0.7 大熊町大川原*=-0.7 泉崎村泉崎*=-0.6 郡山市開成*=-0.6 須賀川市八幡山*=-0.6 茨城県 1 日立市助川小学校*=-0.7 高萩市安良川*=-0.5 北茨城市磯原町*=-0.5	37° 03.3' N	141° 01.9' E	32km	M: 3.8
134	27 22 47	石川県能登地方 石川県 1 珠洲市正院町*=-1.4 珠洲市三崎町=1.1 珠洲市大谷町*=-0.7	37° 29.6' N	137° 16.9' E	12km	M: 2.7
135	28 01 07	トカラ列島近海 鹿児島県 1 鹿児島十島村中之島徳之尾=1.4	29° 48.9' N	129° 54.5' E	6km	M: 1.9
136	28 03 45	沖縄本島近海 沖縄県 1 南城市佐敷字佐敷*=-0.7	26° 10.2' N	127° 59.8' E	17km	M: 2.8
137	28 16 10	茨城県沖 茨城県 1 日立市助川小学校*=-0.8	36° 23.4' N	141° 03.6' E	41km	M: 3.5
138	28 17 56	岩手県沖 岩手県 1 大船渡市大船渡町=1.3 釜石市中妻町*=-1.2 一関市大東町=1.2 住田町世田米*=-1.1 一関市室根町*=-0.9 大槌町上町*=-0.8 大船渡市猪川町=0.8 遠野市青笹町*=-0.6 釜石市只越町=0.6 一関市千蔵町*=-0.6 一関市東山町*=-0.6 宮城県 1 気仙沼市唐桑町*=-0.9 気仙沼市赤岩=0.7 石巻市桃生町*=-0.7	39° 13.2' N	142° 10.7' E	51km	M: 3.8
139	28 18 03	岐阜県美濃中西部 岐阜県 1 岐阜市京町*=-0.8	35° 24.3' N	136° 32.0' E	41km	M: 2.5
140	28 18 15	<b>択捉島南東沖</b> 北海道 3 新ひだか町静内山手町=2.5 浦河町潮見=2.5 2 新冠町北星町*=-2.4 新ひだか町静内御幸町*=-2.3 浦河町築地*=-2.3 釧路町別保*=-2.1 別海町常盤=2.1 白糠町西1条*=-2.0 根室市落石東*=-2.0 標津町北2条*=-1.9 浦河町野深=1.9 中標津町丸山*=-1.9 別海町本別海*=-1.8 浦幌町桜町*=-1.8 釧路市音別町中園*=-1.7 標茶町塘路*=-1.7 むかわ町松風*=-1.6 清里町羽衣町*=-1.6 釧路市黒金町*=-1.6 釧路市阿寒町中央*=-1.5 厚岸町真栄*=-1.5 根室市厚床*=-1.5 十勝大樹町東本通*=-1.5 根室市瑠璃瑠*=-1.5 1 十勝清水町南4条=1.4 釧路市幸町=1.4 羅臼町岬町*=-1.4 様似町栄町*=-1.3 鶴居村鶴居東*=-1.3 羅臼町緑町*=-1.3 新ひだか町三石旭町*=-1.3 標茶町川上*=-1.2 斜里町本町=1.2 中札内村東2条*=-1.2 新得町2条*=-1.2 弟子屈町美里=1.1 弟子屈町弟子屈*=-1.1 十勝池田町西1条*=-1.1 釧路市阿寒町阿寒湖温泉*=-1.1 帯広市東6条*=-1.1 安平町早来北進*=-1.0 新ひだか町静内御園=1.0 本別町北2丁目=1.0 厚真町鹿沼=1.0 浜中町湯沸=0.9 根室市牧の内*=-0.9 帯広市東4条=0.9 札幌北区篠路*=-0.9 標津町古多糠=0.9 厚岸町尾幌=0.9 標津町薫別*=-0.8 根室市弥栄=0.8 弟子屈町サランチサップ*=-0.8 羅臼町春日=0.7 札幌手稲区前田*=-0.7 札幌東区元町*=-0.6 幕別町忠類明和=0.6 足寄町上螺湾=0.5 中標津町養老牛=0.5 札幌白石区北郷*=-0.5 青森県 1 むつ市金曲=1.2 外ヶ浜町平館*=-1.1 大間町大間*=-1.1 東通村砂子又沢内*=-1.1 外ヶ浜町蟹田*=-1.0 八戸市南郷*=-1.0 七戸町森ノ上*=-1.0 東北町上北南*=-1.0 おいらせ町中下田*=-1.0 つがる市稲垣町*=-1.0 東通村砂子又蒲谷地=0.9 藤崎町水木*=-0.9 平川市猿賀*=-0.8 むつ市大畑町中島*=-0.8 黒石市市ノ町*=-0.8 五戸町古館=0.8 八戸市内丸*=-0.6 階上町道仏*=-0.6 青森南部町苦米地*=-0.5 岩手県 1 盛岡市藪川*=-1.2 宮城県 1 登米市米山町(旧)*=-0.7 登米市南方町*=-0.5	<b>44° 36.1' N</b>	<b>149° 09.2' E</b>	<b>30km F</b>	<b>M: 6.6</b>
141	28 22 16	青森県東方沖 青森県 2 青森南部町苦米地*=-1.8 八戸市内丸*=-1.7 青森南部町平*=-1.7 五戸町古館=1.7 八戸市湊町=1.6 野辺地町田狭沢*=-1.5 階上町道仏*=-1.5 1 八戸市南郷*=-1.4 三戸町在府小路町*=-1.4 東通村砂子又沢内*=-1.4 青森南部町沖田面*=-1.3 五戸町倉石中市*=-1.3 三沢市桜町*=-1.2 十和田市西十二番町*=-1.2 おいらせ町中下田*=-1.2	40° 34.8' N	142° 29.4' E	43km	M: 4.5

令和5年12月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		七戸町森ノ上*=1.0 六戸町犬落瀬*=1.0 東北町上北南*=1.0 おいらせ町上明堂*=1.0 むつ市大畑町中島*=1.0 平内町東田沢*=1.0 十和田市西二番町*=0.9 横浜町林ノ脇*=0.9 むつ市川内町*=0.8 東通村白糖*=0.8 十和田市奥瀬*=0.8 東北町塔ノ沢山*=0.8 田子町田子*=0.7 八戸市島守=0.7 東通村砂子又蒲谷地=0.7 むつ市金曲=0.7 横浜町寺下*=0.6 六ヶ所村尾駈=0.6 青森市中央*=0.5 七戸町七戸*=0.5 佐井村長後*=0.5 外ヶ浜町蟹田*=0.5 岩手県 2 軽米町軽米*=1.8 盛岡市藪川*=1.6 八幡平市田頭*=1.5 1 二戸市浄法寺町*=1.4 九戸村伊保内*=1.4 岩手町五日市*=1.2 一戸町高善寺*=1.2 盛岡市洪民*=1.1 八幡平市野駄(旧2)*=1.1 二戸市福岡=1.1 八幡平市吹田*=1.0 岩手洋野町種市=1.0 久慈市枝成沢=0.9 葛巻町葛巻元木=0.8 八幡平市大更=0.7 久慈市川崎町=0.6 岩手洋野町大野*=0.6 盛岡市馬場町*=0.6 北海道 1 函館市泊町*=1.4 宮城県 1 登米市迫町*=0.5 秋田県 1 鹿角市花輪*=0.6 小坂町小坂砂森*=0.6				
142	28 23 49	奄美大島近海 鹿児島県	27° 59.3' N	128° 52.0' E	45km	M: 4.1
		2 天城町平土野*=2.3 伊仙町伊仙*=2.3 瀬戸内町請島*=1.7 天城町当部=1.5 1 奄美市名瀬港町=1.0 徳之島町亀津*=0.8 知名町瀬利寛=0.8 瀬戸内町加計呂麻島*=0.7 宇検村湯湾*=0.6				
143	29 00 13	富山湾 石川県	37° 24.2' N	137° 19.9' E	6km	M: 2.6
		1 珠洲市正院町*=1.1 珠洲市三崎町=1.0 能登町松波*=0.5				
144	29 00 47	徳島県南部 徳島県	33° 44.3' N	134° 08.2' E	20km	M: 3.6
		1 つるぎ町半田*=1.4 徳島三好市三野町*=1.3 牟岐町中村*=1.3 那賀町上那賀*=1.3 那賀町和食*=1.2 那賀町木頭和無田*=1.2 美馬市木屋平*=1.1 美馬市美馬町*=1.1 つるぎ町貞光*=0.9 那賀町延野*=0.9 東みよし町加茂*=0.9 海陽町大里*=0.9 上勝町旭*=0.8 那賀町木沢*=0.7 美馬市穴吹ふれスポ公園=0.7 阿南市山口町*=0.6 那賀町横石=0.6 美波町西の地*=0.5 つるぎ町一字*=0.5				
145	29 22 34	沖縄本島近海 沖縄県	26° 17.5' N	127° 48.9' E	21km	M: 3.2
		1 中城村当間*=1.1 宜野湾市野嵩*=1.0 西原町与那城*=0.9 うるま市みどり町*=0.9 八重瀬町東風平*=0.8 南城市佐数字佐敷*=0.8 南城市大里仲間*=0.8 南城市知念久手堅*=0.7 うるま市与那城平安座*=0.7 浦添市安波茶*=0.7 那覇市港町*=0.6 沖縄市美里*=0.6 与那原町上与那原*=0.6 北中城村喜舎場*=0.5 名護市豊原=0.5				
146	30 08 45	秋田県沿岸北部 秋田県	39° 53.6' N	139° 45.6' E	9km	M: 3.1
		1 男鹿市船川*=1.0 男鹿市男鹿中=0.6				
147	30 11 21	トカラ列島近海 鹿児島県	29° 57.5' N	129° 58.7' E	1km	M: 2.6
		1 鹿児島十島村口之島出張所*=0.7				
148	30 15 07	日高地方西部 北海道	42° 48.6' N	142° 31.8' E	35km	M: 4.1
		1 新得町2条*=1.4 新冠町北星町*=1.3 平取町振内*=1.1 むかわ町穂別*=1.0 千歳市若草*=1.0 安平町早来北進*=0.9 安平町追分柏が丘*=0.9 十勝清水町南4条=0.8 十勝池田町西1条*=0.8 千歳市北栄=0.7 新千歳空港=0.6 千歳市支笏湖温泉*=0.6 厚真町鹿沼=0.5 函館市泊町*=0.5 新ひだか町三石旭町*=0.5 青森県 1 むつ市大畑町中島*=0.5				
149	31 07 39	岩手県沖 岩手県	39° 51.9' N	142° 17.8' E	31km	M: 4.0
		2 宮古市田老*=1.6 1 宮古市鍛ヶ崎=1.0 宮古市五月町*=0.7 釜石市中妻町*=0.6 八幡平市田頭*=0.6 盛岡市洪民*=0.5 釜石市只越町=0.5 青森県 1 三戸町在府小路町*=1.0 青森南部町苫米地*=0.9 五戸町古館=0.6 八戸市内丸*=0.5				
150	31 23 37	奄美大島近海 鹿児島県	28° 11.7' N	130° 46.6' E	75km	M: 4.4
		1 喜界町滝川=0.6				

● 付録2. 過去1年間に震度1以上を観測した地震の最大震度別の月別回数  
 〈令和5年（2023年）1月～令和5年（2023年）12月〉

	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	計	記事
令和5年（2023年）											
1月	91	29	9	2						131	石川県能登地方の地震活動 （1月中：震度4：1回、震度3：1回、震度2：3回、震度1：7回、能登半島沖で発生した地震1回を含む）
2月	63	24	11		1					99	25日 釧路沖（震度5弱） 石川県能登地方の地震活動 （2月中：震度3：2回、震度2：2回、震度1：5回、能登半島沖で発生した地震を1回含む）
3月	70	30	8	4						112	石川県能登地方の地震活動 （3月中：震度3：3回、震度2：1回、震度1：12回、能登半島沖で発生した地震を3回含む）
4月	90	43	12	2						147	石川県能登地方の地震活動 （4月中：震度3：1回、震度2：1回、震度1：8回、能登半島沖で発生した地震3回を含む） 父島近海の地震活動 （4月中：震度4：1回、震度3：2回、震度2：2回、震度1：15回）
5月	249	111	27	11	3	2		1		404	5日 能登半島沖（震度6強、震度5強） （石川県能登地方の地震活動、5月中：震度6強：1回、震度5強：1回、震度4：5回、震度3：10回、震度2：35回、震度1：69回、能登半島沖で発生した地震67回及び富山湾で発生した地震6回を含む） 11日 千葉県南部（震度5強） 13日 トカラ列島近海（震度5弱） （5月中：震度5弱：1回、震度4：2回、震度3：5回、震度2：26回、震度1：63回） 22日 新島・神津島近海（震度5弱） （5月中：震度5弱：1回、震度4：1回、震度3：4回、震度2：13回、震度1：42回） 26日 千葉県東方沖（震度5弱） 八丈島近海の地震活動 （5月中：震度3：1回、震度2：4回、震度1：8回）
6月	106	48	14	2	1					171	11日 苫小牧沖（震度5弱） 石川県能登地方の地震活動 （6月中：震度3：1回、震度2：7回、震度1：8回、能登半島沖で発生した地震12回を含む） トカラ列島近海の地震活動 （6月中：震度4：1回、震度3：1回、震度2：7回、震度1：22回）
7月	87	33	7	2						129	石川県能登地方の地震活動 （7月中：震度3：2回、震度2：3回、震度1：7回、能登半島沖で発生した地震6回を含む）
8月	82	29	10	1						122	石川県能登地方の地震活動 （8月中：震度2：1回、震度1：8回、能登半島沖で発生した地震4回、富山湾で発生した地震1回を含む） トカラ列島近海の地震活動 （8月中：震度2：1回、震度1：10回）
9月	323	111	33	4						471	石川県能登地方の地震活動 （9月中：震度3：1回、震度2：4回、震度1：8回、能登半島沖で発生した地震5回を含む） トカラ列島近海（小宝島付近）の地震活動 （9月中：震度4：2回、震度3：25回、震度2：82回、震度1：237回）
10月*	97	32	9	1						139	石川県能登地方の地震活動 （10月中：震度2：2回、震度1：8回、能登半島沖で発生した地震5回及び富山湾で発生した地震1回を含む）
11月	105	34	9	4						152	トカラ列島近海（口之島・中之島付近）の地震活動 （11月中：震度4：1回、震度3：3回、震度2：2回、震度1：15回）
12月	108	35	7							150	トカラ列島近海の地震活動 （12月中：震度3：1回、震度2：3回、震度1：11回）
2023年計	1471	559	156	33	5	2	0	1	0	2227	
過去1年計	1471	559	156	33	5	2	0	1	0	2227	（令和5年1月～令和5年12月）

※2023年10月中の回数には、10月9日04時頃から06時台にかけての鳥島近海の地震活動に伴い観測されたT相によるものと考えられる震度を除く。

注）「記事」の欄には主に震度5弱以上を観測した地震、または震度1以上を10回以上観測した地震活動について記載した。

● 付録3. 日本及びその周辺におけるマグニチュード（M）別の月別地震回数  
 〈令和5年（2023年）1月～令和5年（2023年）12月〉

	M3.0 ～ M3.9	M4.0 ～ M4.9	M5.0 ～ M5.9	M6.0 ～ M6.9	M7.0 以上	計 M3.0 以上	計 M4.0 以上	記事
令和5年（2023年）								
1月	333	60	12			405	72	
2月	306	62	6	1		375	69	25日 釧路沖（M6.0）
3月	326	81	7	1		415	89	28日 青森県東方沖（M6.2）
4月	331	60	7			398	67	
5月	598	111	24	4		737	139	1日 沖縄本島近海（M6.4） 5日 能登半島沖（M6.5） 26日 千葉県東方沖（M6.2） 30日 硫黄島近海（M6.5）
6月	335	78	12	2		427	92	11日 苫小牧沖（M6.2） 28日 日本海北部（M6.3）
7月	296	66	11			373	77	
8月	354	66	7	2		429	75	11日 青森県東方沖（M6.2） 25日 三陸沖（M6.0）
9月	496	76	12	3		587	91	18日 宮古島北西沖（M6.5） 19日 鳥島近海（M6.1） 29日 択捉島南東沖（M6.2）
10月	416	161	29	5		611	195	3日 鳥島近海（M6.4） 4日 鳥島近海（M6.2） 5日 鳥島近海（M6.5） 6日 鳥島近海（M6.0） 16日 宮古島近海（M6.0）
11月	333	62	7		1	403	70	24日 マリアナ諸島（M7.5）
12月	351	83	5	1		440	89	28日 択捉島南東沖（M6.6）
2023年計	4475	966	139	19	1	5600	1125	
過去1年計	4475	966	139	19	1	5600	1125	（令和5年1月～令和5年12月）

注）日本及びその周辺：原則、北緯20～49度、東経120～154度の範囲。「記事」の欄には主にM6.0以上の地震を記載した。

## ● 付録4. 長周期地震動階級1以上を観測した地震

令和5年12月に長周期地震動階級\*1以上を観測した地震はなかった。

平成25年3月～令和5年12月に長周期地震動階級1以上を観測した地震の月別回数

年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
平成25年 (2013年)			1	4	1	0	0	1	1	1	1	1	11
平成26年 (2014年)	0	1	1	0	1	1	3	0	1	1	1	0	10
平成27年 (2015年)	0	3	0	1	2	0	2	0	0	0	1	0	9
平成28年 (2016年)	1	0	0	13	1	1	0	2	0	2	4	1	25
平成29年 (2017年)	1	2	0	0	0	1	2	0	1	1	0	1	9
平成30年 (2018年)	1	0	1	1	1	2	2	0	2	2	0	0	12
平成31年 /令和元年 (2019年)	1	1	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	6
令和2年 (2020年)	1	1	1	1	0	2	0	0	2	0	1	2	11
令和3年 (2021年)	0	1	1	0	2	0	0	0	1	1	0	0	6
令和4年 (2022年)	2	0	3	0	1	1	0	0	0	1	0	0	8
令和5年 (2023年)	0	1	1	0	5	1	0	1	2	0	0	0	11

長周期地震動階級関連解説表

長周期地震動階級	人の体感・行動	室内の状況	備考
長周期地震動階級1	室内にいたほとんどの人が揺れを感じる。驚く人もいる。	ブラインドなど吊り下げもの大きく揺れる。	—
長周期地震動階級2	室内で大きな揺れを感じ、物につかまりたいと感じる。物につかまらなると歩くことが難しいなど、行動に支障を感じる。	キャスター付き什器がわずかに動く。棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。	—
長周期地震動階級3	立っていることが困難になる。	キャスター付き什器が大きく動く。固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。	間仕切壁などにひび割れ・亀裂が入ることがある。
長周期地震動階級4	立っていることができず、はわないと動くことができない。揺れにほんろうされる。	キャスター付き什器が大きく動き、転倒するものがある。固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。	間仕切壁などにひび割れ・亀裂が多くなる。

※ 長周期地震動階級に関する詳細は、本誌の付録10「長周期地震動階級関連解説表」を参照のこと。

## ● 付録5. 緊急地震速報の提供状況

令和5年12月に緊急地震速報（警報）を発表した地震はなかった。また、緊急地震速報（予報）を発表した回数は62回であった。

平成19年10月～令和5年12月に発表した緊急地震速報の月別回数

年 月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
平成19年 (2007年)										0(48)	0(33)	0(39)	0(120)
平成20年 (2008年)	0(35)	0(41)	0(48)	1(42)	1(70)	3(75)	2(63)	0(47)	1(58)	0(46)	1(40)	0(57)	9(622)
平成21年 (2009年)	0(44)	0(39)	0(34)	0(34)	0(24)	0(54)	0(36)	2(65)	0(47)	1(44)	0(39)	0(47)	3(507)
平成22年 (2010年)	0(53)	1(44)	1(50)	0(36)	0(27)	0(35)	0(47)	0(51)	1(40)	1(50)	0(40)	1(34)	5(507)
平成23年 (2011年)	0(50)	0(74)	45(1191)	26(770)	5(425)	5(304)	5(248)	3(239)	4(188)	1(163)	2(135)	1(136)	97(3923)
平成24年 (2012年)	2(149)	3(141)	3(142)	2(128)	1(129)	3(118)	0(102)	1(107)	0(70)	0(109)	0(77)	1(134)	16(1406)
平成25年 (2013年)	0(81)	2(99)	0(53)	3(103)	0(91)	0(83)	0(102)	2(97)	1(61)	0(80)	0(93)	1(67)	9(1010)
平成26年 (2014年)	0(70)	0(70)	1(68)	0(62)	0(53)	0(57)	2(97)	1(96)	1(68)	0(84)	1(87)	0(75)	6(887)
平成27年 (2015年)	0(67)	1(88)	0(90)	1(77)	3(71)	0(84)	1(74)	0(88)	0(81)	0(92)	1(86)	0(75)	7(973)
平成28年 (2016年)	1(76)	0(71)	0(65)	20(228)	1(101)	2(89)	0(95)	0(71)	1(80)	3(92)	2(124)	1(86)	31(1178)
平成29年 (2017年)	0(77)	0(72)	0(61)	0(60)	0(52)	1(55)	1(79)	1(73)	2(52)	1(53)	0(57)	1(77)	7(768)
平成30年 (2018年)	2(64)	0(61)	1(76)	2(80)	1(52)	2(70)	1(55)	0(58)	2(158)	4(97)	1(68)	0(69)	16(908)
平成31年 /令和元年 (2019年)	1(66)	1(62)	0(63)	0(88)	1(64)	2(59)	0(59)	1(56)	0(50)	0(72)	0(56)	2(68)	8(763)
令和2年 (2020年)	1(60)	1(54)	1(60)	2(76)	4(74)	1(96)	2(59)	0(46)	1(67)	0(42)	1(43)	3(77)	17(754)
令和3年 (2021年)	0(62)	1(90)	1(75)	0(74)	1(79)	0(52)	0(80)	0(80)	1(60)	3(56)	2(60)	2(92)	11(860)
令和4年 (2022年)	2(81)	0(63)	6(150)	0(74)	2(83)	2(78)	0(49)	1(64)	0(68)	1(65)	1(66)	0(72)	15(913)
令和5年 (2023年)	1(59)	1(45)	0(56)	0(70)	12(155)	1(74)	0(49)	0(51)	1(82)	1(60)	0(61)	0(62)	17(824)

※ 表中の数字は緊急地震速報（警報）の発表回数、( )内の数字は緊急地震速報（予報）の発表回数を示す。

緊急地震速報（警報及び予報）の提供には、気象庁の地震計の観測データに加え、国立研究開発法人防災科学技術研究所の地震観測データを利用している。

## ●令和5年（2023年）の地震・火山活動

### 目次

● 令和5年（2023年）の日本の地震活動	78
● 令和5年（2023年）の南海トラフ沿いの地震活動	95
● 令和5年（2023年）の日本及びその周辺で発生した主な地震	98
● 令和5年（2023年）の都道府県別の震度観測回数表	101
● 令和5年（2023年）の観測点別の震度観測回数表	102
● 令和5年（2023年）に主な観測点で震度1以上を観測した回数分布	109
● 過去10年間（2014年～2023年）の最大震度別の月別地震回数	110
● 令和5年（2023年）に長周期地震動階級1以上を観測した地震	111
● 令和5年（2023年）の緊急地震速報の提供状況	112
● 令和5年（2023年）の日本の主な火山活動	113
● 令和5年（2023年）の世界の主な地震活動	124
● 令和5年（2023年）の世界の主な火山活動	126
● 付録	
6. 気象庁震度階級関連解説表	127
7. 気象庁震度階級と計測震度	129
8. 震度観測点（令和6年1月10日現在）	130
9. 震度6または震度6弱以上を観測した地震の表（1919～2023年）	134
10. 長周期地震動階級関連解説表	155

## ●令和5年（2023年）の日本の地震活動

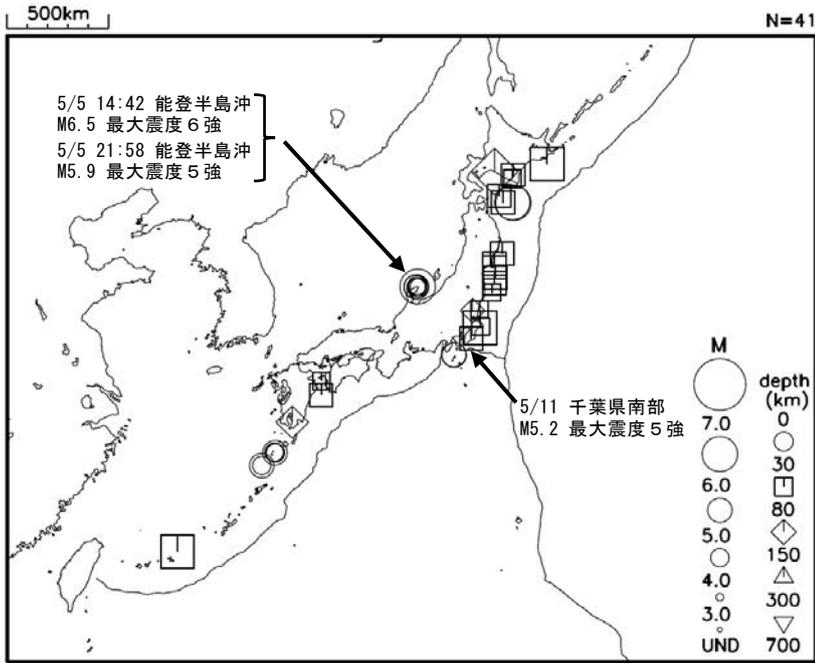


図1 2023年に最大震度4以上を  
観測した地震の震央分布図  
最大震度5強以上を観測した地震に矢印を付けた

### 〔概況〕

2023年に国内で被害を伴った地震は4回<sup>(注1)</sup>（2022年は7回）発生した。このうち、死者・行方不明者を伴った地震は、5月5日14時42分に能登半島沖で発生した地震（M6.5）<sup>(注2)</sup>の1回であった（2022年は1回）。

震度1以上を観測した地震は2,227回<sup>(注3)</sup>（2022年は1,964回）、最大震度4以上を観測した地震は41回（2022年は51回）、最大震度5弱以上を観測した地震は8回（2022年は15回）であり、2023年中に観測した最大の震度は、5月5日14時42分に能登半島沖で発生した地震（M6.5）で観測された震度6強であった（図1）。

M6.0以上の地震は19回（2022年は19回）発生した。過去105年間の地震回数の中央値が16回であることから、ほぼ平均的な発生回数であった（図4）。2023年中で最大規模の地震は、12月28日に発生した択捉島南東沖の地震（M6.6）であった（図2）。

日本で津波を観測した地震（海外で発生した地震を含む）は、5月5日14時42分に能登半島沖で発生した地震（M6.5）、10月5日に鳥島近海で発生した地震（M6.5）、10月6日に鳥島近海で発生した地震（M6.0）、10月9日04時頃から06時台にかけて鳥島近海で発生した地震活動及び12月2日にフィリピン諸島、ミンダナオで発生した地震（Mw7.5）の5回であった（2022年は1回）（図4）。また、大津波警報、津波警報、津波注意報の発表をした地震は、10月5日に鳥島近海で発生した地震（M6.5、津波注意報）、10月9日04時頃から06時台にかけて鳥島近海で発生した地震活動（津波注意報）及び12月2日にフィリピン諸島、ミンダナオで発生した地震（Mw7.5、津波注意報）の3回であった。

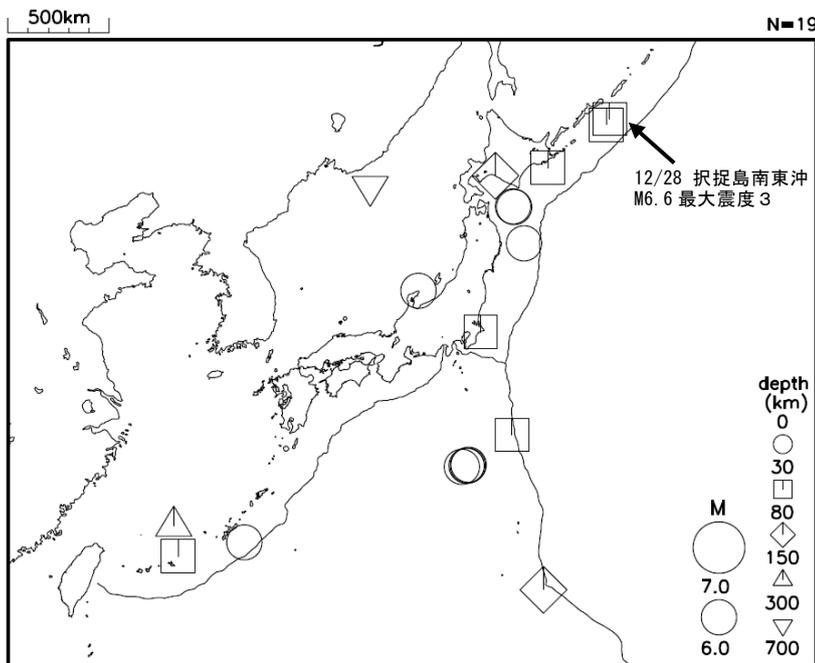


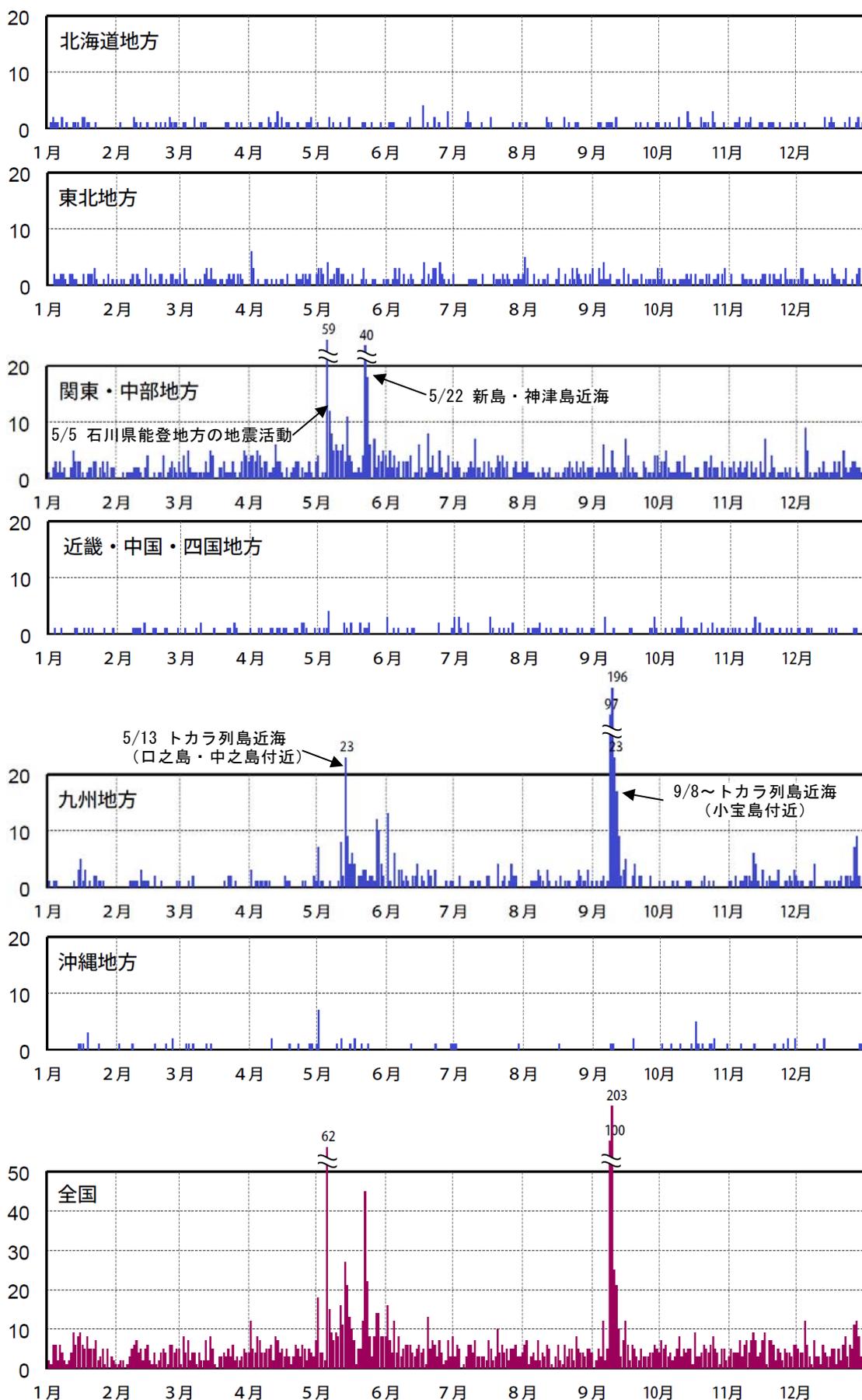
図2 2023年に発生した  
M6.0以上の地震の震央分布図  
2023年中で最大規模の地震に矢印を付けた

（注1）5月5日14時42分及び同日21時58分に発生した能登半島沖の地震については、生じた被害がどちらの地震によるものか区別できないため合わせて1回として扱った。

（注2）気象庁はこの地震を含めて2020年12月以降に石川県能登地方で発生している一連の地震活動について、令和6年1月1日にその名称を「令和6年能登半島地震」と定めた。

（注3）10月9日04時頃から06時台にかけての鳥島近海の地震活動に伴い観測されたT相<sup>(注4)</sup>によるものと考えられる震度を除く。

（注4）地震波が海底面で音波に変換され海中を伝わったもの。



2023年の1年間に最大震度4以上を観測した地震回数（最大震度別）

最大震度	回数
4	33
5弱	5
5強	2
6弱	0
6強	1
7	0
合計	41

図3 2023年に震度1以上を観測した日別回数（全国及び各地方別）

6つの地方（北海道地方、東北地方、関東・中部地方（三重県を含む）、近畿・中国・四国地方、九州地方及び沖縄地方）に分割した。

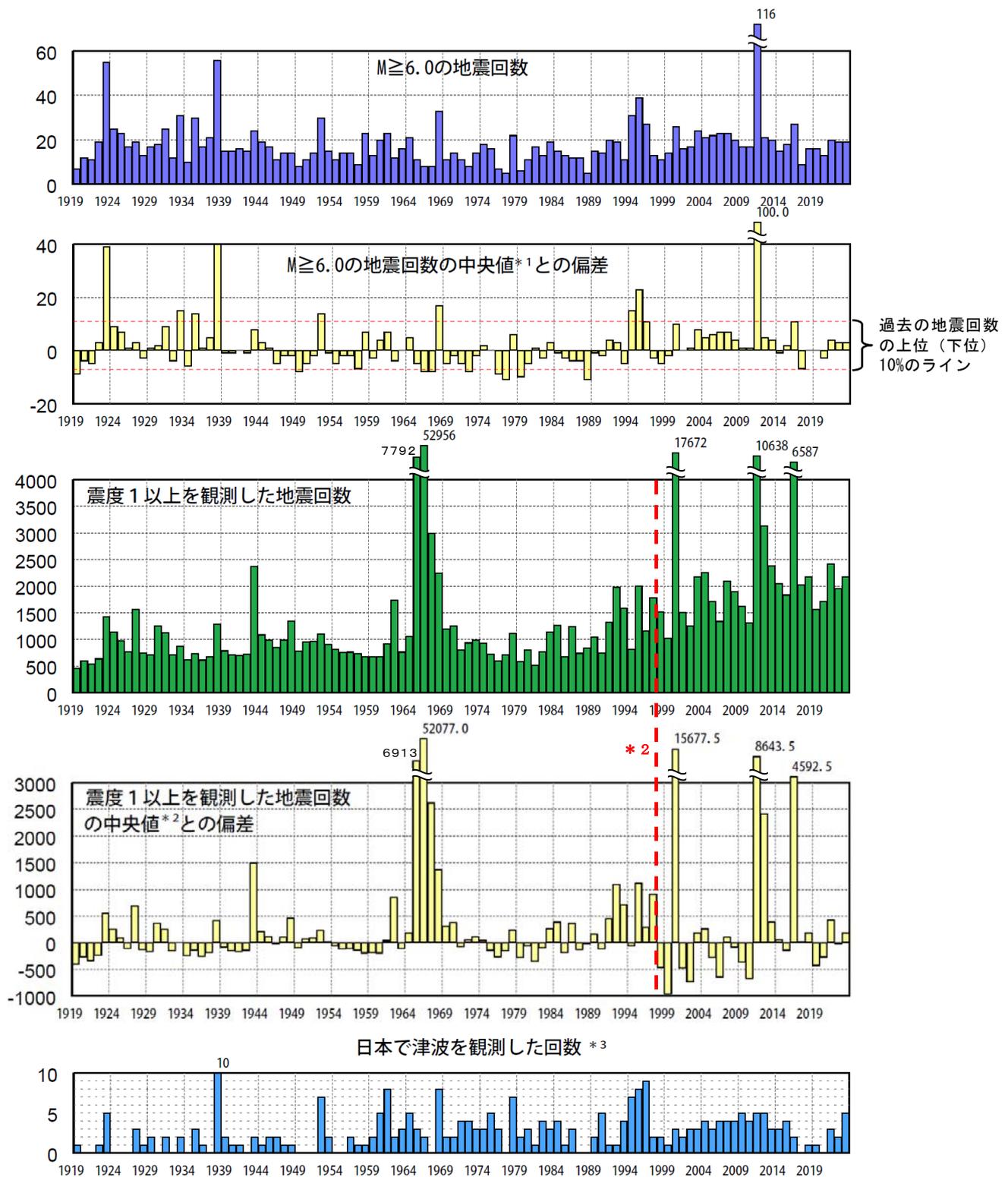


図4 全国の  $M \geq 6.0$  及び震度1以上を観測した地震の年別回数、津波を観測した年別回数（1919-2023年）

\* 1  $M \geq 6.0$  の過去105年間（1919～2023年）の中央値は16回／年であった。  
 \* 2 震度1以上を観測した地震の回数を比較するにあたっては、近年、震度観測点が増えたことを考慮する必要がある。ここでは、地方公共団体の震度計のデータを活用開始した時期（1997年11月）を考慮し、1998年を区切りとして、その前後で各々中央値を求めて比較した。なお、中央値からの偏差が大きい1965～1967年には松代群発地震、2000年には新島・神津島の地震活動、2011年には「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」、2016年には「平成28年（2016年）熊本地震」が発生している。  
 \* 3 海外で発生した地震及び火山噴火による潮位変化を含む。集計には、験震時報、気象庁技術報告、その他気象庁が取りまとめた資料の他、Iida(1984)、渡辺(1998)を利用している。また、過去の津波を観測した地震回数については、津波の観測点数や観測手法等が異なるため、各年代をそのまま単純比較することはできないことに留意する必要がある。  
 Iida, Kumizi(1984) : Catalog of tsunamis in Japan and its neighboring countries, Aichi Institute of Technology, 52 p.

## ○北海道地方の地震活動

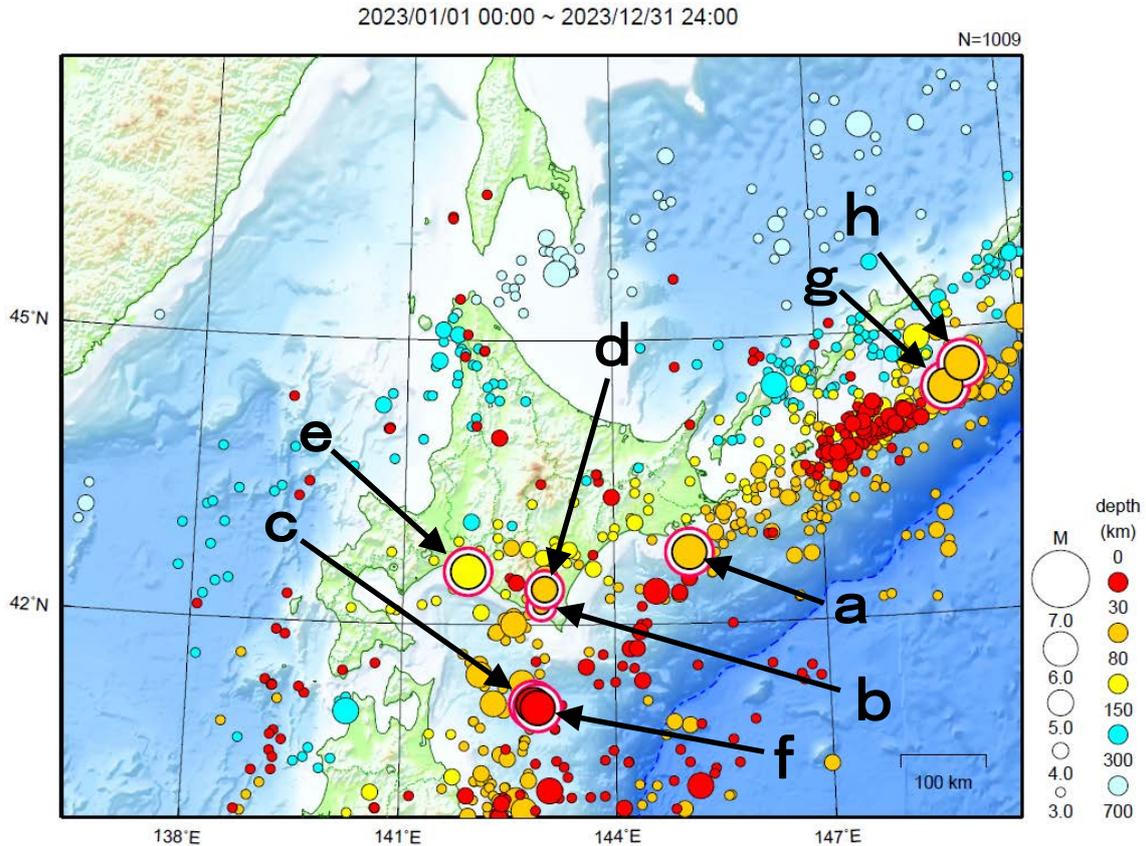


図5 北海道地方の震央分布図（2023年1月1日～12月31日、 $M \geq 3.0$ ）

地形データは日本海洋データセンターのJ-EGG500、米国地質調査所のGTOPO30及び米国国立地球物理データセンターのETOPO2v2を使用

### [概況]

2023年に北海道地方で震度4以上を観測した地震は5回（2022年は6回）であった。2023年中の主な活動は次のとおりである。

- |  |   |
|--|---|
| <p>a 2月25日22時27分に釧路沖の深さ63kmでM6.0の地震が発生し、北海道根室市、標津町で震度5弱を観測したほか、北海道、東北地方及び関東地方で震度4～1を観測した。この地震は太平洋プレート内部で発生した。</p>                | <p>d 5月11日18時52分に日高地方東部の深さ55kmでM5.5の地震が発生し、北海道浦河町及び幕別町で震度4を観測したほか、北海道及び東北地方で震度3～1を観測した。</p>   |
| <p>b 3月11日05時12分に日高地方東部の深さ49kmでM4.8の地震が発生し、北海道浦河町で震度4を観測したほか、北海道、青森県及び岩手県で震度3～1を観測した。この地震は太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。</p>            | <p>e 6月11日18時54分に苫小牧沖の深さ136kmでM6.2の地震が発生し、北海道千歳市、厚真町及び浦河町で震度5弱を観測したほか、北海道、東北地方、関東地方及び中部地方で震度4～1を観測した。この地震は太平洋プレート内部（二重地震面の下面）で発生した。この地震により、軽傷1人の被害が生じた（2023年6月19日現在、総務省消防庁による）。</p> |
| <p>c 3月28日18時18分に青森県東方沖の深さ28kmでM6.2の地震が発生し、北海道函館市、青森県及び岩手県で震度4を観測したほか、北海道、東北地方及び関東地方で震度3～1を観測した。この地震は太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。</p> | <p>f 8月11日09時14分に青森県東方沖の深さ28kmでM6.2の地震が発生し、青森県及び岩手県で震度4を観測したほか、北海道から中部地方にかけて震度3～1を観測した。この地震は太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。</p>   |

- g 9月29日02時40分に択捉島南東沖の深さ46 km（CMT解による）でM6.2の地震が発生し、北海道の太平洋側で震度2を観測したほか、北海道、青森県及び岩手県で震度1を観測した。
- h 12月28日18時15分に択捉島南東沖でM6.6の地震が発生し、北海道新ひだか町及び浦河町で震度3を観測したほか、北海道から宮城県にかけて震度2～1を観測した。

## ○東北地方の地震活動

2023/01/01 00:00 ~ 2023/12/31 24:00

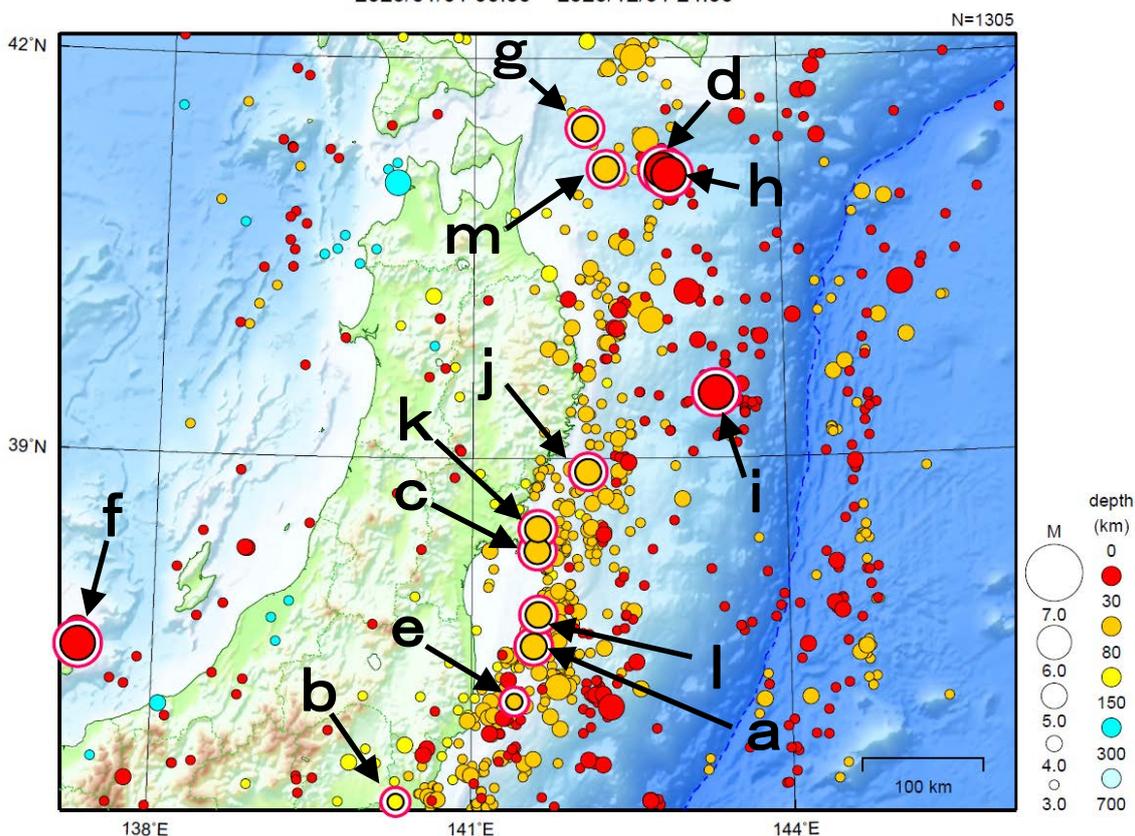


図6 東北地方の震央分布図（2023年1月1日～12月31日、M $\geq$ 3.0）

地形データは日本海洋データセンターのJ-EGG500、米国地質調査所のGTOPO30及び米国国立地球物理データセンターのETOPO2v2を使用

### 〔概況〕

2023年に東北地方で震度4以上を観測した地震は12回（2022年は19回）であった。  
2023年中の主な活動は次のとおりである

- a 1月25日10時00分に福島県沖の深さ55kmでM5.1の地震が発生し、宮城県石巻市、福島県相馬市及び浪江町で震度4を観測したほか、東北地方及び関東地方で震度3～1を観測した。この地震は太平洋プレート内部で発生した。
- b 3月24日16時25分に茨城県北部の深さ83kmでM4.7の地震が発生し、福島県、茨城県及び栃木県で震度4を観測したほか、東北地方、関東地方、新潟県、山梨県及び静岡県で震度3～1を観測した。この地震は太平洋プレート内部で発生した。
- c 3月27日00時04分に宮城県沖の深さ60kmでM5.3の地震が発生し、宮城県及び岩手県で震度4を観測したほか、東北地方、関東地方及び中部地方で震度3～1を観測した。この地震は太平洋プレート内部で発生した。
- d 3月28日18時18分に青森県東方沖の深さ28kmでM6.2の地震が発生し、北海道、青森県及び岩手県で震度4を観測したほか、北海道、東北地方及び関東地方で震度3～1を観測した。この地震は太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。
- e 4月17日02時25分に福島県沖の深さ46kmでM4.8の地震が発生し、福島県檜葉町及び大熊町で震度4を観測したほか、東北地方及び関東地方で震度3～1を観測した。この地震は太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。
- f 石川県能登地方の地殻内では、2023年中に震度1以上を観測した地震が241回発生した。このうち最大規模の地震は5月5日14時42分に能登半島沖で発生したM6.5の地震で、石川県珠洲市で震度6強を観測したほか、東北地方から中国・四国地方にかけて震度5強～1を観測した。
- g 5月6日02時47分に青森県東方沖の深さ56kmでM5.7の地震が発生し、青森県東通村で震度4を観測したほか、北海道及び東

北地方で震度3～1を観測した。この地震は太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

- h 8月11日09時14分に青森県東方沖の深さ28kmでM6.2の地震が発生し、青森県及び岩手県で震度4を観測したほか、北海道から中部地方にかけて震度3～1を観測した。この地震は太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。
- i 8月25日07時48分に三陸沖の深さ15kmでM6.0の地震が発生し、青森県、岩手県及び宮城県で震度3を観測したほか、北海道、東北地方、新潟県及び茨城県で震度2～1を観測した。この地震は太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。
- j 9月8日18時28分に宮城県沖の深さ46kmでM5.4の地震が発生し、岩手県及び宮城県で震度4を観測したほか、北海道から関東地方にかけて震度3～1を観測した。この地震は太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。
- k 9月19日04時33分に宮城県沖の深さ57kmでM5.6の地震が発生し、岩手県、宮城県及び福島県で震度4を観測したほか、東北地方から中部地方にかけて震度3～1を観測した。この地震は太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。
- l 11月6日02時10分に福島県沖の深さ56kmでM5.0の地震が発生し、宮城県で震度4を観測したほか、東北地方、関東地方及び新潟県で震度3～1を観測した。この地震は太平洋プレート内部で発生した。
- m 11月20日06時01分に青森県東方沖の深さ52kmでM5.9の地震が発生し、青森県で震度4を観測したほか、北海道及び東北地方で震度3～1を観測した。この地震は太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

（図の範囲外）

6月11日18時54分に苫小牧沖の深さ136kmでM6.2の地震が発生し、北海道から中部地方にかけて震度5弱～1を観測した。東北地方では、青森県で震度4を観測したほか、東北地方全県で震度3～1を観測した。この地震は太平洋プレート内部（二重地震面の下面）で発生した。

12月2日23時37分（日本時間）にフィリピン諸島、ミンダナオの深さ40kmでMw7.5の地震（Mwは気象庁によるモーメントマグニチュード）が発生した。この地震により、伊豆諸島の八丈島八重根で0.4mなど、宮城県から鹿児島県にかけての太平洋沿岸、沖縄県、伊豆諸島及び小笠原諸島で津波を観測した。

東北地方では、宮城県の石巻市鮎川で6cmの津波を観測した。

## ○関東・中部地方の地震活動

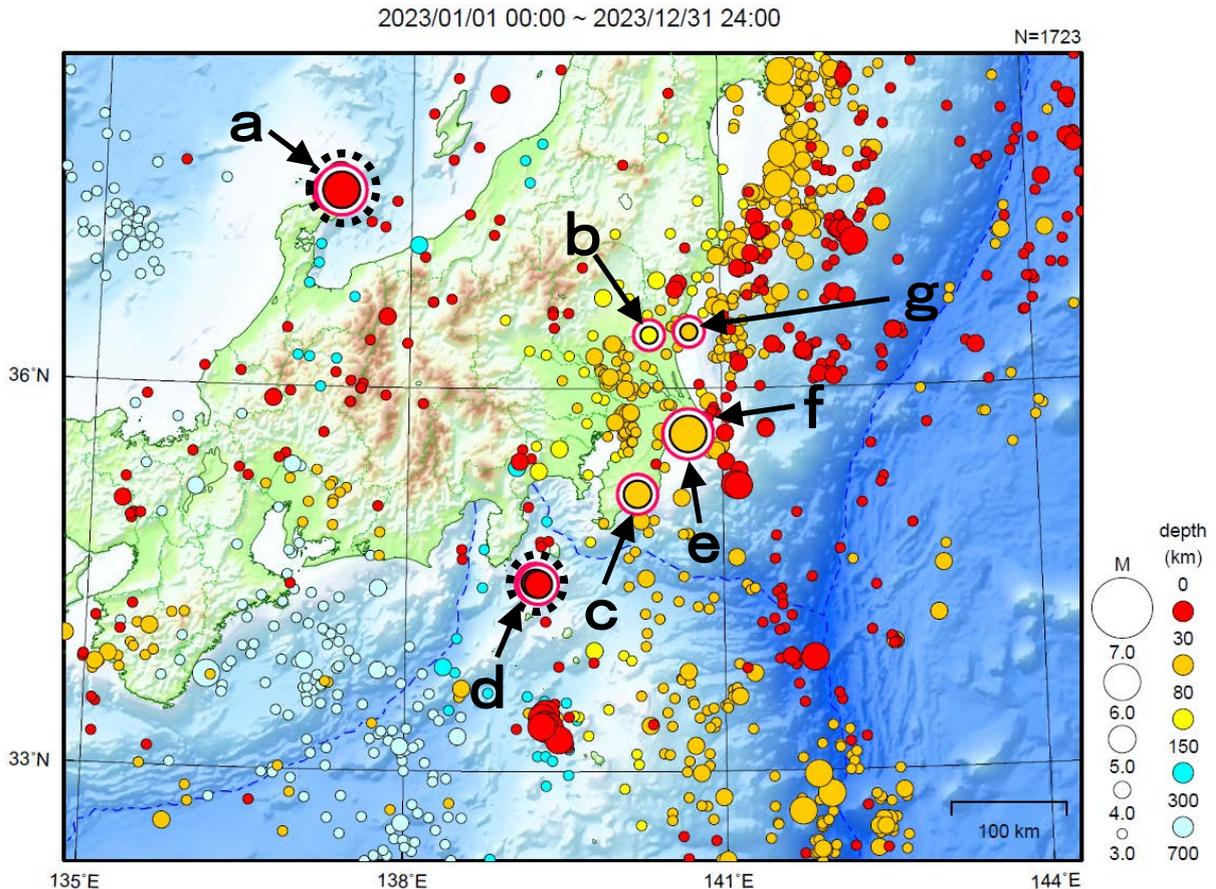


図7 関東・中部地方の震央分布図（2023年1月1日～12月31日、M $\geq$ 3.0）

地形データは日本海洋データセンターのJ-EGG500、米国地質調査所のGTOP030及び米国国立地球物理データセンターのETOP02v2

### 〔概況〕

2023年に関東・中部地方で震度4以上を観測した地震は16回（2022年は20回）であった。2023年中の主な活動は次のとおりである。

- a 石川県能登地方の地殻内では、2018年頃から地震回数が増加傾向にあり、2020年12月から地震活動が活発になり、2021年7月頃からさらに活発になっている。2023年中に震度1以上を観測した地震が241回（震度6強：1回、震度5強：1回、震度4：6回、震度3：21回、震度2：61回、震度1：151回）発生した。このうち、5月5日14時42分に能登半島沖の深さ12kmでM6.5の地震が発生し、石川県珠洲市で震度6強を観測したほか、東北地方から中国・四国地方にかけて震度5強～1を観測した。この地震により長周期地震動階級3を観測した。この地震により、石川県の輪島港（港湾局）で10cm、珠洲市長橋で4cmの津波を観測した。また同日21時58分には能登半島沖の深さ14kmでM5.9の地震が発生し、石川県珠洲市で震度5強を観測したほか、東北地方から四国地方にかけて震度5弱～1を観測した。この地震により長周期地震動階級2を観測した。これらの地震により、死者1人、重傷2人、軽傷46人、住家全壊40棟、住家半壊311棟及び住家一部破損3,046棟の被害が生じた（2023年11月15日現在、総務省消防庁による）。
- b 3月24日16時25分に茨城県北部の深さ83kmでM4.7の地震が発生し、福島県、茨城県及び栃木県で震度4を観測したほか、東北地方、関東地方、新潟県、山梨県及び静岡県で震度3～1を観測した。この地震は太平洋プレート内部で発生した。
- c 5月11日04時16分に千葉県南部の深さ40kmでM5.2の地震が発生し、千葉県木更津市で震度5強を観測したほか、東北地方南部から中部地方にかけて震度5弱～1を観測した。この地震はフィリピン海プレート内部で発生した。この地震により、軽傷8人及び住家一部破損71棟の被害が生じた（2023年11月15日現在、総務省消防庁による）。

- d 5月22日16時42分に新島・神津島近海の深さ11kmでM5.3の地震が発生し、東京都利島村で震度5弱を観測したほか、関東地方及び中部地方で震度4～1を観測した。新島・神津島近海では、5月22日から12月31日までに震度1以上を観測した地震が72回（震度5弱：1回、震度4：1回、震度3：4回、震度2：16回、震度1：50回）発生した。これらの地震はフィリピン海プレートの地殻内で発生した。
- e 5月26日19時03分に千葉県東方沖の深さ50kmでM6.2の地震が発生し、茨城県神栖市、千葉県銚子市及び旭市で震度5弱を観測したほか、東北地方から中部地方にかけて震度4～1を観測した。この地震により長期地震動階級2を観測した。この地震は太平洋プレートとフィリピン海プレートの境界で発生した。この地震により、住家一部破損3棟などの被害が生じた（2023年11月15日現在、総務省消防庁による）。
- f 6月16日21時24分に千葉県北東部の深さ49kmでM4.9の地震が発生し、千葉県横芝光町で震度4を観測したほか、福島県、関東甲信地方及び静岡県で震度3～1を観測した。この地震は太平洋プレートとフィリピン海プレートの境界で発生した。
- g 7月22日10時52分に茨城県沖の深さ52kmでM4.8の地震が発生し、茨城県で震度4を観測したほか、東北地方南部及び関東地方で震度3～1を観測したこの地震は太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

（図の範囲外）

鳥島近海（鳥島から南西に約100km）では、2023年10月2日から9日にかけて、M6.0以上の地震が4回発生するなど、地震活動が活発になった。5日10時59分には深さ10km（CMT解になる）でM6.5の地震（震度1以上を観測した地点はなし）が発生し、東京都の八丈島八重根で0.2mの津波を観測した。また、6日10時31分にはM6.0の地震（震度1以上を観測した地点はなし）が発生し、八丈島八重根で0.2mなど、八丈島及び鹿児島県で津波を観測した。さらに、これらの地震の震源付近では、9日04時頃から06時台にかけて、規模が小さいうえに地震波のP相及びS相が不明瞭なため震源が決まらないものも含めて地震が多発した。この地震活動により、八丈島八重根で0.7mなど、伊豆諸島、小笠原諸島及び千葉県から沖縄県にかけての太平洋沿岸で津波を観測した。

12月2日23時37分（日本時間）にフィリピン諸島、ミンダナオの深さ40kmでMw7.5の地震（Mwは気象庁によるモーメントマグニチュード）が発生した。この地震により、伊豆諸島の八丈島八重根で0.4mなど、宮城県から鹿児島県にかけての太平洋沿岸、沖縄県、伊豆諸島及び小笠原諸島で津波を観測した。

## ○近畿・中国・四国地方の地震活動

2023/01/01 00:00 ~ 2023/12/31 24:00

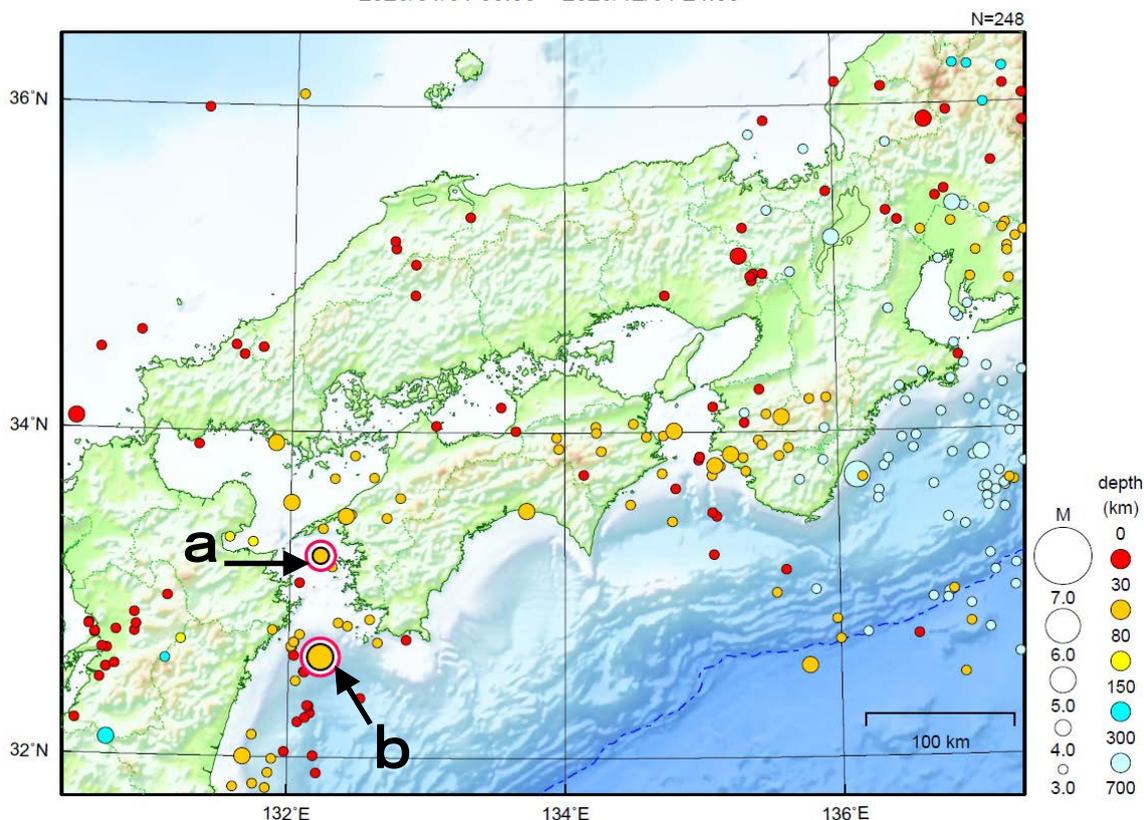


図8 近畿・中国・四国地方の震央分布図（2023年1月1日～12月31日、M $\geq$ 3.0）

地形データは日本海洋データセンターのJ-EGG500、米国地質調査所のGTOPO30及び米国国立地球物理データセンターのETOP02v2を使用

### 〔概況〕

2023年に近畿・中国・四国地方で震度4以上を観測した地震は2回（2022年は5回）であった。2023年中の主な活動は次のとおりである。

- a 5月19日06時56分に豊後水道の深さ46kmでM4.5の地震が発生し、愛媛県伊方町で震度4を観測したほか、中国・四国地方及び九州地方で震度3～1を観測した。この地震はフィリピン海プレート内部で発生した。
- b 7月22日21時14分に日向灘の深さ37kmでM5.0の地震が発生し、高知県宿毛市及び大分県佐伯市で震度4を観測したほか、中国・四国地方及び九州地方で震度3～1を観測した。この地震はフィリピン海プレート内部で発生した。

### （図の範囲外）

鳥島近海（鳥島から南西に約100km）では、10月2日から9日にかけて、M6.0以上の地震が4回発生するなど、地震活動が活発になった。10月5日10時59分には深さ10km（CMT解による）でM6.5の地震（震度1以上を観測した地点はなし）が発生し、伊豆諸島の八丈島八重根で0.2mの津波を観測した。また、10月6日10時31分にはM6.0の地震（震度1以上を観測した地点はなし）が発生し、八丈島八重根で0.2mなど、八丈島及

び鹿児島県で津波を観測した。さらに、これらの地震の震源付近では、10月9日04時頃から06時台にかけて、規模が小さいうえに地震波のP相及びS相が不明瞭なため震源が決まらないものも含めて地震が多発した。この地震活動により、八丈島八重根で0.7mなど、伊豆諸島、小笠原諸島及び千葉県から沖縄県にかけての太平洋沿岸で津波を観測した。

近畿・四国地方では、10月9日04時頃から06時台にかけての地震活動により、土佐清水で34cmの津波を観測するなど、和歌山県から愛媛県の太平洋沿岸にかけて津波を観測した。

12月2日23時37分（日本時間）にフィリピン諸島、ミンダナオの深さ40kmでMw7.5の地震（Mwは気象庁によるモーメントマグニチュード）が発生した。この地震により、伊豆諸島の八丈島八重根で0.4mなど、宮城県から鹿児島県にかけての太平洋沿岸、沖縄県、伊豆諸島及び小笠原諸島で津波を観測した。

近畿・四国地方では、和歌山県の串本町袋港で17cmなど、和歌山県、徳島県、高知県及び大阪府の岬町淡輪で津波を観測した。

## ○九州地方の地震活動

2023/01/01 00:00 ~ 2023/12/31 24:00

N=622

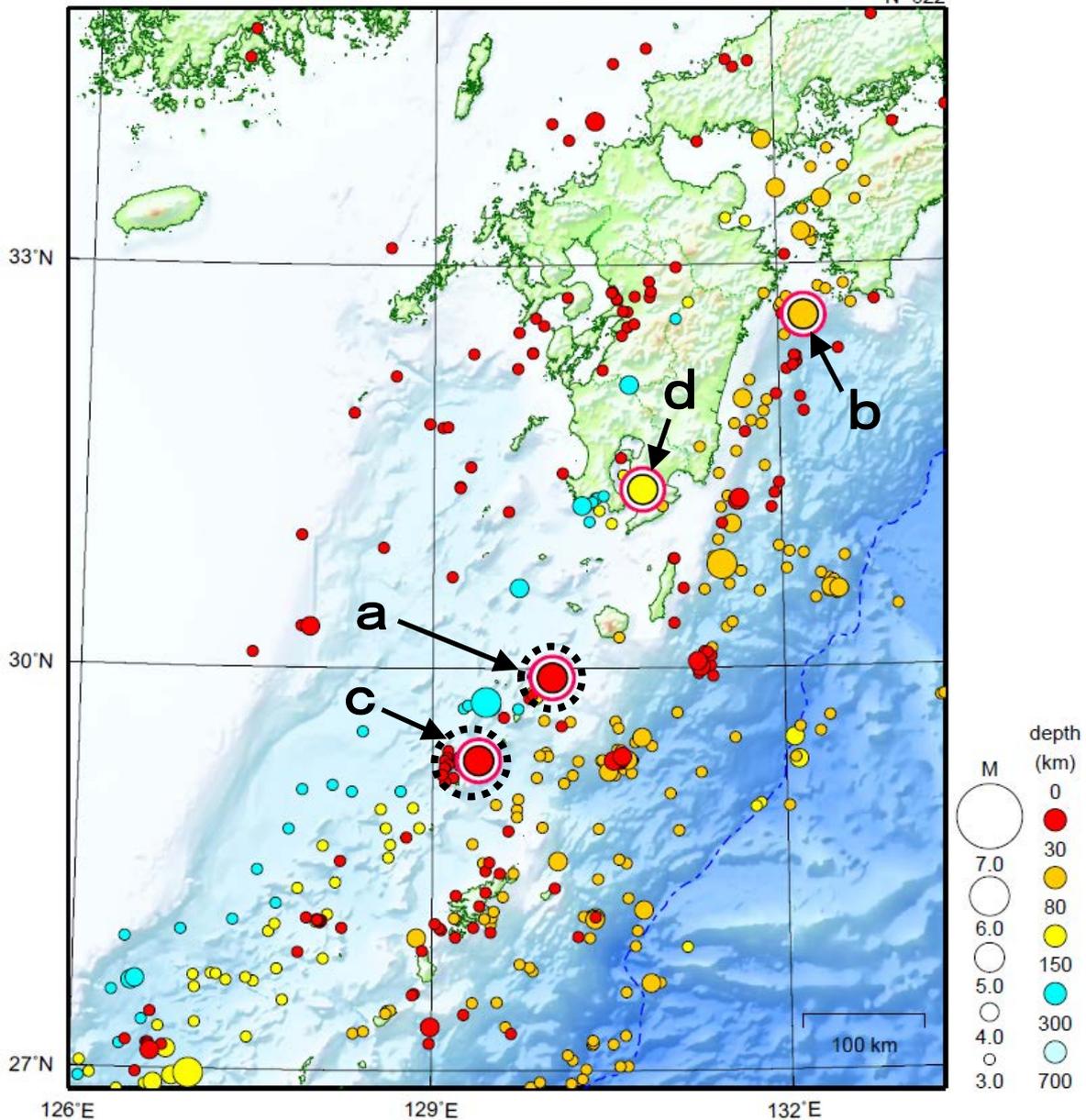


図9 九州地方の震央分布図（2023年1月1日～12月31日、 $M \geq 3.0$ ）

地形データは日本海洋データセンターのJ-EGG500、米国地質調査所のGTOP030、及び米国国立地球物理データセンターのETOP02V2を使用

### 〔概況〕

2023年に九州地方で震度4以上を観測した地震は9回（2022年は6回）であった。2023年中の主な活動は次のとおりである。

- a トカラ列島近海（口之島・中之島付近）では、4月1日頃からややまとまった地震活動があり、5月11日以降、地震活動が活発となった。6月中旬頃から発生する地震の規模が徐々に小さくなり、地震の発生数も減少していたが、11月7日頃から11月下旬にかけて地震活動がやや活発となった。4月1日から12月31日までに震度1以上を観測した地震は、180回（震度5弱：1回、震度4：4回、震度3：9回、震度2：38回、震度1：128回）発生した。最大規模の地震は、5月13日16時10分に発生したM5.1の地震で、鹿児島県十島村（中之島）で震度5弱を観測した。この地震活動は、陸のプレート内で発生した。
- b 7月22日21時14分に日向灘の深さ37kmでM5.0の地震が発生し、大分県佐伯市及び高知県宿毛市で震度4を観測したほか、九州地方、四国地方及び中国地方で震度3～1を観測した。この地震は、フィリピン海プレート内部で発生した。

- c トカラ列島近海（小宝島付近）では、9月8日頃から9月中旬にかけて地震活動が活発となった。9月8日から12月31日までに震度1以上を観測した地震は、363回（震度4：2回、震度3：27回、震度2：85回、震度1：249回）発生した。最大規模の地震は、9月11日00時01分に発生したM5.3の地震で、鹿児島県十島村（悪石島）で震度4を観測した。この地震活動は、陸のプレート内で発生した。
- d 11月11日05時50分に鹿児島湾の深さ104kmでM5.0の地震が発生し、鹿児島県曾於市及び大崎町で震度4を観測したほか、九州地方、中国地方及び四国地方で震度3～1を観測した。この地震はフィリピン海プレート内部で発生した。

（図の範囲外）

鳥島近海（鳥島から南西に約100km）では、2023年10月2日から9日にかけて、M6.0以上の地震が4回発生するなど、地震活動が活発になった。5日10時59分には深さ10km（CMT解による）でM6.5の地震（震度1以上を観測した地点はなし）が発生し、伊豆諸島の八丈島八重根で0.2mの津波を観測した。また、6日10時31分にはM6.0の地震（震度1以上を観測した地点はなし）が発生し、八丈島八重根で0.2mなど、八丈島及び鹿児島県で津波を観測した。さらに、これらの地震の震源付近では、9日04時頃から06時台にかけて、規模が小さいうえに地震波のP相及びS相が不明瞭なため震源が決まらないものも含めて地震が多発した。この地震活動により、八丈島八重根で0.7mなど、伊豆諸島、小笠原諸島及び千葉県から沖縄県にかけての太平洋沿岸で津波を観測した。

九州地方では、6日10時31分の地震により鹿児島県の中之島で8cm、南大隅町大泊で6cmの津波を観測した。また、9日04時頃から06時台にかけての地震活動により、鹿児島県の中之島で31cm、南大隅町大泊で26cmなど、大分県、宮崎県及び鹿児島県の太平洋沿岸で津波を観測した。

12月2日23時37分（日本時間）にフィリピン諸島、ミンダナオの深さ40kmでMw7.5の地震（Mwは気象庁によるモーメントマグニチュード）が発生した。この地震により、伊豆諸島の八丈島八重根で0.4mなど、宮城県から鹿児島県にかけての太平洋沿岸、沖縄県、伊豆諸島及び小笠原諸島で津波を観測した。

九州地方では、鹿児島県の奄美市小湊で19cmなど、鹿児島県で津波を観測した。

## ○沖縄地方の地震活動

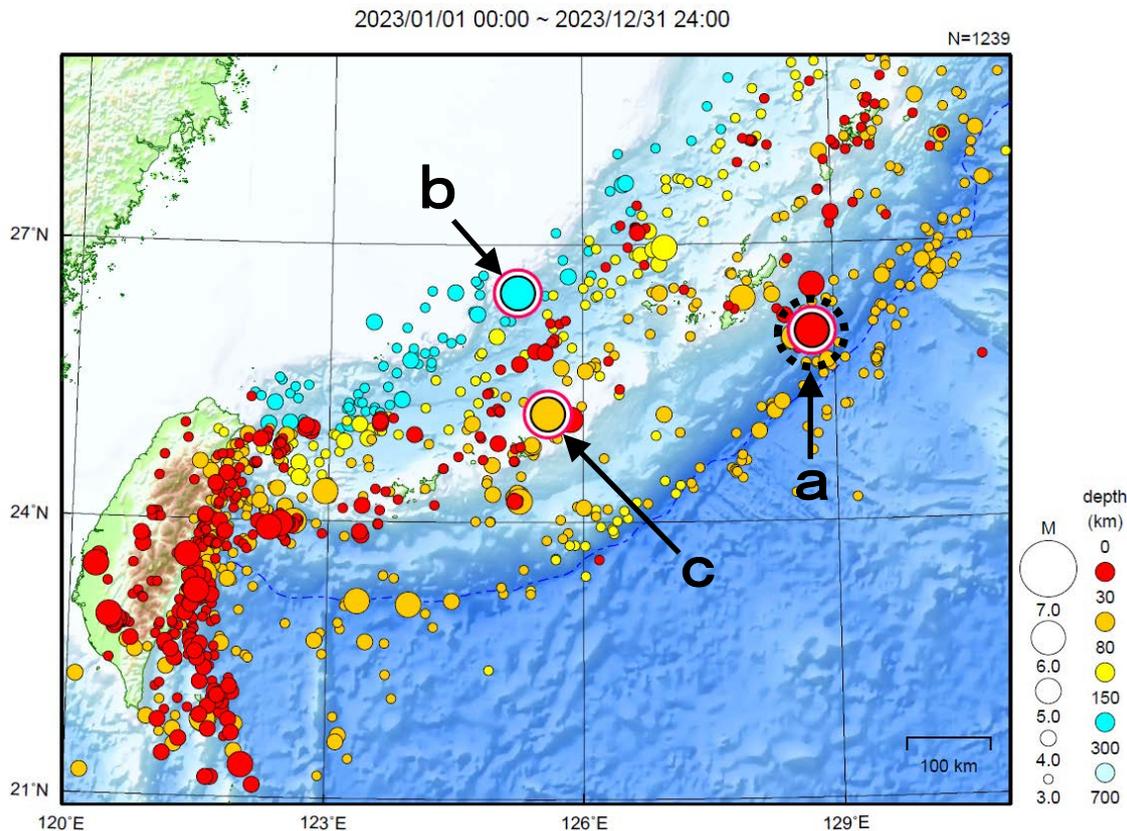


図 10 沖縄地方の震央分布図（2023 年 1 月 1 日～12 月 31 日、M $\geq$ 3.0）

地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOPO30 及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

### 〔概況〕

2023 年に沖縄地方で震度 4 以上を観測した地震は 1 回（2022 年はなし）であった。2023 年中の主な活動は次のとおりである。

- a 沖縄本島近海では 4 月 27 日から地震活動が活発になり、4 月 27 日から 12 月 31 日までに震度 1 以上を観測した地震が 10 回（震度 2：3 回、震度 1：7 回）発生した。このうち最大規模の地震は、5 月 1 日 12 時 22 分に深さ 13km（CMT 解による）で発生した M6.4 の地震で、沖縄本島及び周辺離島で震度 2～1 を観測した。この地震はフィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生した。
- b 9 月 18 日 22 時 21 分に宮古島北西沖の深さ 182km で M6.5 の地震が発生し、沖縄本島及び宮古島市で震度 3 を観測したほか、鹿児島県奄美地方及び沖縄県で震度 2～1 を観測した。この地震はフィリピン海プレート内部で発生した。
- c 10 月 16 日 19 時 42 分に宮古島近海の深さ 17km（CMT 解による）で M6.0 の地震が発生し、宮古島市で震度 4 を観測したほか、沖縄本島から西表島にかけて震度 3～1 を観測した。この地震は陸のプレート内で発生した。

（図の範囲外）

鳥島近海（鳥島から南西に約 100km）では、2023 年 10 月 2 日から 9 日にかけて、M6.0 以上の地震が 4 回発生するなど、地震活動が活発になった。5 日 10 時 59 分には深さ 10km（CMT 解による）で M6.5 の地震（震度 1 以上を観測した地点なし）が発生し、東京都の八丈島八重根で 0.2m の津波を観測した。また、6 日 10 時 31 分には M6.0 の地震（震度 1 以上を観測した地点はなし）が発生し、八丈島八重根で 0.2m など、八丈島及び鹿児島県で津波を観測した。さらに、これらの地震の震源付近では、9 日 04 時頃から 06 時台にかけて、規模が小さいうに地震波の P 相及び S 相が不明瞭なため震源が決まらないものも含めて地震が多発した。この地震活動により、八丈島八重根で 0.7m など、伊豆諸島、小笠原諸島及び千葉県から沖縄県にかけての太平洋沿岸で津波を観測した。

沖縄地方では、9 日 04 時頃から 06 時台にかけての地震活動により、南城市安座真で 5 cm の津波を観測した。

（図の範囲外）

12月2日23時37分（日本時間）にフィリピン諸島、ミンダナオの深さ40kmでMw7.5の地震（Mwは気象庁によるモーメントマグニチュード）が発生した。この地震により、伊豆諸島の八丈島八重根で0.4mなど、宮城県から鹿児島県にかけての太平洋沿岸、沖縄県、伊豆諸島及び小笠原諸島で津波を観測した。

沖縄地方では、那覇で8cm、南城市安座真で5cm、南大東漁港で4cm、宮古島平良で6cmの津波を観測した。

## ○その他の地域の地震活動

2023/01/01 00:00 ~ 2023/12/31 24:00

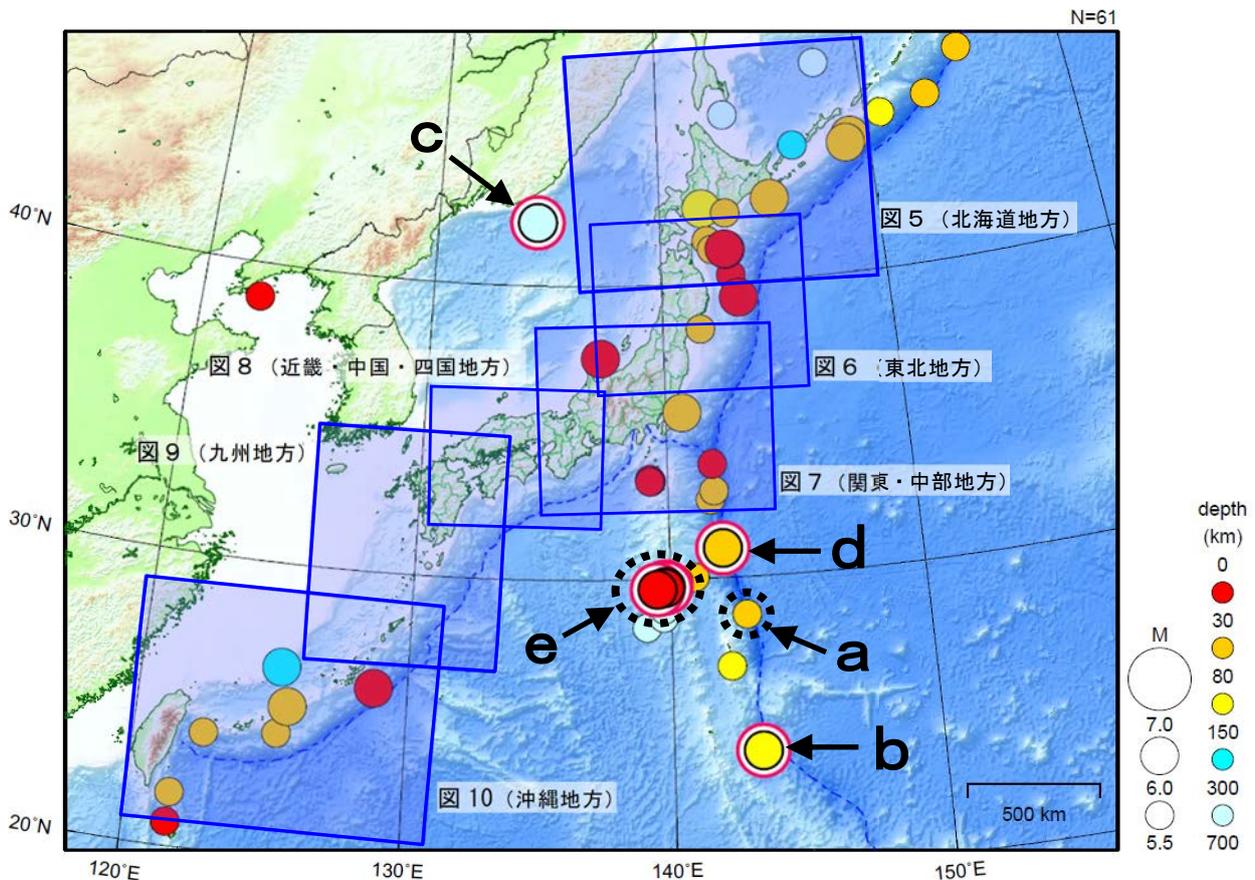


図 11 日本周辺で発生した主な地震の震央分布図（2023 年 1 月 1 日～12 月 31 日、 $M \geq 5.5$ ）

地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOP030 及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

### 〔概況〕

2023 年に日本周辺で発生した  $M6.0$  以上の地震は 19 回（2022 年は 19 回）であった。

2023 年中に図 5～10 の領域外で発生した活動は次のとおりである。

- a 父島近海では、3 月 31 日から地震活動が活発になり、3 月 31 日から 12 月 31 日までに震度 1 以上を観測した地震が 21 回（震度 4：1 回、震度 3：2 回、震度 2：2 回、震度 1：16 回）発生した。このうち最大規模の地震は、3 月 31 日 14 時 52 分に深さ 68km（CMT 解による）で発生した  $M5.7$  の地震で、東京都小笠原村母島で震度 2 を観測したほか、小笠原村父島で震度 1 を観測した。この地震は太平洋プレート内部で発生した。
- b 5 月 30 日 09 時 52 分に硫黄島近海の深さ 12km（CMT 解による）で  $M6.5$  の地震（震度 1 以上を観測した地点はなし）が発生した。
- c 6 月 28 日 08 時 38 分に日本海北部の深さ 518km で  $M6.3$  の地震が発生し、北海道浦幌町で震度 3 を観測したほか、北海道及び東北地方で震度 2～1 を観測した。この地震は太平洋プレート内部で発生した。
- d 9 月 19 日 15 時 22 分に鳥島近海の深さ 10km（CMT 解による）で  $M6.1$  の地震（震度 1 以上を観測した地点はなし）が発生した。
- e 鳥島近海（鳥島から南西に約 100km）では、10 月 2 日から 9 日にかけて、 $M6.0$  以上の地震が 4 回発生するなど、地震活動が活発になった。このうち最大規模の地震は、5 日 10 時 59 分に深さ 10km（CMT 解による）で発生し、東京都の八丈島八重根で 0.2m の津波を観測した。また、6 日 10 時 31 分には  $M6.0$  の地震（震度 1 以上を観測した地点はなし）が発生し、八丈島八重根で 0.2m など、八丈島及び鹿児島県で津波を観測した。さらに、これらの地震の震源付近では、9 日 04 時頃から 06 時台にかけて、規模が小さいうえに地震波の P 相及び S 相が不明瞭なため震源が決まらないものも含めて地震が多発した。この地震活動により、八丈島八重根で 0.7m など、伊豆諸島、小笠原諸島及び千葉県から沖縄県にかけての太平洋沿岸で津波を観測した。

（図の範囲外）

12月2日23時37分（日本時間）にフィリピン諸島、ミンダナオの深さ40kmでMw7.5の地震（Mwは気象庁によるモーメントマグニチュード）が発生した。この地震により、伊豆諸島の八丈島八重根で0.4mなど、宮城県から鹿児島県にかけての太平洋沿岸、沖縄県、伊豆諸島及び小笠原諸島で津波を観測した。

## ○日本国内で津波を伴った地震

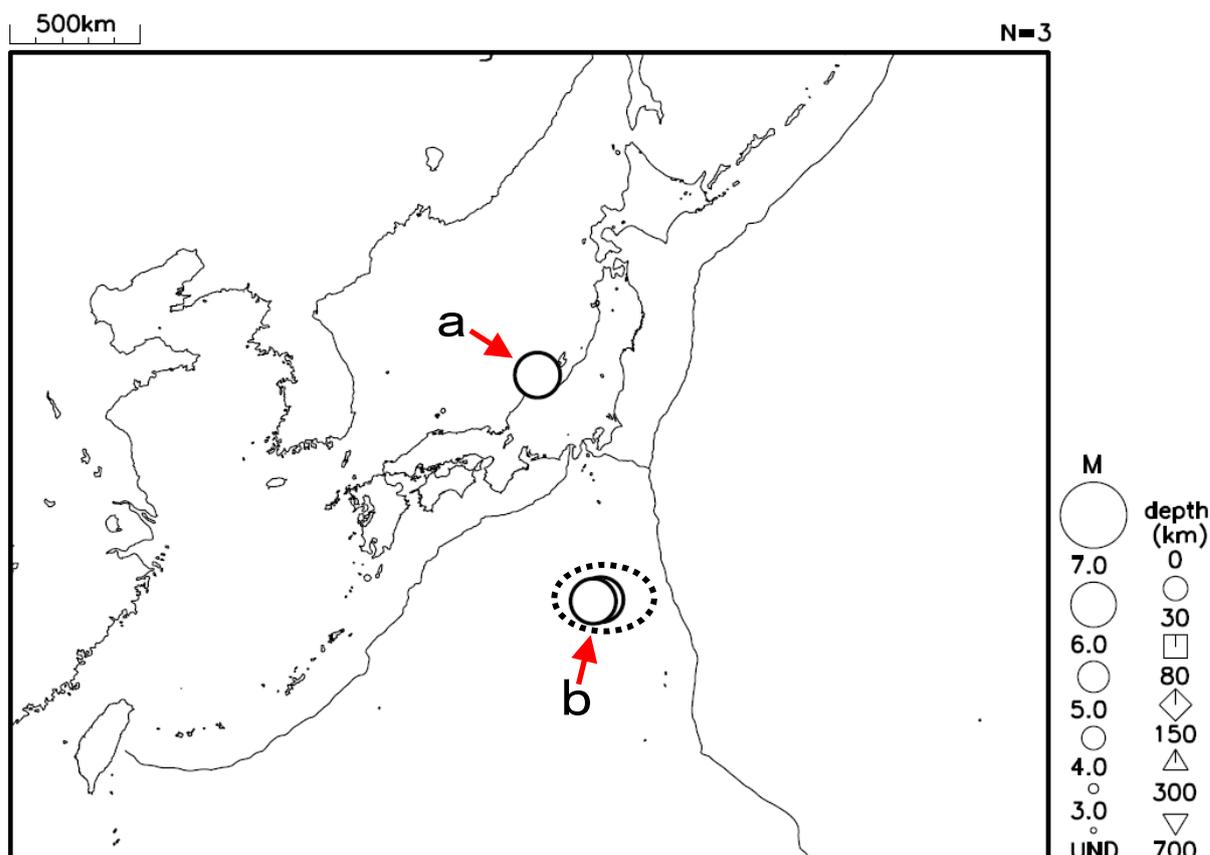


図12 日本周辺で発生した津波を伴った地震の震央分布図（2023年1月1日～12月31日、 $M \geq 5.5$ ）

### 〔概況〕

2023年に日本国内及びその周辺で発生し津波を伴った地震は4回（2022年は1回）であった。また、海外で発生した地震により、日本国内で観測された津波は1回（2022年はなし）であった。

a 5月5日14時42分に能登半島沖の深さ12kmでM6.5の地震が発生し、石川県珠洲市で震度6強を観測したほか、東北地方から中国・四国地方にかけて震度5強～1を観測した。また、石川県能登で長周期地震動階級3を観測したほか、北陸地方及び長野県で長周期地震動階級2～1を観測した。この地震により、石川県の輪島港<sup>※1</sup>で10cm、珠洲市長橋で4cmの津波を観測した。

は、9日04時頃から06時台にかけて、規模が小さいうえに地震波のP相及びS相が不明瞭なため震源が決まらないものも含めて地震が多発した。この地震活動により、八丈島八重根で0.7mなど、伊豆諸島、小笠原諸島及び千葉県から沖縄県にかけての太平洋沿岸で津波を観測した。

b 鳥島近海（鳥島から南西に約100km）では、10月2日から9日にかけて、M6.0以上の地震が4回発生するなど、地震活動が活発になった。このうち最大規模の地震は、5日10時59分に深さ10km（CMT解による）で発生したM6.5の地震（震度1以上を観測した地点はなし）である。この地震により、伊豆諸島の八丈島八重根<sup>※2</sup>で0.2mの津波を観測した。また、6日10時31分にはM6.0の地震（震度1以上を観測した地点はなし）が発生し、八丈島八重根で0.2mなどの津波を観測した。さらに、これらの地震の震源付近で

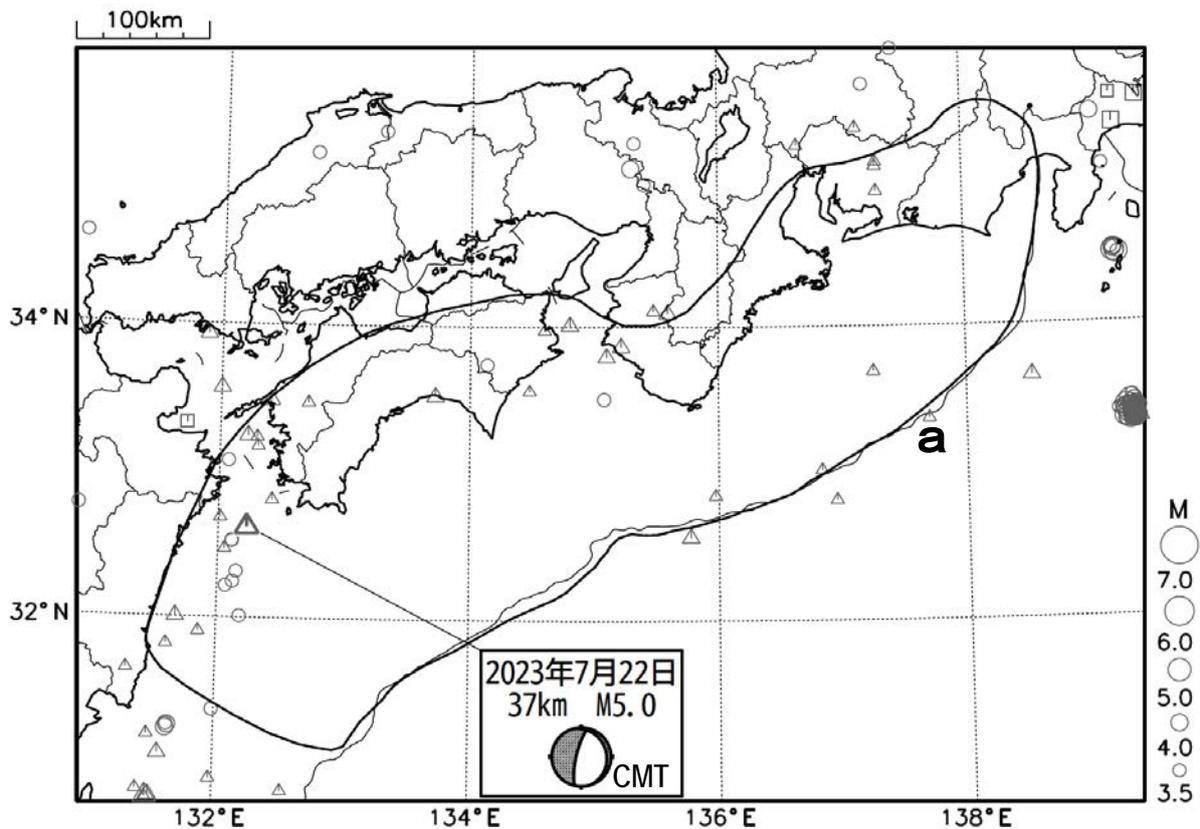
（図の範囲外）

12月2日23時36分にフィリピン諸島、ミンダナオの深さ51kmでMw7.5の地震が発生した（Mwは気象庁によるモーメントマグニチュード）。この地震により、日本国内では伊豆諸島の八丈島八重根<sup>※2</sup>で0.4mなど、宮城県から鹿児島県にかけての太平洋沿岸、沖縄県、伊豆諸島及び小笠原諸島で津波を観測した。

※1 国土交通省港湾局の観測点

※2 巨大津波観測計による

●令和5年（2023年）の南海トラフ沿いの地震活動



震央分布図（2023年1月1日～12月31日、深さ0～150km、 $M \geq 3.5$ ）

- ・ 図中の吹き出しは、南海トラフ巨大地震の想定震源域（領域 a 内）およびその周辺で発生した M5.0 以上の地震。
- ・ 震源の深さは、精度がやや劣るものは表記していない。
- ・ 発震機構解の横に「S」の表記があるものは、精度がやや劣るものである。

○南海トラフ巨大地震の想定震源域およびその周辺の地震活動：

【M5.0 以上の地震】

月/日	時:分	震央地名	深さ (km)	M	最大震度	発生場所
7/22	21:14	日向灘	37	5.0	4	フィリピン海プレート内部

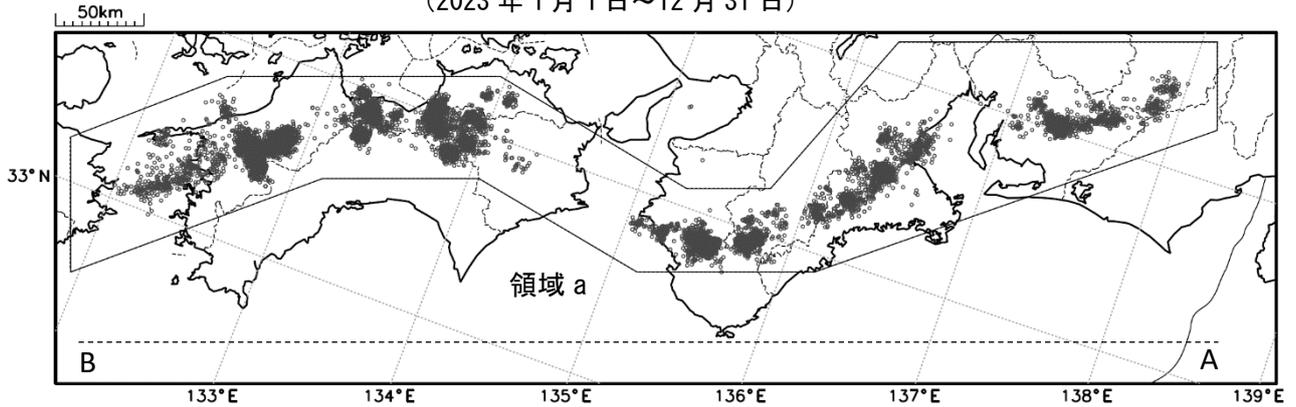
※震源の深さは、精度がやや劣るものは表記していない。

※太平洋プレートの沈み込みに伴う震源が深い地震は除く。

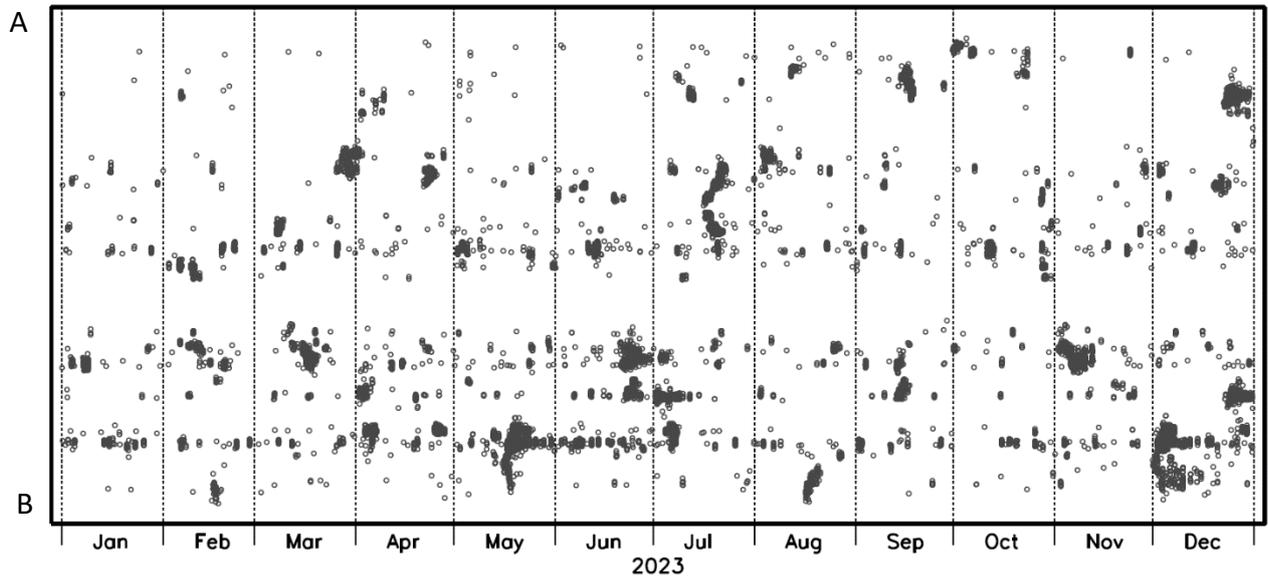
○深部低周波地震（微動）活動の全体概要

深部低周波地震（微動）の震央分布図

（2023年1月1日～12月31日）



領域 a 内の深部低周波地震（微動）の時空間分布図（A-B 投影）



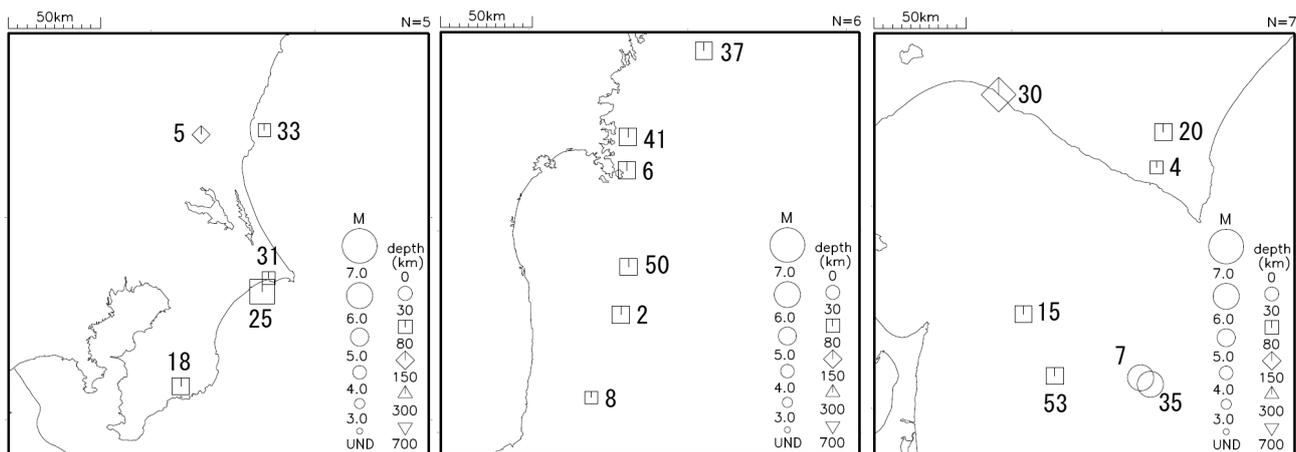
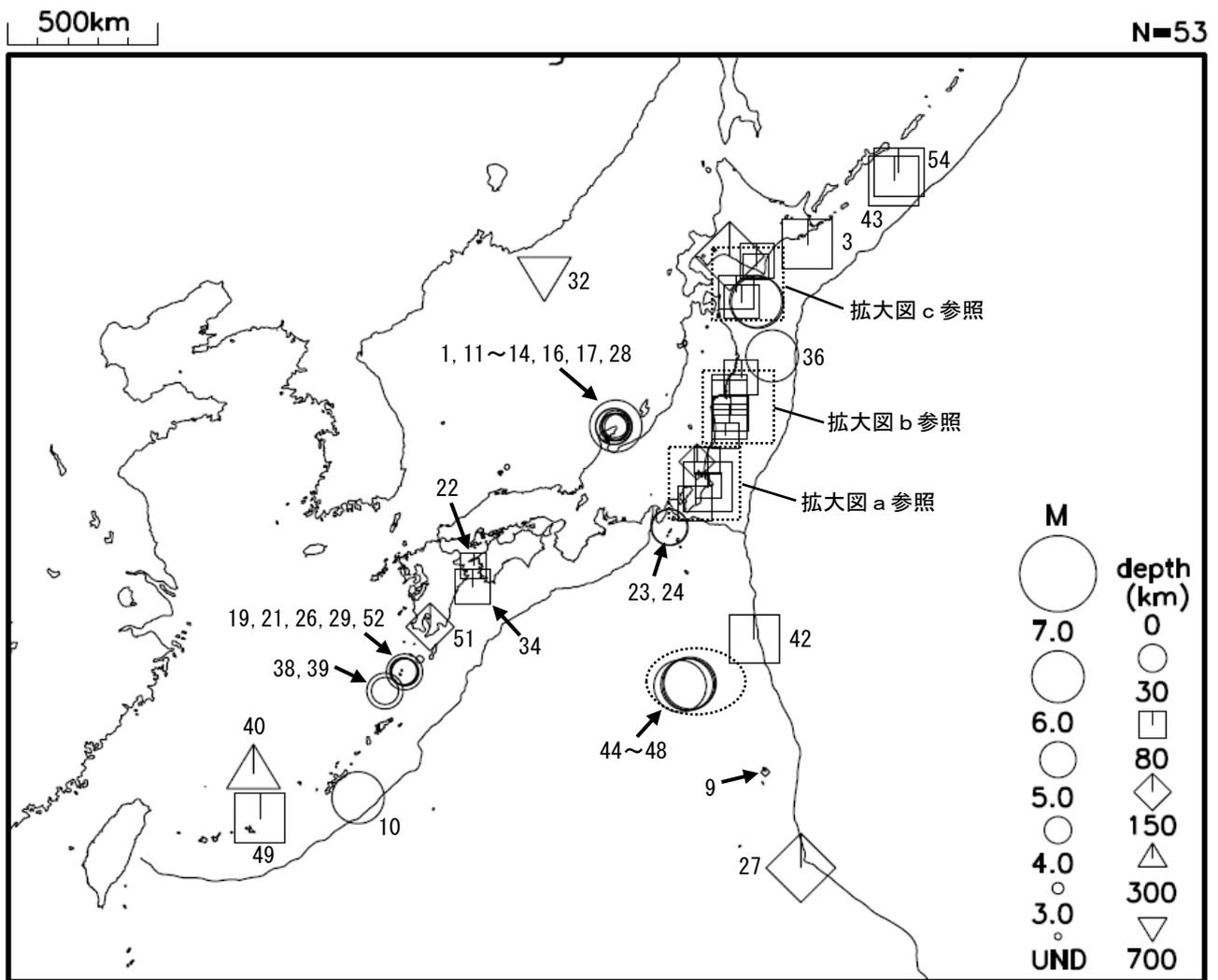
主な深部低周波地震（微動）活動

番号	活動場所	活動の期間
(1)	四国西部	2月14日～2月19日
(2)	紀伊半島中部	3月7日～3月10日
(3)	紀伊半島北部、東海	3月25日～4月9日
(4)	四国中部	4月1日～4月7日
(5)	紀伊半島北部	4月21日～4月25日
(6)	紀伊半島西部	5月1日～5月6日
(7)	四国西部	5月13日～5月25日
(8)	紀伊半島西部	6月11日～6月19日
(9)	四国東部、四国中部	6月18日～7月10日
(10)	紀伊半島北部、紀伊半島中部	7月15日～7月23日
(11)	紀伊半島北部	8月2日～8月10日
(12)	四国西部	8月14日～8月21日

(13)	四国東部、四国中部	9月13日～9月17日
(14)	東海	9月13日～9月18日
(15)	東海	9月30日～10月4日
(16)	紀伊半島西部	10月11日～10月13日
(17)	東海	10月19日～10月23日
(18)	四国東部	11月1日～11月12日
(19)	四国西部	11月30日～12月22日
(20)	東海、紀伊半島中部	12月22日～1月6日
(21)	四国中部	12月23日～1月2日

深部低周波地震（微動）の活動期間は「南海トラフ地震関連解説情報について」による。

# 令和5年（2023年）の日本及びその周辺で発生した主な地震



拡大図 a

拡大図 b

拡大図 c

掲載基準

- ・マグニチュード 6.0 以上
- ・被害を伴った
- ・震度 4 以上を観測した
- ・津波を観測した

図1 令和5年（2023年）の日本及びその周辺で発生した主な地震の震央分布図

表1 図1中の「マグニチュード6.0以上」、「被害を伴った」、「震度4以上を観測した」、「津波を観測した」のいずれかに該当する地震の表

No.	震源時				震央地名	震源要素(注1)(注2)				M	H	S	T	最大震度・被害状況など (注4)							
	月	日	時	分		緯度		経度							深さ (km)	M	Mw	(注3)			
						度	分	度	分									M	H	S	T
1	1	6	13	44	石川県能登地方	37°	30.3'	137°	16.4'	13	4.5	4.4		4:石川県 珠洲市正院町* 緊急地震速報(警報)を発表							
2	1	25	10	00	福島県沖	37°	35.4'	141°	34.8'	55	5.1	4.9		4:宮城県 石巻市桃生町* 福島県 相馬市中村* 浪江町幾世橋							
3	2	25	22	27	釧路沖	42°	45.3'	145°	4.5'	63	6.0	6.1	M	5弱:北海道 標津町北2条* 根室市厚床* など1道4地点 長周期地震動階級1を観測 緊急地震速報(警報)を発表							
4	3	11	05	12	日高地方東部	42°	11.9'	142°	57.5'	49	4.8	4.7		4:北海道 浦河町潮見							
5	3	24	16	25	茨城県北部	36°	25.1'	140°	18.3'	83	4.7	4.7		4:福島県 矢祭町東館* 茨城県 日立市助川小学校* など3県6地点							
6	3	27	00	04	宮城県沖	38°	18.4'	141°	36.9'	60	5.3	5.0		4:岩手県 一関市花泉町* 宮城県 涌谷町新町裏 など2県9地点							
7	3	28	18	18	青森県東方沖	41°	9.5'	142°	50.9'	28	6.2	6.2	M	4:北海道 函館市泊町* 函館市新浜町* など1道2県9地点 長周期地震動階級1を観測							
8	4	17	02	25	福島県沖	37°	10.7'	141°	23.9'	46	4.8	4.6		4:福島県 楢葉町北田* 大熊町大川原*							
9	4	21	16	19	父島近海	26°	59.0'	142°	15.1'	84	-	-		4:東京都 小笠原島母島							
10	5	1	12	22	沖縄本島近海	26°	2.9'	128°	44.1'	13*	6.4	5.8	M	2:鹿児島県 与論町茶花* 沖縄県 名護市港* など2県25地点							
11	5	5	14	42	能登半島沖	37°	32.3'	137°	18.2'	12	6.5	6.2	M	6強:石川県 珠洲市正院町* 津波観測:輪島港で10cm、珠洲市長橋で4cmの津波を観測 長周期地震動階級3を観測 緊急地震速報(警報)を発表 被害:死者1人、重傷2人、軽傷46人、住家全壊40棟、半壊311棟、一部破損3,046棟など(11月15日現在)(注5)							
12	5	5	14	53	能登半島沖	37°	31.5'	137°	13.3'	13	5.0	-		4:石川県 珠洲市正院町* 緊急地震速報(警報)を発表							
13	5	5	21	58	能登半島沖	37°	31.5'	137°	14.1'	14	5.9	5.7		5強:石川県 珠洲市正院町* 珠洲市大谷町* 長周期地震動階級2を観測 緊急地震速報(警報)を発表							
14	5	5	23	18	石川県能登地方	37°	30.2'	137°	12.8'	14	4.3	-		4:石川県 珠洲市正院町*							
15	5	6	02	47	青森県東方沖	41°	28.4'	142°	5.1'	56	5.7	5.9		4:青森県 東通村砂子又沢内*							
16	5	9	05	14	石川県能登地方	37°	31.2'	137°	18.6'	15	4.7	4.6		4:石川県 珠洲市三崎町 珠洲市正院町* など1県4地点 緊急地震速報(警報)を発表							
17	5	10	07	14	能登半島沖	37°	36.0'	137°	17.1'	12	4.9	4.8		4:石川県 珠洲市正院町* 珠洲市大谷町* 緊急地震速報(警報)を発表							
18	5	11	04	16	千葉県南部	35°	10.2'	140°	11.1'	40	5.2	-		5強:千葉県 木更津市富士見* 緊急地震速報(警報)を発表 被害:軽傷8人、住家一部破損71棟(11月15日現在)							
19	5	11	12	11	トカラ列島近海	29°	55.2'	130°	2.5'	13	4.3	-		4:鹿児島県 鹿児島十島村中之島徳之尾							
20	5	11	18	52	日高地方東部	42°	22.4'	143°	0.4'	55	5.5	5.2		4:北海道 浦河町築地* 幕別町忠類錦町*							
21	5	13	16	10	トカラ列島近海	29°	55.6'	130°	0.9'	12	5.1	5.3		5弱:鹿児島県 鹿児島十島村中之島徳之尾 緊急地震速報(警報)を発表							
22	5	19	06	56	豊後水道	33°	14.3'	132°	13.3'	46	4.5	4.5		4:愛媛県 伊方町湊浦*							
23	5	22	16	42	新島・神津島近海	34°	28.5'	139°	13.0'	11	5.3	5.1		5弱:東京都 東京利島村東山 長周期地震動階級1を観測 緊急地震速報(警報)を発表							
24	5	22	19	46	新島・神津島近海	34°	27.9'	139°	14.6'	11	5.1	4.9		4:東京都 東京利島村東山 新島村大原 など1都3地点 長周期地震動階級1を観測							
25	5	26	19	03	千葉県東方沖	35°	38.4'	140°	40.3'	50	6.2	6.2	M	5弱:茨城県 神栖市溝口* 千葉県 銚子市川口町 など2県4地点 長周期地震動階級2を観測 緊急地震速報(警報)を発表 被害:住家一部破損3棟など(11月15日現在)							
26	5	27	22	52	トカラ列島近海	29°	56.6'	129°	58.2'	12	4.6	4.9		4:鹿児島県 鹿児島十島村中之島徳之尾 鹿児島十島村口之島出張所*							
27	5	30	09	52	硫黄島近海	24°	2.6'	143°	15.8'	12*	6.5	5.7	M	震度1以上を観測した地点はなし							
28	5	30	17	49	能登半島沖	37°	30.6'	137°	23.4'	4	4.6	-		4:石川県 珠洲市三崎町 珠洲市正院町* 緊急地震速報(警報)を発表							
29	6	1	11	28	トカラ列島近海	29°	56.2'	130°	0.1'	11	4.3	-		4:鹿児島県 鹿児島十島村中之島徳之尾							
30	6	11	18	54	苫小牧沖	42°	33.5'	141°	54.9'	136	6.2	6.2	M	5弱:北海道 千歳市若草* 厚真町鹿沼 浦河町潮見 緊急地震速報(警報)を発表 長周期地震動階級1を観測 被害:軽傷1人(6月19日現在)							
31	6	16	21	24	千葉県北東部	35°	42.3'	140°	42.7'	49	4.9	5.0		4:千葉県 横芝光町宮川* 横芝光町栗山*							
32	6	28	08	38	日本海北部	42°	9.4'	134°	28.0'	518	6.3	5.9	M	3:北海道 浦幌町桜町*							
33	7	22	10	52	茨城県沖	36°	26.4'	140°	41.3'	52	4.8	4.8		4:茨城県 水戸市金町 水戸市千波町* など1県10地点							
34	7	22	21	14	日向灘	32°	36.9'	132°	13.6'	37	5.0	5.0		4:高知県 宿毛市桜町* 大分県 佐伯市蒲江蒲江浦 佐伯市鶴見*							
35	8	11	09	14	青森県東方沖	41°	7.5'	142°	54.7'	28	6.2	6.1	M	4:青森県 平内町小湊 八戸市南郷* など2県8地点 長周期地震動階級1を観測							
36	8	25	07	48	三陸沖	39°	29.2'	143°	20.3'	15	6.0	5.9	M	3:青森県 八戸市南郷* 岩手県 宮古市田老* など3県22地点							

令和5年12月 地震・火山月報（防災編）

No.	震源時				震央地名	震源要素（注1）（注2）				M	H	S	T	最大震度・被害状況など （注4）			
						緯度		経度							深さ (km)	M	Mw
	度	分	度	分		（注3）											
37	9	8	18	28	宮城県沖	38°	54.0'	142°	6.0'	46	5.4	-	・	・	S	・	4：岩手県 花巻市大迫町 一関市室根町* 宮城県 気仙沼市笹が陣* 長周期地震動階級1を観測
38	9	9	02	28	トカラ列島近海	29°	19.0'	129°	23.4'	15	4.9	5.0	・	・	S	・	4：鹿児島県 鹿児島十島村黒石島*
39	9	11	00	01	トカラ列島近海	29°	18.7'	129°	23.3'	18	5.3	5.4	・	・	S	・	4：鹿児島県 鹿児島十島村黒石島*
40	9	18	22	21	宮古島北西沖	26°	28.7'	125°	13.2'	182	6.5	6.3	M	・	・	・	3：沖縄県 国頭村辺土名* 今帰仁村仲宗根* など1県10地点
41	9	19	04	33	宮城県沖	38°	28.3'	141°	37.3'	57	5.6	5.5	・	・	S	・	4：岩手県 一関市花泉町* 一関市室根町* など3県16地点 緊急地震速報（警報）を発表 長周期地震動階級1を観測
42	9	19	15	22	鳥島近海	31°	0.8'	142°	5.7'	10*	6.1	5.8	M	・	・	・	震度1以上を観測した地点はなし
43	9	29	02	40	択捉島南東沖	44°	22.7'	148°	53.5'	46*	6.2	5.9	M	・	・	・	2：北海道 函館市新浜町* 新冠町北星町* など1道14地点
44	10	3	20	38	鳥島近海	29°	45.2'	139°	49.0'	22	6.4	6.0	M	・	・	・	1：東京都 小笠原村父島西町 小笠原村父島三日月山 など1都3地点
45	10	4	00	22	鳥島近海	29°	42.8'	139°	42.6'	12	6.2	6.0	M	・	・	・	震度1以上を観測した地点はなし
46	10	5	10	59	鳥島近海	29°	43.1'	139°	46.3'	10*	6.5	6.1	M	・	・	T	震度1以上を観測した地点はなし 津波注意報を伊豆諸島に発表 津波観測：八丈島八重根で0.2mの津波を観測
47	10	6	10	31	鳥島近海	29°	40.3'	139°	28.4'		6.0	6.3	M	・	・	T	震度1以上を観測した地点はなし 津波観測：八丈島八重根で0.2mなど、八丈島及び鹿児島県で津波を観測
48	10	9	04時頃か ら06時台		鳥島近海						-	-	・	・	・	T	T相（注6）によると考えられる震度（震度2～1） を観測 津波注意報を千葉県九十九里・外房、千葉県内房、伊豆諸島、小笠原諸島、高知県、宮崎県、鹿児島県東部、種子島・屋久島地方及び奄美群島・トカラ列島に発表 津波観測：八丈島八重根で0.7mなど、伊豆諸島、小笠原諸島及び千葉県から沖縄県にかけての太平洋沿岸で津波を観測
49	10	16	19	42	宮古島近海	25°	10.2'	125°	34.9'	17*	6.0	5.7	M	・	S	・	4：沖縄県 宮古島市下地* 緊急地震速報（警報）を発表
50	11	6	02	10	福島県沖	37°	49.7'	141°	37.7'	56	5.0	4.8	・	・	S	・	4：宮城県 石巻市桃生町*
51	11	11	05	50	鹿児島湾	31°	19.7'	130°	48.2'	104	5.0	5.3	・	・	S	・	4：鹿児島県 大崎町仮宿* 曾於市太陽町中之内*
52	11	11	22	02	トカラ列島近海	29°	56.0'	130°	0.4'	13	4.3	-	・	・	S	・	4：鹿児島県 鹿児島十島村中之島徳之尾
53	11	20	06	01	青森県東方沖	41°	10.0'	142°	17.5'	52	5.9	5.9	・	・	S	・	4：青森県 八戸市湊町 八戸市内丸* など1県6地点
54	12	28	18	15	択捉島南東沖	44°	36.1'	149°	9.2'	40*	6.6	6.5	M	・	・	・	3：北海道 新ひだか町静内山手町 浦河町塩見

- （注1）震源要素は再調査後、修正することがある。
- （注2）深さに\*が付いている地震は、CMT解の深さを用いている。
- （注3）M H S Tの各項目について、M:M6.0以上の地震、H:被害を伴った地震、S:震度4以上を観測した地震、T:津波を観測した地震、として該当項目にそれぞれの記号を記した。
- （注4）最大震度の観測点名にある\*印は、地方公共団体もしくは国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点の情報である。被害の報告は出典の記載がないものは総務省消防庁による。
- （注5）5月5日14時42分及び同日21時58分に発生した能登半島沖の地震による被害を5月5日14時42分の地震の欄のみに記載した。
- （注6）地震波が海底面で音波に変換され海中を伝わったもの。

●令和5年（2023年）の都道府県別の震度観測回数表※

都道府県別	震度1	震度2	震度3	震度4	震度5弱	震度5強	震度6弱	震度6強	震度7	合計
北海道	96	50	20	3	2	0	0	0	0	171
青森県	65	30	6	5	0	0	0	0	0	106
岩手県	123	44	11	5	0	0	0	0	0	183
宮城県	101	54	8	5	0	0	0	0	0	168
秋田県	32	11	2	0	0	0	0	0	0	45
山形県	32	12	4	0	0	0	0	0	0	48
福島県	116	58	14	4	0	0	0	0	0	192
茨城県	146	64	12	2	1	0	0	0	0	225
栃木県	67	33	7	1	0	0	0	0	0	108
群馬県	55	20	3	0	0	0	0	0	0	78
埼玉県	55	21	5	0	0	0	0	0	0	81
千葉県	92	46	4	1	1	1	0	0	0	145
東京都	159	43	15	3	1	0	0	0	0	221
神奈川県	42	13	6	1	0	0	0	0	0	62
新潟県	32	9	5	2	0	0	0	0	0	48
富山県	6	6	1	2	0	0	0	0	0	15
石川県	157	62	21	6	0	1	0	1	0	248
福井県	10	8	2	1	0	0	0	0	0	21
山梨県	32	8	1	0	0	0	0	0	0	41
長野県	49	25	3	0	0	0	0	0	0	77
岐阜県	61	12	6	0	0	0	0	0	0	79
静岡県	56	15	3	0	0	0	0	0	0	74
愛知県	14	8	0	0	0	0	0	0	0	22
三重県	11	5	0	0	0	0	0	0	0	16
滋賀県	8	2	1	0	0	0	0	0	0	11
京都府	10	5	0	0	0	0	0	0	0	15
大阪府	11	5	1	0	0	0	0	0	0	17
兵庫県	13	6	1	0	0	0	0	0	0	20
奈良県	7	4	0	0	0	0	0	0	0	11
和歌山県	56	15	1	0	0	0	0	0	0	72
鳥取県	9	0	0	0	0	0	0	0	0	9
島根県	12	5	1	0	0	0	0	0	0	18
岡山県	20	1	0	0	0	0	0	0	0	21
広島県	20	3	1	0	0	0	0	0	0	24
徳島県	17	6	1	0	0	0	0	0	0	24
香川県	16	2	0	0	0	0	0	0	0	18
愛媛県	15	6	2	1	0	0	0	0	0	24
高知県	20	5	2	1	0	0	0	0	0	28
山口県	10	5	1	0	0	0	0	0	0	16
福岡県	8	1	1	0	0	0	0	0	0	10
佐賀県	2	3	0	0	0	0	0	0	0	5
長崎県	13	7	0	0	0	0	0	0	0	20
熊本県	35	16	7	0	0	0	0	0	0	58
大分県	24	5	1	1	0	0	0	0	0	31
宮崎県	31	11	4	0	0	0	0	0	0	46
鹿児島県	457	154	41	7	1	0	0	0	0	660
沖縄県	54	17	8	1	0	0	0	0	0	80
合計	1471	559	156	33	5	2	0	1	0	2227

※10月9日04時頃から06時台にかけての鳥島近海の地震活動に伴い観測されたT相によるものと考えられる震度を除く。

# ●令和5年（2023年）の観測点別の震度観測回数表

- ・ 気象庁の震度観測点（令和6年1月10日現在）について記載した。
- ・ 表の「観測点」欄の「注）」は、計数期間注意（欄外記載）。
- ・ 10月9日04時頃から06時台にかけての鳥島近海の地震活動に伴い観測されたT相によるものと考えられる震度を除く。

## 北海道地方

地方	観測点	震度							合計		
		1	2	3	4	5弱	5強	6弱		6強	7
石狩・渡島	石狩市花川	7	1	1	0	0	0	0	0	0	9
	石狩市聚富	8	2	0	0	0	0	0	0	0	10
	札幌中央区北2条	8	1	1	0	0	0	0	0	0	10
	江別市高砂町	10	2	1	0	0	0	0	0	0	13
	千歳市北栄	9	10	1	0	0	0	0	0	0	20
	新千歳空港	12	9	0	1	0	0	0	0	0	22
	恵庭市漁平	5	3	0	0	0	0	0	0	0	8
	八雲町上の湯	4	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	函館市尾札部町	12	1	1	0	0	0	0	0	0	14
	函館市美原	6	3	2	0	0	0	0	0	0	11
	七飯町桜町	5	5	0	0	0	0	0	0	0	10
	渡島森町御幸町	8	2	0	0	0	0	0	0	0	10
	渡島松前町福山	5	0	0	0	0	0	0	0	0	5
	渡島松前町清部	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	知内町小谷石	4	1	0	0	0	0	0	0	0	5
	檜山・後志	檜山江差町姥神	5	1	0	0	0	0	0	0	0
せたな町北檜山区豊岡		1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
小樽市勝納町		9	1	1	0	0	0	0	0	0	11
積丹町日司町		1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
余市町朝日町		5	1	0	0	0	0	0	0	0	6
倶知安町南1条		4	2	0	0	0	0	0	0	0	6
島牧村江ノ島		1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
寿都町新栄		2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
岩内町富台		1	1	0	0	0	0	0	0	0	2
奥尻町松江		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
北竜町竜西		4	1	0	0	0	0	0	0	0	5
芦別市旭町		6	0	1	0	0	0	0	0	0	7
滝川市大町		3	2	0	0	0	0	0	0	0	5
夕張市若菜		8	1	0	0	0	0	0	0	0	9
岩見沢市5条		11	1	1	0	0	0	0	0	0	13
空知・上川		美瑛市西5条	8	3	1	0	0	0	0	0	0
	士別市朝日町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	士別市東6条	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2
	名寄市大通	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	旭川市宮前1条	1	2	0	0	0	0	0	0	0	3
	上川地方上川町越路	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	富良野市若松町	6	2	0	0	0	0	0	0	0	8
	上富良野町大町	4	1	0	0	0	0	0	0	0	5
	南富良野町幾寅	4	2	0	0	0	0	0	0	0	6
	羽幌町南3条	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	羽幌町焼尻	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	初山別村有明	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	留萌市大町	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	稚内市恵北	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	稚内市開運	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	宗谷枝幸町岬町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
宗谷枝幸町本町	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
礼文町上泊崎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
利尻富士町鬼脇	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

地方	観測点	震度							合計			
		1	2	3	4	5弱	5強	6弱		6強	7	
網走	網走市台町	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2	
	美幌町東3条	5	1	1	0	0	0	0	0	0	7	
	斜里町本町	6	0	1	0	0	0	0	0	0	7	
	北見市公園町	0	2	1	0	0	0	0	0	0	3	
	北見市常呂町東浜	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	
	北見市留辺蘂町上町	4	1	0	0	0	0	0	0	0	5	
	紋別市南が丘町	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	遠軽町丸瀬布金湧山	2	1	0	0	0	0	0	0	0	3	
	雄勝町雄武	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	胆振伊達市梅本	8	3	1	0	0	0	0	0	0	12	
	室蘭市山手町	3	1	0	0	0	0	0	0	0	4	
	苫小牧市末広町	10	5	1	1	0	0	0	0	0	17	
	登別市鑑山	11	1	1	0	0	0	0	0	0	13	
	白老町大町	7	5	1	0	0	0	0	0	0	13	
	厚真町鹿沼	21	10	1	0	1	0	0	0	0	33	
	日高・十勝	平取町仁世宇	5	1	1	0	0	0	0	0	0	7
新ひだか町静内山手町		23	13	4	1	0	0	0	0	0	41	
新ひだか町静内御園		9	7	1	0	0	0	0	0	0	17	
浦河町野深		20	8	5	1	0	0	0	0	0	34	
浦河町潮見		27	10	7	1	1	0	0	0	0	46	
えりも町本町		7	3	0	0	0	0	0	0	0	10	
足寄町上蝶湾		12	3	1	0	0	0	0	0	0	16	
帯広市東4条		11	8	2	1	0	0	0	0	0	22	
十勝清水町南4条		12	8	2	0	0	0	0	0	0	22	
幕別町忠類明和		10	3	1	0	0	0	0	0	0	14	
本別町北2丁目		17	6	1	1	0	0	0	0	0	25	
広尾町並木通		12	10	2	0	0	0	0	0	0	24	
広尾町白樺通		9	7	3	0	0	0	0	0	0	19	
釧路・根室		弟子屈町美里	11	1	0	1	0	0	0	0	0	13
		釧路市幸町	25	3	0	1	0	0	0	0	0	29
		釧路市意別町尺別	10	5	1	0	0	0	0	0	0	16
	厚岸町尾幌	18	4	0	1	0	0	0	0	0	23	
	浜中町湯沸	9	2	0	1	0	0	0	0	0	12	
	中標津町養老牛	13	1	0	1	0	0	0	0	0	15	
	標津町古多糠	5	1	1	0	0	0	0	0	0	7	
	羅臼町春日	3	0	1	0	0	0	0	0	0	4	
	別海町常盤	28	12	1	1	0	0	0	0	0	42	
	根室市弥栄	10	2	0	1	0	0	0	0	0	13	
	根室市豊里	4	1	1	0	0	0	0	0	0	6	

東北地方

県	観測点	震度										
		1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	合計	
青森県	青森市花園	16	4	3	0	0	0	0	0	0	23	
	五所川原市栄町	0	4	2	0	0	0	0	0	0	6	
	五所川原市太田	3	3	0	0	0	0	0	0	0	6	
	平内町小湊	3	7	4	2	0	0	0	0	0	16	
	弘前市和田町	5	1	0	0	0	0	0	0	0	6	
	弘前市弥生	4	2	0	0	0	0	0	0	0	6	
	鱒ヶ沢町舞戸町鳴戸	3	3	0	0	0	0	0	0	0	6	
	深浦町長慶平	4	1	0	0	0	0	0	0	0	5	
	深浦町深浦岡町	4	2	0	0	0	0	0	0	0	6	
	八戸市島守	14	5	0	0	0	0	0	0	0	19	
	八戸市湊町	41	17	4	1	0	0	0	0	0	63	
	七戸町北天間館	3	4	0	0	0	0	0	0	0	7	
	六ヶ所村尾駸	22	5	3	0	0	0	0	0	0	30	
	六ヶ所村出戸	9	4	1	0	0	0	0	0	0	14	
	五戸町古館	34	15	4	2	0	0	0	0	0	55	
	むつ市金曲	24	6	5	0	0	0	0	0	0	35	
	むつ市大畑町奥薬研	7	5	0	0	0	0	0	0	0	12	
	東通村砂子又蒲谷地	26	7	4	0	0	0	0	0	0	37	
	岩手県	宮古市鎌ヶ崎	24	11	0	0	0	0	0	0	0	35
		宮古市長沢	16	2	0	0	0	0	0	0	0	18
久慈市川崎町		20	12	1	0	0	0	0	0	0	33	
久慈市枝成沢		37	11	2	0	0	0	0	0	0	50	
山田町八幡町		26	8	0	0	0	0	0	0	0	34	
田野畑村田野畑		19	3	0	0	0	0	0	0	0	22	
岩手洋野町種市		22	8	0	0	0	0	0	0	0	30	
大船渡市大船渡町		51	13	4	0	0	0	0	0	0	68	
大船渡市猪川町		50	3	2	0	0	0	0	0	0	55	
釜石市只越町		42	8	1	0	0	0	0	0	0	51	
盛岡市山王町		30	10	5	0	0	0	0	0	0	45	
二戸市福岡		17	7	2	0	0	0	0	0	0	26	
雫石町千刈田		14	5	1	0	0	0	0	0	0	20	
雫石町西根上駒木野		9	3	0	0	0	0	0	0	0	12	
葛巻町葛巻元木		22	8	0	0	0	0	0	0	0	30	
八幡平市大更		19	7	1	0	0	0	0	0	0	27	
花巻市大迫町		27	7	1	1	0	0	0	0	0	36	
北上市柳原町		25	6	1	0	0	0	0	0	0	32	
一関市大東町		54	4	2	0	0	0	0	0	0	60	
奥州市水沢大鐘町		16	6	0	0	0	0	0	0	0	22	
宮城県	気仙沼市赤岩	47	12	4	0	0	0	0	0	0	63	
	気仙沼市本吉町西川内	4	2	0	0	0	0	0	0	0	6	
	涌谷町新町裏	31	16	6	2	0	0	0	0	0	55	
	栗原市栗駒	43	10	3	0	0	0	0	0	0	56	
	登米市中田町	50	15	4	0	0	0	0	0	0	69	
	南三陸町志津川	8	4	0	0	0	0	0	0	0	12	
	大崎市古川三日町	34	13	4	0	0	0	0	0	0	51	
	大崎市古川大崎	9	2	1	0	0	0	0	0	0	12	
	仙台空港	32	7	1	0	0	0	0	0	0	40	
	柴田町船岡	32	7	2	0	0	0	0	0	0	41	
	丸森町上滝	18	9	0	0	0	0	0	0	0	27	
	仙台青葉区大倉	25	5	2	0	0	0	0	0	0	32	
	仙台宮城野区五輪	23	7	1	0	0	0	0	0	0	31	
	石巻市泉町	31	6	2	1	0	0	0	0	0	40	
	石巻市大瓦	11	4	0	0	0	0	0	0	0	15	
松島町高城	38	19	0	2	0	0	0	0	0	59		

県	観測点	震度									
		1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	合計
秋田県	能代市緑町	5	1	0	0	0	0	0	0	0	6
	能代市常盤山谷	5	1	0	0	0	0	0	0	0	6
	男鹿市男鹿中	4	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	五城目町西磯ノ目	6	2	0	0	0	0	0	0	0	8
	秋田市山王	6	2	0	0	0	0	0	0	0	8
	秋田市雄和女米木	6	1	0	0	0	0	0	0	0	7
	由利本荘市石脇	6	0	0	0	0	0	0	0	0	6
	大館市比内町味噌内	6	2	0	0	0	0	0	0	0	8
	北秋田市花園町	9	3	0	0	0	0	0	0	0	12
	横手市雄物川町今宿	7	3	0	0	0	0	0	0	0	10
	湯沢市沖鶴	11	2	0	0	0	0	0	0	0	13
	秋田美郷町六郷東根	7	2	0	0	0	0	0	0	0	9
	仙北市角館町中菅沢	4	2	0	0	0	0	0	0	0	6
	山形県	鶴岡市馬場町	5	0	0	0	0	0	0	0	0
鶴岡市温海川		7	2	0	0	0	0	0	0	0	9
酒田市飛鳥		2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
酒田市亀ヶ崎		5	6	0	0	0	0	0	0	0	11
遊佐町遊佐		8	3	0	0	0	0	0	0	0	11
遊佐町小原田		2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
新庄市東谷地町		6	3	0	0	0	0	0	0	0	9
山形市金山町中田		2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
山形市緑町		6	0	0	0	0	0	0	0	0	6
河北町谷地 <sup>注)</sup>		7	4	0	0	0	0	0	0	0	11
河北町吉田 <sup>注)</sup>		4	3	0	0	0	0	0	0	0	7
米沢市駅前		15	0	0	0	0	0	0	0	0	15
米沢市アルカディア		17	4	0	0	0	0	0	0	0	21
米沢市小国町岩井沢		7	1	1	0	0	0	0	0	0	9
白鷹町黒鴨	9	1	0	0	0	0	0	0	0	10	
福島県	福島市松木町 <sup>注)</sup>	4	2	0	0	0	0	0	0	0	6
	福島市花園町 <sup>注)</sup>	23	7	1	0	0	0	0	0	0	31
	郡山市朝日	38	12	1	0	0	0	0	0	0	51
	白河市郭内	42	6	0	0	0	0	0	0	0	48
	大玉村南小屋	23	9	0	0	0	0	0	0	0	32
	棚倉町棚倉中居野	59	12	1	0	0	0	0	0	0	72
	古殿町松川横川	22	3	0	0	0	0	0	0	0	25
	田村市船引町	63	19	2	0	0	0	0	0	0	84
	いわき市小名浜	30	7	2	0	0	0	0	0	0	39
	いわき市三和町	49	17	5	0	0	0	0	0	0	71
	川内村下川内	32	21	2	0	0	0	0	0	0	55
	浪江町幾世橋	73	20	6	1	0	0	0	0	0	100
	南相馬市原町区三島町	32	9	3	0	0	0	0	0	0	44
	南相馬市鹿島区柳窪	31	10	1	0	0	0	0	0	0	42
会津若松市材木町	6	1	0	0	0	0	0	0	0	7	
西会津町野沢	4	3	0	0	0	0	0	0	0	7	
猪苗代町城南	13	4	0	0	0	0	0	0	0	17	
柳津町大成沢	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
南会津町田島	4	4	0	0	0	0	0	0	0	8	

注)  
 「河北町谷地」 令和5年7月13日12時まで  
 「河北町吉田」 令和5年7月13日12時から  
 「福島市松木町」 令和5年3月27日12時まで  
 「福島市花園町」 令和5年3月27日12時から

関東地方

県	観測点	震度										
		1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	合計	
茨城県	水戸市金町	58	12	2	1	0	0	0	0	0	73	
	常陸太田市町屋町	40	6	2	0	0	0	0	0	0	48	
	ひたちなか市山ノ上町	17	4	2	0	0	0	0	0	0	23	
	常陸大宮市中富町	27	4	1	0	0	0	0	0	0	32	
	土浦市常名	84	19	6	0	0	0	0	0	0	109	
	石岡市柿岡	79	14	5	0	0	0	0	0	0	98	
	茨城鹿嶋市鉢形	57	9	1	1	0	0	0	0	0	68	
	潮来市城之内	34	5	0	1	0	0	0	0	0	40	
	利根町布川	21	3	1	0	0	0	0	0	0	25	
	坂東市岩井	34	12	2	0	0	0	0	0	0	48	
	筑西市舟生	53	16	2	0	0	0	0	0	0	71	
	銚田市銚田	35	5	2	0	0	0	0	0	0	42	
	栃木県	日光市瀬川	21	2	0	0	0	0	0	0	0	23
		日光市中宮祠	9	0	0	0	0	0	0	0	0	9
大原市黒羽田町		13	3	0	0	0	0	0	0	0	16	
那須塩原市轟沼		6	2	0	0	0	0	0	0	0	8	
宇都宮市明保野町		54	22	2	0	0	0	0	0	0	78	
栃木市旭町		32	9	2	0	0	0	0	0	0	43	
群馬県	益子町益子	48	10	2	0	0	0	0	0	0	60	
	那須烏山市神長	20	3	0	0	0	0	0	0	0	23	
	沼田市西倉内町	19	5	0	0	0	0	0	0	0	24	
	沼田市尾瀬高等学校	9	1	0	0	0	0	0	0	0	10	
	中之条町日影	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
	東吾妻町原町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	前橋市昭和町	5	0	0	0	0	0	0	0	0	5	
	桐生市錦町 <sup>注)</sup>	13	2	0	0	0	0	0	0	0	15	
	桐生市美原町 <sup>注)</sup>	4	0	0	0	0	0	0	0	0	4	
	富岡市七日市	7	0	0	0	0	0	0	0	0	7	
埼玉県	板倉町板倉	24	12	2	0	0	0	0	0	0	38	
	熊谷市桜町	14	2	0	0	0	0	0	0	0	16	
	本庄市堤玉町	10	3	0	0	0	0	0	0	0	13	
	久喜市下早見	40	13	1	0	0	0	0	0	0	54	
	鳩山町大豆戸	11	0	0	0	0	0	0	0	0	11	
	川越市旭町	14	2	0	0	0	0	0	0	0	16	
	飯能市下直竹	4	0	0	0	0	0	0	0	0	4	
	さいたま市浦和区高砂	13	6	1	0	0	0	0	0	0	20	
	秩父市上町	12	0	0	0	0	0	0	0	0	12	
	小鹿野町両神薄	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
千葉県	銚子市川口町	15	9	0	0	1	0	0	0	0	25	
	銚子市小畑新町	23	15	0	1	0	0	0	0	0	39	
	東金市東新宿	32	3	3	0	0	0	0	0	0	38	
	多古町多古	35	12	2	1	0	0	0	0	0	50	
	一宮町一宮	35	4	2	0	0	0	0	0	0	41	
	長南町総合グラウンド	37	10	1	1	0	0	0	0	0	49	
	香取市佐原平田	42	5	1	1	0	0	0	0	0	49	
	山武市松尾町富士見台	29	5	1	1	0	0	0	0	0	36	
	千葉中央区中央港	30	7	3	0	0	0	0	0	0	40	
	千葉美浜区ひび野	33	8	1	1	0	0	0	0	0	43	
	成田国際空港	21	7	0	1	0	0	0	0	0	29	
	成田市名古屋	30	8	1	0	0	0	0	0	0	39	
	柏市旭町	23	10	2	0	0	0	0	0	0	35	
	浦安市日の出	17	11	2	0	0	0	0	0	0	30	
	館山市長須賀	22	7	1	0	0	0	0	0	0	30	
	木更津市太田	12	1	1	1	0	0	0	0	0	15	
	勝浦市墨名	18	1	1	1	0	0	0	0	0	21	
	鴨川市八色	17	3	0	1	0	0	0	0	0	21	
	鴨川市内浦	3	1	0	1	0	0	0	0	0	5	
	南房総市上堀	8	1	1	0	0	0	0	0	0	10	

都県	観測点	震度									
		1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	合計
東京都	東京千代田区大手町	38	10	3	1	0	0	0	0	0	52
	東京港区海岸	18	7	1	0	0	0	0	0	0	26
	東京新宿区西新宿	11	2	1	0	0	0	0	0	0	14
	東京墨田区横川	9	2	2	0	0	0	0	0	0	13
	東京江東区青海	9	7	1	0	0	0	0	0	0	17
	東京国際空港	13	6	1	0	0	0	0	0	0	20
	東京杉並区阿佐谷	11	2	0	0	0	0	0	0	0	13
	東京江戸川区中央	16	10	2	0	0	0	0	0	0	28
	八王子市大横町	9	0	0	0	0	0	0	0	0	9
	国分寺市戸倉	23	5	0	0	0	0	0	0	0	28
	青梅市東青梅	8	0	0	0	0	0	0	0	0	8
	神津島村金長	14	5	1	0	0	0	0	0	0	20
	伊豆大島町釜木地	5	3	0	0	0	0	0	0	0	8
	伊豆大島町元町	16	4	0	0	0	0	0	0	0	20
	東京利島村東山	58	13	4	1	1	0	0	0	0	77
	新島村大原	37	8	1	2	0	0	0	0	0	48
	新島村式根島	4	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	三宅村神着	10	1	0	0	0	0	0	0	0	11
	三宅村坪田	6	5	0	0	0	0	0	0	0	11
	御蔵島村西川	9	3	0	0	0	0	0	0	0	12
神奈川県	八丈町樫立	7	3	1	0	0	0	0	0	0	11
	八丈町三根	9	4	1	0	0	0	0	0	0	14
	青ヶ島村	5	0	0	0	0	0	0	0	0	5
	小笠原村父島西町	5	3	0	0	0	0	0	0	0	8
	小笠原村父島三日月山	8	2	1	0	0	0	0	0	0	11
	小笠原村母島	31	4	3	1	0	0	0	0	0	39
	横浜中区山手町	29	7	2	1	0	0	0	0	0	39
	川崎中原区小杉陣屋町	10	5	1	0	0	0	0	0	0	16
	横須賀市光の丘	14	0	0	0	0	0	0	0	0	14
	茅ヶ崎市茅ヶ崎	14	5	1	0	0	0	0	0	0	20
小田原市久野	9	0	0	0	0	0	0	0	0	9	
秦野市曾屋	13	4	1	0	0	0	0	0	0	18	
湯河原町中央	20	5	0	0	0	0	0	0	0	25	
相模原中央区中央	2	4	0	0	0	0	0	0	0	6	
相模原緑区若柳	5	0	0	0	0	0	0	0	0	5	

注) 「桐生市美原町」 令和5年3月16日12時まで  
 「桐生市錦町」 令和5年3月16日12時から

中部地方

県	観測点	震度										
		1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	合計	
新潟県	糸魚川市一の宮	3	2	2	0	0	0	0	0	0	0	7
	上越市ノ俣	6	3	1	1	0	0	0	0	0	0	11
	上越市大手町	7	4	1	2	0	0	0	0	0	0	14
	長岡市幸町	5	1	1	0	0	0	0	0	0	0	7
	小千谷市城内	6	1	2	0	0	0	0	0	0	0	9
	出雲崎町米田	8	3	2	0	0	0	0	0	0	0	13
	魚沼市下折立	5	1	1	0	0	0	0	0	0	0	7
	南魚沼市六日町	9	1	3	0	0	0	0	0	0	0	13
	村上市塩町	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	五泉市村松乙	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	5
	粟島浦村笹畑	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	阿賀野市畑江	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	5
	胎内市新和町	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	5
	新潟空港	7	2	2	0	0	0	0	0	0	0	11
	新潟中央区美咲町	3	2	2	0	0	0	0	0	0	0	7
	新潟秋葉区程島	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	4
	新潟西蒲区役所	5	1	2	0	0	0	0	0	0	0	8
	佐渡市相川金山	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	佐渡市相川三町目	5	2	3	0	0	0	0	0	0	0	10
	富山県	富山市石坂	7	1	1	0	0	0	0	0	0	9
富山市八尾町福島		6	0	2	0	0	0	0	0	0	8	
魚津市釈迦堂		5	1	1	0	0	0	0	0	0	7	
立山町吉峰		9	0	2	0	0	0	0	0	0	11	
富山朝日町道下		3	2	1	0	0	0	0	0	0	6	
高岡市伏木		5	2	2	0	0	0	0	0	0	9	
小矢部市泉町		5	3	1	1	0	0	0	0	0	10	
南砺市天池	3	1	1	0	0	0	0	0	0	5		
石川県	七尾市本府中町	15	6	2	1	0	0	0	0	0	24	
	輪島市船倉島	11	6	0	2	0	0	0	0	0	19	
	輪島市鳳至町	22	6	3	1	1	0	0	0	0	33	
	珠洲市三崎町	65	23	6	2	1	1	0	0	0	98	
	羽咋市柳田町	5	2	2	0	0	0	0	0	0	9	
	志賀町富来領家町	6	3	1	1	0	0	0	0	0	11	
	能登町宇出津	14	7	3	1	1	0	0	0	0	26	
	金沢市西念	7	1	1	1	0	0	0	0	0	10	
	小松市小馬出町	9	0	1	1	0	0	0	0	0	11	
	加賀市直下町	8	2	1	0	0	0	0	0	0	11	
福井県	津幡町加賀爪	7	1	2	0	0	0	0	0	0	10	
	福井市豊島	4	1	1	0	0	0	0	0	0	6	
	勝山市旭町	2	1	1	0	0	0	0	0	0	4	
	越前市高瀬	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
	福井坂井市三国町陣ヶ岡	6	1	1	0	0	0	0	0	0	8	
山梨県	敦賀市松栄町	3	2	0	0	0	0	0	0	0	5	
	福井美浜町新庄	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
	高浜町宮崎	4	2	0	0	0	0	0	0	0	6	
	甲府市飯田	8	1	0	0	0	0	0	0	0	9	
	身延町大磯小磯	4	0	0	0	0	0	0	0	0	4	
	甲州市塩山下於曾	6	0	0	0	0	0	0	0	0	6	
	大月市大月	10	1	0	0	0	0	0	0	0	11	
長野県	上野原市四方津	6	0	0	0	0	0	0	0	0	6	
	富士河口湖町船津	14	3	0	0	0	0	0	0	0	17	
	長野市箱清水	3	2	1	0	0	0	0	0	0	6	
	長野市松代	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
	大町市役所	6	2	1	0	0	0	0	0	0	9	
	山ノ内町平穏	2	1	0	0	0	0	0	0	0	3	
	松本市沢村	2	2	0	0	0	0	0	0	0	4	
	上田市築地	4	2	0	0	0	0	0	0	0	6	
	諏訪市湖岸通り	4	2	1	0	0	0	0	0	0	7	
	佐久市下小田切	6	0	0	0	0	0	0	0	0	6	
	軽井沢町追分	2	2	0	0	0	0	0	0	0	4	
	安曇野市穂高支所	4	1	0	0	0	0	0	0	0	5	
	筑北村坂井	3	2	0	0	0	0	0	0	0	5	
	飯田市高羽町	4	1	0	0	0	0	0	0	0	5	
	伊那市高遠町荊口	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3	
	辰野町中央	2	1	0	0	0	0	0	0	0	3	
	飯島町飯島	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3	
	泰阜村梨久保	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	

県	観測点	震度										
		1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	合計	
岐阜県	高山市丹生川町森部	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	高山市桐生町	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	飛騨市神岡町殿	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	下呂市森	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	中津川市かやの木町	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
	美濃加茂市太田町	10	1	0	0	0	0	0	0	0	0	11
	白川町黒川	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	岐阜市加納二之丸	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
	揖斐川町三輪	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	岐阜山県市谷合運動場	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
静岡県	郡上市八幡町島谷	4	1	0	0	0	0	0	0	0	5	
	熱海市網代	13	2	0	0	0	0	0	0	0	15	
	伊東市大原	5	1	0	0	0	0	0	0	0	6	
	下田市加増野	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3	
	南伊豆町石廊崎	4	1	0	0	0	0	0	0	0	5	
	伊豆市中伊豆グラウンド	22	4	0	0	0	0	0	0	0	26	
	三島市東本町	4	2	0	0	0	0	0	0	0	6	
	富士宮市弓沢町	7	2	0	0	0	0	0	0	0	9	
	富士市富士総合運動公園	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	御殿場市萩原	5	2	0	0	0	0	0	0	0	7	
愛知県	島田市川根町家山	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	島田市元島田	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2	
	静岡駿河区曲金	4	0	0	0	0	0	0	0	0	4	
	静岡清水区千歳町	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3	
	牧之原市鬼女新田	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2	
	掛川市篠場	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	袋井市新屋	4	0	0	0	0	0	0	0	0	4	
	御前崎市御前崎	2	1	0	0	0	0	0	0	0	3	
	浜松中央区高丘東	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	浜松浜名区三ヶ日町	4	1	0	0	0	0	0	0	0	5	
三重県	浜松浜名区滝沢町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	豊橋市向山	5	0	0	0	0	0	0	0	0	5	
	新城市乗本	2	1	0	0	0	0	0	0	0	3	
	新城市作手清岳	7	1	0	0	0	0	0	0	0	8	
	田原市石神町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	田原市福江町	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3	
	名古屋千種区日和町	7	1	0	0	0	0	0	0	0	8	
	岡崎市若宮町	6	0	0	0	0	0	0	0	0	6	
	一宮市千秋	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	豊田市小坂本町	8	0	0	0	0	0	0	0	0	8	
三重県	豊田市大洞町	9	0	0	0	0	0	0	0	0	9	
	西尾市一色町	6	1	0	0	0	0	0	0	0	7	
	中部国際空港	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	常滑市飛香台	6	1	0	0	0	0	0	0	0	7	
	南知多町豊浜	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
	愛西市稲葉町	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2	
	四日市市日永	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	鈴鹿市西条	8	0	0	0	0	0	0	0	0	8	
	津市島崎町	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
	津市片田薬王寺町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
三重県	松阪市上川町	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	伊賀市緑ヶ丘本町	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3	
	尾鷲市南陽町	3	1	0	0	0	0	0	0	0	4	
	三重御浜町寺谷総合公園	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	三重紀北町十須	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
伊勢市矢持町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
志摩市志摩町和具	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		

近畿地方

府県	観測点	震度									
		1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	合計
滋賀県	彦根市城町	3	1	0	0	0	0	0	0	0	4
	大津市御陵町	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	大津市南小松	3	1	0	0	0	0	0	0	0	4
	近江八幡市桜宮町	4	1	0	0	0	0	0	0	0	5
	甲賀市水口町	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	東近江市君ヶ畑町	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
京都府	福知山市内記	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	舞鶴市下福井	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	京丹後市弥栄町吉沢	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	京都中京区西ノ京	2	1	0	0	0	0	0	0	0	3
	宇治市宇治琵琶	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	亀岡市安町	8	3	0	0	0	0	0	0	0	11
大阪府	京丹波町坂原	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	大阪中央区大手前	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	大阪国際空港	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	高槻市桃園町	4	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	箕面市箕面	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	岸和田市岸城町	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3
大阪府	富田林市本町	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	関西国際空港	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	大阪堺市中区深井清水町	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3

県	観測点	震度									
		1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	合計
兵庫県	豊岡市桜町	2	1	0	0	0	0	0	0	0	3
	兵庫香美町香住区三川	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	朝来市和田山町枚田	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	神戸中央区臨浜	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	明石市中崎	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	西宮市宮前町	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	加古川市加古川町	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	三木市細川町	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	三田市下深田	4	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	加西市下万願寺町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	丹波篠山市北新町	4	0	1	0	0	0	0	0	0	5
	加東市社	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	姫路市神子岡前	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	相生市旭	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	宍粟市山崎町中広瀬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	洲本市物部	3	1	0	0	0	0	0	0	0	4
	南あわじ市福良	3	2	0	0	0	0	0	0	0	5
	淡路市長澤	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	淡路市富島	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2
	奈良県	奈良市西紀寺町	2	0	0	0	0	0	0	0	0
桜井市初瀬		5	0	0	0	0	0	0	0	0	5
平群町鳴川		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大淀町捨垣本		2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
和歌山県	天川村洞川	2	2	0	0	0	0	0	0	0	4
	和歌山市男野芝丁	10	1	0	0	0	0	0	0	0	11
	有田市箕島	4	2	0	0	0	0	0	0	0	6
	御坊市藪	12	3	0	0	0	0	0	0	0	15
	高野町高野山中学校	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	みなべ町土井	3	2	1	0	0	0	0	0	0	6
	紀の川市粉河	3	2	0	0	0	0	0	0	0	5
	田辺市中辺路町近露	3	0	1	0	0	0	0	0	0	4
	新宮市新宮	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	白浜町消防本部	2	0	1	0	0	0	0	0	0	3
和歌山県	串本町潮岬	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	古座川町高池	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2

中国地方

県	観測点	震度									
		1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	合計
鳥取県	鳥取市吉方	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	岩美町浦富	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	智頭町智頭	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	倉吉市岩倉長峯	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	米子市博労町	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
境港市東本町	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3	
島根県	松江市西生馬町	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	松江市西津田	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	出雲市今市町	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	出雲市坂浦町	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	雲南市大東町大東	1	2	0	0	0	0	0	0	0	3
	浜田市大辻町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	益田市匹見町石谷	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	鳥根美郷町君谷	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	隠岐の島町西町	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	隠岐の島町山田	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
岡山県	津山市林田	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	新見市新見	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	美作市尾谷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	倉敷市新田	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	備前市伊部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	赤磐市上市	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	浅口市天草公園	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	岡山北区桑田町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	岡山北区足守	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	広島三次市十日市中	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
広島県	庄原市西城町熊野	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	北広島町都志見	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	北広島町有田	2	1	0	0	0	0	0	0	0	3
	三原市円一町	4	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	広島空港	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	福山市松永町	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	広島中区上八丁堀	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2
	呉市宝町	5	0	0	0	0	0	0	0	0	5
	呉市音戸中学校	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	東広島市黒瀬町	4	2	0	0	0	0	0	0	0	6
山口県	萩市土原	4	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	萩市見島宇津	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	下関市竹崎	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2
	下関市豊浦町川棚	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	宇部市野中	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	岩国市今津	2	1	0	0	0	0	0	0	0	3
	田布施町下田布施	3	1	0	0	0	0	0	0	0	4
	山口市前町	3	1	0	0	0	0	0	0	0	4
	防府市寿	2	1	0	0	0	0	0	0	0	3
	下松市瀬戸	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1

四国地方

県	観測点	震度									
		1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	合計
徳島県	徳島市大和町	7	1	0	0	0	0	0	0	0	8
	鳴門市撫養町	3	1	0	0	0	0	0	0	0	4
	吉野川市鷗島町	2	1	0	0	0	0	0	0	0	3
	美馬市穴吹ふれスポ公園	4	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	美馬市藤町	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	徳島三好市池田町サラダ	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2
香川県	阿南市富岡町	5	1	0	0	0	0	0	0	0	6
	那賀町横石	3	2	0	0	0	0	0	0	0	5
	高松空港	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	高松市伏石町	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	東かがわ市西村	7	0	0	0	0	0	0	0	0	7
	土庄町淵崎	6	0	0	0	0	0	0	0	0	6
愛媛県	坂出市王越町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	観音寺市坂本町	7	0	0	0	0	0	0	0	0	7
	多度津町家中	4	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	今治市南宝来町二丁目	6	0	0	0	0	0	0	0	0	6
	新居浜市一宮町	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	西条市丹原町鞍瀬	3	3	0	0	0	0	0	0	0	6
高知県	松山市北持田町	3	1	0	0	0	0	0	0	0	4
	宇和島市住吉町	5	2	0	0	0	0	0	0	0	7
	八幡浜市広瀬	3	2	0	0	0	0	0	0	0	5
	大洲市豊茂	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	西予市野村町	6	2	0	0	0	0	0	0	0	8
	愛媛北町成川	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3
徳島県	室戸市吉良川町	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	室戸市室戸岬町	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	安芸市西浜	3	2	0	0	0	0	0	0	0	5
	高知市本町	7	0	0	0	0	0	0	0	0	7
	高知市春野町芳原	4	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	須崎市山手町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	香美市土佐山田町宝町	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	香美市物部町神池	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2
	宿毛市片島	9	1	1	0	0	0	0	0	0	11
	土佐清水市有永	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
高知県	土佐清水市足摺岬	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	四万十町窪川中津川	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	黒潮町入野	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1

九州地方及び沖縄地方

県	観測点	震度										
		1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	合計	
福岡県	福岡空港	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	福岡中央区大濠	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	福岡早良区板屋	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	福津市手光	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	糸島市志摩初	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	北九州八幡東区桃園	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	苅田町若久	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	飯塚市川島	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	福智町上野	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	大牟田市笹林	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	久留米市津福本町	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	八女市黒木町北木屋	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	筑前町下高場	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	唐津市西城内	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	佐賀市駅前中央	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
太良町多良	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
嬉野市不動山	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
長崎県	佐世保市千石町	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	平戸市岩の上町	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	長崎市南山手	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	長崎市黒浜町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	長崎市長浦町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	諫早市東小路町	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	雲仙市国見町	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	雲仙市小浜町雲仙	7	1	0	0	0	0	0	0	0	0	8
	長崎対馬市厳原町東里	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	長崎対馬市上県町飼所	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	長崎対馬市美津島町鶴居瀬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	壱岐市芦辺町中野	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	五島市富江町繁敷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	五島市木場町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	熊本県	南阿蘇村中松	8	2	0	0	0	0	0	0	0	10
八代市平山新町		10	1	0	0	0	0	0	0	0	11	
八代市泉町		4	1	0	0	0	0	0	0	0	5	
玉名市築地		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
宇城市松橋町		1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
熊本西区春日		9	6	2	0	0	0	0	0	0	17	
人吉市西間下町		4	0	0	0	0	0	0	0	0	4	
多良木町多良木		1	2	0	0	0	0	0	0	0	3	
芦北町芦北		5	1	0	0	0	0	0	0	0	6	
上天草市大矢野町		11	0	0	0	0	0	0	0	0	11	
上天草市本町		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
上天草市牛深町		1	1	0	0	0	0	0	0	0	2	
中津市上宮永		4	0	0	0	0	0	0	0	0	4	
国東市国見町西方寺		3	1	0	0	0	0	0	0	0	4	
国東市鶴川		3	2	0	0	0	0	0	0	0	5	
大分県	大分市明野北	2	2	0	0	0	0	0	0	0	4	
	別府市鶴見	6	1	0	0	0	0	0	0	0	7	
	別府市天間	4	1	0	0	0	0	0	0	0	5	
	臼杵市乙見	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2	
	佐伯市蒲江蒲江浦	14	3	0	1	0	0	0	0	0	18	
	佐伯市堅田	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	
	佐伯市蒲江猪串浦	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2	
	豊後大野市三重町	2	1	0	0	0	0	0	0	0	3	
	日田市中津江村合瀬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	日田市三本松	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	玖珠町帆足	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

県	観測点	震度										
		1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	合計	
宮崎県	延岡市天神小路	7	1	0	0	0	0	0	0	0	0	8
	延岡市北方町未	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	日向市亀崎	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	日向市大王谷運動公園	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	新島町上富田	5	2	0	0	0	0	0	0	0	0	7
	宮崎都農町川北	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	高千穂町三田井	11	4	0	0	0	0	0	0	0	0	15
	宮崎市霧島	8	3	1	0	0	0	0	0	0	0	12
	日南市油津	10	1	1	0	0	0	0	0	0	0	12
	日南市北郷町大藤	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	5
	串間市奈留	6	1	0	0	0	0	0	0	0	0	7
	都城市葛蒲原	8	2	1	0	0	0	0	0	0	0	11
	都城市高崎町江平	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	小林市真方	6	4	0	0	0	0	0	0	0	0	10
	鹿児島県	鹿児島市東郡元	6	2	1	0	0	0	0	0	0	0
鹿児島市下福元		4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	5
枕崎市高見町		4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	5
阿久根市赤瀬川		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
指宿市山川新生町		1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	4
薩摩川内市市郷		0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
さつま町宮之城屋地		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
霧島市隼人町内山田		3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4
鹿児島空港		4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	5
伊佐市大口山野		2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
鹿屋市新栄町		8	3	2	0	0	0	0	0	0	0	13
錦江町田代麓		4	3	1	0	0	0	0	0	0	0	8
志布志市志布志町志布志		6	2	0	0	0	0	0	0	0	0	8
鹿児島十島村中之島徳之尾		129	36	10	4	1	0	0	0	0	0	180
薩摩川内市下郷町青瀬		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
西之表市住吉	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	6	
西之表市西之表	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	4	
南種子町中之下	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	
屋久島町小瀬田	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	
屋久島町口永良部島池田	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	
屋久島町平内	8	1	0	0	0	0	0	0	0	0	9	
瀬戸内町西古見	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4	
龍郷町屋入	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
喜界町滝川	7	4	1	0	0	0	0	0	0	0	12	
奄美市名瀬港町	12	6	1	0	0	0	0	0	0	0	19	
天城町当部	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4	
和泊町園頭	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	
知名町瀬利覚	10	2	0	0	0	0	0	0	0	0	12	
与論町麦屋	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	
沖縄県	名護市宮里	5	2	0	0	0	0	0	0	0	0	7
	名護市豊原	6	2	0	0	0	0	0	0	0	0	8
	国頭村奥	10	3	0	0	0	0	0	0	0	0	13
	粟国村浜	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0	6
	伊平屋村我喜屋	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	5
	那覇市樋川	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	6
	那覇空港	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0	6
	読谷村座喜味	8	2	0	0	0	0	0	0	0	0	10
	南城市玉城字玉城	3	4	0	0	0	0	0	0	0	0	7
	久米島町山城	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0	6
	久米島町謝名堂	3	5	0	0	0	0	0	0	0	0	8
	南大東村在所	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	南大東村池之沢	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	北大東村黄金山	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	多良間村塩川	7	3	0	0	0	0	0	0	0	0	10
宮古島市平良下里	10	4	1	0	0	0	0	0	0	0	15	
宮古島市城辺福北	14	2	3	0	0	0	0	0	0	0	19	
宮古島市平良池間	7	5	3	0	0	0	0	0	0	0	15	
宮古島市上野新里	8	1	1	0	0	0	0	0	0	0	10	
宮古島市伊良部前里添	13	5	2	0	0	0	0	0	0	0	20	
石垣市登野城	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	5	
石垣市新川	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	3	
石垣市平久保	4	3	0	0	0	0	0	0	0	0	7	
与那国町祖納	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	5	
与那国町久部良	7	2	1	0	0	0	0	0	0	0	10	
竹富町大原	9	3	0	0	0	0	0	0	0	0	12	
竹富町黒島	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	5	
竹富町波照間	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3	
竹富町上原小学校	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	5	



●過去10年間（2014年～2023年）の最大震度別の月別地震回数

震度	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	計
2014年1月	92	50	8	2	0	0	0	0	0	152
2月	84	48	10	4	0	0	0	0	0	146
3月	101	48	8	1	0	1	0	0	0	159
4月	92	44	13	4	0	0	0	0	0	153
5月	125	45	15	1	1	0	0	0	0	187
6月	92	34	12	5	0	0	0	0	0	143
7月	118	46	9	5	2	0	0	0	0	180
8月	103	43	9	5	1	0	0	0	0	161
9月	141	37	11	5	2	0	0	0	0	196
10月	92	35	10	5	0	0	0	0	0	142
11月	177	67	16	5	1	0	1	0	0	267
12月	111	38	13	4	0	0	0	0	0	166
計	1328	535	134	46	7	1	1	0	0	2052
2015年1月	94	39	13	3	0	0	0	0	0	149
2月	100	42	8	3	0	2	0	0	0	155
3月	90	33	17	2	0	0	0	0	0	142
4月	85	38	8	2	0	0	0	0	0	133
5月	108	37	10	2	2	2	0	0	0	161
6月	107	38	10	4	1	0	0	0	0	160
7月	84	36	11	2	1	1	0	0	0	135
8月	97	41	23	4	0	0	0	0	0	165
9月	80	37	11	1	1	0	0	0	0	130
10月	106	46	12	5	0	0	0	0	0	169
11月	113	33	13	5	0	0	0	0	0	164
12月	110	54	13	1	0	0	0	0	0	178
計	1174	474	149	34	5	5	0	0	0	1841
2016年1月	115	35	13	2	2	0	0	0	0	167
2月	92	36	9	4	0	0	0	0	0	141
3月	74	29	10	2	0	0	0	0	0	115
4月	1800	889	335	100	10	5	3	2	2	3146
5月	417	183	54	9	1	0	0	0	0	664
6月	247	86	27	7	1	0	1	0	0	369
7月	174	71	33	5	1	0	0	0	0	284
8月	155	66	12	4	1	0	0	0	0	238
9月	125	57	24	4	1	0	0	0	0	211
10月	378	136	44	12	0	0	1	0	0	571
11月	237	114	19	6	1	0	0	0	0	377
12月	204	74	21	4	0	0	1	0	0	304
計	4018	1776	601	159	18	5	6	2	2	6587
2017年1月	98	42	9	4	0	0	0	0	0	153
2月	85	44	13	2	1	0	0	0	0	145
3月	99	44	12	2	0	0	0	0	0	157
4月	123	40	18	3	0	0	0	0	0	184
5月	114	42	6	2	0	0	0	0	0	164
6月	153	42	18	3	0	2	0	0	0	218
7月	115	48	9	2	2	1	0	0	0	177
8月	136	56	15	3	0	0	0	0	0	210
9月	118	52	13	4	0	1	0	0	0	188
10月	92	41	9	0	1	0	0	0	0	143
11月	95	34	11	4	0	0	0	0	0	144
12月	96	34	9	3	0	0	0	0	0	142
計	1324	519	142	32	4	4	0	0	0	2025
2018年1月	80	37	11	3	0	0	0	0	0	131
2月	72	24	8	3	0	0	0	0	0	107
3月	108	46	12	2	1	0	0	0	0	169
4月	111	48	14	6	1	1	0	0	0	181
5月	100	42	12	5	1	1	0	0	0	161
6月	127	49	17	5	1	0	1	0	0	200
7月	109	34	10	5	1	0	0	0	0	159
8月	89	29	11	2	0	0	0	0	0	131
9月	229	113	46	19	1	0	0	0	1	409
10月	106	51	16	10	1	0	0	0	0	184
11月	148	38	10	5	0	0	0	0	0	201
12月	100	33	11	2	0	0	0	0	0	146
計	1379	544	178	67	7	2	1	0	1	2179

震度	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	計
2019年1月	100	48	4	4	1	0	1	0	0	158
2月	82	40	7	1	0	0	1	0	0	131
3月	93	30	10	5	0	0	0	0	0	138
4月	78	24	8	1	0	0	0	0	0	111
5月	78	30	10	4	2	0	0	0	0	124
6月	118	51	9	6	0	0	0	1	0	185
7月	84	32	13	1	0	0	0	0	0	130
8月	67	24	11	1	1	0	0	0	0	104
9月	72	24	9	0	0	0	0	0	0	105
10月	65	35	6	1	0	0	0	0	0	107
11月	79	34	12	3	0	0	0	0	0	128
12月	99	19	19	4	2	0	0	0	0	143
計	1015	391	118	31	6	0	2	1	0	1564
2020年1月	68	35	8	5	0	0	0	0	0	116
2月	68	26	5	4	0	0	0	0	0	103
3月	100	33	11	1	0	1	0	0	0	146
4月	140	46	16	6	0	0	0	0	0	208
5月	142	39	23	9	0	0	0	0	0	213
6月	81	33	6	6	1	0	0	0	0	127
7月	120	40	8	1	0	0	0	0	0	169
8月	71	41	7	0	0	0	0	0	0	119
9月	87	31	14	3	1	0	0	0	0	136
10月	85	24	9	0	0	0	0	0	0	118
11月	70	20	5	0	1	0	0	0	0	96
12月	106	44	7	3	3	0	0	0	0	163
計	1138	412	119	38	6	1	0	0	0	1714
2021年1月	86	42	4	2	0	0	0	0	0	134
2月	149	54	20	4	0	0	0	1	0	228
3月	116	38	7	4	1	1	0	0	0	167
4月	277	106	39	8	0	0	0	0	0	430
5月	105	35	11	3	0	1	0	0	0	155
6月	82	24	9	2	0	0	0	0	0	117
7月	111	37	10	5	0	0	0	0	0	163
8月	97	40	10	4	0	0	0	0	0	151
9月	101	36	17	1	1	0	0	0	0	156
10月	73	32	11	3	0	2	0	0	0	121
11月	71	42	13	2	0	0	0	0	0	128
12月	316	119	30	6	2	1	0	0	0	474
計	1584	605	181	44	4	5	0	1	0	2424
2022年1月	108	43	14	0	0	2	0	0	0	167
2月	85	51	8	1	0	0	0	0	0	145
3月	172	71	19	8	1	1	0	1	0	273
4月	113	45	9	7	1	0	0	0	0	175
5月	97	31	17	3	1	0	0	0	0	149
6月	121	44	13	3	1	1	1	0	0	184
7月	89	35	9	2	0	0	0	0	0	135
8月	106	30	14	5	1	1	0	0	0	157
9月	102	35	13	2	0	0	0	0	0	152
10月	96	29	12	0	2	0	0	0	0	139
11月	104	23	17	2	0	1	0	0	0	147
12月	89	38	11	3	0	0	0	0	0	141
計	1282	475	156	36	7	6	1	1	0	1964
2023年1月	91	29	9	2	0	0	0	0	0	131
2月	63	24	11	0	1	0	0	0	0	99
3月	70	30	8	4	0	0	0	0	0	112
4月	90	43	12	2	0	0	0	0	0	147
5月	249	111	27	11	3	2	0	1	0	404
6月	106	48	14	2	1	0	0	0	0	171
7月	87	33	7	2	0	0	0	0	0	129
8月	82	29	10	1	0	0	0	0	0	122
9月	323	111	33	4	0	0	0	0	0	471
10月※	97	32	9	1	0	0	0	0	0	139
11月	105	34	9	4	0	0	0	0	0	152
12月	108	35	7	0	0	0	0	0	0	150
計※	1471	559	156	33	5	2	0	1	0	2227

※2023年10月9日04時頃から06時台にかけての鳥島近海の地震活動に伴い観測されたT相によるものと考えられる震度を除く。

## ● 令和5年（2023年）に長周期地震動階級1以上を観測した地震

令和5年（2023年）に長周期地震動階級<sup>※</sup>1以上を観測した地震は11回であった（令和4年は8回）。

表1 令和5年に長周期地震動階級1以上を観測した地震

No	震源時	震央地名	深さ (km)	M	最大 階級	最大の長周期地震動階級を 観測した地域（地点）
1	2月25日22時27分	釧路沖	63	6.0	1	網走地方（斜里町本町） 釧路地方北部（弟子屈町美里） 釧路地方中南部（釧路市幸町） 根室地方中部（別海町常盤）
2	3月28日18時18分	青森県東方沖	28	6.2	1	青森県津軽北部（青森市花園）
3	5月5日14時42分	能登半島沖	12	6.5	3	石川県能登（珠洲市三崎町）
4	5月5日21時58分	能登半島沖	14	5.9	2	石川県能登（珠洲市三崎町）
5	5月22日16時42分	新島・神津島近海	11	5.3	1	新島（東京利島村東山、新島村大原）
6	5月22日19時46分	新島・神津島近海	11	5.1	1	新島（東京利島村東山、新島村大原）
7	5月26日19時03分	千葉県東方沖	50	6.2	2	茨城県南部（茨城鹿嶋市鉢形） 千葉県北東部（銚子市川口町）
8	6月11日18時54分	苫小牧沖	136	6.2	1	石狩地方南部（千歳市北栄、新千歳空港） 後志地方東部（倶知安町南1条） 胆振地方中東部（苫小牧市末広町、白老町大町、 厚真町鹿沼） 日高地方中部（新ひだか町静内山手町、新ひだ か町静内御園） 十勝地方中部（帯広市東4条、十勝清水町南4 条）
9	8月11日09時14分	青森県東方沖	28	6.2	1	青森県津軽北部（青森市花園） 宮城県北部（登米市中田町）
10	9月8日18時28分	宮城県沖	46	5.4	1	宮城県北部（登米市中田町）
11	9月19日04時33分	宮城県沖	57	5.6	1	宮城県北部（涌谷町新町裏、登米市中田町）

【注】震源要素は気象庁による。震源要素、震央地名は長周期地震動に関する観測情報<sup>※※</sup>の発表時の値（速報値）とは異なる場合がある。

※ 長周期地震動階級に関する詳細は、本誌の付録10「長周期地震動階級関連解説表」を参照のこと。

※※長周期地震動に関する観測情報は、平成25年3月28日に試行での提供を開始した。平成31年3月19日に本運用へ移行し、令和5年2月1日にオンライン配信を開始しました。長周期地震動に関する観測情報に関する詳細は、「地震・火山月報（防災編）」令和元年12月号の付録10「長周期地震動に関する観測情報について」を参照のこと。

● 令和5年（2023年）の緊急地震速報の提供状況

令和5年に緊急地震速報（予報）を発表した回数は824回、そのうち緊急地震速報（警報）を発表した回数は17回であった（表1、表2参照）。

表1. 令和5年に緊急地震速報を発表した月別回数

年月	令和5年												合計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
緊急地震速報（予報）	59	45	56	70	155	74	49	51	82	60	61	62	824
緊急地震速報（警報）	1	1	0	0	12	1	0	0	1	1	0	0	17

表2. 令和5年に緊急地震速報（警報）を発表した地震

地震発生日時	震央地名	マグニチュード (M)	最大震度	最大長周期地震動階級	予測最大震度	予測最大長周期地震動階級	警報発表までの経過時間 (秒)
令和5年1月6日13時44分	石川県能登地方	4.5	4	---	5弱	---	8.2
令和5年2月25日22時27分	釧路沖	6.0	5弱	1	5弱	---	13.0
令和5年5月5日14時42分	能登半島沖	6.5	6強	3	6強	4	7.3
令和5年5月5日14時53分	能登半島沖	5.0	4	---	5弱	---	15.7
令和5年5月5日17時38分	能登半島沖	4.3	3	---	5弱	---	7.7
令和5年5月5日21時58分	能登半島沖	5.9	5強	2	6弱	---	58.9※1
令和5年5月5日21時58分	能登半島沖	5.9	5強	2	6弱	2	6.7
令和5年5月9日5時14分	石川県能登地方	4.7	4	---	5弱	1	8.0
令和5年5月10日7時14分	能登半島沖	4.9	4	---	5弱	---	15.8
令和5年5月11日4時16分	千葉県南部	5.2	5強	---	5弱	1	5.9
令和5年5月13日16時10分	トカラ列島近海	5.1	5弱	---	5弱	---	16.9
令和5年5月22日16時42分	新島・神津島近海	5.3	5弱	1	5弱	1	4.2
令和5年5月26日19時3分	千葉県東方沖	6.2	5弱	2	5強	1	3.7
令和5年5月30日17時49分	能登半島沖	4.6	4	---	5強	1	26.2
令和5年6月11日18時54分	苫小牧沖	6.2	5弱	1	5弱	1	5.5
令和5年9月19日4時33分	宮城県沖	5.6	4	1	5弱	---	8.7
令和5年10月16日19時42分	宮古島近海	6.0	4	---	5弱	1	3.7

※表中の「予測最大震度」、「予測最大長周期地震動階級」は緊急地震速報（警報）で発表した予測震度の最大値および予測長周期地震動階級の最大値、「警報発表までの経過時間（秒）」は地震検知から緊急地震速報（警報）第1報発表までの経過時間（秒）を示す。

※1 本地震の直前に発生した地震の影響を受けたことにより「PLUM法」による予測結果と、震源とマグニチュード (M) による予測結果とを分離してそれぞれ発表した。詳細は「令和5年5月 地震・火山月報（防災編）」のP91を参照。

震度5弱以上または長周期地震動階級3以上を観測し、緊急地震速報（警報）を発表しなかった地震はなかった。

## ● 令和5年（2023年）の日本の主な火山活動

### 【北海道地方】

#### アトサヌプリ〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

硫黄山の噴気活動は低調に経過した。8月の現地調査では、硫黄山の各噴気孔や熊落とし火口等の熱活動に特段の変化は認められなかった。

地震活動はアトサヌプリ西側を中心に時々まとまってみられ、4月10日にはアトサヌプリの西側約2kmでマグニチュード2.0の地震が発生し、弟子屈町サワンチサップで震度1を観測した。硫黄山付近浅部では、2月17日に地震が一時的に増加したが、それ以外の期間の地震活動は低調に経過した。

GNSS連続観測では、2021年秋以降、アトサヌプリ西側の膨張を示すと考えられるわずかな地殻変動が継続している。8月の硫黄山付近のGNSS繰り返し観測では、地殻変動に特段の変化はみられなかった。

#### 雌阿寒岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

各火口の噴気活動は低調に経過した。

10月の上空からの観測（陸上自衛隊第5旅団の協力による）並びに7月、9月及び10月の現地調査では、各火口の噴気活動の状況及び地表面温度分布に特段の変化はなかった。

6月29日から30日にかけて、ポンマチネシリ火口付近で振幅の小さな火山性地震が一時的に増加し、日回数は29日149回、30日104回となった。地震回数は8月末までわずかに多い状態が続き、9月以降は少なく経過していた。しかし、12月8日から9日にかけてポンマチネシリ火口付近で振幅の小さな火山性地震が再び増加し、日回数は8日282回、9日110回となった。地震回数はその後も増減を繰り返しながら下旬までやや多い状態が続いた。日回数が200回を超えたのは2018年11月23日725回以来である。

9月1日には継続時間の短い火山性微動を観測した。

全磁力連続観測では、2023年3月から4月中旬にかけてポンマチネシリ96-1火口近傍の地下の熱活動の高まりを示すと考えられる全磁力値のわずかな減少がみられた。

GNSS連続観測では、6月から7月にかけて山体の膨張を示すと考えられる基線のわずかな伸長がみられた。9月のGNSS繰り返し観測では、ポンマチネシリ赤沼火口及び96-1火口浅部の膨張によると考えられる基線の伸長が2022年以降わずかな短縮に転じていた。そのほか、2019年頃からみられている中マチネシリ火口浅部の膨張を示

すと思われる基線の伸長が引き続き認められた。

#### 丸山〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

9月の上空からの観測（国土交通省北海道開発局の協力による）では、第1～第3火口に噴気は認められず、第3火口内の弱い地熱域の地表面温度分布にも特段の変化はなかった。

#### 大雪山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

旭岳地獄谷爆裂火口の噴気活動及び地震活動は低調に経過した。

8月及び9月の上空からの観測（国土交通省北海道開発局の協力による）では、旭岳地獄谷爆裂火口内の噴気の状態や地表面温度分布に特段の変化はなく、7月の現地調査では、旭岳地獄谷爆裂火口の多くの噴気孔で噴気温度100℃以上（I-8噴気孔は200℃以上）の高温な状態が継続していた。

#### 十勝岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

62-2火口の噴煙の高さは2021年春以降高い状態が続いており、火口縁上700m以下で経過した。62-2火口に隣接する大正火口の噴気は概ね300m以下、振子沢噴気孔群の噴気の高さは稜線上200m以下で経過した。また、前十勝の北西側斜面では時々弱い噴気を確認した。

山麓の高感度監視カメラにより、5月21日に62-2火口の微弱な火映を観測したほか、6月と8月にもごく微弱な発光現象を観測した。これらの現象は62-2火口内での高温ガス噴出や硫黄燃焼等によると考えられる。

8月及び9月の上空からの観測（国土交通省北海道開発局の協力による）では、振子沢噴気孔群の活発な噴気活動を確認したほか、旧噴火口の噴気の状態及び地表面温度分布は前回（2022年9月）と比べて特段の変化はみられなかった。

6月及び7月の現地調査では、62-2火口内の高温火山ガス噴出や昇華硫黄付着を確認するなど、活発な熱活動が継続していた。振子沢噴気孔群では活発な噴気活動が継続しており、昨年と比べ噴気域のわずかな拡大が認められた。大正火口の地表面温度分布には特段の変化はなかった。

3月及び8月に実施した火山ガス（二酸化硫黄）観測では、1日あたりの放出量は3月が約1000トン、8月が約500トンで、2019年以前と比べて増加した状態であった。

火山性地震は一部期間を除いて概ね少ない状態で経過し、震源は主に62-2火口付近のごく浅い

ところ、旧噴火口付近及びグラウンド火口付近の深さ0～1kmに分布した。

2月22日～25日には62-2火口付近のごく浅い所で火山性地震がやや増加した。62-2火口近傍に北海道大学が設置した前十勝西の傾斜計では、中旬以降に62-2火口方向が上下するわずかな傾斜変動が繰り返し観測した。

7月4日21時35分頃から継続時間約29分間の振幅の小さな火山性微動が発生し、概ねこれに同期して、62-2火口周辺及び山麓の傾斜計で62-2火口方向がわずかに上下する変動を観測した。その直後から7日にかけて、62-2火口付近のごく浅い所で火山性地震がやや多い状態となった。21日にも火山性地震の一時的な増加があり、62-2火口方向が下がるようなわずかな傾斜変動を観測した。8月以降は少ない状態で経過した。

GNSS連続観測では、2021年頃から山体浅部の収縮傾向を示す変動が観測されており、6月26～29日に62-2火口付近で実施したGNSS繰り返し観測で、山体浅部の収縮を示す変動が同様に観測された。しかし、連続観測の一部基線では2022年頃から鈍化及び停滞が認められている。山体深部の動きを示すと考えられる特段の地殻変動は観測されていない。

**利尻山 [噴火予報（活火山であることに留意）]**

8月の上空からの観測（国土交通省北海道開発局の協力による）では、噴気は認められず、地形や植生にも特段の変化はなかった。

**樽前山 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]**

山頂溶岩ドーム周辺の各火口及び噴気孔の噴気活動は、2021年秋以降やや増大した状態が継続している。

4月及び10月の上空からの観測（国土交通省北海道開発局の協力による）、6月及び9月の現地調査では、山頂溶岩ドーム周辺の噴気の状態や地表面温度分布に特段の変化はなく、高温状態が継続していたが、A火口及びH亀裂では温度の低下傾向が認められた。

地震活動は概ね静穏に経過したが、山頂溶岩ドーム直下浅部では4月中旬に振幅の小さな地震の増加があり、日回数は12日60回、13日50回となった。

GNSS連続観測及び6月の山頂付近のGNSS繰り返し観測では、地殻変動に特段の変化はみられなかった。

**倶多楽 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]**

各火口の噴気活動及び地震活動は低調に経過

した。

4月及び10月の上空からの観測（それぞれ国土交通省北海道開発局及び北海道の協力による）及び12月の無人航空機（ドローン）を用いた火口周辺調査では、各火口の噴気の状態及び地表面温度分布に特段の変化はなかった。

11月の現地調査では、日和山山頂爆裂火口の噴気温度は130℃以上、笠山周辺では地中温度が95℃前後の状態が継続していたが、地熱域の拡大は認められなかった。大湯沼等の熱活動に特段の変化はなかった。

GNSS連続観測では、倶多楽周辺を挟む長基線で、2017年頃から倶多楽北西側深部の膨張を示すと考えられる基線長の伸びが時々観測されており、2023年秋頃から再びわずかな伸びが認められている。

7月～8月に実施したGNSS繰り返し観測では、前回の観測（2021年4月）と比べ、2017年頃以降みられていた火口想定域付近浅部の収縮を示すと考えられる変化が引き続き観測された。火口想定域付近でのGNSS連続観測によると、浅部の収縮を示す変化は2022年秋頃以降概ね停滞している。

**有珠山 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]**

山頂火口原の噴気活動及び地震活動は低調に経過した。

4月及び10月の上空からの観測（国土交通省北海道開発局及び北海道の協力による）、11月の現地調査では、山頂火口原の状況に特段の変化はなかった。

GNSS連続観測では、山頂部を挟む基線で1977年噴火に伴う貫入岩体の熱収縮によると考えられる短縮の変化が引き続き認められている。

**北海道駒ヶ岳 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]**

山頂の火口カメラでは、昭和4年火口からのごく弱い噴気を観測する日が時々あった。7月4日には、山麓の高感度監視カメラにより、昭和4年火口からの火口縁上50mの弱い噴気を観測した。山麓から噴気を観測したのは2014年6月23日以来である。

10月の上空からの観測（国土交通省北海道開発局の協力による）及び5月の現地調査では、各火口の噴気や地熱域の状況に特段の変化はなかった。

12月7日に山頂火口原浅部（主に深さ1km付近）を震源とする振幅の小さな地震が増加し、日回数は9回となった。そのうち7回は低周波地震だった。その後も主に低周波地震の回数がやや多い状態が続き、12月の月回数は31回となった。月回数

が30回以上となったのは1990年4月の61回以来である。

GNSS連続観測では、2022年頃から山頂火口原浅部の膨張を示すと考えられるわずかな地殻変動が一部の基線で観測されている。5～6月に山頂火口原で実施したGNSS繰り返し観測では、2015年以降に見られている昭和4年火口を囲む基線でわずかな伸長を示す変化が引き続き観測された。

**恵山<sup>えさん</sup> [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]**

恵山溶岩ドーム西側の爆裂火口の噴気活動は低調に経過した。

10月の上空からの観測（国土交通省北海道開発局の協力による）及び現地調査では、各火口の噴気や地熱域の状況に特段の変化はなかった。

4月22日に恵山付近を震源とするマグニチュード2.5の地震が発生し、函館市新浜町で震度2、函館市日ノ浜町で震度1を観測した。その他の期間の地震回数は少なく、地震活動は低調に経過した。

GNSS連続観測及び10月の山頂付近のGNSS繰り返し観測では、地殻変動に特段の変化はみられなかった。

**渡島大島<sup>おしまおおしま</sup> [噴火予報（活火山であることに留意）]**

10月の上空からの観測（国土交通省北海道開発局の協力による）では、寛保岳に噴気は認められず、寛保岳南東側内壁の弱い地熱域の地表面温度分布にも特段の変化はなかった。

**【東北地方】**

**岩木山<sup>いわきさん</sup> [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]**

監視カメラでは、噴気は確認されなかった。

地震活動は低調に経過し、地殻変動には特段の変化はなかった。

10月に実施した現地調査では、鳥ノ海火口、種蒔苗代<sup>たねまきなわしろ</sup>、湯ノ沢上流域及び赤沢上流域において、噴気や地表面の異常は認められなかった。

**八甲田山<sup>はっこうださん</sup> [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]**

監視カメラでは、噴気は確認されなかった。

3月25日に、2017年5月15日以来となる低周波地震を観測し、大岳山頂付近のやや浅いところを震源とする火山性地震の一時的な増加がみられた。また9月末から10月初め頃にかけて、大岳山頂の西約5kmを震源とする火山性地震の一時的な増加がみられたが、その他の期間では、

地震活動は低調に経過した。地殻変動には特段の変化はなかった。

**十和田<sup>とわだ</sup> [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]**

監視カメラでは、噴気は確認されず湖面の異常等も認められなかった。

2月1日、9日に低周波地震が発生し、また13日から14日にかけて一時的に火山性地震の増加がみられた。7月6日にも火山性地震が一時的に増加し日別回数は139回となった。低周波地震及び火山性微動は観測されず、その他の観測データにも、これらの地震活動に伴う変化はみられなかった。その他の期間は、火山性地震は概ね少ない状態で経過した。

十和田周辺の一部のGNSS基線では、火山活動に起因するかは不明ながら、2023年前半から大川岱観測点の西方向への変位によるものとみられるわずかな変化が認められていたが、7月頃から鈍化している。

**秋田焼山<sup>あきたやけやま</sup> [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]**

焼山監視カメラ（国土交通省東北地方整備局）では、湯沼の噴気の高さは噴気孔上100m以下、叫沢<sup>さけびさわ</sup>源頭部の噴気の高さは噴気孔上50m以下で、噴気活動は概ね低調に経過した。

地震活動は低調に経過した。GNSS連続観測及び干渉SAR解析では、2020年中頃から八幡平・秋田焼山周辺で膨張性の地盤変動がみられていたが、2022年終わり頃から鈍化している。

2月の上空からの観測（陸上自衛隊東北方面隊の協力による）では、前回の観測と比較して、叫沢源頭部、湯沼付近、湯ノ沢上流、トキワ沢上流及び叫沢中流域の噴気や地熱域の状況に特段の変化は認められなかった。

**八幡平<sup>はちまんたい</sup> [噴火予報（活火山であることに留意）]**

GNSS連続観測及び干渉SAR解析では、2020年中頃から八幡平・秋田焼山周辺で膨張性の地盤変動がみられていたが、2022年終わり頃から鈍化している。

2月の上空からの観測（陸上自衛隊東北方面隊の協力による）では、よんご沼南の噴気や地熱域の状況に特段の異常は認められなかった。藤七温泉付近では、2021年10月の現地調査で確認された定常的な噴気や地熱域、温泉水の湧出が引き続き認められた。その他の地域では、既存のもの以外に新たな噴気・地熱域は認められなかった。

**岩手山** [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

地震活動及び噴気活動は低調で、地殻変動にも特段の変化はなかった。

2月、4月の上空からの観測（陸上自衛隊東北方面隊及び岩手県の協力による）、及び7月（岩手県との合同）の現地調査では、大地獄谷、黒倉山等の噴気・地熱域の状況に特段の変化は認められなかった。

**秋田駒ヶ岳** [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

山頂付近では火山性地震の発生頻度がやや高い状態で推移しており、4月に山頂付近が震源と推定される低周波地震が2回発生した。

そのうち女岳付近では、地熱活動が継続的に認められているが、仙岩峠監視カメラ（国土交通省東北地方整備局）では、女岳の噴気の高さは噴気孔上30m以下で、噴気活動は低調に経過した。地殻変動には特段の変化はなかった。

2月、4月の上空からの観測（陸上自衛隊東北方面隊及び岩手県の協力による）、及び10月の現地調査では、女岳付近の噴気や地熱域の状況に大きな変化は認められなかった。

**鳥海山** [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

監視カメラでは、噴気は確認されなかった。

火山性地震は観測されず、地殻変動には特段の変化はなかった。

**栗駒山** [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

地震活動及び噴気活動は低調で、地殻変動にも特段の変化はなかった。

2月、4月の上空からの観測（陸上自衛隊東北方面隊及び岩手県の協力による）、及び8月の現地調査では、ゼッタ沢上流、ゆげ山及び地獄釜の噴気や地熱域の状況に特段の変化はなかった。昭和湖に噴気や地熱域は認められなかった。

**蔵王山** [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

地震活動は低調で、地殻変動にも特段の変化はなかった。

監視カメラでは、丸山沢で一時的に100mの高さの噴気を観測したが、噴気活動は概ね低調であった。蔵王山御釜監視カメラ（国土交通省東北地方整備局）等では、御釜付近に噴気や地熱域は認められなかった。

2月の上空からの観測（陸上自衛隊東北方面隊の協力による）、6月（東北大学との合同）、及び

8月の現地調査では、丸山沢噴気地熱地帯の噴気や地熱域の状況に大きな変化はみられなかった。また、御釜周辺、振子沢付近、傾城岩付近、祓川上流域に噴気や地熱域は認められなかった。

**吾妻山** [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

傾斜計やGNSSでの地殻変動観測では、3月頃から大穴火口浅部の緩やかな膨張を示す変動が続いていたが、2023年後半から収縮を示す変化に変わっている。3月から11月にかけて実施した光波測距観測でも同様の傾向がみられている。

火山性地震は2022年11月頃からやや多い状態で、短期的な傾斜変動を伴う地震も認められていた。3月12～13日には日回数が100回を超える火山性地震の一時的な増加があった。また低周波地震の頻度が2月頃から9月頃まで、増減を繰り返しながら高い状態で、5月11日には火山性微動も観測されるなど、火山活動がわずかに高まっていた可能性があった。その後、低周波地震等を含む火山性地震の活動は概ね9月頃から低下している。

火山ガスの濃度比（SO<sub>2</sub>/H<sub>2</sub>S）は2018～2019年の活動期並みの高い値で推移した。5月に実施した火山ガス（SO<sub>2</sub>）放出量観測では、1日あたり約80トンと、2022年11月に比べるとやや増加した。

全磁力連続観測では昨年頃から、大穴火口周辺地下の温度上昇の可能性を示す全磁力値の変化が認められていたが、2023年後半からはその変化は鈍化しこれまでの消磁傾向が収まりつつある。

監視カメラでは、大穴火口で一時的に200mの高さの噴気を観測したが、噴気の高さは概ね100m以下で経過した。また熱映像データの解析では、5月頃から6月頃にかけて、大穴火口周辺の一部の地熱域で面積のわずかな拡大がみられた。

2月の上空からの観測（陸上自衛隊東北方面隊の協力による）では、大穴火口周辺の地熱域の状況に特段の変化は認められなかった。4月から11月にかけて行った現地調査では、大穴火口内南東から南西にかけての火口縁や八幡焼南部の一部の地熱域が明瞭化し、また5月頃には大穴火口北西の地熱域で、既存の主噴気と同程度の高さの噴気が新たに出現するなど、一部の噴気・地熱域でわずかな顕在化が認められた。2021年9月に確認された大穴火口内北側の陥没孔は、2022年に埋積が進行して以降、陥没孔底及び壁面に微弱な噴気や地熱が引き続き認められている。

**安達太良山** [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

監視カメラでは、噴気は確認されなかった。  
地震活動は低調に経過し、地殻変動には特段の変化はなかった。  
2月の上空からの観測（陸上自衛隊東北方面隊の協力による）、及び10月に実施した現地調査では、沼ノ平火口付近及び鉄山南斜面の地熱域の状況に特段の変化はなく、噴気は認められなかった。

**磐梯山** [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

監視カメラでは、山体北側火口壁の噴気は100m以下で経過し、噴気活動は低調であった。  
火山性地震は2022年11月からやや多い状態で経過し、12月末には山体北西部で活発な地震活動がみられ、その後減少したが5月21日に一時的な増加がみられるなど、山頂付近及び山頂の北側を中心に、2022年10月以前に比べて多い状態が続いている。3月や4月、12月には火山性微動が観測されたが、最大振幅は小さいものであった。

GNSS連続観測では、2022年後半から山体膨張を示すわずかな変化が認められていたが、2023年10月頃から停滞している可能性がある。

2月の上空からの観測（陸上自衛隊東北方面隊の協力による）では、沼ノ平及び山体北側火口壁噴気地帯の噴気と地熱域の状況に特段の変化は認められなかった。2022年12月末に活発な地震活動がみられた山体北西部では噴気は確認されず、地熱域の状況に変化はみられなかった。6月から10月にかけて実施した現地調査では、山体北側火口壁噴気地帯や沼ノ平、中ノ湯の地熱及び噴気の状況に特段の変化は認められなかった。

**【関東・中部地方、伊豆・小笠原諸島】**

**那須岳** [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

地震活動及び噴煙活動は低調で、地殻変動にも特段の変化は認められなかった。

**日光白根山** [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

地震活動は低調で、地殻変動にも特段の変化は認められなかった。監視カメラでは噴気は観測されなかった。

**草津白根山（白根山（湯釜付近））** [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

湯釜付近を震源とする火山性地震は、少ない状態で経過した。奥山田監視カメラ（湯釜の北約

1.5km）では、湯釜北側噴気地帯の噴気は高さ200m以下で推移しており、特段の変化は認められなかった。地殻変動観測でも、火山活動によるとみられる特段の変動は認められなかった。全磁力観測でも火山活動の高まりは認められなかった。噴気や湯釜湖水の成分分析でも火山活動の高まりを示す変化は認められなかった。

4月から10月に実施した現地調査では、湯釜火口内北東側火口壁、湯釜火口北側及び北東側斜面の地熱域に特段の変化は認められなかった。6月と12月に実施した上空からの観測（陸上自衛隊の協力による）でも、地熱域の分布に特段の変化は認められなかった。

**草津白根山（本白根山）** [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

今期間噴気は観測されなかった。本白根山火口付近を震源とする火山性地震は少ない状態で経過した。逢ノ峰付近を震源とする火山性地震は、2022年9月からわずかな増加がみられていたが、6月以降は少ない状態で経過した。火山性微動は観測されなかった。GNSS連続観測では、火山活動によるとみられる変動は認められなかった。

6月と12月に実施した上空からの観測（陸上自衛隊の協力による）では地熱域や噴気は認められなかった。

**浅間山** [火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）]

3月中旬以降、浅間山の西側での膨張を示すと考えられるわずかな傾斜変動が観測され始め、3月下旬以降、山体浅部を震源とする火山性地震が増加した。このため、3月23日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）に引き上げた。

その後、GNSS観測でも西山麓の基線で伸びが認められるようになり、火山性微動も多くなり、火山ガス（二酸化硫黄）の1日あたりの放出量も、それまで200トン以下であったものが、3月下旬以降は400～2500トンに増加した。

そのようななか、6月16日頃から西側での膨張を示すと考えられる傾斜変化がやや加速し23日に一時的にBH型地震<sup>1)</sup>が増加した直後に傾斜変化が元に戻るという現象があり、翌24日から二酸化硫黄放出量が増加し、29日未明には、高感度の監視カメラで山頂火口の微弱な火映を観測した。また、7月3日から5日にかけても6月と同様の傾斜変化の加速がみられ、5日には火山性地震の日回数が161回に達するなど多くなった。その直後の6日の観測で二酸化硫黄放出量が1日あたり200トンと一時的に顕著に減少した。

その後、火山性地震は、7月下旬以降、概ね少ない状態で経過した。山体の西側での膨張を示す

と考えられる地殻変動は11月頃より停滞した。一方、二酸化硫黄放出量は、1日あたり500トン前後で推移し、3月下旬以前に比べて多い状態が続いた。

6月と12月に実施した上空からの観測（陸上自衛隊の協力による）では、噴気孔の位置や地形等に変化は認められず、火口底や火口周辺に新たな噴出物の形跡は認められなかった。赤外熱映像装置による観測では、火口底中央部の火孔付近と西側領域および北東領域で温度の高い箇所が認められた。前回の観測（2022年11月）と比較して、火口底中央部の火孔付近で温度の高まりが認められた。

にいがたやけやま  
**新潟焼山** [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

噴煙活動及び地震活動は、低調に経過した。GNSS連続観測でも、火山活動によるとみられる変動は認められなかった。

5月に実施した上空からの観測（新潟県消防防災航空隊の協力による）では、弱い噴気や高温領域が認められたが、前回（2022年4月）の観測と比較して、顕著な変化は認められなかった。

みょうこうざん  
**妙高山** [噴火予報（活火山であることに留意）]

5月に実施した上空からの観測（新潟県消防防災航空隊の協力による）では、前回（2022年4月）の観測同様、火口原南側の地獄谷噴気地帯から噴気が上がっているのが確認された。その他の場所では噴気や地熱域は認められず、特段の変化は認められなかった。

みだかはら  
**弥陀ヶ原** [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

弥陀ヶ原近傍の地震活動は低調で、火山活動による地殻変動も見られていないが、地獄谷では活発な熱活動が続いている。地殻変動には特段の変化は認められなかった。

10月に実施した現地調査では、2012年6月以来、噴気活動の活発化がみられる地獄谷で引き続き活発な噴気活動が継続していた。また、噴気地帯に対応する地熱域が引き続き確認されたが、前回（2022年10月）と比較してその分布に大きな変化は認められなかった。

やけど  
**焼岳** [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

北峰付近の噴気孔からの噴気、黒谷火口からの噴気及び岩坪谷上部の噴気孔からの噴気の高さは、概ね100m以下で経過した。山頂付近の微小な地震は、少ないながらも継続して発生している。

7月に実施した現地調査では、北峰の噴気温度

や北峰東斜面の地熱域の広がりには大きな変化は認められなかった。

ただし、GNSS連続観測では、山頂付近での緩やかな膨張の可能性のある変化は継続しており、焼岳周辺では数年おきに震度1以上を観測する地震を含む活発な地震活動がみられることから、中長期的に焼岳の火山活動は高まってきている可能性がある。

のりくらだけ  
**乗鞍岳** [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

地震活動は低調で、地殻変動にも特段の変化は認められなかった。監視カメラでは噴気は観測されなかった。

おんたけざん  
**御嶽山** [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

噴煙活動や山頂直下付近の地震活動は緩やかな低下が続いており、火山活動は静穏な状態に戻る傾向が続いた。ただし、2014年に噴火が発生した火口列の一部の噴気孔では、引き続き噴気が勢いよく出ていた。

8月に実施した現地調査では、一ノ池及び二ノ池では噴気や地熱域は認められなかった。また、剣ヶ峰山頂の南西側の火口列の一部の噴気孔で、引き続き活発な噴気活動と温度の高い部分が認められた。

はくざん  
**白山** [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

地震活動は低調に経過した。監視カメラでは噴気は観測されなかった。

ふじざん  
**富士山** [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

地震活動は概ね低調に経過した。深さ15km付近を震源とする深部低周波地震は低調に経過した。監視カメラでは噴気は観測されず、地殻変動にも特段の変化は認められなかった。

はこねやま  
**箱根山** [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

地震活動は概ね低調に経過したが、5月2日から3日にかけて駒ヶ岳付近で、10月31日には神山付近で火山性地震が一時的に増加した。浅い低周波地震や火山性微動は観測されなかった。

GNSS連続観測では、箱根山を挟む基線で7月頃から伸びがみられ、9月頃から鈍化したが、11月頃から再び一部の基線で伸びが認められた。

監視カメラによる観測では大涌谷の火口や噴気孔及び温泉供給施設から引き続き噴気が勢いよく噴出していた。2月に実施した無人航空機による調査では、大涌谷内の噴気孔で活発な噴気活

動を確認したほか、早雲地獄内や上湯場(2011年噴気地帯)で弱い噴気を確認した。7月に実施した上空からの観測(陸上自衛隊の協力による)では、早雲地獄において地熱域並びに弱い噴気活動が観測された。また、上湯場及び湯ノ花沢において従来どおりの地熱域が観測された。これらの地熱域及び大涌谷以外では、噴気及び明瞭な地熱域は認められなかった。

**伊豆東部火山群 [噴火予報(噴火警戒レベル1、活火山であることに留意)]**

地震活動は概ね低調に経過し、火山性微動は観測されず、地殻変動にも特段の変化は認められなかった。監視カメラでは噴気は観測されなかった。7月に実施した上空からの観測(陸上自衛隊の協力による)では、手石海丘周辺海域で変色水等の特異事象は認められず、大室山周辺でも噴気は確認されなかった。

**伊豆大島 [噴火予報(噴火警戒レベル1、活火山であることに留意)]**

現地調査や監視カメラによる観測では、三原山山頂火口内やその周辺、剣ガ峰付近や三原新山付近の噴気活動は低調で、地熱域にも特段の変化は認められなかった。

火山性微動の発生はなかったが、6月19日に伊豆大島の西方沖を震源とする火山性地震が、7月6日及び9月23日から10月4日にかけて伊豆大島北部を震源とする火山性地震がそれぞれ増加した。ただし、それらに伴いその他の観測データに変化は認められなかった。

長期的に継続していた山体の膨張は、2018年頃からほぼ停滞しているが、これまでに供給されたマグマは地下深部に蓄積されていると考えられる。約1～3年周期で膨張と収縮を繰り返す地殻変動は、2022年10月頃から見られていた膨張の傾向が、2023年9月頃から収縮に転じた。

**新島 [噴火予報(噴火警戒レベル1、活火山であることに留意)]**

5月に、利島付近及び新島付近を震源とする地震の一時的な増加が観測された。それ以外は、地震活動は概ね低調で、地殻変動にも特段の変化は認められなかった。監視カメラでは噴気は観測されなかった。

**神津島 [噴火予報(噴火警戒レベル1、活火山であることに留意)]**

地震活動は概ね低調で、地殻変動にも特段の変化は認められなかった。監視カメラでは噴気は観測されなかった。

**三宅島 [噴火予報(噴火警戒レベル1、活火山であることに留意)]**

地震活動及び噴煙活動は低調で、火山ガス放出量も極めて少ない状態で経過した。しかし、地殻変動観測では山体が膨張する変化が継続しており、地下のマグマの蓄積が進んだと考えられる。また、2019年4月頃からみられていた、山体浅部の膨張を示すと考えられるGNSSの基線長の伸びは、2023年に入り停滞した。

定期的な実施された現地調査では、山頂火口内の主火孔内及びその周辺で引き続き地熱域が認められたが、火口内の状況に特段の変化は認められなかった。

**八丈島 [噴火予報(噴火警戒レベル1、活火山であることに留意)]**

地震活動は低調で、地殻変動にも特段の変化は認められなかった。監視カメラでは噴気は観測されなかった。

**青ヶ島 [噴火予報(噴火警戒レベル1、活火山であることに留意)]**

地震活動は低調で、地殻変動にも特段の変化は認められなかった。監視カメラでは噴気は観測されず、丸山西斜面とカルデラの西側内壁の地熱域にも特段の変化は認められなかった。

**ペヨネース列岩 [噴火警報(周辺海域警戒)及び火山現象に関する海上警報]**

1月26日に海上保安庁が実施した上空からの観測で、ペヨネース列岩(明神礁)付近で変色水が確認された。海底噴火が発生する可能性があるため、同日に噴火警報(周辺海域)及び火山現象に関する海上警報を発表した。

2月の海上保安庁による観測でも、円形状(半径約300m)に分布する薄緑色の変色水が認められた。また、変色水は明神礁付近から南に約2km程度、帯状に分布していることも確認された。その後、5月、9月、10月に海上保安庁によって観測が行われたが、変色水域、気泡、浮遊物等の特異事象は認められなかった。この期間、気象衛星ひまわりでは噴火は認められなかった。

**嬬婦岩 [噴火予報(活火山であることに留意)]**

10月に鳥島近海(嬬婦岩付近)で地震活動に高まりがみられた。9日に発生したマグニチュード不明の地震で、伊豆・小笠原諸島、千葉県から四国、九州にかけての太平洋沿岸で津波が観測された。海上保安庁が実施した上空からの観測では、嬬婦岩周辺で変色水域などの特異事象は認められなかったが、伊豆鳥島の西方約50kmの海域において、軽石とみられる浮遊物が南北方向に約

80km にわたり潮目に沿って点在していることが確認された。

それを受け気象庁の海洋気象観測船「啓風丸」が周辺海域で採取した軽石を産業技術総合研究所及び東京大学地震研究所が分析した結果、それらの中に最近の火山活動で生産された軽石が含まれていること、その化学組成は、鳥島を含む伊豆弧火山フロントの西方に連なる背弧リフト帯（鳥島凹地等）に分布する流紋岩の特徴と類似しており、最近火山活動が確認されている福岡ノ場、硫黄島、海德海山の噴出物とは異なることが明らかになった。

#### にしのみま **西之島** [火口周辺警報（入山危険）及び火山現象に関する海上警報]

気象衛星ひまわりによる観測で、4月11日及び7月9～10日に噴火が確認された。噴煙の高さは、それぞれ最高で火口縁上1,900m、1,600mであった。海上保安庁の観測でも、1月、8月、10月に噴火が確認された。

気象衛星ひまわりの観測では、西之島付近の地表温度は、2023年3月上旬頃から周囲と比較してわずかに高い傾向が認められていたが、10月中旬頃から再び周囲とほとんど変わらない状態となった。

海上保安庁による定期的な上空からの観測及び海洋気象観測船「啓風丸」による海上からの観測では、火砕丘中央火口からの活発な噴気活動に加え、沿岸海域に変色水が確認された。

#### かいとくかいざん **海德海山** [噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報]

気象衛星ひまわりでは噴火は認められなかったが、1月に変色水域が認められた。5月の海上保安庁による観測では変色水域等の特異事象は観測されなかった。

#### ふんかあさね **噴火浅根** [噴火予報（活火山であることに留意）]

この期間、気象衛星ひまわりでは噴火は認められなかった。5月及び6月に実施された海上保安庁による上空からの観測では、噴火浅根周辺海域で変色水が認められたが、9月の海上保安庁による観測では、顕著な変色水や噴火によるとみられる浮遊物等は認められなかった。そのため、9月21日に噴火警報（周辺海域）を解除し、噴火予報（活火山であることに留意）に引き下げた。併せて、火山現象に関する海上警報を解除した。

#### いおうとう **硫黄島** [火口周辺警報（火口周辺危険）及び火山現象に関する海上警報]

翁浜沖で断続的に噴火が発生した。

海上自衛隊硫黄島航空基地隊によると、6月

15日から24日にかけて、翁浜沖で水柱が数分から十数分間隔で、海面から数mの高さまで噴出している様子が確認された。また、噴火地点付近で、変色水や軽石と思われる浮遊物が確認された。海上保安庁が実施した上空からの観測でも変色水が確認された。

海上自衛隊硫黄島航空基地隊によると、10月21日以降、翁浜沖で噴火が確認された。黒色の噴出物を含んだ水柱が1分未満～数分間隔で、海面から数十m～百m程度の高さまで噴出している様子が確認された。また、噴火地点付近で、変色水や軽石と思われる浮遊物が確認された。30日に東京大学地震研究所が毎日新聞社の協力により上空から行った観測によると、翁浜沖付近で数分おきに岩塊の投出を伴う噴火が確認され、噴火地点のすぐ北側には主に岩塊で構成される直径100m程度の陸地が形成されていることが確認された。陸域観測技術衛星だいち2号による観測でも、陸地の形成が確認された。水柱や噴煙の噴出間隔は、噴火が確認され始めた頃は数分に1回程度であったが、次第に短くなり、11月3日には数秒間隔の噴出が観測されるようになった。4日からは身体に感じる程度の爆発音、空振を伴う噴火が続いた。噴火は、12月にかけて断続的に観測され、12月11日以降一旦停止したが、31日から再開した。

噴火地点付近に出現した新たな陸地の大きさは、11月23日の海上保安庁による観測では、南北約450m×東西約200mまでになったが、その後の観測では、波浪による侵食によって面積は小さくなっているのが確認された。

海上自衛隊の協力により3月8日から3月14日にかけて実施した現地調査では、翁浜沖では、海岸線に多少の変化は認められたものの海面や砂浜の状況に活動の活発化を示唆するような変化は認められなかった。海上自衛隊の協力により、8月3日から8月10日にかけて実施した現地調査では、2018年より土砂や湯の噴出が確認されている、馬背岩の南側の噴出孔群では、新たな噴出孔が認められた。噴出孔の周辺には、粘性の高い粘土状の堆積物や噴出物と考えられる小石が認められ、噴出孔の火口縁には地熱域が認められた。馬背岩には、2023年3月の観測時よりも多くの泥が付着していた。また、周辺一帯に白っぽい粘土状の噴出物が堆積しており、多くの岩片や粘土の塊が散乱していた。

また、海上自衛隊硫黄島航空基地隊によると、11月18日に島北東部で白色噴煙が認められた。防災科学技術研究所が19日に実施した現地調査によると、過去に土砂噴出や噴湯が発生した島北東部の海岸の位置に直径30mの火口が存在し、その周囲に灰色で粘土が含まれる砂礫質の火山灰の分布が認められた。また、直径10cm程度の

噴出した岩塊が火口から 90mから 120m程度の範囲に分布していることも確認された。

翁浜沖での噴火に伴い、単色型微動<sup>2)</sup>が断続的に観測されたが、その他の火山性地震や微動はやや少ない状況で経過した。GNSS 連続観測では、引き続き長期的な島全体の隆起が継続した。

硫黄島内は全体的に地温が高く、多くの噴気地帯や噴気孔があり、過去には各所で小規模な噴火が発生している。

### 福徳岡ノ場<sup>ふくとくおか</sup> [噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報]

気象衛星ひまわりでは噴火は認められなかったが、6月、9月、10月に海上保安庁が実施した上空からの観測では、変色水域が確認された。

## 【九州地方、南西諸島】

### 鶴見岳・加藍岳<sup>つるみだけ がらんだけ</sup> [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

噴気地帯の状況に特段の変化はない。火山性地震は少ない状態で経過したが、鶴見岳付近が震源と推定されるB型地震<sup>3)</sup>が時々発生している。

地殻変動観測では、特段の変化は認められなかった。

### 九重山<sup>くじゅうざん</sup> [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

硫黄山付近では噴気活動は低調に経過した。噴気地帯の地熱域の状況に特段の変化は認められなかった。

火山性地震は概ね少ない状態で経過したが、5月と6月に硫黄山付近で一時的な増加がみられた。

地殻変動観測では特段の変化は認められなかった。

長期的には地熱域の温度は低下しているが、硫黄山付近の噴気地帯地下の温度上昇（熱消磁）を示唆する全磁力の変化が観測されている。

### 阿蘇山<sup>あそざん</sup> [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

阿蘇山では、1月から3月上旬にかけて火山活動の高まりがみられた。

火山性微動の振幅は2022年12月中旬からやや大きな状態で経過していたが、1月30日には一時的に大きな状態となり、2月8日にはさらに大きな状態となった。振幅は次第に減少しながら3月上旬まではやや大きな状態で経過していたが、中旬以降小さな状態となった。6月下旬以降、微動の振幅はやや増大したが、小さな状態で経過

した。

中岳第一火口では、3月上旬に火映を観測した。

火山ガス（二酸化硫黄）の1日あたりの放出量は、1月中旬頃までは1,000トン程度で推移していたが、次第に減少し、数100トン程度で経過した。8月及び10月には30～80トンとさらに減少した。11月から12月にかけては100～500トンとやや増加した。

現地調査では、湯だまり<sup>4)</sup>量は1月には中岳第一火口底の約2割であったが、3月には湯だまりがないことを確認した。4月以降は約1割から約3割程度で推移していたが、7月には約6割となっているのを確認した。その後は次第に減少し、12月には約2割となった。湯だまりの減少に伴い、湯だまり内で土砂噴出を時々観測した。

GNSS 連続観測では、深部にマグマだまりがあると考えられている草千里を挟む基線において、2023年1月頃から縮みの傾向がみられている。

### 噴火警報・予報の発表状況

1月30日 火口周辺警報発表

噴火警戒レベルを1から2に引上げ（火山性微動の振幅が増大）

3月23日 噴火予報発表

噴火警戒レベルを2から1に引下げ

### 雲仙岳<sup>うんぜんだけ</sup> [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

雲仙岳では火山活動は静穏に経過した。

平成新山では噴気活動は低調に経過した。

火山性地震は少ない状態で経過した。普賢岳から平成新山直下のほか、橘湾付近においても時々発生した。火山性微動は観測されなかった。

GNSS 連続観測では、火山活動によると考えられる特段の変化は認められなかった。

### 霧島山（えびの高原（硫黄山））<sup>きりしまやま いおうやま</sup> [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

硫黄山では、噴火は発生しなかった。

硫黄山の南側の噴気地帯では、噴気活動が引き続き活発な状態で経過し、噴気地帯において土砂噴出や熱水の噴気孔外への流出が時折確認された。硫黄山の西側500m付近の噴気地帯では、弱い噴気活動がみられた。

GNSS 連続観測では、2023年5月頃から10月頃にかけて、硫黄山近傍の基線において硫黄山付近の膨張を示すわずかな伸びが認められたが、11月以降は停滞している。

硫黄山付近では、2022年以降火山性地震の一時的な増加が時々みられており、5月にはやや多い状態となった。また、7月7日には継続時間の短い火山性微動が発生した。えびの高原周辺（韓国岳～韓国岳北東側周辺及び大浪池周辺）では、

7月～9月頃にかけて、火山性地震の一時的な増加が時々みられた。

繰り返し実施した現地調査では、赤外熱映像装置による観測により、硫黄山周辺の噴気地帯で地熱域を確認している。10月に実施した現地調査及び上空からの観測では、硫黄山の火口南側斜面、南側の噴気地帯の一部及び硫黄山西側の一部において、従来の観測結果と比較して地熱域の拡大が認められたが、その後は特段の変化は認められていない。

#### 噴火警報・予報の発表状況

7月7日 火口周辺警報発表

噴火警戒レベルを1から2に引上げ(硫黄山浅部の膨張を示す地殻変動及び火山性微動の発生)

12月6日 噴火予報発表

噴火警戒レベルを2から1に引下げ

#### きりしまやま おおほたいけ 霧島山（大幡池）[噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

噴気は認められなかった。

火山性地震は少ない状態で経過し、火山性微動は、観測されなかった。

地殻変動観測でも特段の変化は認められていない。

#### きりしまやま しんもろだけ 霧島山（新燃岳）[噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

新燃岳では、噴火は発生しなかった。

新燃岳火口直下を震源とする火山性地震は、3月下旬から4月上旬及び10月下旬から11月上旬にかけて一時的にやや多い状態となった。8月下旬には新燃岳の西側2km付近で地震が一時的に増加した。また、10月7日に火山性微動を観測した。

監視カメラによる観測や現地調査では、新燃岳火口内の噴煙及び西側斜面割れ目の噴気や地熱域の状況には特段の変化は認められない。

火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は検出限界未満で経過していたが、10月以降、やや少ない状態で推移した。

GNSS連続観測では、霧島山を挟む基線において、2022年11月頃から、霧島山の深い場所でのマグマの蓄積を示すと考えられる伸びがみられていたが、2023年4月以降は停滞している。

#### きりしまやま おほち 霧島山（御鉢）[噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

火口縁を越える噴煙は認められなかった。

火山性地震は少ない状態で経過し、火山性微動は観測されなかった。

地殻変動観測でも特段の変化は認められてい

ない。

#### さくらじま 桜島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）]

南岳山頂火口では、2022年7月中旬頃から5月頃にかけて噴火活動が活発となった。その後噴火活動は低調な状態で経過したが、10月中旬から下旬にかけて一時的に活発となった。年間で噴火<sup>5)</sup>が175回発生し、このうち爆発は85回であった。また、同火口における火映は、夜間にほぼ連日観測された。

昭和火口では、2月8日から噴火活動が時々みられた。昭和火口において噴火が発生したのは2018年4月2日以来である。年間で噴火が40回発生し、このうち爆発は4回であった。

火山ガス（二酸化硫黄）の1日あたりの放出量は、2022年7月以降概ね多い状態で経過した。

7月下旬には桜島の南西側を震源とするA型地震<sup>6)</sup>が増加したが、8月以降は減少傾向となった。

桜島島内の傾斜計、伸縮計及びGNSS連続観測では、2023年1月から3月頃にかけて山体の隆起・膨張を示す緩やかな地殻変動が観測されたが、その後特段の変化は観測されていない。また、始良カルデラ（鹿児島湾奥部）を挟む基線では長期にわたり始良カルデラの地下深部の膨張を示す緩やかな伸びがみられている。始良カルデラの地下深部には、マグマが長期にわたり蓄積した状態と考えられる。

#### さつまいおうじま 薩摩硫黄島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）]

硫黄岳火口では、噴煙が時々高く上がり、夜間に高感度の監視カメラで火映を観測するなど、長期的には熱活動が高まった状態で推移した。

11月下旬から火山性地震が増加し、やや多い状態となった。8月以降、振幅が小さく継続時間の短い火山性微動を時々観測した。

火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は1日あたり1,000トン前後の状態が継続している。

GNSS連続観測では、島内の一部の基線で長期的な縮みの傾向が認められる。

#### くちのえらぶじま 口永良部島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）及び火山現象に関する海上警報]

口永良部島では、6月以降、火山性地震が次第に増加し、7月に入ってさらに増加した。火山性地震は主に古岳付近で発生しているが、新岳付近での発生も認められる。火山性地震はその後も増減を繰り返しながら多い状態で経過した。新岳西側山麓を震源とする地震は観測されていない。

干渉SARによる地殻変動観測では、5月頃から8月頃にかけて古岳火口周辺で膨張性の変動が観測された。また、GNSS連続観測では、6月下旬

頃から11月頃にかけて古岳付近において山体膨張を示す変動が認められた。

8月15日から20日にかけて実施した無人航空機による観測で、古岳の噴気活動が活発化し、火口内及び火口縁付近で地熱域が拡大しているのを確認した。また、火口底の南東側に新たな噴気地帯が形成され、土砂が噴出しているのを確認した。現地調査では、古岳付近の東側から北側にかけての地熱域で、8月頃に地熱域の拡大が確認された。同領域では10月から11月にかけて地熱域のさらなる拡大及び温度の上昇が認められた。

火山ガス（二酸化硫黄）の1日あたりの放出量は8月以降、200～400トンと増加し、やや多い状態となったが、10月頃からは次第に減少傾向となり、12月には100トン前後であった。

#### 噴火警報・予報の発表状況

- 6月26日 火口周辺警報発表  
噴火警戒レベルを1から2に引上げ（火山性地震の増加）
- 6月27日 火口周辺警報発表  
噴火警戒レベルを2から3に引上げ（火山性地震のさらなる増加）
- 7月10日 火口周辺警報発表  
火口周辺警報（噴火警戒レベル3）の切替（警戒が必要な範囲の拡大）

#### 諏訪之瀬島すわのせじま [火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）]

御岳みたけ火口では、噴火活動が継続した。

1月下旬から3月中旬にかけて爆発が増加したほか、6月中旬にも一時的に増加した。

噴火に伴い火口周辺への大きな噴石の飛散を確認した。2月15日の爆発では、大きな噴石が火口中心から約900mまで飛散した。また、噴火に伴う噴煙は最高で火口縁上2,400mまで上がった。

GNSS連続観測では、島の西側深部におけるマグマの蓄積量のさらなる増加と推定される変動は認められていない。傾斜計では、1月下旬から3月中旬にかけて爆発が増加した時期に、諏訪之瀬島西側のやや深部へのマグマの蓄積と御岳火口直下へのマグマの上昇を示唆していると考えられる変動が観測された。

島の西側を震源とする火山性地震は少ない状態で経過した。

火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は5月に1日あたり2,600トンを観測したが、概ね数100トンから1,000トン程度であった。

#### 噴火警報・予報の発表状況

- 1月24日 火口周辺警報発表  
噴火警戒レベルを3から2に引下げ

3月5日 火口周辺警報発表

噴火警戒レベルを2から3に引上げ（爆発の増加）

6月9日 火口周辺警報発表

噴火警戒レベルを3から2に引下げ

#### 硫黄島いおうとしま [噴火予報（活火山であることに留意）]

10月に第十一管区海上保安本部が実施した上空からの観測では、グスク火山火口周辺及び硫黄岳火口で、前回の観測（2022年11月）に引き続き白色の噴気が確認され、島の西岸で茶褐色～緑色の変色水域の分布が認められた。同月に気象庁の海洋気象観測船「啓風丸」が実施した海上からの観測でも、グスク火山火口周辺及び硫黄岳火口で、前回の観測（2022年6月）に引き続き白色の噴気を確認し、硫黄岳火口周辺の海域では変色水域を確認した。

- 1) 火山性地震のうち、S波の相がやや不明瞭で比較的高周波（約3Hz以上）の地震。
- 2) 単一な周波数の微動。硫黄島の場合、翁浜沖で発生する海底噴火に際して、噴火の発生時刻に対応して発生しており、発震源は翁浜沖のごく浅いところと推定されている。
- 3) 火山性地震のうち、相が不明瞭で、比較的周期が長く、火口周辺の比較的浅い場所で発生する地震。火道内のガスの移動やマグマの発泡などにより発生すると考えられている。
- 4) 阿蘇山の活動静穏期の中岳第一火口には、地下水などを起源とする約40～60℃の緑色の湯がたまっており、これを湯だまりと呼んでいる。火山活動が活発化するにつれ、湯だまり温度が上昇・噴湯して湯量の減少や濁りがみられ、その過程で土砂を噴き上げる土砂分噴出現象等が起り始めることが知られている。
- 5) 桜島では噴火活動が活発なため、噴火のうち、爆発もしくは噴煙量が中量以上（概ね噴煙の高さが火口縁上1,000m以上）の噴火の回数を計数している。資料の噴火回数はこの回数を示す。また、基準に達しない噴火は、ごく小規模な噴火として噴火回数に含めない。
- 6) 火山性地震のうち、A型地震はP波やS波の相が明瞭で比較的周期の短い地震で、一般的に起こる地震と同様、応力集中による地殻の破壊によって発生していると考えられるが、火山活動に直接関係する発生原因として、マグマの貫入に伴う火道周辺の岩石破壊などの例がある。

## ●令和5年（2023年）の世界の主な地震

2023年（以下、日本時間を基準とする）に人的被害<sup>(注1)</sup>を伴った地震は31回（2022年は36回）であり、Mj（気象庁マグニチュード）もしくはMw（モーメントマグニチュード）7.0以上の地震は18回（2022年は12回）であった。また、MjもしくはMw8.0以上の地震はなかった（2022年はなし）（図1及び表1参照）。

2023年に世界で発生した地震のうち、最も規模の大きかった地震は、2月6日のトルコの地震（図1中の7）のMw7.8（Mwは気象庁による）であった。

米国地質調査所（USGS）の統計<sup>(注2)</sup>によると（<https://earthquake.usgs.gov/>）、M8.0以上の地震の年間発生回数の平均は約1回、M7.0～M7.9の地震の年間発生回数の平均は約14回であり、2023年のM7.0以上の地震発生回数は平均よりやや多かった。

以下、死者が100人を超える海外の地震について記述する。

2月6日、トルコの深さ10kmでMw7.8（Mwは気象庁による）の地震（図1中の7）及びMw7.6（Mwは気象庁による）の地震（図1中の8）が発生し、死者56,697人などの被害が生じた。

9月9日、モロッコの深さ19kmでMw6.8（Mwは気象庁による）の地震（図1中の36）が発生し、死者2,946人などの被害が生じた。

10月7日、アフガニスタン北西部の深さ14kmでMw6.3（Mwは気象庁による）の地震（図1中の39）が発生し、死者1,480人などの被害が生じた。

11月4日、ネパールの深さ12kmでMw5.8（Mwは気象庁による）の地震（図1中の42）が発生し、死者154人などの被害が生じた。

12月19日、中国、チンハイ省の深さ10kmでMw6.1（Mwは気象庁による）の地震（図1中の50）が発生し、死者151人などの被害が生じた。

（注1）被害状況は、出典のないものはOCHA（UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs：国連人道問題調整事務所）、国内は、総務省消防庁による。

（注2）USGSの統計については、USGSのサイト内の以下のページから1990年から2021年までの各年の回数から平均値を算出した。

<https://www.usgs.gov/natural-hazards/earthquake-hazards/lists-maps-and-statistics>

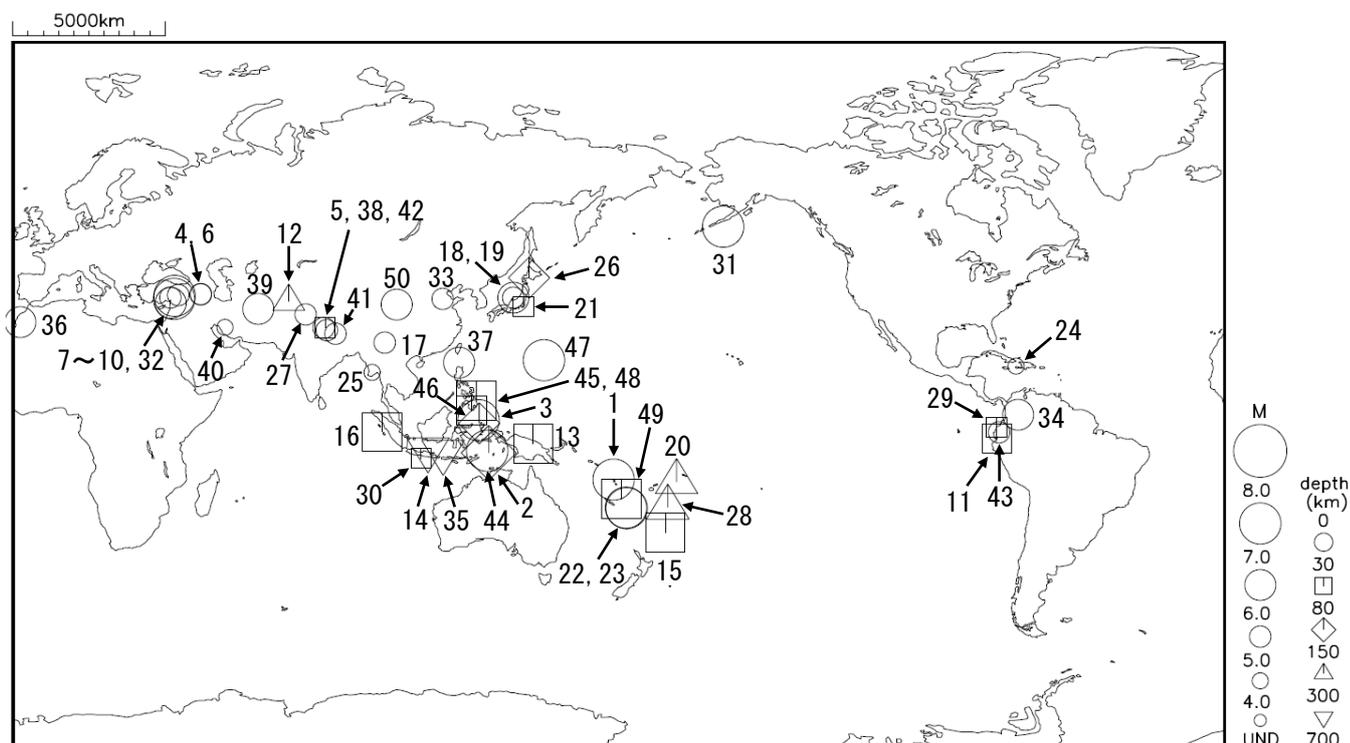


図1 2023年に世界で発生したM7.0以上または人的被害を伴った地震の震央分布

\* : 震源要素は、1月1日～7月8日は米国地質調査所（USGS）発表のPRELIMINARY DETERMINATION OF EPICENTERS（PDE）に、7月9日～12月31日は同所ホームページの” Search Earthquake Catalog”（<https://earthquake.usgs.gov/earthquakes/search/>）による（2024年1月10日現在）。ただし、日本付近で発生した地震の震源要素及び一部の規模の大きな地震のMw（モーメントマグニチュード）については気象庁、その他一部の地震のMwはGlobal CMTによる（表1参照）。

\*\* : 数字は、表1の番号に対応する。

\*\*\* : マグニチュードは表1の値を使用している。海外の地震については、Mw（モーメントマグニチュード）を、Mwが決まっていない場合はMj（気象庁マグニチュード）、またはmb（実体波マグニチュード）の値を表示している。

表1 2023年に世界で発生したマグニチュード7.0以上または人的被害を伴った地震の震源要素等

番号	地震発生時刻	緯度	経度	深さ(km)	Mj	Mw	震央地名	備考(被害状況など)	北西	遠地
1	01月08日21時32分	S14° 56.8'	E166° 52.7'	29		(7.0)	バヌアツ諸島			○
2	01月10日02時47分	S 7° 03.5'	E130° 00.5'	105		(7.6)	インドネシア、タニバル諸島	死者1人など 津波観測0.09m (セイラ)		○
3	01月18日15時06分	N 2° 43.8'	E127° 01.3'	30		(7.0)	モルッカ海北部		○	○
4	01月18日19時08分	N38° 26.0'	E 44° 56.7'	19		5.7	トルコ-イラン国境	負傷者194人など		
5	01月24日17時58分	N29° 34.9'	E 81° 39.8'	33		5.4	ネパール	死者4人など		
6	01月29日03時14分	N38° 25.1'	E 44° 54.5'	16		5.9	トルコ-イラン国境	死者3人など		
7	02月06日10時17分	N37° 13.5'	E 37° 00.8'	10		(7.8)	トルコ	死者56,697人など 津波観測0.25m (パラリムニ)		○
8	02月06日19時24分	N38° 00.6'	E 37° 11.7'	7		(7.6)	トルコ			○
9	02月21日02時04分	N36° 09.7'	E 36° 01.5'	16		6.3	ヨルダン-シリア	死者6人など		
10	02月27日18時04分	N38° 12.8'	E 38° 16.6'	10		5.2	トルコ	死者2人		
11	03月19日02時12分	S 2° 47.0'	W 79° 51.1'	68		6.8	エクアドル沿岸	死者14人など		
12	03月22日01時47分	N36° 31.3'	E 70° 56.5'	192		6.5	アフガニスタン、ヒンドゥークシ	死者14人など		
13	04月03日03時04分	S 4° 19.3'	E143° 09.9'	70		(7.1)	バブアニューギニア、ニューギニア	死者8人など	○	○
14	04月14日18時55分	S 6° 02.4'	E112° 02.8'	597		(7.1)	インドネシア、ジャワ	死者1人など		○
15	04月24日09時41分	S29° 57.4'	W177° 50.3'	47		(7.1)	ケルマデック諸島	津波観測0.11m (フィッシングロック)		○
16	04月25日05時00分	N 0° 48.4'	E 98° 30.6'	34		(7.0)	インドネシア、スマトラ北部	津波観測0.1m (タナバラ島)		○
17	05月03日00時27分	N25° 24.0'	E 99° 16.1'	10		5.3	中国、ユンナン(雲南)省	負傷者10人など		
18	05月05日14時42分	N37° 32.3'	E137° 18.2'	12	6.5	(6.2)	能登半島沖	死者1人など		
19	05月05日21時58分	N37° 31.5'	E137° 14.1'	14	5.9	(5.7)	能登半島沖			
20	05月11日01時02分	S15° 37.6'	W174° 29.5'	210		7.6	トンガ諸島			○
21	05月11日04時16分	N35° 10.2'	E140° 11.1'	40	5.2		千葉県南部	軽傷8人など		
22	05月19日11時57分	S23° 12.3'	E170° 44.5'	18		(7.7)	ローヤリティー諸島南東方	津波観測0.61m (レナケル)		○
23	05月20日10時50分	S23° 02.5'	E170° 33.6'	27		(7.2)	ローヤリティー諸島南東方	津波観測0.14m (ウワンヌ)		○
24	06月06日18時11分	N18° 41.9'	W 74° 13.8'	10		4.9	ハイチ	死者4人など		
25	06月07日18時53分	N16° 53.1'	E 95° 32.7'	10	4.8 (mb)		ミャンマー南岸	死者2人		
26	06月11日18時54分	N42° 33.5'	E141° 54.9'	136	6.2	(6.2)	苫小牧沖	軽傷1人		
27	06月13日17時03分	N33° 07.1'	E 75° 54.4'	10		5.2	カシミール東部	少なくとも 負傷者5人など		
28	06月16日03時06分	S22° 59.6'	W177° 06.4'	179		7.2	フィジー諸島南方			○
29	06月27日23時07分	N 0° 35.8'	W 79° 59.2'	35		5.0	エクアドル沿岸	負傷者1人など		
30	06月30日21時57分	S 8° 38.8'	E110° 01.3'	76		5.9	インドネシア、ジャワ	死者1人など		
31	07月16日15時48分	N54° 23.5'	W160° 45.7'	25		7.2	米国、アラスカ半島	津波観測0.15m (サンドポイントなど)		○
32	07月25日14時44分	N37° 34.7'	E 35° 56.8'	13		5.5	トルコ	負傷者5人など		
33	08月06日03時33分	N37° 13.8'	E116° 23.4'	18		5.4	中国北東部	負傷者21人など		
34	08月18日02時04分	N 4° 20.7'	W 73° 37.1'	10		6.2	コロンビア	死者1人など		
35	08月29日04時55分	S 6° 47.3'	E116° 31.2'	500		7.1	バリ海			○
36	09月09日07時11分	N31° 03.4'	W 8° 23.0'	19		(6.8)	モロッコ	死者2,946人など		
37	09月12日20時03分	N19° 43.1'	E121° 14.0'	ごく浅い	6.4	(6.4)	フィリピン諸島	負傷者5人など		
38	10月03日18時21分	N29° 29.8'	E 81° 14.5'	13		5.7	ネパール	死者1人など		
39	10月07日15時41分	N34° 35.8'	E 61° 55.5'	14		(6.3)	アフガニスタン北西部	死者1,480人など		
40	10月20日07時43分	N29° 37.9'	E 52° 04.0'	10	4.8 (mb)		イラン南部	負傷者7人など		
41	10月22日10時54分	N27° 53.2'	E 84° 43.5'	26	5.2 (mb)		ネパール-インド国境	負傷者1人など		
42	11月04日03時02分	N28° 51.4'	E 82° 09.1'	12		(5.8)	ネパール	死者154人など		
43	11月07日12時33分	N 0° 54.0'	W 79° 15.0'	25		5.0	エクアドル沿岸	負傷者1人など		
44	11月08日13時53分	S 6° 24.9'	E129° 32.7'	6		7.1	バンドア海			○
45	11月17日17時14分	N 5° 34.2'	E124° 59.6'	52		6.7	フィリピン諸島、ミンダナオ	死者9人など	○	○
46	11月22日11時48分	N 1° 46.9'	E127° 11.3'	102		6.0	インドネシア、ハルマヘラ	死者1人		
47	11月24日18時04分	N20° 24.0'	E146° 18.5'	ごく浅い	7.5	(6.9)	マリアナ諸島		○	
48	12月02日23時37分	N 8° 31.5'	E126° 25.0'	40		(7.5)	フィリピン諸島、ミンダナオ	死者3人など 津波観測0.4m (八丈島八重根)	○	○
49	12月07日21時56分	S20° 35.7'	E169° 17.3'	54		7.1	バヌアツ諸島	津波観測0.08m (ラナケル)		○
50	12月19日00時59分	N35° 44.3'	E102° 48.2'	10		(6.1)	中国、チンハイ省	死者151人など		

- ・震源要素は、1月1日～7月8日は米国地質調査所(USGS)発表のPRELIMINARY DETERMINATION OF EPICENTERS(PDE)により、7月9日～12月31日は同所ホームページの”Search Earthquake Catalog”(https://earthquake.usgs.gov/earthquakes/search/)による(2024年1月10日現在)。ただし、日本付近で発生した地震の震源要素、Mwの欄に括弧を付して記載したモーメントマグニチュードは気象庁による。Mwの欄に下付きで「G」を付して記載したモーメントマグニチュードはGlobal CMTによる。mb(実体波マグニチュード)はUSGSによる。
- ・地震発生時刻は日本時間[日本時間=協定世界時+9時間]である。
- ・被害状況は、出典のないものはOCHA(UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs:国連人道問題調整事務所)、国内は総務省消防庁による。また、被害状況は、既刊の地震・火山月報(防災編)のデータから更新しているものもある。
- ・「北西」欄の○印は、気象庁が北西太平洋域に提供している北西太平洋津波情報(NWPTA)(※)を発表したことを表す。  
※気象庁ホームページの「国際的な津波監視体制」(https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/joho/nwpta.html)参照。
- ・「遠地」欄の○印は、気象庁が「遠地震に関する情報」を発表したことを表す。
- ・深さに「\*」を付したものは、気象庁によるCMT解のセントロイドの深さを表す。
- ・海外の津波の観測値は、米国海洋大気庁(NOAA; National Oceanic and Atmospheric Administration)による。

## ● 令和5年（2023年）の世界の主な火山活動

令和5年（2023年）に顕著な被害を伴った噴火が報告された主な火山（日本を除く）\*は以下のとおり。

### ウラウン（Ulawun） パプアニューギニア 標高2334m

11月20日から21日にかけて大規模な噴火が発生し、火山灰は成層圏に達し高度18.2kmまで上昇した。火砕流が北側及び南東側に流れた。この噴火により、5人が死亡、16,000人以上が避難した。降灰により、農作物、水源等が被害を受けた。

### マラピ（Marapi） インドネシア 標高2885m

12月3日に爆発的な噴火が発生し、噴煙の高さは約15,000mに達した。火口から13kmの範囲で降灰があった。その時点の登山者75名のうち23名が死亡し、生存者もほとんどが火傷を負った。

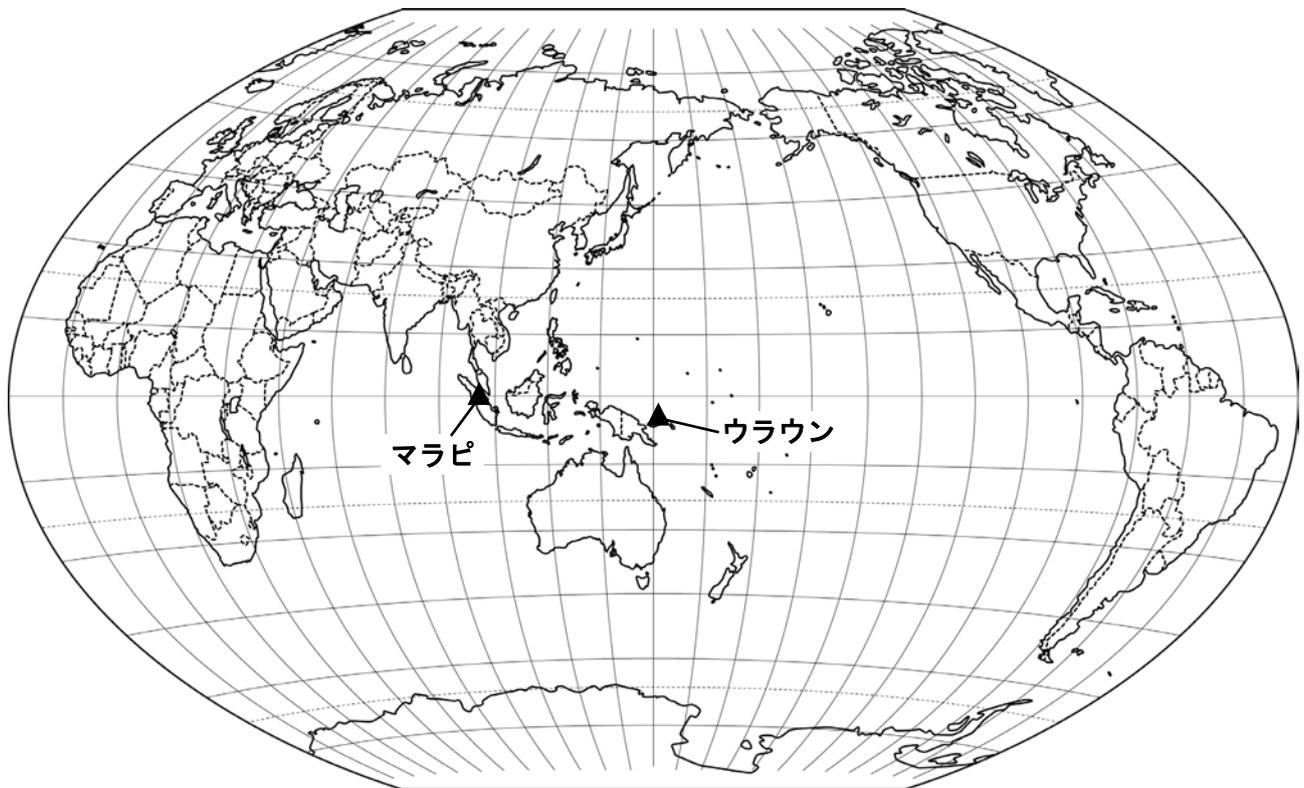


図 令和5年（2023年）に顕著な被害を伴った噴火が発生した主な火山（日本を除く）\*

\* 米国スミソニアン自然史博物館のホームページ“Global Volcanism Program | Smithsonian / USGS Weekly Volcanic Activity Report” ([http://www.volcano.si.edu/reports\\_weekly.cfm](http://www.volcano.si.edu/reports_weekly.cfm))、ダーウィン航空路火山灰情報センター“Darwin Volcanic Ash Advisory Centre”による。日付は全て現地時間。

## ●付録6. 気象庁震度階級関連解説表

平成21年3月31日改訂

### 使用にあたっての留意事項

- (1) 気象庁が発表している震度は、原則として地表や低層建物の一階に設置した震度計による観測値です。この資料は、ある震度が観測された場合、その周辺で実際にどのような現象や被害が発生するかを示すもので、それぞれの震度に記述される現象から震度が決定されるものではありません。
- (2) 地震動は、地盤や地形に大きく影響されます。震度は震度計が置かれている地点での観測値であり、同じ市町村であっても場所によって震度が異なることがあります。また、中高層建物の上層階では一般に地表より揺れが強くなるなど、同じ建物の中でも、階や場所によって揺れの強さが異なります。
- (3) 震度が同じであっても、地震動の振幅（揺れの大きさ）、周期（揺れが繰り返す時の1回あたりの時間の長さ）及び継続時間などの違いや、対象となる建物や構造物の状態、地盤の状況により被害は異なります。
- (4) この資料では、ある震度が観測された際に発生する被害の中で、比較的多く見られるものを記述しており、これより大きな被害が発生したり、逆に小さな被害にとどまる場合もあります。また、それぞれの震度階級で示されている全ての現象が発生するわけではありません。
- (5) この資料は、主に近年発生した被害地震の事例から作成したものです。今後、5年程度で定期的に内容を点検し、新たな事例が得られたり、建物・構造物の耐震性の向上等によって実状と合わなくなった場合には変更します。
- (6) この資料では、被害などの量を概数で表せない場合に、一応の目安として、次の副詞・形容詞を用いています。

用語	意味
まれに わずか 大半 ほとんど	極めて少ない。めったにない。 数量・程度が非常に少ない。ほんの少し。 半分以上。ほとんどよりは少ない。 全部ではないが、全部に近い。
が（も）ある、 が（も）いる	当該震度階級に特徴的に現れ始めることを表し、量的には多くはないがその数量・程度の概数を表現できかねる場合に使用。
多くなる	量的に表現できかねるが、下位の階級より多くなることを表す。
さらに多くなる	上記の「多くなる」と同じ意味。下位の階級で上記の「多くなる」が使われている場合に使用。

※ 気象庁では、アンケート調査などにより得られた震度を公表することがありますが、これらは「震度〇相当」と表現して、震度計の観測から得られる震度と区別しています。

### ● 人の体感・行動、屋内の状況、屋外の状況

震度階級	人の体感・行動	屋内の状況	屋外の状況
0	人は揺れを感じないが、地震計には記録される。	—	—
1	屋内で静かにしている人の中には、揺れをわずかに感じる人がいる。	—	—
2	屋内で静かにしている人の大半が、揺れを感じる。眠っている人の中には、目を覚ます人もいる。	電灯などのつり下げ物が、わずかに揺れる。	—
3	屋内にいる人のほとんどが、揺れを感じる。歩いている人の中には、揺れを感じる人もいる。眠っている人の大半が、目を覚ます。	棚にある食器類が音を立てることがある。	電線が少し揺れる。
4	ほとんどの人が驚く。歩いている人のほとんどが、揺れを感じる。眠っている人のほとんどが、目を覚ます。	電灯などのつり下げ物は大きく揺れ、棚にある食器類は音を立てる。座りの悪い置物が、倒れることがある。	電線が大きく揺れる。自動車を運転していて、揺れに気付く人がいる。
5弱	大半の人が、恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。	電灯などのつり下げ物は激しく揺れ、棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。座りの悪い置物の大半が倒れる。固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。	まれに窓ガラスが割れて落ちることがある。電柱が揺れるのがわかる。道路に被害が生じることがある。
5強	大半の人が、物につかまらなさと歩くことが難しいなど、行動に支障を感じる。	棚にある食器類や書棚の本で、落ちるものが多くなる。テレビが台から落ちることがある。固定していない家具が倒れることがある。	窓ガラスが割れて落ちることがある。補強されていないブロック塀が崩れることがある。据付けが不十分な自動販売機が倒れることがある。自動車の運転が困難となり、停止する車もある。
6弱	立っていることが困難になる。	固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。	壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。
6強	立っていることができず、はわないと動くことができない。	固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが多くなる。	壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する建物が多くなる。補強されていないブロック塀のほとんどが崩れる。
7	揺れにほんろうされ、動くこともできず、飛ばされることもある。	固定していない家具のほとんどが移動したり倒れたりし、飛ぶこともある。	壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する建物がさらに多くなる。補強されているブロック塀も破損するものがある。

● 木造建物（住宅）の状況

震度階級	木造建物(住宅)	
	耐震性が高い	耐震性が低い
5弱	—	壁などに軽微なひび割れ・亀裂がみられることがある。
5強	—	壁などにひび割れ・亀裂がみられることがある。
6弱	壁などに軽微なひび割れ・亀裂がみられることがある。	壁などのひび割れ・亀裂が多くなる。 壁などに大きなひび割れ・亀裂が入ることがある。 瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。
6強	壁などにひび割れ・亀裂がみられることがある。	壁などに大きなひび割れ・亀裂が入るものが多くなる。 傾くものや、倒れるものが多くなる。
7	壁などのひび割れ・亀裂が多くなる。 まれに傾くことがある。	傾くものや、倒れるものがさらに多くなる。

- (注1) 木造建物(住宅)の耐震性により2つに区分けた。耐震性は、建築年代の新しいものほど高い傾向があり、概ね昭和56年(1981年)以前は耐震性が低く、昭和57年(1982年)以降には耐震性が高い傾向がある。しかし、構法の違いや壁の配置などにより耐震性に幅があるため、必ずしも建築年代が古いというだけで耐震性の高低が決まるものではない。既存建築物の耐震性は、耐震診断により把握することができる。
- (注2) この表における木造の壁のひび割れ、亀裂、損壊は、土壁(割り竹下地)、モルタル仕上壁(ラス、金網下地を含む)を想定している。下地の弱い壁は、建物の変形が少ない状況でも、モルタル等が剥離し、落下しやすくなる。
- (注3) 木造建物の被害は、地震の際の地震動の周期や継続時間によって異なる。平成20年(2008年)岩手・宮城内陸地震のように、震度に比べ建物被害が少ない事例もある。

● 鉄筋コンクリート造建物の状況

震度階級	鉄筋コンクリート造建物	
	耐震性が高い	耐震性が低い
5強	—	壁、梁(はり)、柱などの部材に、ひび割れ・亀裂が入ることがある。
6弱	壁、梁(はり)、柱などの部材に、ひび割れ・亀裂が入ることがある。	壁、梁(はり)、柱などの部材に、ひび割れ・亀裂が多くなる。
6強	壁、梁(はり)、柱などの部材に、ひび割れ・亀裂が多くなる。	壁、梁(はり)、柱などの部材に、斜めやX状のひび割れ・亀裂がみられることがある。 1階あるいは中間階の柱が崩れ、倒れるものがある。
7	壁、梁(はり)、柱などの部材に、ひび割れ・亀裂がさらに多くなる。 1階あるいは中間階が変形し、まれに傾くものがある。	壁、梁(はり)、柱などの部材に、斜めやX状のひび割れ・亀裂が多くなる。 1階あるいは中間階の柱が崩れ、倒れるものが多くなる。

- (注1) 鉄筋コンクリート造建物では、建築年代の新しいものほど耐震性が高い傾向があり、概ね昭和56年(1981年)以前は耐震性が低く、昭和57年(1982年)以降は耐震性が高い傾向がある。しかし、構造形式や平面的、立面的な耐震壁の配置により耐震性に幅があるため、必ずしも建築年代が古いというだけで耐震性の高低が決まるものではない。既存建築物の耐震性は、耐震診断により把握することができる。
- (注2) 鉄筋コンクリート造建物は、建物の主体構造に影響を受けていない場合でも、軽微なひび割れがみられることがある。

● 地盤・斜面等の状況

震度階級	地盤の状況	斜面等の状況
5弱	亀裂※ <sup>1</sup> や液状化※ <sup>2</sup> が生じることがある。	落石や崖崩れが発生することがある。
5強		
6弱	地割れが生じることがある。	崖崩れや地すべりが発生することがある。
6強	大きな地割れが生じることがある。	崖崩れが多発し、大規模な地すべりや山体の崩壊が発生することがある※ <sup>3</sup> 。
7		

- ※<sup>1</sup> 亀裂は、地割れと同じ現象であるが、ここでは規模の小さい地割れを亀裂として表記している。
- ※<sup>2</sup> 地下水位が高い、ゆるい砂地盤では、液状化が発生することがある。液状化が進行すると、地面からの泥水の噴出や地盤沈下が起こり、堤防や岸壁が壊れる、下水管やマンホールが浮き上がる、建物の土台が傾いたり壊れたりするなどの被害が発生することがある。
- ※<sup>3</sup> 大規模な地すべりや山体の崩壊等が発生した場合、地形等によっては天然ダムが形成されることがある。また、大量の崩壊土砂が土石流化することもある。

● ライフライン・インフラ等への影響

ガス供給の停止	安全装置のあるガスメーター（マイコンメーター）では震度5弱程度以上の揺れで遮断装置が作動し、ガスの供給を停止する。 さらに揺れが強い場合には、安全のため地域ブロック単位でガス供給が止まることもある※。
断水、停電の発生	震度5弱程度以上の揺れがあった地域では、断水、停電が発生することがある※。
鉄道の停止、高速道路の規制等	震度4程度以上の揺れがあった場合には、鉄道、高速道路などで、安全確認のため、運転見合わせ、速度規制、通行規制が、各事業者の判断によって行われる。（安全確認のための基準は、事業者や地域によって異なる。）
電話等通信の障害	地震災害の発生時、揺れの強い地域やその周辺の地域において、電話・インターネット等による安否確認、見舞い、問合せが増加し、電話等がつながりにくい状況（ふくそう）が起こることがある。 そのための対策として、震度6弱程度以上の揺れがあった地震などの災害の発生時に、通信事業者により災害用伝言ダイヤルや災害用伝言板などの提供が行われる。
エレベーターの停止	地震管制装置付きのエレベーターは、震度5弱程度以上の揺れがあった場合、安全のため自動停止する。運転再開には、安全確認などのため、時間がかかることがある。

※ 震度6強程度以上の揺れとなる地震があった場合には、広い地域で、ガス、水道、電気の供給が停止することがある。

● 大規模構造物への影響

長周期地震動※による超高層ビルの揺れ	超高層ビルは固有周期が長い場合、固有周期が短い一般の鉄筋コンクリート造建物に比べて地震時に作用する力が相対的に小さくなる性質を持っている。しかし、長周期地震動に対しては、ゆっくりとした揺れが長く続き、揺れが大きい場合には、固定の弱いOA機器などが大きく移動し、人も固定しているものにつかまらなると、同じ場所にいられない状況となる可能性がある。
石油タンクのスロッシング	長周期地震動により石油タンクのスロッシング（タンク内溶液の液面が大きく揺れる現象）が発生し、石油がタンクから溢れ出たり、火災などが発生したりすることがある。
大規模空間を有する施設の天井等の破損、脱落	体育館、屋内プールなど大規模空間を有する施設では、建物の柱、壁など構造自体に大きな被害を生じない程度の地震動でも、天井等が大きく揺れたりして、破損、脱落することがある。

※ 規模の大きな地震が発生した場合、長周期の地震波が発生し、震源から離れた遠方まで到達して、平野部では地盤の固有周期に応じて長周期の地震波が増幅され、継続時間も長くなる可能性がある。

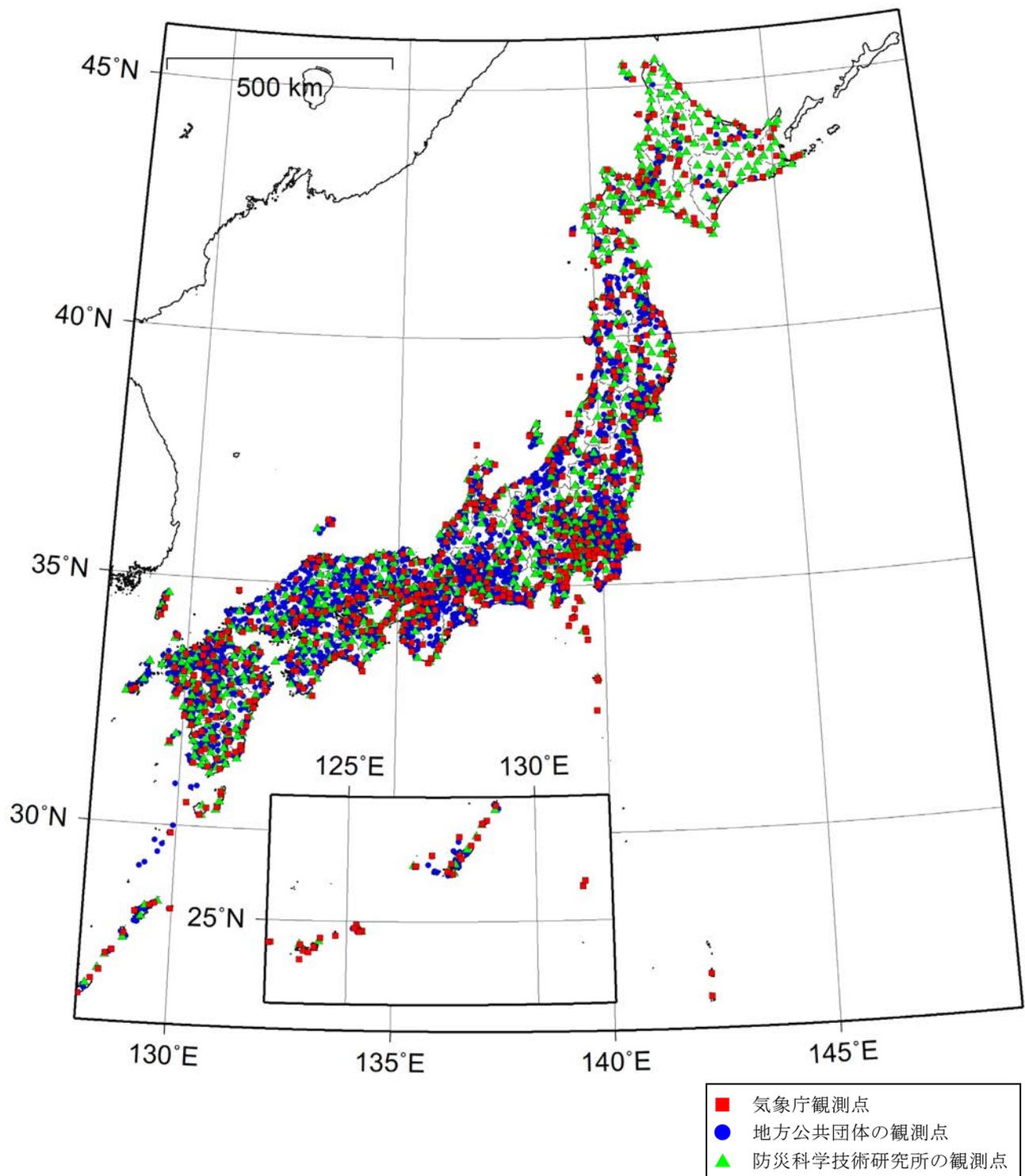
● 付録7. 気象庁震度階級と計測震度

地震情報などにより発表される震度階級は、観測点における揺れの強さの程度を数値化した計測震度から換算されるものです。

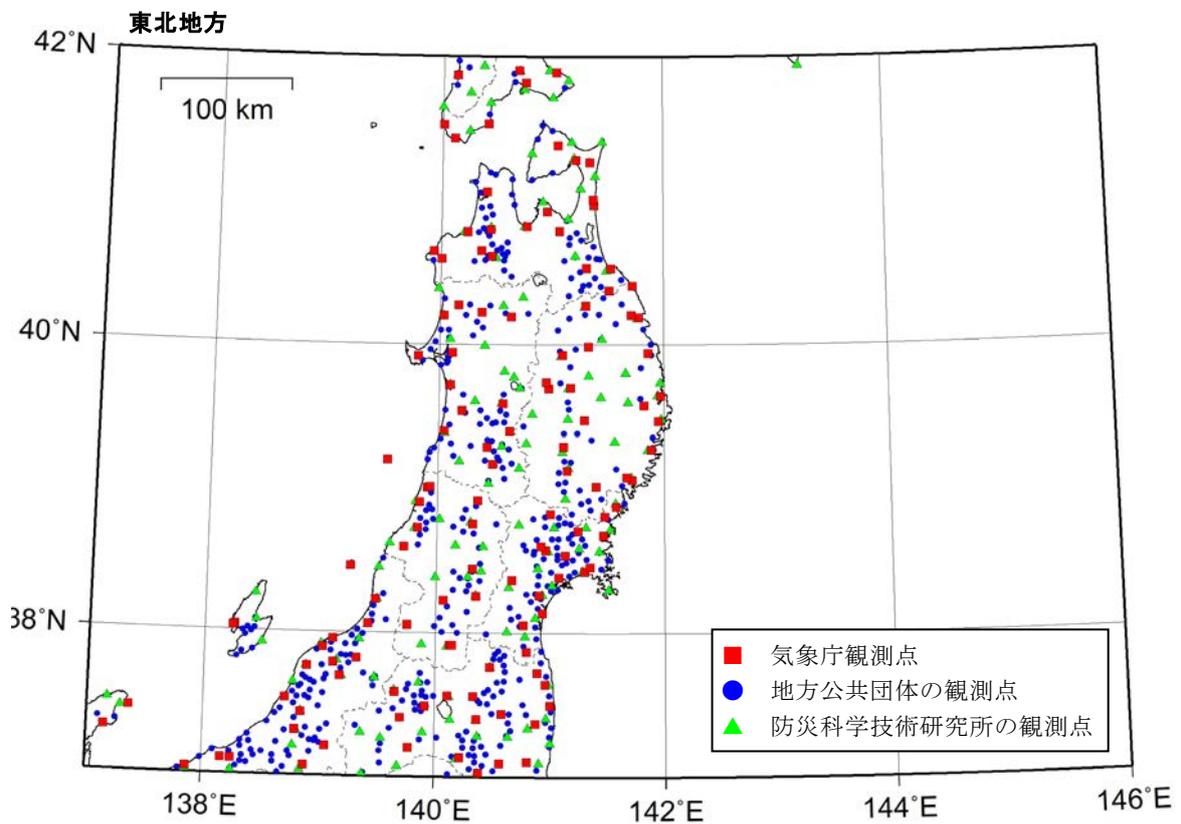
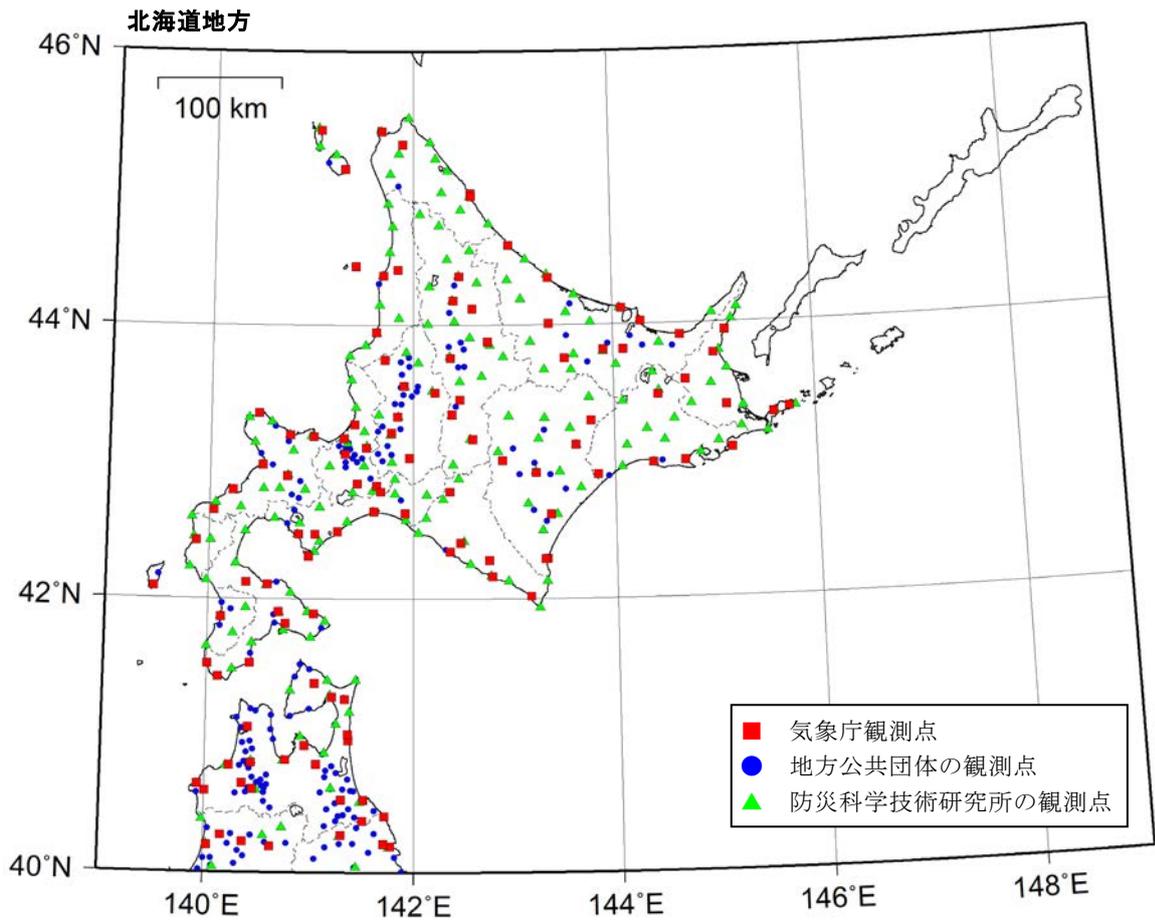
震度階級	計測震度	震度階級	計測震度
0	0.5 未満	5弱	4.5 以上 5.0 未満
1	0.5 以上 1.5 未満	5強	5.0 以上 5.5 未満
2	1.5 以上 2.5 未満	6弱	5.5 以上 6.0 未満
3	2.5 以上 3.5 未満	6強	6.0 以上 6.5 未満
4	3.5 以上 4.5 未満	7	6.5 以上

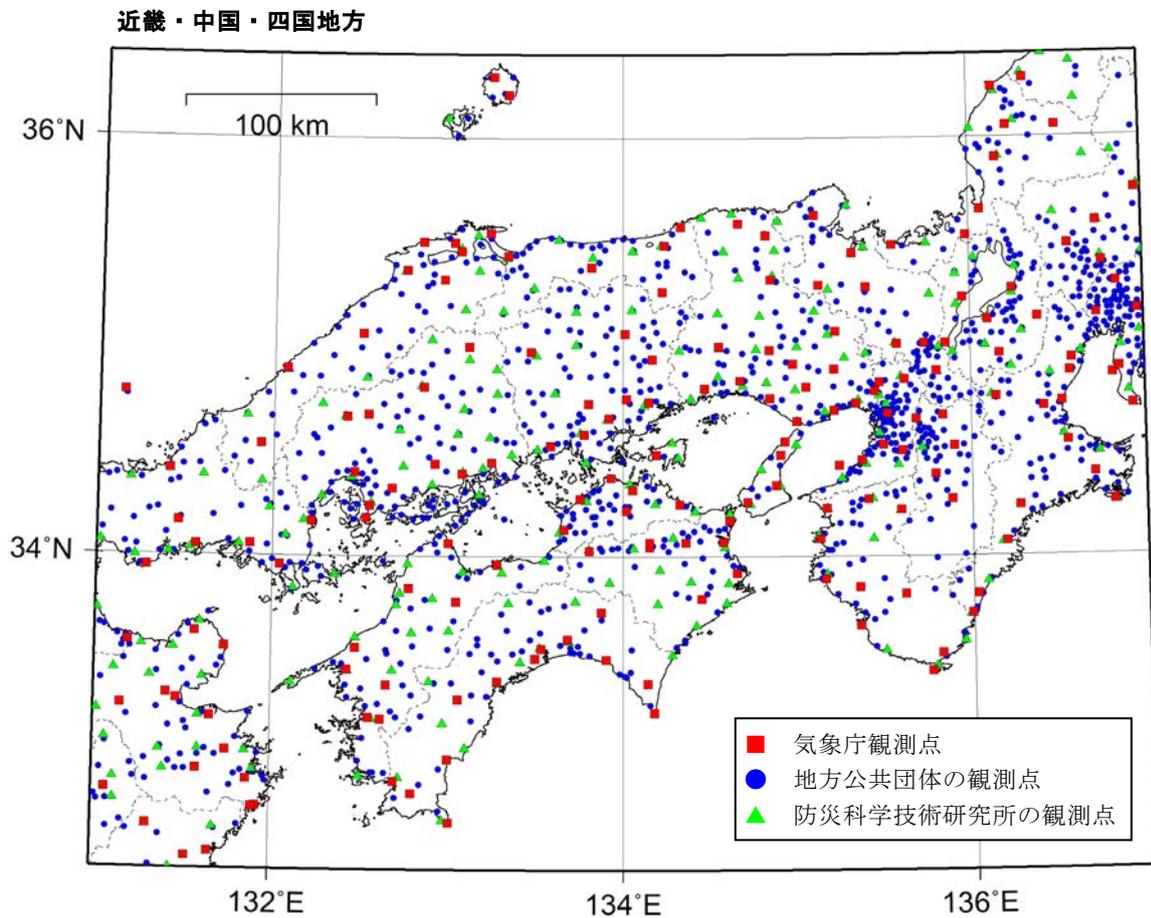
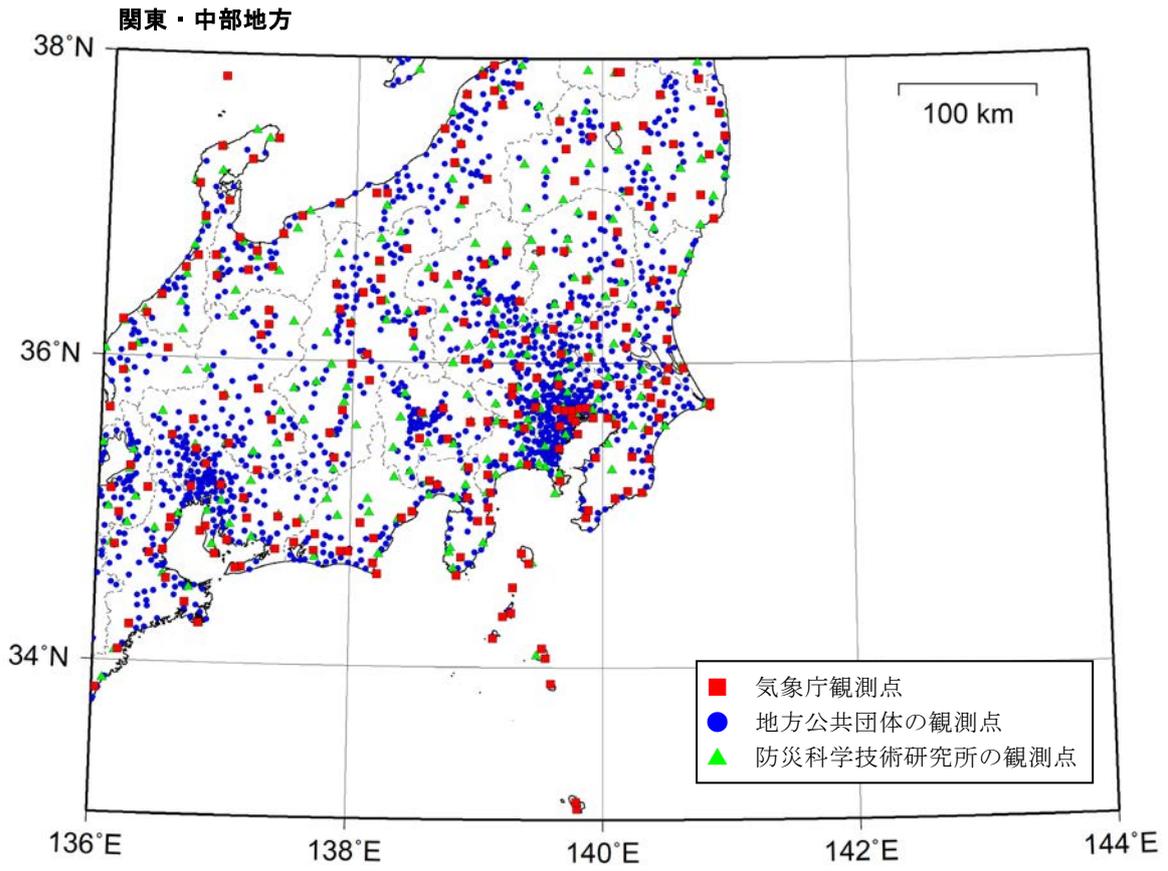
「気象庁震度階級表」より抜粋

● 付録8. 震度観測点（令和6年1月10日現在）

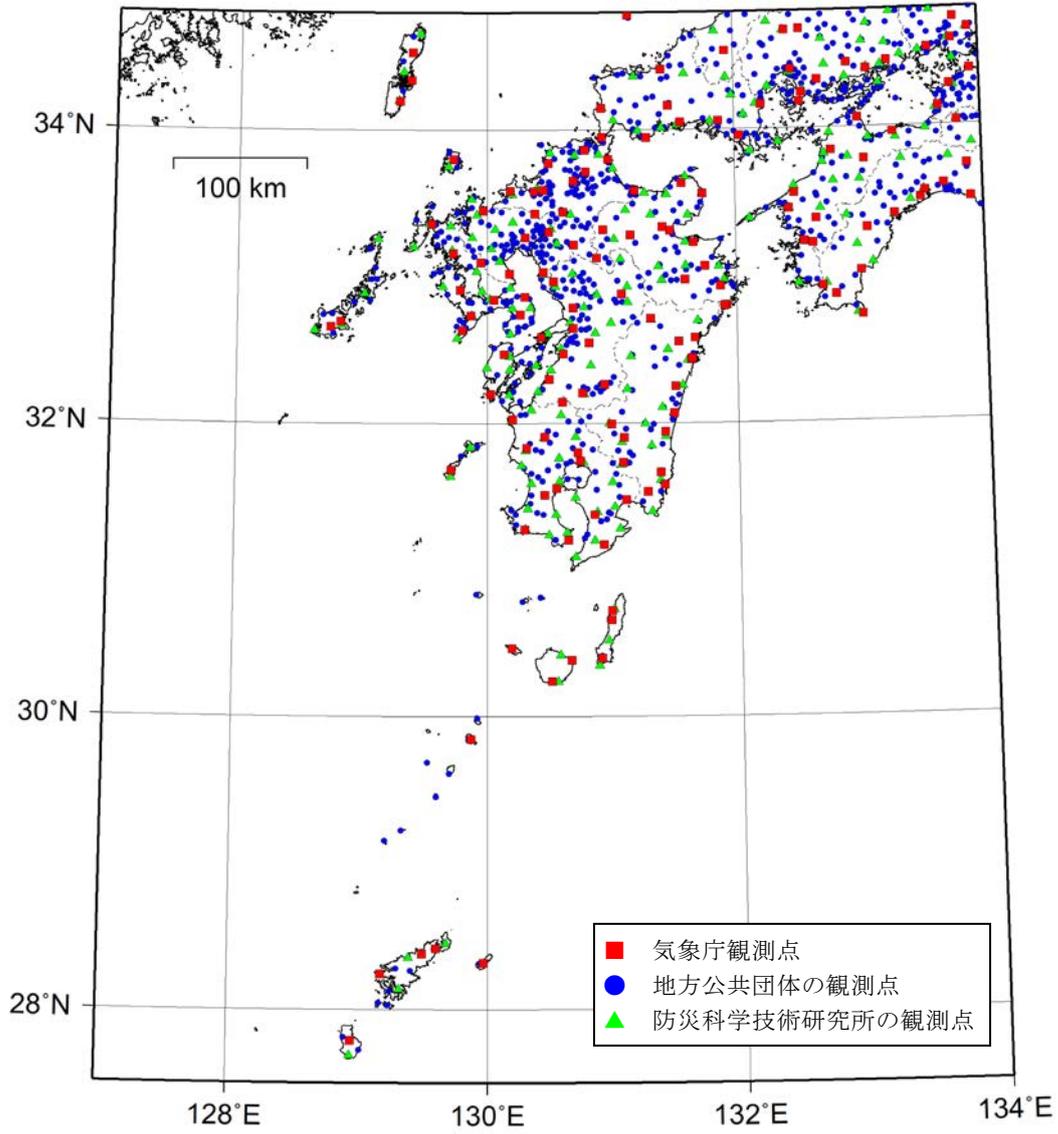


令和6年1月10日現在、気象庁の観測点（■印）は671点、地方公共団体の観測点（●印）は2,903点、国立研究開発法人防災科学技術研究所の観測点（▲印）は801点である。

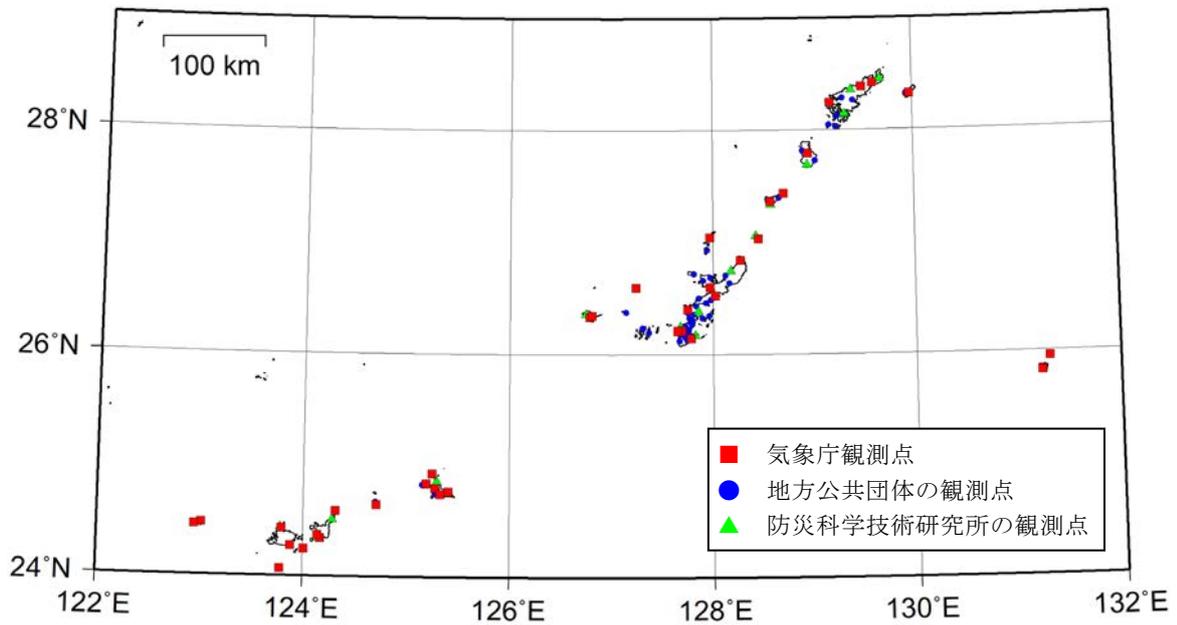




九州地方



沖縄地方



## ●付録9. 震度6または震度6弱以上を観測した地震の表 (1919年～2023年)

- ※ \*のついている地点は、地方公共団体もしくは国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点、(注)を付した地震については、近接した地域ではほぼ同時に発生した地震であるため震度の分離ができないことを示す。
- ※ 最大震度6または6弱以上を観測した地震について、震源要素と震度5または震度5弱以上を観測した観測点を掲載した。
- ※ 各観測点の末尾に計測震度(付録7参照)を記す(ただし、計測震度計で観測した期間のみ)。
- ※ 観測点名称は2024年1月10日現在、情報発表に用いているものである。なお、地震番号1～16に記載してある観測点名称は、原則気象官署名とし、括弧内に所在地を情報発表に用いる名称で記載した(ただし、当時の所在地が現在と異なる官署については、当時の所在地を情報発表に用いる名称に準じる形で記載した)。
- ※ (旧)のついている地点は、観測点の移設により現在とは異なる環境で観測していた地点等を示す。
- ※ 被害は、死者を伴った地震について死者と行方不明者の人数を記載した。被害は、総務省消防庁による。ただし、※印が付いている被害は「日本被害地震総覧」による。

地震番号	震源時 年 月 日 時 分	震央地名 各地の震度 地震名(地震の通称)・備考	緯度	経度	深さ	規模
1	1923 9 1 11 58	神奈川県西部 埼玉県 6 熊谷地方気象台(熊谷市桜町) 千葉県 6 富崎測候所(館山市布良) 5 銚子地方気象台(銚子市川口町(旧)) 東京都 6 気象庁(東京千代田区大手町(旧)) 神奈川県 6 横須賀観測所(横須賀市楠が丘町) 山梨県 6 甲府地方気象台(甲府市伊勢) 福島県 5 小名浜測候所(いわき市小名浜) 栃木県 5 宇都宮地方気象台(宇都宮市埴田) 長野県 5 長野地方気象台(長野市箱清水) 飯田測候所(飯田市馬場町) 静岡県 5 沼津測候所(沼津市末広町) 浜松測候所(浜松市中区高町) 京都府 5 宮津測候所(宮津市鶴賀(旧)) (大正関東地震) 死者 99,331人 ※、津波あり	35° 19.8' N	139° 08.1' E	23km	M: 7.9
2	1924 1 15 05 50	神奈川県西部 山梨県 6 甲府地方気象台(甲府市伊勢) 埼玉県 5 熊谷地方気象台(熊谷市桜町)	35° 20.4' N	139° 03.3' E	0km	M: 7.3
3	1925 5 23 11 09	兵庫県北部 兵庫県 6 豊岡測候所(豊岡市山王町) (北但馬地震) 死者 428人 ※、津波あり	35° 33.8' N	134° 50.0' E	0km	M: 6.8
4	1927 3 7 18 27	京都府北部 兵庫県 6 豊岡測候所(豊岡市山王町) 5 洲本測候所(洲本市小路谷) 京都府 6 宮津測候所(宮津市鶴賀) 5 京都地方気象台(京都中京区西ノ京) 福井県 5 福井地方気象台(福井市日之出) 敦賀測候所(敦賀市川崎町) 奈良県 5 奈良地方気象台(橿原市八木町) 広島県 5 福山測候所(福山市松永町) (北丹後地震) 死者 2,912人 ※、津波あり	35° 37.9' N	134° 55.8' E	18km	M: 7.3
5	1930 11 26 04 02	静岡県伊豆地方 静岡県 6 三島測候所(三島市東本町(旧)) 5 沼津測候所(沼津市末広町) 神奈川県 5 横浜地方気象台(横浜中区山手町) 横須賀観測所(横須賀市夏島町) (北伊豆地震) 死者 272人 ※	35° 02.5' N	138° 58.4' E	1km	M: 7.3
6	1935 7 11 17 24	静岡県中部 静岡県 6 静岡地方気象台(静岡駿河区曲金(旧)) (静岡地震) 死者 9人 ※	35° 01.4' N	138° 23.6' E	10km	M: 6.4
7	1941 7 15 23 45	長野県北部 長野県 6 長野地方気象台(長野市箱清水) 死者 5人 ※	36° 39.4' N	138° 11.6' E	5km	M: 6.1
8	1943 9 10 17 36	鳥取県東部 鳥取県 6 鳥取地方気象台(鳥取市湖山町南) 岡山県 5 岡山地方気象台(岡山市内山下) 山口県 5 萩測候所(萩市江向) (鳥取地震) 死者 1,083人 ※	35° 28.3' N	134° 11.0' E	0km	M: 7.2

令和5年12月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 年 月 日 時 分	震央地名 各地の震度 地震名（地震の通称）・備考	緯度	経度	深さ	規模
9	1944 12 7 13 35	三重県南東沖 静岡県 6 御前崎測候所（御前崎市御前崎） 5 浜松測候所（浜松中区鴨江町） 三重県 6 津地方気象台（津市下弁財町） 5 亀山測候所（亀山市北町） 尾鷲測候所（尾鷲市南陽町（旧）） 福井県 5 福井地方気象台（福井市日之出） 敦賀測候所（敦賀市松栄町） 山梨県 5 甲府地方気象台（甲府市伊勢） 岐阜県 5 岐阜地方気象台（岐阜市加納二之丸） 愛知県 5 名古屋地方気象台（名古屋千種区日和町） 滋賀県 5 彦根地方気象台（彦根市城町（旧）） 奈良県 5 奈良地方気象台（橿原市八木町紺屋の坪） <b>（東南海地震） 死者 1,183人 ※、津波あり</b>	33° 34.4' N	136° 10.5' E	40km	M: 7.9
10	1948 6 28 16 13	福井県嶺北 福井県 6 福井地方気象台（福井市豊島） <b>（福井地震） 死者 3,769人 ※</b>	36° 10.3' N	136° 17.4' E	0km	M: 7.1
11	1972 12 4 19 16	八丈島東方沖 東京都 6 八丈島測候所（八丈町大賀郷（旧）） <b>1972年12月4日八丈島東方沖地震 津波あり</b>	33° 12' N	141° 05' E	50km	M: 7.2
12	1982 3 21 11 32	浦河沖 北海道 6 浦河測候所（浦河町潮見（旧）） <b>昭和57年（1982年）浦河沖地震</b>	42° 04' N	142° 36' E	40km	M: 7.1
13	1993 1 15 20 06	釧路沖 北海道 6 釧路地方気象台（釧路市幣舞町（旧）） 5 浦河測候所（浦河町潮見（旧）） 帯広測候所（帯広市東4条） 広尾測候所（広尾町並木通） 青森県 5 八戸測候所（八戸市湊町（旧）） <b>平成5年（1993年）釧路沖地震 死者 2人 ※</b>	42° 55.2' N	144° 21.2' E	101km	M: 7.5
14	1994 10 4 22 22	北海道東方沖 北海道 6 釧路地方気象台（釧路市幣舞町（旧）） 厚岸町尾幌 5 浦河測候所（浦河町潮見（旧）） 足寄町上螺湾 広尾測候所（広尾町並木通） 中標津町養老牛 羅臼町春日 根室測候所（根室市弥栄） <b>平成6年（1994年）北海道東方沖地震 択捉島など北方四島で死者 11人 ※、津波あり</b>	43° 22.5' N	147° 40.4' E	28km	M: 8.2
15	1994 12 28 21 19	三陸沖 青森県 6 八戸測候所（八戸市湊町（旧）） 5 青森地方気象台（青森市花園） むつ測候所（むつ市金曲） 岩手県 5 盛岡地方気象台（盛岡市山王町） <b>平成6年（1994年）三陸はるか沖地震 死者 3人 ※、津波あり</b>	40° 25.8' N	143° 44.7' E	0km	M: 7.6
16	1995 1 17 05 46	大阪湾 兵庫県 7（現地調査により、神戸市、芦屋市、西宮市、宝塚市及び淡路島北部の一部で震度7を観測） 6 神戸海洋気象台（神戸中央区中山手） 洲本測候所（洲本市小路谷） 5 豊岡測候所（豊岡市桜町（旧）） 滋賀県 5 彦根地方気象台（彦根市城町（旧）） 京都府 5 京都地方気象台（京都中京区西ノ京） <b>平成7年（1995年）兵庫県南部地震 死者 6,434人、行方不明 3人、津波あり</b>	34° 35.9' N	135° 02.1' E	16km	M: 7.3
17	1997 5 13 14 38	鹿児島県薩摩地方 鹿児島県 6 弱 薩摩川内市中郷=5.6 5 強 さつま町宮之城屋地（旧）=5.4 5 弱 阿久根市赤瀬川（旧）=4.8	31° 56.9' N	130° 18.1' E	9km	M: 6.4
18	1998 9 3 16 58	岩手県内陸北部 岩手県 6 弱 雫石町長山=5.9	39° 48.3' N	140° 54.0' E	8km	M: 6.2
19	2000 7 1 16 01	新島・神津島近海 東京都 6 弱 神津島村金長=5.9 神津島村役場（旧）*=5.6 5 弱 新島村本村*=4.8 <b>死者 1人</b>	34° 11.4' N	139° 11.6' E	16km	M: 6.5
20	2000 7 9 03 57	新島・神津島近海 東京都 6 弱 神津島村役場（旧）*=5.5	34° 12.7' N	139° 13.8' E	15km	M: 6.1

令和5年12月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 年 月 日 時 分	震央地名 各地の震度 地震名（地震の通称）・備考	緯度	経度	深さ	規模
		5強 神津島村金長=5.1				
21	2000 7 15 10 30	新島・神津島近海 東京都 6強 新島村本村*=5.6 5弱 伊豆大島町差木地（旧）=4.9	34° 25.4' N	139° 14.5' E	10km	M: 6.3
22	2000 7 30 21 25	三宅島近海 東京都 6弱 三宅村阿古2=5.6 5弱 三宅村神着（旧）=4.9 神津島村金長=4.5	33° 58.2' N	139° 24.6' E	17km	M: 6.5
23	2000 8 18 10 52	新島・神津島近海 東京都 6弱 新島村式根島（旧）=5.5 5強 神津島村役場（旧）*=5.0 5弱 神津島村金長=4.9	34° 12.0' N	139° 14.4' E	12km	M: 6.1
24	2000 8 18 12 49	新島・神津島近海 東京都 6弱 新島村式根島（旧）=5.7	34° 17.6' N	139° 10.4' E	7km	M: 5.1
25	2000 10 6 13 30	鳥取県西部 鳥取県 6強 鳥取日野町根雨*=6.3 境港市東本町=6.0 6弱 鳥取南部町法勝寺*=5.9 鳥取南部町天萬*=5.9 伯耆町溝口*=5.7 境港市上道町*=5.6 伯耆町吉長*=5.6 米子市淀江町*=5.6 日吉津村日吉津*=5.5 5強 米子市博労町（旧）=5.1 5弱 大山町国信*=4.7 北栄町由良宿*=4.7 倉吉市関金町大鳥居*=4.6 湯梨浜町龍島*=4.6 北栄町土下（旧）*=4.6 琴浦町徳万（旧）*=4.5 大山町御来屋*=4.5 大山町赤坂（旧）*=4.5 島根県 5強 奥出雲町三成（旧）*=5.4 安来市安来町（旧）*=5.3 松江市宍道町昭和（旧）*=5.0 5弱 松江市八束町波入（旧）*=4.9 松江市東出雲町揖屋（旧）*=4.9 松江市玉湯町湯町（旧）*=4.8 松江市西津田（旧）=4.8 松江市鹿島町佐陀本郷（旧）*=4.8 仁摩町仁万（旧）*=4.8 雲南市大東町大東=4.7 雲南市加茂町加茂中（旧）*=4.7 八雲村西岩坂（旧）*=4.6 雲南市三刀屋町三刀屋（旧）*=4.5 出雲市湖陵町二部（旧）*=4.5 江津市桜江町川戸（旧）*=4.5 島根斐川町莊原町（旧）*=4.5 岡山県 5強 新見市哲多町本郷*=5.2 真庭市西河内=5.2 新見市大佐小阪部（旧）*=5.0 新見市新見=5.0 真庭市美甘（旧）*=5.0 5弱 新庄村役場*=4.9 真庭市久世（旧）*=4.9 玉野市宇野*=4.9 真庭市下皆部*=4.8 真庭市蒜山上福田（旧）*=4.8 真庭市蒜山上長田*=4.7 真庭市蒜山下和*=4.7 神郷町下神代（旧）*=4.7 早島町前潟*=4.6 岡山区大供*=4.6 岡山区御津金川*=4.6 倉敷市真備町*=4.6 賀陽町豊野（旧）*=4.5 真庭市勝山*=4.5 岡山東区瀬戸町*=4.5 岡山区片岡*=4.5 倉敷市船徳町（旧）*=4.5 笠岡市笠岡*=4.5 高梁市有漢町（旧）*=4.5 香川県 5強 土庄町甲=5.0 5弱 東かがわ市湊（旧）*=4.7 小豆島町池田（旧）*=4.7 高松市庵治町（旧）*=4.6 高松市国分寺町（旧）*=4.5 観音寺市坂本町（旧）=4.5 三豊市三野町（旧）*=4.5 豊中町本山（旧）*=4.5 兵庫県 5弱 淡路市志筑（旧）*=4.7 広島県 5弱 庄原市高野町（旧）*=4.9 福山市駅家町*=4.8 大崎上島町中野*=4.8 呉市川尻町（旧）*=4.6 府中町大通り（旧）*=4.6 福山市新市町（旧）*=4.5 徳島県 5弱 徳島市大和町（旧）=4.5 徳島市新蔵町（旧）*=4.5 平成12年（2000年）鳥取県西部地震	35° 16.4' N	133° 20.9' E	9km	M: 7.3
26	2001 3 24 15 27	安芸灘 広島県 6弱 東広島市河内町（旧）*=5.9 熊野町役場（旧）*=5.5 大崎上島町中野*=5.5 5強 呉市川尻町（旧）*=5.4 呉市倉橋町支所*=5.4 広島安佐南区緑井*=5.3 呉市下蒲刈町*=5.3 府中町大通り（旧）*=5.3 江田島市能美町（旧）*=5.3 三原市円一町=5.2 音戸町鱒浜（旧）*=5.2 廿日市市下平良*=5.2 呉市広*=5.2 海田町上市*=5.2 三原市久井町（旧）*=5.2 広島西区己斐*=5.2 尾道市向島町（旧）*=5.1 東広島市安芸津町（旧）*=5.1 江田島市沖美町*=5.1 江田島市大柿町（旧）*=5.1 呉市豊町（旧）*=5.1 広島豊浜町豊島（旧）*=5.1 呉市安浦町（旧）*=5.0 北広島町有田（旧）=5.0 三原市本郷南（旧）*=5.0 広島安佐北区可部南*=5.0 東広島市黒瀬町=5.0 東広島市豊栄町（旧）*=5.0 呉市宝町=5.0 5弱 三原市大和町（旧）*=4.9 尾道市瀬戸田町（旧）*=4.9 呉市倉橋町鷹ヶ巣=4.9 呉市焼山（旧）*=4.9 呉市蒲刈町（旧）*=4.9 廿日市市津田（旧）*=4.9 大崎上島町東野（旧）*=4.9 大崎上島町木江*=4.8 広島中区大手町*=4.8 広島安芸区中野*=4.8 世羅町西上原*=4.8 江田島市江田島町*=4.7 福山市松永町=4.7 福山市内海町（旧）*=4.7 広島三次市吉舎町（旧）*=4.7 安芸高田市吉田町（旧）*=4.7 広島福富町久芳（旧）*=4.7 広島南区宇品海岸*=4.7 廿日市市宮島町（旧）*=4.7 世羅西町小国（旧）*=4.6 広島中区上八丁堀=4.6	34° 07.9' N	132° 41.6' E	46km	M: 6.7

令和5年12月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 年 月 日 時 分	震央地名 各地の震度 地震名（地震の通称）・備考	緯度	経度	深さ	規模
		<p>安芸高田市八千代町*4.6 坂町役場*4.6 広島三次市三良坂町（旧）*4.6 北広島町都志見*4.5 福山市新市町（旧）*4.5 尾道市久保（旧）*4.5 尾道市御調町（旧）*4.5</p> <p>愛媛県 5強 今治市南宝来町二丁目*5.4 今治市上浦町*5.4 今治市大三島町*5.4 西条市丹原町鞍瀬*5.3 松山市北持田町（旧）*5.3 今治市波方町（旧）*5.2 今治市菊間町*5.2 今治市吉海町*5.2 愛媛松前町筒井*5.2 久万高原町久万*5.2 西予市三瓶町（旧）*5.2 今治市大西町*5.1 砥部町宮内*5.1 愛媛吉田町東小路（旧）*5.1 西予市宇和町（旧）*5.1 上島町弓削（旧）*5.1 西条市丹原町池田*5.0 上島町生名*5.0 上島町岩城（旧）*5.0</p> <p>5弱 今治市朝倉北*4.9 今治市玉川町*4.9 西条市新田*4.9 西条市小松町（旧）*4.9 内子町平岡*4.9 西予市明浜町（旧）*4.9 今治市宮窪町*4.8 松山市中島大浦*4.8 伊予市中山町（旧）*4.8 八幡浜市保内町*4.8 大洲市大洲*4.8 宇和島市住吉町*4.7 西予市野村町*4.7 今治市関前岡村（旧）*4.7 東温市見奈良*4.6 伊方町湊浦（旧）*4.6 宇和島市三間町（旧）*4.5 新居浜市一宮町*4.5</p> <p>山口県 5強 和木町和木（旧）*5.4 阿東町徳佐（旧）*5.3 周防大島町森*5.3 周防大島町久賀（旧）*5.2 周防大島町小松*5.2 岩国市今津（旧2）*5.1 柳井市南町（旧）*5.1 柳井市大島（旧）*5.1 平生町平生（旧）*5.1 田布施町役場*5.0 周防大島町西安下庄*5.0</p> <p>5弱 下松市大手町（旧）*4.8 岩国市由宇町*4.8 岩国市玖珂総合支所（旧）*4.8 岩国市美和町生見*4.7 上関町長島（旧）*4.7 田布施町下田布施*4.7 周南市岐山通り（旧）*4.6 光市中央（旧）*4.6 山口市小郡下郷*4.5 岩国市周東町下久原（旧）*4.5 光市岩田（旧）*4.5</p> <p>島根県 5弱 邑南町下口羽（旧）*4.5 浜田市三隅町三隅（旧）*4.5 江津市桜江町川戸（旧）*4.5</p> <p>高知県 5弱 高知市本町*4.6</p> <p>大分県 5弱 佐伯市上浦（旧）*4.5</p> <p>平成13年（2001年）芸予地震 死者 2人</p>				
27	2003 5 26 18 24	宮城県沖 岩手県	38° 49.2' N	141° 39.0' E	72km	M: 7.1
		<p>6弱 大船渡市大船渡町*5.8 一関市室根町（旧）*5.7 平泉町平泉（旧）*5.6 奥州市衣川区（旧）*5.6 奥州市江刺区*5.5</p> <p>5強 岩手洋野町大野（旧）*5.4 大船渡市猪川町*5.4 矢巾町南矢幅（旧）*5.4 金ヶ崎町西根（旧）*5.4 一関市藤沢町*5.3 一関市舞川*5.3 遠野市宮守町（旧）*5.2 釜石市只越町*5.2 陸前高田市高田町（旧）*5.2 花巻市大迫町*5.2 花巻市東和町（旧）*5.2 奥州市胆沢区（旧）*5.1 一関市川崎町（旧）*5.1 住田町世田米（旧）*5.1 盛岡市玉山区渋民*5.0 二戸市福岡（旧）*5.0 花巻市材木町（旧）*5.0</p> <p>5弱 山田町八幡町（旧）*4.9 普代村銅屋（旧）*4.9 大槌町新町*4.9 一関市大東町（旧）*4.9 奥州市水沢区大鐘町*4.9 奥州市前沢区*4.9 北上市柳原町*4.8 盛岡市山王町*4.8 紫波町日詰（旧）*4.8 宮古市茂市*4.7 一関市東山町（旧）*4.7 八幡平市大更*4.7 野田村野田*4.7 滝沢市鶴飼*4.6 久慈市川崎町*4.6 岩泉町岩泉*4.6 大迫町役*4.5 西和賀町沢内太田（旧）*4.5</p> <p>宮城県 6弱 栗原市高清水（旧）*5.6 石巻市桃生町（旧）*5.6 栗原市栗駒*5.5 栗原市金成（旧）*5.5 石巻市泉町*5.5 涌谷町新町*5.5</p> <p>5強 気仙沼市赤岩*5.4 栗原市志波姫（旧）*5.4 登米市米山町（旧）*5.4 宮城美里町木間塚*5.4 登米市中田町*5.3 登米市登米町*5.3 栗原市一迫（旧）*5.3 鹿島台町平渡（旧）*5.3 栗原市瀬峰（旧）*5.2 登米市迫町（旧）*5.2 気仙沼市唐桑町*5.2 大崎市田尻（旧）*5.2 栗原市若柳（旧）*5.2 石巻市前谷地*5.2 東松島市矢本（旧）*5.2 鳴瀬町小野（旧）*5.2 南三陸町志津川（旧）*5.1 大崎市松山*5.1 栗原市花山*5.1 宮城加美町小野田*5.1 色麻町四竈（旧）*5.1 栗原市鶯沢*5.0 大崎市古川三日町*5.0 大崎市岩出山*5.0</p> <p>5弱 宮城川崎町前川*4.9 南方町八の森*4.8 宮城美里町北浦*4.8 亘理町下小路*4.8 仙台泉区将監*4.8 名取市増田*4.7 大河原町新南（旧）*4.7 仙台青葉区大倉*4.7 石巻市相野谷*4.7 気仙沼市本吉町*4.7 宮城加美町宮崎*4.7 大郷町粕川*4.6 大衡村大衡（旧）*4.6 蔵王町円田*4.6 石巻市雄勝町（旧）*4.6 石巻市大瓜*4.5</p> <p>青森県 5強 階上町道仏（旧）*5.1</p> <p>5弱 八戸市南郷区（旧）*4.7 青森南部町苦米地（旧）*4.5 五戸町古館*4.5</p> <p>秋田県 5強 大仙市刈和野*5.0</p> <p>5弱 横手市大雄（旧）*4.9 大仙市大曲花園町（旧）*4.7 大仙市高梨（旧）*4.7 秋田市雄和妙法（旧）*4.6 羽後町西馬音内（旧）*4.6 湯沢市川連町*4.5</p> <p>山形県 5強 山形中山町長崎（旧）*5.1</p> <p>5弱 村山市中央*4.8 最上町向町（旧）*4.5</p> <p>福島県 5弱 南相馬市鹿島区（旧）*4.8 相馬市中村（旧）*4.6 田村市都路町（旧）*4.5 富岡町本岡*4.5 南相馬市原町区三島町*4.5 南相馬市小高区（旧）*4.5</p>				
28	2003 7 26 00 13	宮城県中部	38° 26.0' N	141° 09.8' E	12km	M: 5.6

令和5年12月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 年 月 日 時 分	震央地名 各地の震度 地震名（地震の通称）・備考	緯度	経度	深さ	規模
29	2003 7 26 07 13	宮城県 6弱 鳴瀬町小野（旧）*5.9 東松島市矢本（旧）*5.5 5強 鹿島台町平渡（旧）*5.4 宮城美里町木間塚*5.1 5弱 大崎市松山*4.8 石巻市泉町=4.8 大崎市田尻（旧）*4.7 涌谷町新町=4.6 石巻市前谷地*4.5 大郷町粕川*4.5	38° 24.3' N	141° 10.2' E	12km	M: 6.4
30	2003 7 26 16 56	宮城県中部 宮城県 6強 東松島市矢本（旧）*6.2 宮城美里町木間塚*6.0 鳴瀬町小野（旧）*6.0 6弱 鹿島台町平渡（旧）*5.9 涌谷町新町=5.8 石巻市前谷地*5.7 宮城美里町北浦*5.5 石巻市桃生町（旧）*5.5 5強 大崎市松山*5.4 石巻市泉町=5.2 大崎市田尻（旧）*5.1 大崎市古川三日町=5.0 登米市米山町（旧）*5.0 5弱 栗原市志波姫（旧）*4.9 石巻市相野谷*4.9 栗原市一迫（旧）*4.8 栗原市瀬峰（旧）*4.8 大郷町粕川*4.8 仙台泉区将監*4.7 栗原市高清水（旧）*4.7 登米市迫町（旧）*4.7 登米市中田町=4.6 大崎市三本木*4.5 栗原市金成（旧）*4.5	38° 30.0' N	141° 11.3' E	12km	M: 5.5
31	2003 9 26 04 50	十勝沖 北海道 6弱 幕別町本町（旧）*5.8 釧路町別保（旧）*5.8 新冠町北星町（旧）*5.7 浦河町潮見（旧）=5.6 新ひだか町静内ときわ町=5.5 幕別町忠類錦町（旧）*5.5 豊頃町茂岩本町（旧）*5.5 鹿追町東町（旧）*5.5 厚岸町尾幌=5.5 5強 釧路市幸町=5.4 別海町常盤=5.4 更別村更別（旧）*5.3 広尾町並木通=5.2 本別町北2丁目=5.2 厚真町京町（旧）*5.2 釧路市音別町尺別=5.1 足寄町上螺湾=5.1 弟子屈町美里（旧）=5.0 帯広市東4条=5.0 5弱 南幌町栄町（旧）*4.9 音更町元町（旧）*4.9 十勝清水町南4条=4.9 幕別町忠類明和=4.9 北見市公園町=4.8 芽室町東2条（旧）*4.8 長沼町中央（旧）*4.8 苫小牧市しらかば=4.7 上士幌町上士幌（旧）*4.7 清里町羽衣町（旧）*4.7 新篠津村第47線（旧）*4.6 栗山町松風（旧）*4.5 訓子府町東町（旧）*4.5 中富良野町市街地（旧）*4.5 岩見沢市栗沢町東本町（旧2）*4.5 平成15年（2003年）十勝沖地震 死者 1人、行方不明 1人、津波あり	41° 46.7' N	144° 04.7' E	45km	M: 8.0
32	2003 9 26 06 08	十勝沖 北海道 6弱 浦河町潮見（旧）=5.8 5強 新冠町北星町（旧）*5.2 5弱 新ひだか町静内ときわ町=4.8 厚真町京町（旧）*4.6 青森県 5弱 むつ市金曲=4.7 東通村砂子又（旧）*4.6 野辺地町野辺地*4.5	41° 42.5' N	143° 41.4' E	21km	M: 7.1
33	2004 10 23 17 56	新潟県中越地方 新潟県 7 長岡市東川口*6.5 6強 長岡市古志竹沢*6.3 小千谷市城内=6.3 長岡市小国町法坂*6.0 6弱 十日町市千歳町*5.9 十日町市上山（旧）*5.9 魚沼市堀之内（旧）*5.9 十日町市水口沢（旧）*5.7 魚沼市須原（旧）*5.7 長岡市浦*5.6 刈羽村割町新田（旧）*5.6 長岡市幸町=5.5 長岡市上岩井*5.5 魚沼市今泉*5.5 長岡市栲尾大町*5.5 魚沼市穴沢（旧）*5.5 5強 長岡市中之島（旧）*5.4 上越市安塚区安塚*5.3 長岡市与板町与板（旧）*5.3 見附市昭和町（旧）*5.3 長岡市小島谷*5.2 出雲崎町米田=5.2 魚沼市小出島（旧）*5.2 南魚沼市六日町=5.2 南魚沼市浦佐*5.2 南魚沼市塩沢庁舎（旧）*5.2 津南町下船渡*5.1 十日町市松之山（旧）*5.0 十日町市松代（旧）*5.0 5弱 三条市西裏館*4.9 三条市新堀*4.9 柏崎市中央町（旧）*4.9 柏崎市西山町池浦（旧）*4.9 弥彦村矢作（旧）*4.8 柏崎市高柳町岡野町（旧）*4.7 上越市吉川区原之町*4.7 出雲崎町川西*4.7 魚沼市米沢=4.7 燕市秋葉町（旧）*4.7 燕市分水桜町（旧）*4.7 新潟市中之口*4.7 加茂市幸町*4.6 上越市三和区井ノ口*4.6 新潟市月潟*4.6 魚沼市大沢（旧）*4.6 上越市頸城区百間町*4.5 上越市大手町（旧）=4.5 燕市吉田日之出町（旧）*4.5 上越市木田*4.5 上越市浦川原区釜淵*4.5 新潟西蒲区役所=4.5 上越市牧区柳島*4.5 上越市柿崎区柿崎*4.5 福島県 5弱 只見町只見*4.7 西会津町野沢（旧）=4.5 柳津町柳津（旧）*4.5 群馬県 5弱 渋川市北橘町*4.7 高崎市高松町*4.6 片品村東小川=4.5 埼玉県 5弱 久喜市下早見=4.7 長野県 5弱 飯綱町芋川（旧）*4.6 平成16年（2004年）新潟県中越地震 死者 68人	37° 17.5' N	138° 52.0' E	13km	M: 6.8
34	2004 10 23 18 11	新潟県中越地方 37° 15.1' N 138° 49.7' E 12km M: 6.0	37° 15.1' N	138° 49.7' E	12km	M: 6.0

令和5年12月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 年 月 日 時 分	震央地名 各地の震度 地震名（地震の通称）・備考	緯度	経度	深さ	規模
35	2004 10 23 18 34	新潟県 6強 小千谷市城内=6.0 6弱 長岡市浦*=5.7 長岡市小国町法坂*=5.7 5弱 出雲崎町米田=4.9 魚沼市堀之内（旧）*=4.9 柏崎市西山町池浦（旧）*=4.8 長岡市与板町与板（旧）*=4.8 長岡市小島谷*=4.8 長岡市栢尾大町*=4.7 長岡市幸町=4.7 長岡市中之島（旧）*=4.6 十日町市水口沢（旧）*=4.6 魚沼市今泉*=4.5	37° 18.3' N	138° 55.8' E	14km	M: 6.5
		新潟県中越地方 新潟県 6強 長岡市東川口*=6.2 十日町市千歳町*=6.1 長岡市小国町法坂*=6.1 6弱 十日町市水口沢（旧）*=5.9 小千谷市城内=5.7 南魚沼市六日町=5.7 魚沼市堀之内（旧）*=5.6 魚沼市今泉*=5.6 十日町市松代（旧）*=5.6 南魚沼市浦佐*=5.6 魚沼市穴沢（旧）*=5.5 十日町市上山（旧）*=5.5 上越市安塚区安塚*=5.5 5強 魚沼市須原（旧）*=5.4 長岡市上岩井*=5.3 出雲崎町米田=5.3 上越市浦川原区釜淵*=5.3 南魚沼市塩沢庁舎（旧）*=5.3 魚沼市小出島（旧）*=5.2 柏崎市高柳町岡野町（旧）*=5.2 長岡市浦*=5.2 長岡市幸町=5.1 柏崎市西山町池浦（旧）*=5.1 長岡市小島谷*=5.1 長岡市与板町与板（旧）*=5.0 上越市大手町（旧）=5.0 魚沼市大沢（旧）*=5.0 上越市牧区柳島*=5.0 上越市三和区井ノ口*=5.0 5弱 上越市清里区荒牧*=4.9 十日町市松之山（旧）*=4.9 見附市昭和町（旧）*=4.8 長岡市栢尾大町*=4.7 長岡市中之島（旧）*=4.7 津南町下船渡*=4.7 魚沼市米沢=4.7 上越市木田*=4.6 上越市吉川区原之町*=4.6 上越市頸城区百間町*=4.5 三条市新堀*=4.5 柏崎市中央町（旧）*=4.5 上越市板倉区針（旧）*=4.5 出雲崎町川西*=4.5 上越大島区上達*=4.5 上越市柿崎区柿崎*=4.5 群馬県 5弱 片品村東小川=4.8 渋川市北橋町*=4.7 沼田市白沢町*=4.6 群馬昭村糸井（旧2）*=4.5				
36	2004 10 23 19 45	新潟県中越地方 新潟県 6弱 小千谷市城内=5.7 5強 長岡市小国町法坂*=5.0 5弱 魚沼市堀之内（旧）*=4.7 長岡市浦*=4.5	37° 17.7' N	138° 52.5' E	12km	M: 5.7
37	2004 10 27 10 40	新潟県中越地方 新潟県 6弱 魚沼市今泉*=5.6 魚沼市須原（旧）*=5.5 魚沼市穴沢（旧）*=5.5 5強 魚沼市堀之内（旧）*=5.4 魚沼市米沢=5.3 南魚沼市六日町=5.3 魚沼市大沢（旧）*=5.2 長岡市幸町=5.1 長岡市上岩井*=5.1 魚沼市小出島（旧）*=5.1 長岡市栢尾大町*=5.1 小千谷市城内=5.1 長岡市小国町法坂*=5.0 長岡市浦*=5.0 5弱 長岡市中之島（旧）*=4.9 見附市昭和町（旧）*=4.9 南魚沼市浦佐*=4.9 長岡市小島谷*=4.7 三条市新堀*=4.6 長岡市与板町与板（旧）*=4.6 出雲崎町米田=4.6 燕市秋葉町（旧）*=4.6 上越市安塚区安塚*=4.5 刈羽村割町新田（旧）*=4.5 上越市大手町（旧）=4.5 福島県 5弱 只見町只見*=4.6 群馬県 5弱 渋川市北橋町*=4.7 沼田市西倉内町（旧）=4.5	37° 17.5' N	139° 02.0' E	12km	M: 6.1
38	2005 3 20 10 53	福岡県北西沖 福岡県 6弱 福岡中央区舞鶴*=5.7 糸島市前原西（旧）*=5.5 福岡東区東浜*=5.5 5強 須志町須志*=5.3 新宮町緑ヶ浜*=5.3 糸島市志摩初=5.3 大川市酒見*=5.3 福岡西区今宿*=5.2 嘉麻市上白井（旧）*=5.2 福岡早良区百道浜*=5.2 春日市原町（旧）*=5.1 久留米市津福本町=5.1 福岡中央区大濠=5.1 糸島市二丈深江*=5.0 飯塚市志隈*=5.0 粕屋町仲原*=5.0 久山町久原*=5.0 5弱 福岡博多区博多駅前*=4.9 大野城市曙町*=4.9 宮若市福丸（旧）*=4.9 みやま市高田町（旧）*=4.9 筑前町篠隈*=4.8 福津市津屋崎*=4.8 久留米市北野町（旧）*=4.8 久留米市城島町*=4.8 柳川市本町（旧）*=4.8 筑前町下高場=4.8 福岡城南区神松寺*=4.7 遠賀町今古賀*=4.7 福岡南区塩原*=4.7 篠栗町篠栗*=4.7 志免町志免*=4.7 うきは市浮羽町（旧）*=4.6 北九州八幡西区相生町*=4.6 宗像市大島（旧）*=4.6 朝倉市宮野*=4.6 宗像市東郷*=4.6 小郡市小郡*=4.6 大木町八町牟田*=4.6 北九州戸畑区千防*=4.5 宗像市江口*=4.5 中間市中間*=4.5 福岡那珂川町西隈*=4.5 大刀洗町富多*=4.5 直方市新町（旧）*=4.5 飯塚市川島（旧）=4.5 飯塚市長尾*=4.5 宇美町宇美*=4.5 佐賀県 6弱 みやき町北茂安（旧）*=5.6 5強 上峰町坊所（旧）*=5.1 白石町有明（旧）*=5.1 唐津市七山（旧）*=5.0 5弱 佐賀市久保田（旧）*=4.9 白石町福田（旧）*=4.9 小城市芦刈（旧）*=4.9 神埼市千代田（旧）*=4.9 唐津市西城内=4.8 鳥栖市宿町（旧）*=4.8 白石町福富（旧）*=4.8 佐賀市川副（旧）*=4.7 嬉野市下宿乙（旧）*=4.7 神埼市神埼（旧）*=4.7 佐賀市諸富（旧）*=4.7 佐賀市三瀬（旧）*=4.6 多久市北多久町（旧）*=4.6 江北町山口（旧）*=4.6 小城市牛津（旧）*=4.6 唐津市北波多（旧）*=4.6 吉野ヶ里町三田川（旧）*=4.6 佐賀市大和（旧）*=4.6 武雄市北方（旧）*=4.5 唐津市呼子（旧）*=4.5 みやき町中原（旧）*=4.5 小城市三日月（旧）*=4.5 佐賀市東与賀（旧）*=4.5 長崎県 5強 壱岐市芦辺町芦辺（旧）*=5.1	33° 44.3' N	130° 10.5' E	9km	M: 7.0

令和5年12月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 年 月 日 時 分	震央地名 各地の震度 地震名（地震の通称）・備考	緯度	経度	深さ	規模
39	2005 8 16 11 46	<p>5弱 老岐市石田町（旧）*4.5</p> <p>大分県 5弱 中津市三光（旧）*4.5</p> <p><b>死者 1人</b></p> <p>宮城県沖 38° 08.9' N 142° 16.6' E 42km M: 7.2</p> <p>宮城県 6弱 宮城川崎町前川*5.6</p> <p>5強 石巻市桃生町（旧）*5.3 東松島市矢本（旧）*5.2 蔵王町円田*5.2</p> <p>栗原市築館（旧）*5.2 宮城美里町北浦*5.1 涌谷町新町*5.1 石巻市門脇*5.0</p> <p>大崎市田尻（旧）*5.0 名取市増田*5.0 登米市迫町（旧）*5.0</p> <p>仙台宮城野区苦竹*5.0 仙台区将監*5.0</p> <p>5弱 栗原市金成（旧）*4.9 登米市南方町*4.9 南三陸町志津川（旧）*4.9</p> <p>南三陸町歌津（旧）*4.9 岩沼市桜*4.9 山元町浅生原（旧）*4.9 石巻市泉町*4.9</p> <p>塩竈市旭町*4.9 東松島市小野*4.9 宮城美里町木間塚*4.8 登米市中田町*4.8</p> <p>登米市米山町（旧）*4.8 石巻市北上町（旧）*4.8 石巻市鮎川浜*4.8</p> <p>石巻市相野谷*4.8 石巻市前谷地*4.8 仙台宮城野区五輪*4.7 仙台若林区遠見塚*4.7</p> <p>栗原市若柳（旧）*4.7 栗原市高清水（旧）*4.7 栗原市志波姫（旧）*4.7</p> <p>大崎市古川三日町*4.7 大崎市鹿島台*4.7 大衡村大衡（旧）*4.7 登米市登米町*4.7</p> <p>栗原市瀬峰（旧）*4.6 大崎市松山*4.6 角田市角田*4.6 大河原町新南（旧）*4.6</p> <p>女川町女川浜（旧）*4.6 亶理町下小路*4.6 栗原市栗駒*4.6 村田町村田*4.5</p> <p>柴田町船岡*4.5 大郷町柏川*4.5 気仙沼市赤岩*4.5 宮城加美町中新田*4.5</p> <p>登米市東和町*4.5 白石市亶理町*4.5 栗原市一迫（旧）*4.5 石巻市雄勝町（旧）*4.5</p> <p>岩手県 5強 一関市藤沢町*5.0</p> <p>5弱 一関市室根町（旧）*4.9 奥州市前沢区*4.8 奥州市衣川区（旧）*4.8</p> <p>一関市千厩町（旧）*4.8 一関市花泉町（旧）*4.7 平泉町平泉（旧）*4.7</p> <p>矢巾町南矢幅（旧）*4.7 一関市山目*4.6 奥州市江刺区*4.6 二戸市福岡（旧）*4.6</p> <p>奥州市胆沢区（旧）*4.6 陸前高田市高田町（旧）*4.6 花巻市東和町（旧）*4.6</p> <p>北上市柳原町*4.5 一関市舞川（旧）*4.5 花巻市材木町（旧）*4.5</p> <p>金ヶ崎町西根（旧）*4.5</p> <p>福島県 5強 新地町谷地小屋（旧2）*5.4 相馬市中村（旧）*5.3 国見町藤田（旧）*5.1</p> <p>川俣町五百田*5.1 南相馬市鹿島区（旧）*5.0</p> <p>5弱 二本松市針道（旧）*4.8 桑折町東大隅*4.8 南相馬市小高区（旧）*4.7</p> <p>福島市五老内町（旧）*4.6 田村市大越町*4.6 福島伊達市梁川町*4.6</p> <p>飯館村伊丹沢（旧）*4.6 中島村滑津（旧）*4.5 田村市都路町（旧）*4.5</p> <p>福島伊達市保原町*4.5 福島伊達市霊山町*4.5 南相馬市原町区三島町*4.5</p> <p>茨城県 5弱 日立市役所（旧）*4.5</p>				
40	2007 3 25 09 41	<p>能登半島沖 37° 13.2' N 136° 41.1' E 11km M: 6.9</p> <p>石川県 6強 輪島市門前町走出（旧）*6.4 穴水町大町（旧）*6.3 七尾市田鶴浜町（旧）*6.2</p> <p>輪島市鳳至町（旧）*6.1</p> <p>6弱 志賀町香能*5.9 中能登町能登部下（旧）*5.7 志賀町富来領家町*5.6</p> <p>能登町宇出津（旧）*5.6 中能登町末坂（旧）*5.5 輪島市河井町*5.5</p> <p>志賀町末吉千古（旧）*5.5 能登町松波（旧）*5.5</p> <p>5強 七尾市本府中町*5.3 七尾市袖ヶ江町*5.2 珠洲市正院町*5.1</p> <p>5弱 羽咋市旭町*4.9 珠洲市大谷町*4.8 中能登町井田（旧）*4.8 能登町柳田（旧）*4.8</p> <p>宝達志水町子浦*4.5 羽咋市柳田町*4.5 かわほく市浜北（旧）*4.5</p> <p>新潟県 5弱 刈羽村割町新田（旧2）*4.5</p> <p>富山県 5弱 氷見市加納（旧）*4.9 富山市新桜町*4.8 舟橋村仏生寺*4.7</p> <p>射水市加茂中部（旧）*4.6 富山市婦中町笹倉*4.6 滑川市寺家町*4.6</p> <p>小矢部市水牧*4.6 射水市本町（旧）*4.6 射水市戸破*4.5</p> <p><b>平成19年（2007年）能登半島地震 死者 1人、津波あり</b></p>				
41	2007 7 16 10 13	<p>新潟県上中越沖 37° 33.4' N 138° 36.5' E 17km M: 6.8</p> <p>新潟県 6強 柏崎市中央町（旧）*6.3 柏崎市西山町池浦（旧）*6.2 長岡市小国町法坂*6.1</p> <p>刈羽村割町新田（旧2）*6.0</p> <p>6弱 出雲崎町米田*5.9 上越市吉川区原之町*5.8 上越市柿崎区柿崎*5.8</p> <p>長岡市山古志竹沢*5.7 柏崎市高柳町岡野町（旧）*5.6</p> <p>長岡市上岩井*5.6 上越市三和区井ノ口*5.5 小千谷市土川*5.5</p> <p>長岡市中之島（旧）*5.5 出雲崎町川西*5.5</p> <p>5強 上越市大島区岡*5.4 長岡市与板町与板（旧）*5.4 長岡市小島谷*5.4</p> <p>上越市大手町（旧）*5.3 長岡市浦*5.3 上越市牧区柳島*5.3 上越市頸城区区間町*5.3</p> <p>三条市新堀*5.3 燕市分水桜町（旧）*5.3 上越市浦川原区釜淵*5.2 上越市五智*5.2</p> <p>上越市安塚区安塚*5.1 小千谷市城内*5.1 十日町市千歳町*5.0 十日町市松代（旧）*5.0</p> <p>南魚沼市六日町*5.0 長岡市千手*5.0 上越市大潟区土底浜*5.0 十日町市高山*5.0</p> <p>5弱 上越市中ノ俣*4.9 見附市昭和町（旧）*4.9 上越市名立区名立大町（旧）*4.8</p> <p>長岡市寺泊上田町*4.8 三条市西裏館*4.8 十日町市松之山（旧）*4.8 上越市木田*4.8</p> <p>弥彦村矢作（旧）*4.8 上越市清里区荒牧*4.7 長岡市幸町*4.7</p>				

令和5年12月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 年 月 日 時 分	震央地名 各地の震度 地震名（地震の通称）・備考	緯度	経度	深さ	規模
		<p>燕市吉田日之出町（旧）*4.7 十日町市水口沢（旧）*4.7 新潟西蒲区役所*4.7 新潟西蒲区巻甲*4.7 加茂市幸町*4.6 長岡市寺泊一里塚*4.6 長岡市東川口*4.6 南魚沼市塩沢宁舎（旧）*4.6 五泉市太田*4.5 上越市板倉区針（旧）*4.5 魚沼市堀之内（旧）*4.5</p> <p>長野県 6強 飯綱町芋川（旧）*6.2 5強 飯綱町牟礼*5.3 中野市豊津*5.1 飯山市飯山福寿町*5.0 信濃町柏原東裏*5.0 5弱 長野市戸隠*4.5</p> <p>石川県 5弱 輪島市鳳至町（旧）*4.6 能登町宇出津（旧）*4.6 珠洲市正院町*4.5</p> <p>平成19年（2007年）新潟県中越沖地震 死者 15人、津波あり</p>				
42	2007 7 16 15 37	新潟県上中越沖 新潟県	37° 30.2' N	138° 38.6' E	23km	M: 5.8
		<p>6弱 長岡市小島谷*5.6 出雲崎町米田*5.5 5強 出雲崎町川西*5.2 柏崎市西山町池浦（旧）*5.1 5弱 刈羽村割町新田（旧2）*4.9 新潟西蒲区役所*4.8 新潟西蒲区巻甲*4.8 弥彦村矢作（旧）*4.6 長岡市中之島（旧）*4.6 燕市分水桜町（旧）*4.6 上越市大島区岡*4.5 上越市柿崎区柿崎*4.5 長岡市与板町与板（旧）*4.5 柏崎市中央町（旧）*4.5 小千谷市土川*4.5</p>				
43	2008 6 14 08 43	岩手県内陸南部 岩手県	39° 01.7' N	140° 52.8' E	8km	M: 7.2
		<p>6強 奥州市衣川区（旧）*6.1 6弱 奥州市胆沢区（旧）*5.5 5強 平泉町平泉（旧）*5.2 金ヶ崎町西根（旧）*5.1 奥州市水沢区大鐘町*5.1 奥州市前沢区*5.1 北上市二子町*5.0 奥州市江刺区*5.0 一関市山目*5.0 5弱 一関市花泉町（旧）*4.9 奥州市水沢区佐倉河*4.8 一関市千厩町（旧）*4.7 一関市室根町（旧）*4.7 遠野市宮守町（旧）*4.7 一関市藤沢町*4.6 西和賀町川尻*4.6 一関市舞川*4.6 北上市柳原町*4.5</p> <p>宮城県 6強 栗原市一迫（旧）*6.2 6弱 栗原市栗駒*5.9 栗原市鶯沢*5.8 栗原市築館（旧）*5.7 栗原市金成（旧）*5.6 大崎市古川三日町*5.6 栗原市高清水（旧）*5.5 栗原市志波姫（旧）*5.5 栗原市花山*5.5 大崎市鳴子（旧）*5.5 大崎市古川北町*5.5 大崎市田尻（旧）*5.5 5強 大崎市松山*5.4 大崎市岩出山*5.4 栗原市若柳（旧）*5.3 名取市増田*5.3 宮城美里町木間塚*5.2 登米市南方町*5.2 宮城美里町北浦*5.2 宮城加美町中新田*5.0 涌谷町新町*5.0 登米市迫町（旧）*5.0 仙台宮城野区苦竹*5.0 仙台若林区遠見塚*5.0 利府町利府*5.0 5弱 登米市米山町（旧）*4.9 大崎市鹿島台*4.9 大河原町新南（旧）*4.9 石巻市桃生町（旧2）*4.9 仙台空港*4.8 色麻町四竈*4.8 栗原市瀬峰（旧）*4.8 宮城加美町小野田*4.8 蔵王町円田*4.7 登米市中田町*4.7 角田市角田*4.7 岩沼市桜*4.7 仙台宮城野区五輪*4.6 仙台区将監*4.4 石巻市前谷地*4.6 大衡村大衡（旧）*4.6 大崎市三本木*4.5 宮城川崎町前川*4.5 仙台青葉区大倉*4.5 仙台青葉区作並*4.5 仙台青葉区雨宮*4.5 宮城加美町宮崎*4.5</p> <p>秋田県 5強 東成瀬村椿川*5.2 東成瀬村田子内*5.2 湯沢市川連町*5.0 5弱 湯沢市沖鶴*4.9 湯沢市皆瀬（旧）*4.9 横手市山内土淵（旧）*4.8 湯沢市横堀（旧）*4.8 横手市十文字町（旧）*4.7 大仙市高梨（旧）*4.7 横手市増田町増田*4.6 横手市平鹿町浅舞（旧）*4.6 横手市大森町*4.6 横手市大雄（旧）*4.6 秋田美郷町土崎*4.6 横手市安田柳堤地内*4.5 横手市中央町*4.5 羽後町西馬音内（旧）*4.5 大仙市大曲花園町（旧）*4.5</p> <p>山形県 5弱 最上町向町（旧）*4.7 福島県 5弱 新地町谷地小屋（旧2）*4.6</p> <p>平成20年（2008年）岩手・宮城内陸地震 死者 17人、行方不明 6人</p>				
44	2008 7 24 00 26	岩手県沿岸北部 青森県	39° 43.9' N	141° 38.1' E	108km	M: 6.8
		<p>6弱 五戸町古館*5.8 八戸市南郷区（旧）*5.5 八戸市内丸*5.5 階上町道仏（旧）*5.5 5強 青森南部町平（旧）*5.4 東北町上北南*5.2 東通村小田野沢*5.0 八戸市湊町*5.0 5弱 三沢市桜町（旧）*4.9 七戸町森ノ上*4.9 五戸町倉石中市（旧）*4.9 青森南部町苔米地（旧）*4.9 東通村砂子又*4.8 野辺地町田狭沢*4.6 十和田市西十二番町*4.6 さいらせ町中下田*4.6 八戸市島守*4.5 十和田市西二番町*4.5</p> <p>岩手県 6弱 野田村野田*5.5 5強 宮古市茂市*5.4 普代村銅屋（旧）*5.4 大船渡市大船渡町*5.4 久慈市川崎町*5.3 宮古市田老（旧）*5.2 大槌町新町（旧）*5.2 二戸市福岡（旧）*5.2 八幡平市田頭*5.2 北上市二子町*5.2 一関市千厩町（旧）*5.2 奥州市江刺区*5.2 岩手洋野町種市*5.2 奥州市前沢区*5.1 一関市室根町（旧）*5.1 平泉町平泉（旧）*5.1 釜石市中妻町*5.1 山田町大沢（旧）*5.0 一戸町高善寺*5.0 大船渡市猪川町*5.0 八幡平市野駄（旧）*5.0 軽米町軽米*5.0 遠野市宮守町（旧）*5.0 一関市花泉町（旧）*5.0 5弱 釜石市只越町*4.9 住田町世田米（旧）*4.9 盛岡市玉山区藪川*4.9 花巻市材木町（旧）*4.9 遠野市松崎町*4.9 一関市山目*4.9 奥州市胆沢区（旧）*4.9 奥州市衣川区（旧）*4.9 矢巾町南矢幅（旧）*4.8 花巻市石鳥谷町*4.8</p>				

令和5年12月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 年 月 日 時 分	震央地名 各地の震度 地震名（地震の通称）・備考	緯度	経度	深さ	規模
		久慈市長内町*4.8 花巻市東和町（旧2）*4.8 田野畑村田野畑=4.8 陸前高田市高田町（旧）*4.8 一関市藤沢町*4.8 宮古市五月町*4.8 宮古市川井*4.8 盛岡市玉山区洪民*4.8 二戸市浄法寺町*4.8 岩泉町岩泉*4.7 山田町八幡町（旧）=4.7 田野畑村役場*4.7 葛巻町消防分署*4.6 滝沢市鶴飼*4.6 奥州市水沢区大鐘町=4.6 奥州市水沢区佐倉河*4.6 九戸村伊保内*4.6 宮古市区界*4.6 花巻市大迫町=4.6 盛岡市山王町=4.6 八幡平市叭田*4.5 二戸市石切所（旧）*4.5 金ヶ崎町西根（旧）*4.5 宮古市長沢=4.5 紫波町日詰（旧）*4.5 葛巻町役場（旧）*4.5 八幡平市大更=4.5 宮城県 5強 栗原市志波姫（旧）*5.4 石巻市桃生町（旧2）*5.4 涌谷町新町=5.2 大崎市古川三日町=5.1 大崎市松山*5.1 気仙沼市唐桑町*5.0 栗原市若柳（旧）*5.0 栗原市一迫（旧）*5.0 宮城美里町木間塚*5.0 大崎市古川北町*5.0 5弱 栗原市金成（旧）*4.9 登米市米山町（旧）*4.9 東松島市矢本（旧）*4.9 登米市中田町=4.8 登米市豊里町*4.8 登米市迫町（旧）*4.8 南三陸町歌津*4.8 宮城美里町北浦*4.8 大崎市田尻（旧）*4.8 岩沼市桜*4.8 石巻市前谷地*4.8 気仙沼市笹が陣*4.7 南三陸町志津川（旧）=4.7 色麻町四竈*4.7 栗原市築館（旧）*4.7 石巻市門脇*4.7 気仙沼市赤岩=4.7 栗原市栗駒=4.6 石巻市相野谷*4.6 登米市石越町（旧）*4.5 登米市南方町*4.5 大崎市鹿島台*4.5 亶理町下小路*4.5  死者 1人				
45	2009 8 11 05 07	駿河湾 静岡県	34° 47.1' N	138° 29.9' E	23km	M: 6.5
		6弱 牧之原市相良*5.9 御前崎市白羽*5.9 御前崎市御前崎（旧）=5.7 焼津市宗高*5.6 伊豆市市山（旧）*5.5 牧之原市静波*5.5 5強 静岡駿河区曲金（旧）=5.4 焼津市東小川*5.3 静岡菊川市赤土*5.3 伊豆の国市田京*5.2 松崎町宮内*5.1 東伊豆町奈良本*5.1 静岡葵区駒形通*5.1 静岡清水区庵原町*5.1 伊豆の国市長岡*5.1 静岡菊川市堀之内*5.1 富士宮市野中*5.0 松崎町江奈*5.0 牧之原市鬼女新田=5.0 袋井市浅名*5.0 焼津市本町（旧）*5.0 西伊豆町仁科*5.0 5弱 沼津市戸田*4.9 藤枝市岡部町岡部*4.9 吉田町住吉*4.9 掛川市西大淵*4.9 掛川市三俣*4.9 島田市金谷代官町（旧）*4.8 河津町田中*4.8 伊豆の国市四日町*4.8 静岡葵区追手町市役所*4.8 島田市中央町=4.8 静岡葵区追手町県庁*4.7 南伊豆町下賀茂（旧）*4.7 袋井市新屋=4.7 御前崎市池新田*4.7 南伊豆町入間*4.6 下田市東本郷*4.6 島田市川根町=4.6 下田市中*4.6 磐田市福田*4.5 函南町平井*4.5 静岡葵区峰山=4.5 長泉町中土狩*4.5 東伊豆町稲取*4.5  長野県 5弱 泰阜村役場（旧）*4.8 死者 1人、津波あり				
46	2011 3 11 14 46	三陸沖 宮城県	38° 06.2' N	142° 51.6' E	24km	M: 9.0
		7 栗原市築館（旧）*6.6 6強 栗原市若柳（旧）*6.3 石巻市桃生町*6.3 登米市米山町（旧）*6.2 大崎市古川三日町=6.2 大崎市田尻（旧）*6.2 宮城川崎町前川*6.2 仙台宮城野区苦竹*6.2 名取市増田*6.1 栗原市高清水（旧）*6.1 大崎市古川北町*6.1 宮城美里町木間塚*6.1 東松島市矢本（旧）*6.1 大崎市鹿島台*6.0 栗原市一迫（旧3）*6.0 塩竈市旭町*6.0 涌谷町新町裏=6.0 大衡村大衡*6.0 蔵王町円田*6.0 登米市南方町*6.0 山元町浅生原（旧）*6.0 6弱 栗原市金成（旧）*5.9 登米市迫町*5.9 大崎市松山*5.9 岩沼市桜*5.9 石巻市門脇*5.9 石巻市前谷地*5.9 気仙沼市赤岩=5.8 角田市角田*5.8 栗原市瀬峰（旧）*5.8 仙台若林区遠見塚*5.8 仙台泉区将監*5.8 宮城美里町北浦*5.8 登米市豊里町*5.7 仙台青葉区大倉=5.7 登米市登米町*5.7 栗原市栗駒=5.7 東松島市小野*5.7 松島町高城=5.7 登米市中田町=5.7 白石市亶理町*5.6 利府町利府*5.6 大郷町粕川*5.6 大河原町新南*5.6 仙台青葉区作並*5.6 仙台宮城野区五輪=5.6 南三陸町志津川（旧）=5.6 南三陸町歌津（旧）*5.6 石巻市鮎川浜*5.6 富谷町富谷*5.5 仙台空港=5.5 石巻市泉町=5.5 石巻市北上町（旧）*5.5 石巻市相野谷*5.5 亶理町下小路*5.5 登米市東和町*5.5 気仙沼市唐桑町*5.5 仙台青葉区雨宮*5.5 大和町吉岡*5.5 仙台青葉区落合*5.5 5強 気仙沼市笹が陣*5.4 宮城加美町中新田*5.4 色麻町四竈*5.4 栗原市鶯沢*5.4 大崎市三本木*5.4 村田町村田*5.4 柴田町船岡=5.4 丸森町鳥屋*5.4 仙台太白区山田*5.4 七ヶ浜町東宮浜*5.4 登米市石越町*5.3 登米市津山町*5.3 大崎市岩出山*5.3 宮城加美町小野田*5.3 多賀城市中央*5.3 栗原市花山*5.2 丸森町上滝=5.1 大崎市鳴子（旧）*5.1 石巻市大瓜=5.0 七ヶ宿町関*5.0 気仙沼市本吉町津谷*5.0 5弱 宮城加美町宮崎*4.9 福島県 6強 国見町藤田（旧2）*6.3 大熊町下野上*6.3 天栄村下松本*6.2 双葉町新山（旧）*6.1 浪江町幾世橋=6.1 新地町谷地小屋*6.1 白河市新白河*6.1 富岡町本岡*6.0 須賀川市八幡町*6.0 鏡石町不時沼*6.0 檜葉町北田*6.0 6弱 郡山市開成*5.9 田村市大越町*5.9 福島広野町下北迫大谷地原*5.9 須賀川市八幡山*5.8 二本松市油井*5.8 中島村滑津（旧）*5.8 川内村上川内早渡*5.8 郡山市朝日=5.8 郡山市湖南町*5.8 白河市表郷*5.7 桑折町東大隅*5.7 田村市常葉町*5.7 田村市滝根町*5.7 いわき市三和町=5.7 相馬市中村（旧2）*5.7				

令和5年12月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 年 月 日 時 分	震央地名 各地の震度 地震名（地震の通称）・備考	緯度	経度	深さ	規模
		大熊町野上*5.7 南相馬市原町区高見町*5.7 南相馬市鹿島区西町*5.7 田村市都路町*5.6 福島伊達市梁川町*5.6 いわき市錦町*5.6 矢吹町一本木*5.6 浅川町浅川*5.6 小野町小野新町*5.6 福島伊達市前川原*5.5 福島市五老内町*5.5 本宮市白岩*5.5 いわき市小名浜*5.5 川内村上川内小山平*5.5 須賀川市長沼支所*5.5 飯館村伊丹沢*5.5 二本松市金色*5.5 猪苗代町千代田*5.5 川俣町五百田*5.5 西郷村熊倉*5.5 棚倉町棚倉中居野*5.5 玉川村小高*5.5 小野町中通*5.5 5強 白河市郭内*5.4 白河市八幡小路（旧）*5.4 白河市東*5.4 いわき市平四ツ波*5.4 葛尾村落合落合*5.4 南相馬市原町区三島町*5.4 南相馬市原町区本町*5.4 湯川村笈川（旧）*5.4 会津美里町新鶴庁舎*5.4 大玉村玉井（旧）*5.3 泉崎村泉崎（旧）*5.3 平田村永田（旧）*5.3 古殿町松川新桑原*5.3 田村市船引町（旧）*5.3 福島伊達市保原町*5.3 福島伊達市霊山町*5.3 本宮市本宮*5.3 猪苗代町城南*5.3 会津坂下町市中三番甲*5.3 矢祭町東館*5.2 福島伊達市月館町*5.2 福島市松木町*5.2 福島市桜木町*5.2 川内村下川内*5.2 磐梯町磐梯（旧）*5.2 大玉村曲藤*5.2 福島広野町下北迫苗代替*5.1 白河市大信（旧）*5.1 喜多方市塩川町（旧）*5.1 石川町下泉*5.1 三春町大町（旧）*5.1 会津若松市東栄町*5.0 矢祭町東館下上野内*5.0 5弱 福島市飯野町*4.9 棚倉町棚倉ヶ丘*4.9 塙町塙*4.9 会津若松市材木町（旧）*4.9 二本松市小浜*4.7 鮫川村赤坂中野*4.7 会津若松市北会津町*4.7 会津若松市河東町*4.7 喜多方市高郷町*4.7 西会津町野沢（旧）*4.7 西会津町登世島*4.7 会津美里町本郷庁舎*4.7 下郷町塩生*4.5 柳津町柳津*4.5 会津美里町高田庁舎（旧）*4.5 南会津町田島（旧）*4.5 喜多方市御清水（旧）*4.5 茨城県 6強 日立市助川小学校*6.4 鉾田市当間*6.4 那珂市瓜連*6.2 小美玉市上玉里（旧）*6.1 日立市十王町友部（旧）*6.0 高萩市本町*6.0 笠間市中央*6.0 常陸大宮市北町*6.0 筑西市舟生*6.0 6弱 常陸太田市高柿町（旧）*5.9 高萩市安良川*5.9 笠間市石井（旧）*5.9 城里町石塚（旧）*5.9 城里町阿波山（旧）*5.9 つくば市研究学園*5.9 鉾田市汲上（旧）*5.9 水戸市金町*5.8 水戸市中央*5.8 水戸市内原町（旧）*5.8 ひたちなか市南神敷台*5.8 ひたちなか市東石川*5.8 常陸大宮市山方（旧）*5.8 土浦市下高津*5.8 稲敷市役所（旧）*5.8 行方市山田（旧）*5.8 水戸市千波町（旧）*5.7 北茨城市磯原町*5.7 茨城町小堤（旧）*5.7 東海村東海（旧）*5.7 常陸大宮市野口（旧）*5.7 土浦市常名*5.7 取手市井野*5.7 美浦村受領*5.7 筑西市門井（旧）*5.7 鉾田市鉾田*5.7 那珂市福田*5.6 小美玉市堅倉（旧）*5.6 石岡市柿岡*5.6 石岡市石岡（旧）*5.6 つくば市天王台*5.6 茨城鹿嶋市鉢形（旧）*5.6 潮来市辻（旧）*5.6 行方市玉造*5.6 日立市役所（旧）*5.6 小美玉市小川（旧）*5.5 茨城鹿嶋市宮中*5.5 坂東市山（旧）*5.5 稲敷市結佐（旧）*5.5 かすみがうら市上土田（旧）*5.5 行方市麻生（旧）*5.5 桜川市岩瀬（旧）*5.5 桜川市真壁（旧）*5.5 鉾田市造谷（旧）*5.5 常総市新石下*5.5 つくばみらい市加藤*5.5 笠間市下郷*5.5 常陸大宮市中富町*5.5 5強 大子町池田*5.4 常陸大宮市高部（旧）*5.4 常陸大宮市上小瀬（旧）*5.4 土浦市藤沢（旧）*5.4 石岡市八郷*5.4 下妻市鬼怒（旧）*5.4 取手市寺田*5.4 取手市藤代*5.4 河内町源清田*5.4 筑西市海老ヶ島（旧）*5.4 かすみがうら市大和田*5.4 桜川市羽田（旧）*5.4 結城市結城*5.3 阿見町中央（旧）*5.3 坂東市馬立*5.3 稲敷市江戸崎甲*5.3 稲敷市柴崎*5.3 筑西市下中山*5.3 神栖市溝口*5.3 つくばみらい市福田（旧）*5.3 常陸太田市町田町*5.3 常陸太田市町屋町*5.2 茨城古河市仁連*5.2 龍ヶ崎寺後*5.2 下妻市本城町（旧）*5.2 つくば市小茎*5.2 五霞町小福田*5.2 境町旭町*5.2 坂東市岩井*5.1 大洗町磯浜町（旧）*5.1 城里町徳蔵*5.1 茨城古河市下大野（旧）*5.1 八千代町菅谷*5.1 守谷市大柏（旧）*5.0 坂東市役所（旧）*5.0 常陸太田市大中町（旧）*5.0 神栖市波崎（旧）*5.0 牛久市中央（旧）*5.0 栃木県 6強 大田原市湯津上*6.1 市貝町市塙*6.1 高根沢町石末*6.1 宇都宮市白沢町（旧）*6.0 真岡市石島*6.0 6弱 芳賀町祖母井*5.9 那須町寺子*5.8 栃木那珂川町小川（旧）*5.8 真岡市田町*5.7 大田原市本町（旧）*5.6 真岡市荒町（旧）*5.6 那須烏山市中央*5.6 那須烏山市大金*5.6 那須塩原市鍋掛*5.5 那須塩原市あたご町*5.5 栃木那珂川町馬頭（旧）*5.5 5強 那須塩原市共墾社*5.4 小山市神鳥谷*5.4 益子町益子*5.4 茂木町茂木*5.4 栃木さくら市氏家*5.4 宇都宮市明保野町*5.3 栃木さくら市喜連川（旧）*5.3 宇都宮市中里町*5.2 鹿沼市晃望台*5.2 下野市田中（旧）*5.2 大田原市黒羽田町*5.1 矢板市本町*5.1 足利市大正町（旧）*5.1 茂木町北高岡天矢場*5.1 那須烏山市役所*5.1 下野市小金井*5.1 日光市瀬川*5.0 日光市今市本町（旧）*5.0 那須塩原市塩原庁舎*5.0 栃木市藤岡町藤岡*5.0 佐野市高砂町*5.0 小山市中央町*5.0 上三川町しらさぎ*5.0 栃木市岩舟町静（旧）*5.0 下野市石橋*5.0 5弱 宇都宮市旭*4.9 栃木市旭町*4.9 鹿沼市今宮町（旧）*4.9 塩谷町玉生（旧）*4.8 那須塩原市藁沼*4.8 佐野市葛生東（旧）*4.8 野木町丸林*4.8				

令和5年12月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 年 月 日 時 分	震央地名 各地の震度 地震名（地震の通称）・備考	緯度	経度	深さ	規模
		日光市鬼怒川温泉大原*4.7 日光市芹沼*4.7 宇都宮市埴田*4.7 壬生町通町*4.7 日光市中鉢石町*4.6 栃木市大平町富田*4.6 佐野市田沼町（旧）*4.6 鹿沼市口栗野*4.6 栃木市都賀町家中*4.5 栃木市西方町本城*4.5 日光市湯元*4.5 日光市足尾町松原*4.5 那須塩原市中塩原*4.5				
		岩手県 6弱 一関市山目*5.8 一関市千厩町（旧）*5.8 矢巾町南矢幅（旧）*5.7 釜石市中妻町*5.7 滝沢市鶴飼*5.6 大船渡市大船渡町*5.6 一関市花泉町（旧）*5.6 大船渡市猪川町*5.6 一関市藤沢町*5.6 花巻市大迫町*5.5 奥州市前沢区*5.5 奥州市衣川区（旧3）*5.5 一関市室根町（旧）*5.5				
		5強 釜石市只越町*5.4 盛岡市玉山区藪川*5.4 北上市柳原町*5.4 北上市相去町*5.4 奥州市江刺区*5.4 花巻市東和町（旧3）*5.3 普代村銅屋（旧）*5.3 盛岡市玉山区洪民*5.3 遠野市松崎町*5.3 平泉町平泉（旧）*5.3 八幡平市田頭*5.2 金ヶ崎町西根（旧）*5.2 八幡平市野駄（旧）*5.2 奥州市水沢区佐倉河*5.2 花巻市材木町（旧）*5.2 住田町世田米（旧）*5.1 奥州市水沢区大鐘町*5.1 盛岡市山王町*5.1 一関市東山町（旧）*5.1 一関市川崎町（旧）*5.1 山田町大沢（旧）*5.1 一関市大東町（旧）*5.0 花巻市石鳥谷町*5.0 宮古市茂市*5.0 遠野市宮守町（旧）*5.0				
		5弱 宮古市区界*4.9 野田村野田*4.9 大船渡市盛町*4.9 二戸市浄法寺町*4.9 紫波町日詰（旧）*4.9 宮古市五月町*4.8 一戸町高善寺*4.8 八幡平市大更*4.8 宮古市鉾ヶ崎*4.8 盛岡市馬場町*4.7 岩手町五日市*4.7 山田町八幡町（旧）*4.7 宮古市田老（旧）*4.7 宮古市川井*4.7 軽米町軽米*4.6 久慈市川崎町*4.6 二戸市石切所（旧）*4.6 久慈市長内町*4.6 雫石町千刈田*4.6 二戸市福岡*4.5 宮古市長沢*4.5 花巻市大迫総合支所*4.5 葛巻町葛巻元木*4.5				
		群馬県 6弱 桐生市元宿町*5.5				
		5強 邑楽町中野*5.4 群馬明和町新里*5.2 大泉町日の出*5.2 沼田市白沢町*5.1 渋川市赤城町（旧）*5.1 千代田町赤岩*5.1 高崎市高松町*5.0 桐生市新里町（旧）*5.0 太田市西本町*5.0 前橋市富士見町*5.0				
		5弱 前橋市粕川町*4.9 桐生市織姫町*4.9 桐生市黒保根町*4.9 伊勢崎市西久保町*4.9 太田市浜町*4.9 太田市粕川町*4.9 館林市城町*4.9 吉岡町下野田*4.9 前橋市堀越町*4.8 伊勢崎市境*4.8 太田市新田金井町*4.8 太田市大原町*4.8 沼田市西倉内町*4.7 沼田市利根町（旧）*4.7 中之条町小雨*4.7 伊勢崎市東町（旧）*4.7 館林市美園町*4.7 渋川市吹屋*4.7 板倉町板倉（旧）*4.7 安中市安中*4.6 みどり市笠懸町*4.6 沼田市下久屋町*4.6 前橋市駒形町*4.6 渋川市伊香保町（旧）*4.5				
		埼玉県 6弱 宮代町笠原*5.5				
		5強 熊谷市大里*5.4 加須市大利根*5.4 春日部市谷原新田*5.4 吉見町下細谷*5.3 春日部市中央*5.3 加須市下三俣*5.2 加須市騎西*5.2 羽生市東*5.2 鴻巣市中央*5.2 久喜市下早見*5.2 久喜市栗橋*5.2 行田市本丸*5.1 加須市北川辺*5.1 鴻巣市川里*5.1 深谷市川本*5.1 春日部市金崎*5.1 草加市高砂*5.1 戸田市上戸田（旧）*5.1 吉川市吉川*5.1 さいたま大宮区天沼町*5.1 白岡市千駄野*5.1 東松山市松葉町*5.0 鴻巣市吹上富士見*5.0 久喜市鷲宮*5.0 川口市中青木分室*5.0 三郷市幸房*5.0 幸手市東*5.0 川島町平沼*5.0 杉戸町清地*5.0 さいたま中央区下落合*5.0				
		5弱 熊谷市江南*4.9 行田市南河原*4.9 久喜市青葉*4.9 久喜市菖蒲*4.9 埼玉美里町木部*4.9 和光市広沢*4.9 桶川市泉（旧）*4.9 八潮市中央（旧）*4.9 鶴ヶ島市三ツ木*4.9 さいたま岩槻区本町*4.9 深谷市花園*4.8 川口市青木*4.8 蕨市中央（旧）*4.8 志木市中宗岡*4.8 坂戸市千代田*4.8 毛呂山町中央*4.8 松伏町松伏*4.8 越谷市越ヶ谷（旧）*4.7 朝霞市本町*4.7 富士見市鶴馬*4.7 蓮田市黒浜*4.7 さいたま浦和高砂*4.7 秩父市近戸町*4.7 熊谷市妻沼*4.7 川口市三ツ和*4.6 所沢市北有楽町*4.6 狭山市入間川*4.6 上尾市本町*4.6 新座市野火止（旧）*4.6 北本市本町（旧）*4.6 埼玉三芳町藤久保*4.6 秩父市上町*4.6 秩父市熊木町*4.6 熊谷市桜町*4.6 熊谷市宮町*4.6 伊奈町小室*4.5 本庄市児玉町（旧）*4.5 本庄市本庄*4.5 横瀬町横瀬*4.5 嵐山町杉山*4.5 上里町七本木*4.5 川越市新宿町*4.5				
		千葉県 6弱 成田市花崎町*5.6 印西市大森*5.5 印西市笠神*5.5				
		5強 香取市役所*5.4 旭市南堀之内*5.3 千葉佐倉市海隣寺町（旧）*5.3 香取市羽根川*5.2 香取市仁良*5.2 千葉中央区都町*5.2 千葉花見川区花島町*5.2 千葉美浜区稲毛海岸*5.2 千葉美浜区真砂*5.2 野田市東宝珠花（旧）*5.2 成田国際空港*5.2 印西市美瀬（旧）*5.2 白井市復（旧）*5.2 東金市日吉台*5.1 神崎町神崎本宿*5.1 多古町多古*5.1 香取市佐原諏訪台*5.1 千葉中央区千葉市役所*5.1 千葉若葉区小倉台*5.1 野田市鶴奉（旧）*5.1 成田市役所（旧）*5.1 八千代市大和田新田（旧）*5.1 浦安市猫実（旧）*5.1 栄町安食台*5.1 旭市萩園*5.0 白子町関（旧）*5.0 山武市蓮沼（旧）*5.0 千葉中央区中央港（旧）*5.0 成田市中台*5.0 成田市松子（旧）*5.0 習志野市鷺沼（旧）*5.0 柏市旭町*5.0 鋸南町下佐久間*5.0 銚子市若宮町*5.0				
		5弱 旭市二（旧）*4.9 匝瑳市八日市場（旧）*4.9 横芝光町宮川*4.9 山武市埴谷*4.9 千葉稲毛区園生町*4.9 市川市八幡*4.9 柏市大島田（旧）*4.9				

令和5年12月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 年 月 日 時 分	震央地名 各地の震度 地震名（地震の通称）・備考	緯度	経度	深さ	規模
		鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷（旧）*4.9 四街道市鹿渡（旧）*4.9 八街市八街（旧）*4.9 富里市七栄*4.9 南房総市谷向（旧）*4.9 東金市東新宿*4.8 旭市高生*4.8 東庄町笹川*4.8 九十九里町片貝*4.8 香取市岩部*4.8 船橋市湊町（旧）*4.8 我孫子市我孫子*4.8 銚子市川口町*4.8 いすみ市岬町長者（旧）*4.7 南房総市岩糸*4.7 東金市東岩崎（旧）*4.7 芝山町小池（旧）*4.7 長生村本郷*4.7 匝瑳市今泉（旧）*4.7 山武市殿台（旧）*4.7 市原市姉崎*4.7 流山市平和台*4.7 横芝光町横芝*4.6 山武市松尾町松尾*4.6 大網白里市大網*4.6 松戸市根本（旧）*4.6 市原市国分寺中央*4.6 酒々井町中央（旧）*4.6 木更津市役所（旧）*4.6 睦沢町下之郷*4.6 千葉緑区おゆみ野*4.5 柏市柏（旧）*4.5 館山市北条（旧）*4.5 茂原市道表*4.5 君津市久留里市場*4.5 南房総市上堀*4.5				
		青森県 5強 階上町道仏（旧2）*5.4 東北町上北南*5.2 八戸市南郷区*5.2 おいらせ町中下田*5.2 東通村小田野沢*5.1 五戸町古館*5.0 5弱 七戸町森ノ上*4.9 おいらせ町上明堂*4.9 六戸町犬落瀬*4.8 八戸市内丸*4.8 青森南部町苦米地*4.7 十和田市西十二番町*4.6 七戸町七戸（旧）*4.6 十和田市西二番町*4.6 青森南部町平（旧2）*4.5 野辺地町田狭沢*4.5 三戸町在府小路町*4.5				
		秋田県 5強 秋田市雄和妙法（旧）*5.1 大仙市高梨（旧）*5.1 大仙市大曲花園町（旧）*5.0 5弱 大仙市刈和野*4.9 井川町北川尻（旧）*4.8 横手市大雄（旧）*4.7 秋田市河辺和田*4.6 由利本荘市西目町沼田*4.6 秋田市消防庁舎*4.5				
		山形県 5強 中山町長崎*5.2 米沢市林泉寺*5.1 上市市河崎*5.0 尾花沢市若葉町*5.0 5弱 河北町谷地*4.9 東根市中央*4.8 河北町役場（旧）*4.8 南陽市三間通*4.8 白鷹町荒砥（旧）*4.8 酒田市飛鳥*4.8 村山市中央*4.8 米沢市駅前*4.7 高島町高島*4.7 山形川西町上小松（旧）*4.7 最上町向町（旧）*4.7 天童市老野森*4.7 山辺町緑ヶ丘*4.7 酒田市山田*4.6 遊佐町遊佐*4.6 遊佐町舞鶴（旧）*4.6 大蔵村清水*4.6 戸沢村古口*4.6 米沢市金池（旧）*4.6 庄内町狩川*4.5 新庄市東谷地田町*4.5 舟形町舟形（旧）*4.5 鶴岡市藤島*4.5 三川町横山（旧）*4.5 大石田町緑町*4.5				
		東京都 5強 東京荒川区東尾久*5.3 東京千代田区大手町*5.1 東京江東区東陽*5.1 東京中野区中野*5.1 東京板橋区高島平*5.1 東京足立区千住中居町*5.1 調布市西つつじヶ丘*5.1 新島村式根島（旧）*5.1 東京墨田区東向島*5.0 東京江東区森下*5.0 東京江東区枝川*5.0 東京中野区江古田*5.0 東京杉並区桃井*5.0 東京足立区伊興（旧）*5.0 東京足立区神明南*5.0 東京江戸川区中央*5.0 東京江戸川区船堀（旧）*5.0 町田市中町（旧）*5.0 5弱 東京千代田区麴町*4.9 東京中央区勝どき（旧）*4.9 東京港区南青山（旧）*4.9 東京文京区大塚*4.9 東京大田区本羽田*4.9 東京世田谷区成城（旧）*4.9 東京杉並区高井戸*4.9 東京荒川区荒川*4.9 東京板橋区相生町*4.9 東京練馬区東大泉*4.9 東京葛飾区金町（旧2）*4.9 東大和市中央*4.9 東京新宿区上落合*4.8 東京文京区本郷*4.8 東京江東区亀戸*4.8 東京国際空港（旧）*4.8 東京北区赤羽南*4.8 東京板橋区板橋*4.8 東京練馬区豊玉北（旧）*4.8 東京練馬区光が丘（旧）*4.8 東京葛飾区立石*4.8 武蔵野市緑町*4.8 武蔵野市吉祥寺東町*4.8 三鷹市野崎（旧2）*4.8 東京文京区スポーツセンター*4.7 東京台東区千束*4.7 東京品川区北品川*4.7 東京大田区多摩川（旧）*4.7 東京世田谷区三軒茶屋*4.7 東京江戸川区鹿骨*4.7 八王子市堀之内*4.7 小金井市本町*4.7 小平市小川町*4.7 日野市神明*4.7 東村山市美住町（旧）*4.7 多摩市関戸*4.7 新島村大原*4.7 新島村本村*4.7 東京足立区中央本町*4.6 八王子市石川町*4.6 東京府中市白糸台*4.6 町田市忠生（旧）*4.6 町田市役所*4.6 国分寺市戸倉*4.6 稲城市東長沼*4.6 東京千代田区富士見*4.6 東京中央区築地*4.6 東京中央区日本橋兜町*4.6 東京新宿区百人町*4.6 東京台東区東上野（旧2）*4.6 東京墨田区吾妻橋*4.6 東京目黒区中央町*4.6 東京渋谷区宇田川町（旧）*4.6 東京中野区中央（旧）*4.6 東京北区西ヶ原*4.6 西東京市中町*4.5 狛江市和泉本町（旧）*4.5 清瀬市中里（旧）*4.5 東京品川区広町*4.5 東京品川区平塚*4.5 東京大田区大森東*4.5 東京世田谷区世田谷*4.5 東京世田谷区中町*4.5 東京杉並区阿佐谷*4.5 東京豊島区東池袋（旧）*4.5 八王子市大横町*4.5 東京府中市寿町*4.5 調布市小島町*4.5 東京港区白金（旧）*4.5 東京新宿区歌舞伎町（旧）*4.5 東村山市本町*4.5				
		神奈川県 5強 横浜中区山吹町*5.2 寒川町宮山*5.2 二宮町中里*5.2 小田原市荻窪（旧2）*5.2 横浜神奈川区神大寺*5.1 横浜西区浜松町*5.1 横浜中区山手町*5.1 横浜中区山下町*5.1 川崎川崎区宮前町*5.1 横浜港北区日吉本町*5.0 川崎川崎区中島*5.0 川崎川崎区千鳥町*5.0 5弱 横浜西区みなとみらい*4.9 横浜保土ヶ谷区上菅田町*4.9 川崎幸区戸手本町（旧）*4.9 横浜中区日本大通*4.8 横浜南区別所*4.8 横浜緑区白山*4.8 横浜瀬谷区三ツ境*4.8 横浜青葉区榎が丘*4.8 川崎宮前区宮前平*4.8 川崎宮前区野川*4.8 平塚市浅間町（旧2）*4.8 茅ヶ崎市茅ヶ崎*4.8 神奈川大井町金子*4.8 横浜港北区大倉山*4.7 横浜緑区十日市場町*4.7 横浜青葉区市ヶ尾町*4.7 横浜都筑区池辺町*4.7 綾瀬市深谷*4.7 厚木市下津古久*4.7 中井町比奈窪*4.7				

令和5年12月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 年 月 日 時 分	震央地名 各地の震度 地震名（地震の通称）・備考	緯度	経度	深さ	規模
		横浜戸塚区戸塚町*4.6 川崎中原区小杉町*4.6 海老名市大谷*4.6 厚木市中町*4.6 相模原中央区中央*4.6 相模原緑区久保沢（旧）*4.6 横浜神奈川区白幡上町*4.5 横浜戸塚区平戸町*4.5 横浜港南区丸山台東部*4.5 横浜港南区丸山台北部*4.5 横浜旭区上白根町*4.5 横浜瀬谷区中屋敷*4.5 横浜泉区岡津町*4.5 横浜泉区和泉町*4.5 大和市下鶴間（旧2）*4.5 座間市緑ヶ丘*4.5 伊勢原市伊勢原*4.5 南足柄市関本*4.5 松田町松田惣領*4.5 山梨県 5強 忍野村忍草（旧）*5.3 中央市成島*5.1 5弱 ナアルプス市寺部（旧）*4.9 山中湖村山中*4.9 笛吹市役所（旧）*4.8 富士河口湖町役場*4.8 甲府市飯田*4.7 笛吹市一宮町末木*4.7 市川三郷町岩間*4.7 中央市大鳥居*4.7 笛吹市春日居町寺本（旧）*4.6 甲州市塩山下於曾*4.6 甲州市塩山上於曾*4.6 中央市臼井阿原*4.6 富士河口湖町船津*4.6 富士河口湖町勝山*4.6 甲府市相生*4.5 山梨北杜市長坂町（旧）*4.5 甲州市役所（旧）*4.5 甲州市勝沼町勝沼（旧2）*4.5 富士川町鯉沢（旧）*4.5 富士河口湖町長浜（旧）*4.5 新潟県 5弱 南魚沼市六日町*4.6 刈羽村割町新田（旧4）*4.5 長野県 5弱 長野南牧村海ノ口*4.8 佐久市臼田（旧）*4.5 佐久市中込*4.5 静岡県 5弱 御殿場市萩原*4.9 御殿場市役所*4.8 平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震 死者 19,689人、行方不明者 2,563人（余震による被害含む）、津波あり				
47	2011 3 11 15 15 (注) 15 17 (注) 15 16	茨城県沖 茨城県沖 茨城県沖 茨城県 6強 鉾田市当間*6.0 6弱 神栖市溝口*5.5 鉾田市鉾田=5.5 5強 筑西市舟生=5.4 茨城鹿嶋市鉾形（旧）=5.3 日立市助川小学校*5.3 茨城町小堤（旧）*5.2 茨城鹿嶋市宮中*5.2 城里町石塚（旧）*5.2 鉾田市造谷（旧）*5.2 土浦市下高津*5.1 水戸市金町=5.1 水戸市千波町（旧）*5.1 潮来市辻（旧）*5.1 稲敷市結佐（旧）*5.1 東海村東海（旧）*5.1 神栖市波崎（旧）*5.1 行方市麻生（旧）*5.1 水戸市中央*5.1 つくばみらい市福田（旧）*5.1 城里町阿波山（旧）*5.0 行方市玉造*5.0 小美玉市小川（旧）*5.0 稲敷市須賀津*5.0 土浦市常名=5.0 那珂市瓜連*5.0 笠間市中央*5.0 5弱 ひたちなか市東石川*4.9 石岡市八郷*4.9 取手市井野*4.9 河内町源清田*4.9 かすみがうら市上土田（旧）*4.9 かすみがうら市大和田*4.9 日立市役所（旧）*4.8 笠間市石井（旧）*4.8 つくば市研究学園*4.8 阿見町中央（旧）*4.8 水戸市内原町（旧）*4.8 筑西市下中山*4.8 筑西市門井（旧）*4.8 常陸大宮市野口（旧）*4.8 小美玉市堅倉（旧）*4.8 土浦市藤沢（旧）*4.7 石岡市柿岡=4.7 桜川市真壁（旧）*4.7 常陸大宮市北町*4.7 つくば天王台*4.6 桜川市岩瀬（旧）*4.6 大洗町磯浜町（旧）*4.6 桜川市羽田（旧）*4.6 つくば市小茎*4.6 結城市結城*4.6 下妻市本城町（旧）*4.6 八千代町菅谷*4.6 坂東市山（旧）*4.6 稲敷市江戸崎甲*4.6 稲敷市柴崎*4.6 取手市寺田*4.6 笠間市下郷*4.6 牛久市中央（旧）*4.6 筑西市海老ヶ島（旧）*4.5 利根町布川=4.5 茨城古河市下大野（旧）*4.5 高萩市安良川*4.5 栃木県 5強 真岡市石島*5.0 5弱 真岡市田町*4.8 大田原市湯津上*4.7 小山市神鳥谷*4.7 市貝町市塙*4.7 真岡市荒町（旧）*4.5 茂木町茂木*4.5 那須烏山市中央=4.5 下野市田中（旧）*4.5 千葉県 5強 旭市南堀之内*5.4 旭市高生*5.4 銚子市若宮町*5.3 旭市二（旧）*5.3 東金市日吉台*5.2 旭市萩園*5.2 匝瑳市八日市場ハ*5.2 香取市役所*5.2 香取市羽根川*5.2 成田市花崎町=5.2 匝瑳市今泉（旧）*5.1 多古町多古=5.0 香取市仁良*5.0 5弱 銚子市川口町=4.9 東金市東新宿=4.9 九十九里町片貝*4.9 香取市岩部*4.9 横芝光町宮川*4.9 山武市殿台（旧）*4.9 山武市蓮沼ハ（旧）*4.9 山武市松尾町松尾*4.9 東金市東岩崎（旧）*4.8 東庄町笹川*4.8 白子町閑（旧）*4.8 横芝光町横芝*4.8 山武市埴谷*4.8 市原市姉崎*4.8 印西市笠神*4.8 いすみ市岬町長者（旧）*4.8 香取市佐原諏訪台*4.7 神崎町神崎本宿*4.7 成田国際空港=4.7 成田市中台*4.7 印西市大森*4.7 大網白里市大網*4.6 千葉中央区中央港（旧）=4.6 千葉中央区都町*4.6 成田市松子（旧）*4.6 千葉佐倉市海隣寺町（旧）*4.6 八街市八街（旧）*4.6 富里市七栄*4.6 芝山町小池（旧）*4.5 千葉若葉区小倉台*4.5 一宮町一宮（旧）=4.5 長生村本郷*4.5 成田市役所（旧）*4.5 浦安市猫美（旧）*4.5 栄町安食台*4.5 福島県 5弱 白河市新白河*4.7 白河市東*4.5 鏡石町不時沼*4.5 埼玉県 5弱 加須市大利根*4.9 春日部市谷原新田*4.9 吉川市吉川*4.7 川口市中青木分室*4.6 春日部市中央*4.6 八潮市中央（旧）*4.6 宮代町笠原*4.6 草加市高砂*4.5 東京都 5弱 東京江戸川区中央=4.5 神奈川県 5弱 二宮町中里*4.6				

令和5年12月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 年 月 日 時 分	震央地名 各地の震度 地震名（地震の通称）・備考	緯度	経度	深さ	規模
48	2011 3 12 03 59	長野県北部 長野県 6強 栄村北信*6.4 5弱 野沢温泉村豊郷*4.8 新潟県 6弱 十日町市上山*5.9 十日町市松代*5.9 津南町下船渡*5.7 十日町市松之山（旧2）*5.6 5強 上越市三和区井ノ口*5.0 十日町市水口沢*5.0 5弱 上越市安塚区安塚*4.9 十日町市高山*4.9 長岡市山古志竹沢*4.8 上越市牧区柳島*4.8 十日町市千歳町*4.8 南魚沼市塩沢庁舎（旧）*4.7 長岡市小国町法坂*4.7 上越市清里区荒牧*4.6 出雲崎町米田*4.6 湯沢町神立*4.6 南魚沼市六日町*4.6 南魚沼市塩沢小学校*4.6 柏崎市高柳町岡野町*4.6 上越市頸城区百間町*4.6 上越市大島区岡*4.5 刈羽村割町新田（旧4）*4.5 群馬県 5強 中之条町小雨*5.1 死者 3人（新潟県および長野県による）	36° 59.1' N	138° 35.8' E	8km	M: 6.7
49	2011 3 12 04 31	長野県北部 長野県 6弱 栄村北信*5.5 5弱 野沢温泉村豊郷*4.7	36° 56.9' N	138° 34.3' E	1km	M: 5.9
50	2011 3 12 05 42	長野県北部 長野県 6弱 栄村北信*5.9	36° 58.3' N	138° 35.4' E	4km	M: 5.3
51	2011 3 15 22 31	静岡県東部 静岡県 6強 富士宮市野中*6.3 富士宮市弓沢町*6.0 5弱 富士宮市猪之頭*4.9 御殿場市萩原*4.8 小山町藤曲*4.7 富士市本市場*4.5 富士市永田町*4.5 富士市岩淵*4.5 山梨県 5強 富士河口湖町長浜（旧）*5.3 山中湖村山中*5.2 忍野村忍草（旧）*5.0 5弱 鳴沢村役場（旧）*4.9 富士河口湖町船津*4.9 富士河口湖町役場*4.8 富士吉田市下吉田（旧）*4.7 富士吉田市上吉田*4.7 南アルプス市鮎沢*4.6 富士河口湖町勝山*4.6 身延町役場*4.5 市川三郷町岩間*4.5 神奈川県 5弱 小田原市荻窪（旧2）*4.7 山北町山北*4.5	35° 18.5' N	138° 42.8' E	14km	M: 6.4
52	2011 4 7 23 32	宮城県沖 宮城県 6強 栗原市若柳（旧）*6.2 仙台宮城野区苦竹*6.2 栗原市築館（旧）*6.1 6弱 大崎市古川北町*5.9 東松島市矢本（旧）*5.9 登米市南方町*5.8 名取市増田*5.8 塩竈市旭町*5.8 大崎市古川三日町*5.7 大崎市鹿島台*5.7 涌谷町新町裏*5.7 登米市米山町（旧）*5.7 利府町利府*5.7 大衡村大衡*5.7 女川町鷺神浜*5.7 岩沼市桜*5.6 蔵王町円田*5.6 仙台宮城野区五輪*5.6 登米市迫町*5.6 宮城美里町北浦*5.6 栗原市栗駒*5.6 宮城川崎町前川*5.5 仙台青葉区大倉*5.5 登米市中田町*5.5 仙台若林区遠見塚*5.5 石巻市泉町*5.5 石巻市門脇（旧）*5.5 登米市東和町*5.5 松島町高城*5.5 5強 気仙沼市赤岩*5.4 登米市石越町*5.4 石巻市鮎川浜*5.4 東松島市小野*5.4 気仙沼市笹が陣*5.3 亙理町下小路*5.3 仙台青葉区作並*5.3 仙台区将監*5.3 大和町吉岡*5.3 南三陸町志津川（旧2）*5.2 大河原町新南*5.2 柴田町船岡*5.2 気仙沼市本吉町津谷*5.2 七ヶ浜町東宮浜*5.2 登米市豊里町*5.2 仙台青葉区雨宮*5.1 富谷町富谷*5.1 宮城加美町中新田*5.1 色麻町四籠*5.0 仙台青葉区落合*5.0 山元町浅生原（旧）*5.0 5弱 大崎市鳴子（旧）*4.9 白石市亙理町*4.9 角田市角田*4.9 丸森町鳥屋*4.9 村田町村田*4.8 仙台太白区山田*4.8 石巻市大瓜*4.8 大崎市三本木*4.8 岩手県 6弱 一関市山目*5.9 一関市花泉町（旧）*5.8 奥州市前沢区*5.8 奥州市衣川区（旧3）*5.7 一関市千蔵町（旧）*5.7 釜石市中妻町*5.6 奥州市江刺区*5.6 矢巾町南矢幅（旧）*5.6 一関市東山町（旧）*5.5 一関市室根町（旧）*5.5 平泉町平泉（旧）*5.5 大船渡市大船渡町*5.5 5強 大船渡市猪川町*5.4 盛岡市玉山区薮川*5.4 滝沢市鶴飼*5.4 奥州市水沢区佐倉河*5.4 一関市川崎町（旧）*5.3 花巻市東和町（旧3）*5.3 一関市大東町（旧）*5.3 金ヶ崎町西根（旧）*5.2 奥州市水沢区大鐘町*5.2 北上市相去町*5.2 住田町世田米（旧）*5.2 北上市柳原町*5.2 釜石市只越町*5.1 遠野市松崎町*5.1 花巻市材木町（旧）*5.0 八幡平市田頭*5.0 5弱 大船渡市盛町*4.9 盛岡市玉山区洪民*4.9 花巻市石鳥谷町*4.9 盛岡市山王町*4.8 普代村銅屋（旧）*4.8 宮古市区界*4.8 花巻市大迫町*4.7 紫波町日詰（旧）*4.6 久慈市川崎町*4.5 盛岡市馬場町*4.5 青森県 5強 八戸市南郷区*5.0 5弱 階上町道仏（旧2）*4.9 おいらせ町中下田*4.7 青森南部町苦米地*4.5 五戸町古館*4.5 秋田県 5強 大仙市大曲花園町（旧）*5.1 秋田市雄和妙法（旧）*5.0 横手市大雄（旧）*5.0 大仙市刈和野*5.0 大仙市高梨（旧）*5.0 5弱 仙北市西木町上桧木内*4.6 五城目町西磯ノ目*4.5 秋田市河辺和田*4.5 湯沢市川連町*4.5 福島県 5強 国見町藤田（旧3）*5.2 相馬市中村（旧2）*5.1 飯館村伊丹沢*5.1	38° 12.2' N	141° 55.2' E	66km	M: 7.2

令和5年12月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 年 月 日 時 分	震央地名 各地の震度 地震名（地震の通称）・備考	緯度	経度	深さ	規模
		桑折町東大隅*5.0 田村市大越町*5.0 福島伊達市保原町*5.0 新地町谷地小屋*5.0 南相馬市鹿島区西町*5.0 5弱 川俣町五百田*4.9 南相馬市原町区高見町*4.9 福島市松木町*4.8 福島市桜木町*4.8 福島伊達市前川原*4.8 福島伊達市霊山町*4.8 本宮市本宮*4.8 檜葉町北田*4.8 田村市都路町*4.7 南相馬市原町区三島町*4.7 二本松市油井*4.6 双葉町新山（旧）*4.6 郡山市朝日*4.6 郡山市開成*4.6 天栄村下松本*4.5 玉川村小高*4.5 田村市常葉町*4.5 田村市滝根町*4.5 山形県 5弱 尾花沢市若葉町*4.9 大蔵村清水*4.8 舟形町舟形（旧）*4.7 村山市中央*4.6 中山町長崎*4.6 河北町谷地*4.6 最上町向町（旧）*4.6 東根市中央*4.5 大石田町緑町*4.5 新庄市東谷地田町*4.5 <b>死者 4人</b>				
53	2011 4 11 17 16	福島県浜通り 福島県 6弱 中島村滑津（旧）*5.8 古殿町松川*5.8 いわき市錦町*5.6 5強 いわき市小名浜*5.3 鏡石町不時沼*5.2 浅川町浅川*5.2 白河市新白河*5.2 白河市東*5.1 天栄村下松本*5.1 平田村永田（旧）*5.1 いわき市三和町*5.0 棚倉町棚倉中居野*5.0 5弱 郡山市開成*4.9 矢吹町一本木*4.9 石川町下泉*4.9 いわき市平四ツ波*4.9 白河市表郷*4.8 檜葉町北田*4.8 鮫川村赤坂中野*4.8 玉川村小高*4.7 小野町中通*4.7 小野町小野新町*4.7 双葉町新山（旧）*4.7 湯川村笈川（旧）*4.7 須賀川市八幡山*4.7 郡山市朝日*4.6 田村市大越町*4.6 本宮市本宮*4.6 二本松市油井*4.6 泉崎村泉崎（旧）*4.6 会津坂下町市中三番甲*4.6 郡山市湖南町*4.6 会津美里町新鶴庁舎*4.6 白河市郭内*4.6 白河市八幡小路（旧）*4.6 西郷村熊倉*4.5 須賀川市長沼支所*4.5 西会津町登世島*4.5 猪苗代町千代田*4.5 棚倉町棚倉館ヶ丘*4.5 矢祭町東館*4.5 柳津町柳津*4.5 田村市都路町*4.5 福島伊達市霊山町*4.5 茨城県 6弱 鉾田市当間*5.5 5強 鉾田市鉾田*5.2 北茨城市磯原町*5.1 筑西市舟生*5.1 かすみがうら市上土田（旧）*5.1 小美玉市上玉里（旧）*5.0 日立市助川小学校*5.0 高萩市安良川*5.0 鉾田市汲上（旧）*5.0 5弱 高萩市本町*4.9 笠間市中央*4.9 ひたちなか市南神敷台*4.9 常陸大宮市北町*4.9 城里町石塚（旧）*4.9 土浦市常名*4.9 那珂市福田*4.8 日立市役所（旧）*4.8 城里町阿波山（旧）*4.8 日立市十王町友部（旧）*4.7 水戸市中央*4.7 土浦市下高津*4.7 石岡市石岡*4.7 ひたちなか市東石川*4.6 茨城町小堤（旧）*4.6 那珂市瓜連*4.6 小美玉市小川（旧）*4.6 土浦市藤沢（旧）*4.6 水戸市千波町（旧）*4.6 石岡市八郷*4.6 稲敷市役所（旧）*4.6 常総市新石下*4.6 小美玉市堅倉（旧）*4.5 石岡市柿岡*4.5 つくば市天王台*4.5 つくば市研究学園*4.5 阿見町中央（旧）*4.5 坂東市馬立*4.5 坂東市山（旧）*4.5 大子町池田*4.5 行方市山田（旧）*4.5 つくばみらい市加藤*4.5 常陸大宮市野口（旧）*4.5 栃木県 5強 那須町寺子*5.1 5弱 大田原市湯津上*4.8 芳賀町祖母井*4.7 大田原市本町（旧）*4.5 宇都宮市白沢町（旧）*4.5 下野市小金井*4.5 宮城県 5弱 蔵王町円田*4.8 岩沼市桜*4.6 涌谷町新町*4.5 山形県 5弱 上山市河崎*4.7 白鷹町荒砥（旧）*4.7 山辺町緑ヶ丘*4.6 中山町長崎*4.5 埼玉県 5弱 春日部市谷原新田*4.6 春日部市金崎*4.5 新潟県 5弱 阿賀野市岡山町*4.5 <b>死者 4人</b>	36° 56.7' N 140° 40.3' E	6km	M: 7.0	
54	2011 4 12 14 07	福島県中通り 福島県 6弱 いわき市錦町*5.7 いわき市三和町*5.6 5強 古殿町松川新桑原*5.3 いわき市小名浜*5.3 浅川町浅川*5.0 5弱 中島村滑津（旧）*4.9 檜葉町北田*4.8 平田村永田（旧）*4.8 白河市東*4.7 白河市新白河*4.7 石川町下泉*4.7 郡山市開成*4.6 田村市都路町*4.6 いわき市平四ツ波*4.6 須賀川市八幡山*4.5 天栄村下松本*4.5 茨城県 6弱 北茨城市磯原町*5.5 5強 高萩市本町*5.0 5弱 日立市十王町友部（旧）*4.9 日立市助川小学校*4.8 日立市役所（旧）*4.8 高萩市安良川*4.8 鉾田市当間*4.7 那珂市福田*4.6 ひたちなか市南神敷台*4.5 小美玉市上玉里（旧）*4.5	37° 03.1' N 140° 38.6' E	15km	M: 6.4	
55	2013 4 13 05 33	淡路島付近 兵庫県 6弱 淡路市郡家*5.5 淡路市志筑*5.5 5強 淡路市久留麻*5.3 南あわじ市湊（旧）*5.2 南あわじ市広田*5.1 5弱 洲本市小路谷*4.8 洲本市五色町都志*4.8 南あわじ市福良（旧）*4.7 淡路市中田*4.5	34° 25.1' N 134° 49.7' E	15km	M: 6.3	

令和5年12月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 年 月 日 時 分	震央地名 各地の震度 地震名（地震の通称）・備考	緯度	経度	深さ	規模
56	2014 11 22 22 08	淡路市富島（旧）=4.5 大阪府 5弱 大阪岬町深日*=4.5 徳島県 5弱 鳴門市鳴門町*=4.5 香川県 5弱 小豆島町安田*=4.6 東かがわ市湊（旧2）*=4.5 長野県北部 36° 41.5' N 137° 53.4' E 5km M: 6.7 長野県 6弱 長野市戸隠*=5.7 小川村高府*=5.7 長野市鬼無里*=5.6 小谷村中小谷*=5.6 5強 長野市箱清水=5.3 長野市中条（旧2）*=5.3 白馬村北城*=5.3 信濃町柏原東裏*=5.2 長野市豊野町豊野*=5.0 5弱 長野市信州新町新町（旧）*=4.8 大町市八坂*=4.8 飯綱町芋川*=4.7 長野市大岡*=4.5 中野市豊津*=4.5 飯綱町牟礼*=4.5 新潟県 5弱 糸魚川市能生*=4.6 妙高市関川*=4.5				
57	2016 4 14 21 26	熊本県熊本地方 32° 44.5' N 130° 48.5' E 11km M: 6.5 熊本県 7 益城町宮園*=6.6 6弱 熊本東区佐土原*=5.9 熊本西区春日=5.9 西原村小森*=5.7 嘉島町上島*=5.7 宇城市松橋町=5.7 宇城市不知火町*=5.7 熊本南区城南町（旧）*=5.6 玉名市天水町（旧2）*=5.5 宇城市小川町（旧2）*=5.5 宇城市豊野町*=5.5 熊本南区富合町*=5.5 5強 宇土市浦田町（旧）*=5.4 山都町下馬尾*=5.3 合志市竹迫*=5.3 熊本中央区大江*=5.3 熊本北区植木町*=5.3 大津町大津*=5.2 御船町御船*=5.2 熊本美里町馬場*=5.2 氷川町島地*=5.2 玉名市横島町*=5.1 熊本美里町永富*=5.1 菊池市旭志（旧2）*=5.0 菊陽町久保田*=5.0 5弱 八代市鏡町*=4.9 南阿蘇村河陽（旧）*=4.8 八代市千丁町*=4.8 甲佐町豊内*=4.8 和水町江田*=4.8 大津町引水*=4.7 氷川町宮原*=4.7 上天草市大矢野町=4.7 天草市五和町*=4.7 八代市松江城町*=4.6 上天草市松島町*=4.6 熊本高森町高森*=4.5 阿蘇市内牧*=4.5 南阿蘇村吉田*=4.5 八代市平山新町=4.5 菊池市泗水町*=4.5 長洲町長洲*=4.5 合志市御代志*=4.5 宮崎県 5弱 椎葉村下福良*=4.9 平成28年（2016年）熊本地震 死者 273人 ※「平成28年（2016年）熊本地震」は57番から63番までの地震を全て含む				
58	2016 4 14 22 07	熊本県熊本地方 32° 46.5' N 130° 50.9' E 8km M: 5.8 熊本県 6弱 益城町宮園*=5.7 5強 西原村小森*=5.3 熊本東区佐土原*=5.0 5弱 菊池市旭志（旧2）*=4.8 熊本中央区大江*=4.8 熊本西区春日=4.8 玉名市天水町（旧2）*=4.7 合志市竹迫*=4.7 熊本南区富合町*=4.6 大津町大津*=4.5 菊陽町久保田*=4.5 熊本美里町永富*=4.5				
59	2016 4 15 00 03	熊本県熊本地方 32° 42.0' N 130° 46.6' E 7km M: 6.4 熊本県 6強 益城町宮園*=6.0 宇城市豊野町*=6.0 6弱 宇城市小川町（旧2）*=5.8 宇城市松橋町=5.7 氷川町島地*=5.7 熊本南区城南町（旧）*=5.7 5強 八代市鏡町*=5.4 嘉島町上島*=5.4 宇土市浦田町（旧）*=5.3 宇城市不知火町*=5.3 熊本南区富合町*=5.3 御船町御船*=5.2 熊本美里町馬場*=5.2 熊本西区春日=5.2 八代市千丁町*=5.1 西原村小森*=5.1 熊本美里町永富*=5.0 氷川町宮原*=5.0 5弱 玉名市天水町（旧2）*=4.9 山都町下馬尾*=4.8 八代市平山新町=4.7 甲佐町豊内*=4.7 熊本東区佐土原*=4.7 八代市松江城町*=4.5				
60	2016 4 16 01 25 (注) 01 25	熊本県熊本地方 32° 45.2' N 130° 45.7' E 12km M: 7.3 大分県中部 33° 16.4' N 131° 21.1' E 12km M: 5.7 熊本県 7 益城町宮園*=6.7 西原村小森*=6.6 6強 菊池市旭志（旧2）*=6.4 南阿蘇村河陽（旧）*=6.2 宇土市浦田町（旧）*=6.2 嘉島町上島*=6.2 合志市竹迫*=6.2 大津町大津*=6.1 宇城市豊野町*=6.1 宇城市松橋町=6.0 宇城市小川町（旧2）*=6.0 熊本中央区大江*=6.0 熊本東区佐土原*=6.0 熊本西区春日=6.0 6弱 南阿蘇村中松=5.9 熊本美里町馬場*=5.9 宇城市不知火町*=5.9 熊本南区城南町（旧）*=5.9 熊本南区富合町*=5.9 阿蘇市内牧*=5.8 菊陽町久保田*=5.8 熊本北区植木町*=5.8 南阿蘇村河陰*=5.7 菊池市隈府*=5.7 大津町引水*=5.7 御船町御船*=5.7 山都町下馬尾*=5.7 氷川町島地*=5.7 和水町江田*=5.7 玉名市横島町*=5.6 玉名市天水町（旧2）*=5.6 菊池市泗水町*=5.6 熊本美里町永富*=5.6 合志市御代志*=5.6 阿蘇市一の宮町*=5.5 八代市鏡町*=5.5 上天草市大矢野町=5.5 天草市五和町*=5.5 5強 南小国町赤馬場*=5.4 産山村山鹿*=5.4 玉東町木葉*=5.4 熊本高森町高森*=5.3 南阿蘇村吉田*=5.3 八代市千丁町*=5.3 八代市松江城町*=5.2 甲佐町豊内*=5.2 氷川町宮原*=5.2 熊本小国町宮原*=5.1 八代市平山新町=5.1 山鹿市菊鹿町*=5.1 山鹿市鹿央町*=5.1 菊池市七城町（旧）*=5.1 長洲町長洲*=5.1 上天草市松島町*=5.1				

令和5年12月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 年 月 日 時 分	震央地名 各地の震度 地震名（地震の通称）・備考	緯度	経度	深さ	規模
		玉名市中尾*5.0 山鹿市鹿本町*5.0 芦北町芦北=5.0 芦北町田浦町*5.0 5弱 阿蘇市波野（旧）*4.9 玉名市岱明町*4.9 八代市坂本町（旧2）*4.9 山都町大平*4.9 山都町今*4.9 山鹿市老人福祉センター*4.8 和水町板橋*4.8 山江村山田*4.8 荒尾市宮内出目*4.7 山鹿市山鹿*4.7 宇城市三角町*4.7 津奈木町小津奈木*4.7 八代市泉支所*4.6 南関町関町（旧）*4.6 八代市東陽町*4.5 人吉市西間下町=4.5 あさざり町須恵*4.5 水俣市牧ノ内*4.5 上天草市姫戸町（旧2）*4.5				
		大分県 6弱 由布市湯布院町川上（旧2）*5.9 別府市鶴見=5.5 5強 九重町後野上*5.4 竹田市直入町*5.2 別府市天間=5.0 豊後大野市清川町（旧2）*5.0 日田市前津江町（旧）*5.0 竹田市荻町*5.0 5弱 津久見市宮本町*4.9 日田市上津江町*4.9 別府市上野口町*4.8 竹田市久住町*4.8 佐伯市春日町*4.7 佐伯市鶴見（旧）*4.7 佐伯市上浦*4.7 日田市田島*4.7 日田市中津江村板野（旧2）*4.6 竹田市会々*4.6 玖珠町帆足=4.6 大分市長浜=4.5 臼杵市臼杵*4.5 佐伯市蒲江蒲江浦=4.5				
		福岡県 5強 柳川市三橋町*5.1 大川市酒見*5.1 久留米市津福本町=5.0 みやま市高田町*5.0 5弱 久留米市城島町*4.9 柳川市大和町*4.9 柳川市本町*4.9 大木町八町牟田*4.9 筑前町篠隈*4.9 みやま市瀬高町*4.8 久留米市小森野町*4.7 久留米市北野町*4.7 筑後市山ノ井*4.7 遠賀町今古賀*4.6 久留米市三潞町*4.6 八女市吉田*4.6 八女市矢部村*4.6 福岡広川町新代（旧）*4.6 福岡南区塩原*4.5 八女市黒木町今*4.5 八女市本町*4.5 小郡市小郡*4.5				
		佐賀県 5強 神埼市千代田*5.4 上峰町坊所*5.3 佐賀市川副（旧2）*5.1 佐賀市久保田（旧2）*5.0 5弱 佐賀市諸富（旧2）*4.9 白石町有明*4.9 みやま町北茂安（旧2）*4.9 佐賀市駅前中央=4.7 佐賀市栄町*4.7 みやま町三根*4.7 小城市芦刈*4.7 神埼市神埼（旧2）*4.7 佐賀市東与賀*4.6 白石町福田*4.6 白石町福富*4.6				
		長崎県 5強 南島原市北有馬町*5.0 5弱 雲仙市小浜町雲仙=4.9 南島原市深江町*4.9 南島原市加津佐町*4.8 雲仙市国見町=4.7 諫早市多良見町*4.7 島原市有明町*4.6 南島原市口之津町*4.6 南島原市西有家町*4.6				
		宮崎県 5強 椎葉村下福良*5.0 高千穂町三田井=5.0 宮崎美郷町田代*5.0 5弱 高千穂町寺迫*4.8 延岡市北川町川内名白石*4.6 椎葉村総合運動公園*4.6 延岡市北方町卯*4.5				
		愛媛県 5弱 八幡浜市保内町*4.5 鹿児島県 5弱 長島町伊唐島*4.6 長島町獅子島*4.5				
61	2016 4 16 01 45 (注) 01 46	熊本県熊本地方 32° 51.7' N 130° 53.9' E 11km M: 5.9 熊本県阿蘇地方 32° 58.0' N 131° 07.0' E 7km M: — 熊本県 6弱 合志市竹迫*5.8 菊陽町久保田*5.6 益城町宮園*5.6 熊本東区佐土原*5.5 5強 菊池市旭志（旧2）*5.4 大津町引水*5.3 西原村小森*5.3 大津町大津*5.2 嘉島町上島*5.1 玉名市天水町（旧2）*5.0 和水町江田*5.0 5弱 熊本北区植木町*4.9 南阿蘇村河陽（旧）*4.8 菊池市泗水町*4.8 合志市御代志*4.8 宇城市松橋町=4.7 熊本中央区大江*4.7 玉名市岱明町*4.6 熊本西区春日=4.6 熊本南区富合町*4.6 上天草市大矢野町=4.6 玉名市横島町*4.5 長洲町長洲*4.5 熊本南区城南町（旧）*4.5				
		長崎県 5弱 南島原市加津佐町*4.5				
62	2016 4 16 03 55	熊本県阿蘇地方 33° 01.5' N 131° 11.4' E 11km M: 5.8 熊本県 6強 産山村山鹿*6.1 5強 阿蘇市波野（旧）*5.2 南阿蘇村中松=5.0 5弱 熊本高森町高森*4.8 阿蘇市一の宮町*4.8 南小国町赤馬場*4.7 阿蘇市内牧*4.7 大分県 5弱 竹田市荻町*4.9				
63	2016 4 16 09 48	熊本県熊本地方 32° 50.8' N 130° 50.1' E 16km M: 5.4 熊本県 6弱 菊池市旭志（旧2）*5.5 5弱 合志市竹迫*4.9 大津町大津*4.8 大津町引水*4.6 熊本美里町永富*4.6 菊陽町久保田*4.5 玉名市天水町（旧2）*4.5				
64	2016 6 16 14 21	内浦湾 41° 56.9' N 140° 59.2' E 11km M: 5.3 北海道 6弱 函館市川汲町*5.8 5弱 函館市泊町*4.7				
65	2016 10 21 14 07	鳥取県中部 35° 22.8' N 133° 51.3' E 11km M: 6.6 鳥取県 6弱 北栄町土下（旧）*5.8 倉吉市葵町*5.7 湯梨浜町龍島*5.7 5強 北栄町由良宿*5.4 三朝町大瀬*5.3 鳥取市鹿野町鹿野*5.2 鳥取市鹿野町鹿野小学校*5.1 湯梨浜町久留*5.1 鳥取市青谷町青谷（旧）*5.0 5弱 倉吉市岩倉長峯=4.9 倉吉市関金町大鳥居*4.9 琴浦町徳万*4.8 鳥取市気高町浜村（旧）*4.6				

令和5年12月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 年 月 日 時 分	震央地名 各地の震度 地震名（地震の通称）・備考	緯度	経度	深さ	規模
		琴浦町赤碕*4.6 鳥取市吉方*4.5 琴浦町赤碕中学校*4.5 日吉津村日吉津*4.5 岡山県 5強 鏡野町上齋原（旧）*5.3 真庭市蒜山下福田*5.0 5弱 真庭市蒜山下和*4.7 真庭市禾津*4.5 真庭市蒜山上福田*4.5 島根県 5弱 隠岐の島町城北町*4.5				
66	2016 12 28 21 38	茨城県北部 茨城県 6弱 高萩市下手綱*5.5 5強 日立市十王町友部（旧）*5.0 5弱 高萩市安良川*4.8 日立市助川小学校*4.7 日立市役所（旧）*4.7 常陸太田市金井町（旧2）*4.6 常陸太田市中大町（旧）*4.5	36° 43.2' N	140° 34.4' E	11km	M: 6.3
67	2018 6 18 07 58	大阪府北部 大阪府 6弱 大阪北区茶屋町*5.6 高槻市立第2中学校*5.6 枚方市大垣内*5.6 茨木市東中条町*5.6 箕面市粟生外院*5.5 5強 高槻市桃園町*5.4 摂津市三島*5.4 大阪東淀川区北江口*5.3 豊中市役所*5.3 箕面市箕面*5.3 交野市私部*5.3 大阪淀川区木川東*5.2 高槻市消防本部*5.2 大阪旭区大宮（旧）*5.1 豊中市曾根南町*5.1 吹田市内本町*5.1 寝屋川市役所*5.1 島本町若山台*5.1 大阪都島区都島本通（旧）*5.0, 5弱 大阪西淀川区千舟*4.9 大阪東淀川区柴島*4.9 大阪福島区福島*4.8 大阪国際空港=4.8 守口市京阪本通*4.8 四條畷市中野*4.8 豊能町余野*4.8 大阪此花区春日出北*4.7 池田市城南*4.7 大東市新町*4.7 大阪港区築港*4.6 能勢町役場（旧）*4.6 大阪生野区舍利寺*4.5 京都府 5強 八幡市八幡*5.3 大山崎町円明寺*5.3 久御山町田井*5.3 京都西京区大枝*5.2 京都中京区河原町御池*5.0, 京都伏見区向島*5.0, 京都伏見区久我*5.0 亀岡市余部町*5.0 長岡京市開田（旧）*5.0, 5弱 城陽市寺田*4.9 向日市寺戸町*4.9 宇治市宇治琵琶*4.8 京田辺市田辺*4.7 井手町井手*4.7 京都伏見区竹田*4.6 京都伏見区淀*4.6 京都西京区榎原*4.6 宇治市折居台*4.6 京都伏見区醍醐*4.5 亀岡市安町*4.5 精華町南稻八妻*4.5 南丹市八木町八木*4.5 滋賀県 5弱 大津市南郷*4.6 兵庫県 5弱 尼崎市昭和通*4.8 西宮市平木*4.7 伊丹市千僧（旧）*4.7 川西市中央町*4.7 西宮市宮前町*4.6 奈良県 5弱 高取町観音寺*4.8 大和郡山市北郡山町*4.6 御所市役所*4.6 広陵町南郷*4.6 <b>死者6人</b>	34° 50.6' N	135° 37.3' E	13km	M: 6.1
68	2018 9 6 03 07	胆振地方中東部 北海道 7 厚真町鹿沼=6.5 6強 安平町早来北進*6.4 安平町追分柏が丘*6.4 むかわ町松風*6.4 むかわ町穂別*6.1 厚真町京町*6.0 6弱 札幌東区元町*5.9 平取町振内*5.9 日高地方日高町門別*5.6 新千歳空港=5.5 5強 札幌白石区北郷（旧）*5.4 札幌北区新琴似*5.3 千歳市若草*5.3 新冠町北星町*5.3 新ひだか町静内山手町=5.3 札幌北区篠路*5.2 千歳市北栄=5.2 千歳市支笏湖温泉*5.2 苫小牧市旭町*5.2 江別市緑町*5.1 札幌清田区平岡*5.1 恵庭市京町*5.1 平取町本町*5.1 札幌北区太平*5.0 札幌手稲区前田*5.0 三笠市幸町*5.0 長沼町中央*5.0 新ひだか町静内御幸町*5.0 5弱 石狩市花川=4.9 札幌厚別区もみじ台*4.9 南幌町栄町*4.9 由仁町新光*4.9 苫小牧市末広町=4.9 登別市桜木町*4.9 石狩市聚富=4.8 新篠津村第4 7線*4.8 江別市高砂町=4.8 栗山町松風*4.8 札幌豊平区月寒東*4.7 北広島市共栄*4.7 白老町大町=4.7 石狩市花畔*4.6 恵庭市漁平=4.6 函館市新浜町*4.6 胆振伊達市大滝区本町*4.6 札幌西区琴似*4.5 岩見沢市栗沢町東本町*4.5 室蘭市寿町*4.5 白老町緑丘*4.5 <b>平成30年北海道胆振東部地震 死者 43人</b>	42° 41.4' N	142° 00.4' E	37km	M: 6.7
69	2019 1 3 18 10	熊本県熊本地方 熊本県 6弱 和水町江田*5.5 5弱 玉東町木葉*4.6 熊本北区植木町*4.6	33° 01.6' N	130° 33.2' E	10km	M: 5.1
70	2019 2 21 21 22	胆振地方中東部 北海道 6弱 厚真町鹿沼=5.9 5強 むかわ町松風*5.2 安平町追分柏が丘*5.1 5弱 厚真町京町*4.8 安平町早来北進*4.8 千歳市北栄=4.7 千歳市若草*4.7 千歳市支笏湖温泉*4.7 長沼町中央*4.6 平取町振内*4.6 札幌北区新琴似*4.5 札幌手稲区前田*4.5	42° 45.9' N	142° 00.2' E	33km	M: 5.8
71	2019 6 18 22 22 (注) 22 25	山形県沖 新潟県下越沖	38° 36.4' N 38° 35.8' N	139° 28.7' E 139° 26.9' E	14km 12km	M: 6.7 M: 3.8

令和5年12月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 年 月 日 時 分	震央地名 各地の震度 地震名（地震の通称）・備考	緯度	経度	深さ	規模
	(注) 22 24	新潟県下越沖 新潟県 6強 村上市府屋* = 6.1 5弱 村上市寒川* = 4.8 長岡市上岩井* = 4.7 村上市岩船駅前* = 4.7 柏崎市西山町池浦* = 4.6 長岡市小島谷* = 4.5 阿賀町鹿瀬中学校* = 4.5 山形県 6弱 鶴岡市温海川 = 5.8 5強 鶴岡市道田町* = 5.3 鶴岡市温海* = 5.2 5弱 酒田市亀ヶ崎 = 4.9 三川町横山* = 4.7 鶴岡市馬場町 = 4.6 鶴岡市上山添* = 4.6 秋田県 5弱 由利本荘市桜小路* = 4.5 <b>津波あり</b>	38° 36.3' N	139° 24.8' E	11km	M: 3.7
72	2021 2 13 23 07	福島県沖 宮城県 6強 蔵王町円田* = 6.0 6弱 石巻市桃生町* = 5.9 岩沼市桜* = 5.8 登米市迫町* = 5.8 山元町浅生原* = 5.6 宮城川崎町前川* = 5.6 亘理町悠里* = 5.5 5強 宮城美里町木間塚* = 5.4 石巻市前谷地* = 5.4 丸森町鳥屋* = 5.4 東松島市矢本* = 5.4 名取市増田* = 5.4 登米市南方町* = 5.4 角田市角田* = 5.4 石巻市大街道南* = 5.3 大河原町新南* = 5.3 利府町利府* = 5.3 白石市亘理町* = 5.3 村田町村田* = 5.3 仙台空港 = 5.2 大崎市松山* = 5.2 大崎市古川三日町 = 5.2 柴田町船岡 = 5.1 大崎市古川旭* = 5.1 大崎市田尻* = 5.1 七ヶ浜町東宮浜* = 5.1 東松島市小野* = 5.1 涌谷町新町裏 = 5.1 登米市登米町* = 5.1 登米市米山町(旧)* = 5.1 栗原市若柳* = 5.0 仙台青葉区落合* = 5.0 仙台宮城野区五輪 = 5.0 大衡村大衡* = 5.0 大郷町粕川* = 5.0 仙台若林区遠見塚* = 5.0 塩竈市今宮町* = 5.0 松島町高城 = 5.0 5弱 丸森町上滝 = 4.9 仙台宮城野区苦竹* = 4.9 仙台青葉区作並* = 4.9 大崎市三本木* = 4.9 色麻町四籠* = 4.9 宮城加美町中新田* = 4.9 栗原市築館* = 4.9 栗原市瀬峰* = 4.9 登米市中田町 = 4.9 富谷市富谷* = 4.8 宮城美里町北浦* = 4.8 登米市豊里町 = 4.8 大崎市鹿島台* = 4.8 仙台太白区山田* = 4.8 仙台青葉区雨宮* = 4.7 大和町吉岡* = 4.7 大崎市古川大崎 = 4.7 栗原市高清水* = 4.7 栗原市一迫* = 4.7 仙台青葉区大倉 = 4.6 栗原市栗駒 = 4.6 栗原市金成* = 4.6 仙台泉区将監* = 4.6 石巻市相野谷* = 4.6 多賀城市中央* = 4.6 栗原市志波姫* = 4.6 登米市東和町* = 4.5 登米市石越町* = 4.5 宮城加美町小野田* = 4.5 石巻市泉町 = 4.5 石巻市北上町* = 4.5 福島県 6強 新地町谷地小屋* = 6.1 国見町藤田* = 6.1 相馬市中村* = 6.0 6弱 天栄村下松本* = 5.9 郡山市朝日 = 5.9 郡山市開成* = 5.8 本宮市白岩* = 5.7 檜葉町北田* = 5.7 福島市五老内町* = 5.6 大熊町大川原* = 5.6 浪江町幾世橋 = 5.6 双葉町両竹* = 5.6 福島広野町下北迫大谷地原* = 5.6 桑折町谷地* = 5.6 南相馬市小高区* = 5.6 川俣町五百田* = 5.6 福島伊達市前川原* = 5.5 須賀川市八幡町* = 5.5 須賀川市八幡山* = 5.5 福島伊達市梁川町* = 5.5 郡山市湖南町* = 5.5 川内村上川内早渡* = 5.5 5強 中島村滑津(旧)* = 5.4 二本松市油井* = 5.4 田村市船引町 = 5.4 南相馬市原町区高見町* = 5.4 大玉村南小屋 = 5.4 矢吹町一本木* = 5.4 福島市松木町 = 5.4 南相馬市原町区三島町 = 5.4 いわき市平梅本* = 5.4 富岡町本岡* = 5.4 鏡石町不時沼* = 5.3 泉崎村泉崎* = 5.3 白河市新白河* = 5.3 須賀川市岩瀬支所* = 5.3 二本松市針道* = 5.3 須賀川市長沼支所* = 5.3 福島伊達市保原町* = 5.3 南相馬市鹿島区西町* = 5.3 本宮市本宮* = 5.3 福島伊達市霊山町* = 5.3 田村市常葉町* = 5.2 飯館村伊丹沢* = 5.2 南相馬市原町区本町* = 5.2 福島市桜木町* = 5.2 大熊町野上* = 5.2 川内村上川内小山平* = 5.2 大玉村玉井* = 5.2 いわき市三和町 = 5.1 川内村下川内 = 5.1 葛尾村落合落合* = 5.1 福島伊達市月館町* = 5.1 猪苗代町千代田* = 5.1 田村市大越町* = 5.1 浅川町浅川* = 5.1 田村市都路町* = 5.1 二本松市金色* = 5.1 白河市大信* = 5.1 白河市表郷* = 5.1 田村市滝根町* = 5.1 白河市東* = 5.1 玉川村小高* = 5.0 福島広野町下北迫苗代替* = 5.0 小野町中通* = 5.0 いわき市平四ツ波* = 5.0 小野町小野新町* = 5.0 5弱 南相馬市鹿島区栢窪 = 4.9 猪苗代町城南 = 4.9 棚倉町棚倉中居野 = 4.9 福島市飯野町* = 4.9 白河市郭内 = 4.9 古殿町松川新桑原 = 4.9 三春町大町(旧)* = 4.8 西郷村熊倉* = 4.7 白河市八幡小路* = 4.7 いわき市錦町* = 4.6 石川町長久保* = 4.6 平田村永田* = 4.6 会津美里町新鶴庁舎* = 4.6 いわき市小名浜 = 4.5 矢祭町戸塚* = 4.5 湯川村清水田* = 4.5 栃木県 5強 那須町寺子* = 5.2 高根沢町石末* = 5.2 5弱 栃木那珂川町小川* = 4.7 那須烏山市中央 = 4.5 大田原市本町* = 4.5 岩手県 5弱 一関市花泉町* = 4.7 矢巾町南矢幅* = 4.6 一関市千厩町* = 4.6 一関市室根町* = 4.5 山形県 5弱 米沢市林泉寺* = 4.8 中山町長崎* = 4.7 白鷹町荒砥* = 4.5 米沢市アルカディア = 4.5 上山市河崎* = 4.5 茨城県 5弱 笠間市石井* = 4.7 筑西市舟生 = 4.7 城里町石塚* = 4.7 常陸太田市金井町(旧2)* = 4.7 日立市助川小学校* = 4.7 常陸太田市高柿町* = 4.6 那珂市瓜連* = 4.6 鉾田市汲上(旧)* = 4.5 東海村東海* = 4.5 城里町小勝* = 4.5 日立市役所* = 4.5 常陸大宮市北町* = 4.5 笠間市中央* = 4.5 土浦市常名 = 4.5 埼玉県 5弱 加須市大利根* = 4.5 <b>死者3人</b>	37° 43.7' N	141° 41.9' E	55km	M: 7.3

令和5年12月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 年 月 日 時 分	震央地名 各地の震度 地震名（地震の通称）・備考	緯度	経度	深さ	規模
		津波あり				
73	2022 3 16 23 36	福島県沖	37° 41.8' N	141° 37.3' E	57km	M: 7.4
(注)	2022 3 16 23 38	福島県沖	37° 49.6' N	141° 36.3' E	46km	M: 4.8
(注)	2022 3 16 23 39	福島県沖	37° 51.5' N	141° 44.9' E	63km	M: 4.4
(注)	2022 3 16 23 39	福島県沖	37° 41.4' N	141° 33.1' E	56km	M: 4.3
(注)	2022 3 16 23 42	福島県沖	37° 43.7' N	141° 35.2' E	55km	M: 4.3
(注)	2022 3 16 23 38	福島県沖	37° 41.9' N	141° 37.8' E	62km	M: 4.2
(注)	2022 3 16 23 41	宮城県沖	37° 55.6' N	141° 47.7' E	58km	M: 4.1
(注)	2022 3 16 23 42	福島県沖	37° 42.8' N	141° 33.7' E	54km	M: 4.0
(注)	2022 3 16 23 40	福島県沖	37° 46.0' N	141° 33.6' E	54km	M: 3.9
(注)	2022 3 16 23 40	福島県沖	37° 46.8' N	141° 35.4' E	53km	M: 3.8
		宮城県				6強 蔵王町円田*6.0 登米市米山町(旧)*6.0 登米市南方町*6.0 登米市迫町*6.0
						6弱 大崎市田尻*5.9 石巻市桃生町*5.9 角田市角田*5.8 宮城川崎町前川*5.8
						石巻市大街道南*5.8 栗原市志波姫*5.8 東松島市矢本*5.8 栗原市若柳*5.7
						宮城美里町木間塚*5.7 大河原町新南*5.6 大崎市松山*5.6 亘理町悠里*5.6
						山元町浅生原*5.6 栗原市築館*5.6 大崎市古川三日町*5.6 岩沼市桜*5.5
						石巻市前谷地*5.5 涌谷町新町裏*5.5 東松島市小野*5.5 登米市豊里町*5.5
						名取市増田*5.5 大崎市古川旭*5.5
						5強 栗原市一迫*5.4 登米市中田町*5.4 白石市亘理町*5.4 丸森町鳥屋*5.4
						仙台青葉区大倉*5.4 仙台青葉区落合*5.4 利府町利府*5.4 大衡村大衡*5.4
						大郷町粕川*5.3 村田町村田*5.3 柴田町船岡*5.3 栗原市高清水*5.3
						大崎市三本木*5.3 栗原市瀬峰*5.3 仙台宮城野区苦竹*5.3
						仙台泉区将監*5.3 石巻市北上町*5.3 松島町高城*5.3 仙台空港*5.3
						宮城美里町北浦*5.2 大崎市古川大崎*5.2 仙台太白区山田*5.2 富谷市富谷*5.2
						大崎市鹿島台*5.2 栗原市栗駒*5.2 丸森町上滝*5.1 塩竈市今宮町*5.1
						仙台青葉区作並*5.1 七ヶ浜町東宮浜*5.1 大和町吉岡*5.1
						仙台宮城野区五輪*5.1 登米市登米町*5.1 仙台若林区遠見塚*5.1 登米市石越町*5.0
						石巻市泉町*5.0 石巻市鮎川浜*5.0 女川町女川*5.0 宮城加美町中新田*5.0
						石巻市相野谷*5.0 栗原市金成*5.0 多賀城市中央*5.0 色麻町四竈*5.0
						5弱 気仙沼市笹が陣*4.9 宮城加美町小野田*4.9 登米市東和町*4.9 南三陸町歌津*4.9
						仙台青葉区雨宮*4.9 石巻市雄勝町*4.9 登米市津山町*4.8 気仙沼市唐桑町*4.8
						栗原市花山*4.7 気仙沼市赤岩*4.7 栗原市鶯沢*4.6 七ヶ宿町関*4.6 石巻市大瓜*4.5
						宮城加美町宮崎*4.5
		福島県				6強 国見町藤田*6.4 相馬市中村*6.4 南相馬市鹿島区西町*6.1
						6弱 大熊町大川原*5.8 新地町谷地小屋*5.8 桑折町谷地*5.7 双葉町両竹*5.7
						飯館村伊丹沢*5.7 福島市五老内町*5.6 福島伊達市前川原*5.6
						福島伊達市梁川町*5.6 檜葉町北田*5.6 南相馬市原町区三島町*5.6 天栄村下松本*5.5
						田村市船引町*5.5 田村市大越町*5.5 富岡町本岡*5.5 浪江町幾世橋*5.5
						二本松市針道*5.5 南相馬市原町区高見町*5.5 南相馬市小高区*5.5
						5強 福島市松木町*5.4 福島市桜木町*5.4 郡山市朝日*5.4 川俣町五百田*5.4
						福島伊達市保原町*5.4 福島伊達市壺山町*5.4 福島広野町下北迫大谷地原*5.4
						南相馬市鹿島区榎窪*5.4 南相馬市原町区本町*5.4 白河市大信*5.3 大玉村南小屋*5.3
						田村市常葉町*5.3 須賀川市岩瀬支所*5.2 須賀川市八幡町*5.2 二本松市油井*5.2
						鏡石町不時沼*5.2 泉崎村泉崎*5.2 古殿町松川新桑原*5.2 田村市都路町*5.2
						福島伊達市月館町*5.2 本宮市白岩*5.2 大熊町野上*5.2 郡山市開成*5.2
						白河市新白河*5.2 中島村滑津(旧)*5.1 矢吹町一本木*5.1 玉川村小高*5.1
						浅川町浅川*5.1 須賀川市八幡山*5.1 本宮市本宮*5.1 いわき市三和町*5.1
						いわき市平梅本*5.1 川内村下川内*5.1 川内村上川内早渡*5.1 大玉村玉井*5.1
						白河市東*5.0 白河市表郷*5.0 田村市滝根町*5.0 二本松市金色*5.0
						郡山市湖南町*5.0 葛尾村落合落合*5.0 棚倉町棚倉中居野*5.0
						5弱 福島市飯野町*4.9 いわき市平四ツ波*4.9 川内村上川内小山平*4.9 白河市郭内*4.8
						石川町長久保*4.8 平田村永田*4.8 小野町中通*4.8 小野町小野新町*4.8
						福島広野町下北迫苗代替*4.8 猪苗代町千代田*4.8 須賀川市長沼支所*4.7
						白河市八幡小路*4.6 矢祭町戸塚*4.6 いわき市小名浜*4.6 会津美里町新鶴庁舎*4.5
						二本松市小浜*4.5 矢祭町東館*4.5 三春町大町*4.5 いわき市錦町*4.5
		岩手県				5強 一関市竹山町*5.2 奥州市前沢*5.1 一関市花泉町*5.1 一関市藤沢町*5.1
						一関市千厩町*5.0 矢巾町南矢幅*5.0
						5弱 一関市室根町*4.9 奥州市江刺*4.9 奥州市胆沢*4.9 奥州市衣川*4.9
						平泉町平泉*4.8 住田町世田米*4.8 大船渡市大船渡町*4.8 金ヶ崎町西根(旧)*4.7
						奥州市水沢大鐘町*4.7 奥州市水沢佐倉河*4.7 花巻市東和町(旧4)*4.7
						北上市相去町*4.7 遠野市宮守町(旧)*4.7 一関市東山町*4.7 大船渡市猪川町*4.7
						普代村銅屋(旧2)*4.6 遠野市青笹町*4.6 盛岡市藪川*4.6 花巻市材木町*4.6
						釜石市中妻町*4.6 一関市大東町*4.5 野田村野田*4.5 一関市川崎町*4.5
		山形県				5強 中山町長崎*5.0
						5弱 米沢市林泉寺*4.8 山辺町緑ヶ丘*4.7 山形川西町上小松*4.7 白鷹町荒砥*4.6

令和5年12月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 年 月 日 時 分	震央地名 各地の震度 地震名（地震の通称）・備考	緯度	経度	深さ	規模
74	2022 6 19 15 08	高島町高島*4.5 酒田市飛鳥*4.5 酒田市山田*4.5 最上町向町*4.5 上市市河崎*4.5 天童市老野森*4.5 河北町谷地=4.5 青森県 5弱 階上町道仏（旧2）*4.7 おいらせ町中下田*4.5 秋田県 5弱 大仙市大曲花園町*4.6 横手市大雄*4.5 大仙市高梨*4.5 茨城県 5弱 常陸太田市金井町（旧2）*4.8 笠間市石井*4.8 東海村東海*4.8 筑西市舟生=4.8 日立市助川小学校*4.7 笠間市中央*4.7 那珂市瓜連*4.7 城里町石塚*4.7 城里町小勝*4.7 水戸市栗崎町*4.6 常陸太田市高柿町*4.6 常陸大宮市北町*4.6 小美玉市上玉里（旧）*4.6 水戸市千波町*4.5 水戸市内原町*4.5 日立市十王町友部（旧）*4.5 日立市役所*4.5 北茨城市磯原町*4.5 笠間市笠間*4.5 ひたちなか市南神敷台*4.5 ひたちなか市東石川*4.5 茨城町小堤（旧）*4.5 大子町池田*4.5 土浦市常名=4.5 栃木県 5弱 那須町寺子*4.9 市貝町市塙*4.9 高根沢町石末*4.8 栃木那珂川町小川*4.6 新潟県 5弱 南魚沼市六日町=4.5 <b>死者4人</b> <b>津波あり</b>	37° 30.9' N	137° 16.5' E	13km	M: 5.4
		石川県能登地方 石川県 6弱 珠洲市正院町*5.5 5弱 珠洲市大谷町*4.9 能登町松波*4.6				
75 (注)	2023 5 5 14 42	能登半島沖 37° 32.3' N 137° 18.2' E 12km M: 6.5				
(注)	2023 5 5 14 42	石川県能登地方 37° 31.1' N 137° 18.8' E 15km M: 5.4				
(注)	2023 5 5 14 45	石川県能登地方 37° 30.6' N 137° 15.9' E 12km M: 3.9				
	2023 5 5 14 46	石川県能登地方 石川県 6強 珠洲市正院町*6.1 5強 珠洲市大谷町*5.4 能登町松波*5.2 珠洲市三崎町=5.0 5弱 輪島市鳳至町=4.9 輪島市門前町走出*4.6 能登町宇出津=4.6 <b>死者1人</b> <b>津波あり</b>	37° 31.9' N	137° 19.6' E	12km	M: 3.1

## ● 付録 10. 長周期地震動階級関連解説表

長周期地震動階級関連解説表（高層ビルにおける人の体感・行動、室内の状況等との関連）

長周期地震動階級	人の体感・行動	室内の状況	備考
階級1 (やや大きな揺れ)	室内にいたほとんどの人が揺れを感じる。驚く人もいる。	ブラインドなど吊り下げものが大きく揺れる。	—
階級2 (大きな揺れ)	室内で大きな揺れを感じ、物につかまらなると感じる。物につかまらなると歩くことが難しいなど、行動に支障を感じる。	キャスター付き什器がわずかに動く。棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。	—
階級3 (非常に大きな揺れ)	立っていることが困難になる。	キャスター付き什器が大きく動く。固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。	間仕切壁などにひび割れ・亀裂が入ることがある。
階級4 (極めて大きな揺れ)	立っていることができず、はわないと動くことができない。揺れにほんろうされる。	キャスター付き什器が大きく動き、転倒するものがある。固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。	間仕切壁などにひび割れ・亀裂が多くなる。

### 長周期地震動階級関連解説表の使用にあたっての留意事項

- (1) 長周期地震動階級関連解説表は、固有周期 1.5 秒程度から 8 秒程度までの一般的な高層ビルを対象として、長周期地震動階級が推計された際に発生する可能性がある被害を記述しており、これより大きな被害が発生したり、逆に小さな被害にとどまる場合もあります。また、それぞれの長周期地震動階級で示されている全ての現象が発生するわけではありません。
- (2) 長周期地震動階級が同じであっても、対象となる建物や構造物の状態、継続時間などの地震動の性質により被害は異なります。
- (3) 長周期地震動階級関連解説表は、主に近年発生した長周期地震動による被害の事例から作成したものです。今後、顕著な長周期地震動が観測された場合には内容を点検し、新たな事例が得られたり、建物・構造物の耐震性の向上等によって実状と合わなくなった場合には変更します。
- (4) 長周期地震動階級関連解説表では、被害などの量を概数で表せない場合に、一応の目安として、次の副詞・形容詞を用いています。

用語	意味
わずか	数量・程度が非常に少ない。ほんの少し。
大半	半分以上。ほとんどよりは少ない。
ほとんど	全部ではないが、全部に近い。
が(も)ある が(も)いる	当該長周期地震動階級に特徴的に現れ始めることを表し、量的には多くないがその数量・程度の概数を表現できかねる場合に使用。
多くなる	量的な表現できかねるが、下位の階級より多くなることを表す。